第８回みえ県民意識調査

≪集計結果　報告書≫

令和元年　６　月

三重県戦略企画部

目　次

Ⅰ　調査の概要……………………………………………………………1

１．調査の目的……………………………………………………………………………………1
２．調査の概要……………………………………………………………………………………1
３．調査の内容……………………………………………………………………………………1
４．回収結果………………………………………………………………………………………1
５．報告書の見方…………………………………………………………………………………2
６．回答者の属性…………………………………………………………………………………3

Ⅱ　集計結果………………………………………………………………5

１．幸福感………………………………………………………………………………………… 5
２．地域や社会の状況についての実感……………………………………………………………13
３．県民指標に関すること…………………………………………………………………………47
４．地域活動への参加状況に関すること…………………………………………………………65
５．ご家族に関すること……………………………………………………………………………85
６．人とのつながりに関すること…………………………………………………………………97

Ⅲ　その他………………………………………………………………101

Ⅰ　調査の概要

１．調査の目的

県では、「みえ県民力ビジョン」において「県民力でめざす『幸福実感日本一』の三重」を基本理念として掲げており、県民の皆さんの「幸福実感」を把握し、県政運営に活用するため、「みえ県民意識調査」を毎年実施しています。第８回調査の概要は以下のとおりです。

２．調査の概要

（１）調査地域　　三重県全域
（２）調査対象　　県内居住の 18 歳以上の者
（３）標本数　　　10,000 人
（４）抽出方法　　各市町の選挙人名簿を使用した等間隔無作為抽出法によります。標本数は各市町の選挙人名簿登録者数の比率によって割り当てました。
（５）調査方法　　郵送による発送・回収
（６）調査期間　　平成 31 年 1 月～平成 31 年 2 月
（７）調査主体　　三重県戦略企画部企画課
（８）調査委託機関　長岡設計株式会社（調査対象者の抽出及び調査票等発送）
　　　　　　　　　株式会社東京商工リサーチ津支店（調査票のデータ入力及び集計業務）

３．調査の内容

下記の６つの調査項目により構成しています。

（１）幸福感
（２）地域や社会の状況についての実感
（３）県民指標に関すること
（４）地域活動への参加状況に関すること
（５）ご家族に関すること
（６）人とのつながりに関すること
（７）自由意見　　　　　　　（質問総数 48 問）

４．回収結果

（１）標本数　　　10,000 人
（２）実回収総数　 5,065 人（回収率　50.7%）
（３）有効回答数　 5,044 人（有効回答率　50.4%）
（４）無効回答数　　 21 人

図表 1-4-1　有効回答率の推移

	調査時期	有効回答率		調査時期	有効回答率
第８回（今回）	平成 31 年 1～2 月	50.4%	第４回	平成 27 年 1～2 月	54.4%
第７回（前回）	平成 30 年 1～2 月	52.7%	第３回	平成 26 年 1～2 月	54.6%
第６回	平成 29 年 1～2 月	53.2%	第２回	平成 25 年 1～2 月	54.3%
第５回	平成 27 年 11～12 月	52.4%	第１回	平成 24 年 1～2 月	57.1%

調査地域区分と地域別標本数、ならびに有効回答数は次表のとおりです。

図表 1-4-2 調査地域区分と地域別標本数

居住地域	市町	標本数	有効 回答数	有効回答率（%）	構成比（%）
北勢地域	四日市市、桑名市、鈴鹿市、亀山市、いなべ市、木曽岬町、東員町、菰野町、朝日町、川越町	4,575	2,381	52.0	47.2
伊賀地域	名張市、伊賀市	940	422	44.9	8.4
中南勢地域	津市、松阪市、多気町、明和町、大台町	2,697	1,346	49.9	26.7
伊勢志摩地域	伊勢市、鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町、大紀町、南伊勢町	1,378	648	47.0	12.8
東紀州地域	尾鷲市、熊野市、紀北町、御浜町、紀宝町	410	173	42.2	3.4
不明	―	-	74	-	1.5
合 計		10,000	5,044	50.4	100.0

５．報告書の見方

（１）報告書中の「n」は、その設問におけるサンプル数（＝有効回答数）を表しています。

（２）割合は全て百分率で表し、小数第二位を四捨五入しているため、割合の合計が 100%にならない場合があります。

（３）複数回答の質問の割合は、サンプル数（n）に占める各回答数の割合となっており、各回答の割合の合計は通常 100%を超えます。

（４）図表の見出しや回答の選択肢の表現は、紙幅の都合上、趣旨が変わらない程度に簡略化して記載している場合があります。

（５）紙幅の都合上、図表に回答割合の低い数値を表示していない場合があります。

（６）属性項目間の比較で大きな差が見られないものや前回調査から大きな変化が見られないものについては、記述を省略しています。

（７）サンプル数（n）が 50 未満の属性項目、世帯構成の「その他」及び世帯の年間収入の「わからない」の３つの属性項目については、原則として記述を省略しています。

６．回答者の属性

（１） 集計する際の基本的な属性は、地域、性別、年齢、主な職業、配偶関係、世帯類型、世帯収入の７つとしています。

（２） 回答者属性の構成比について、前回調査との差における主な特徴は次のとおりです。

・地域別では、「中南勢」、「伊勢志摩」の割合が前回調査より高く、「伊賀」、「東紀州」、が低くなっています。

・性別では、「男性」の割合が前回調査より高く、「女性」が低くなっています。

・年齢別では、「70 歳以上」の割合が前回調査より高く、それ以外の年齢が低くなっています。

・主な職業別では、「自営業・自由業」、「無職」の割合が前回調査より高く、「農林水産業」、「正規職員」、「パート・バイト・派遣」、「その他の職業」、「学生」、「専業主婦・主夫」が低くなっています。

・配偶関係別では、「離別・死別」の割合が前回調査より高く、「未婚」、「有配偶」が低くなっています。

・世帯類型別では、「単独世帯」、「一世代世帯」の割合が前回調査より高く、「二世代世帯」、「三世代世帯」、「その他世帯」が低くなっています。

・世帯収入別では、「400 万円未満」、「1,000 万円以上」の割合が前回調査より高く、「500 万円以上 1,000 万円未満」が前回調査より低くなっています。

図表 1-6-1 回答者の属性

属性	属性項目	件数	構成比（%）		（前回差）
			今回	前回	
地域	北勢	2,381	47.2	47.2	(0.0)
	伊賀	422	8.4	9.2	(-0.8)
	中南勢	1,346	26.7	26.4	(0.3)
	伊勢志摩	648	12.8	12.4	(0.4)
	東紀州	173	3.4	3.9	(-0.5)
	不明	74	1.5	0.9	(0.6)
性別	男性	2,774	55.0	48.9	(6.1)
	女性	2,197	43.6	49.0	(-5.4)
	不明	73	1.4	2.2	(-0.8)
年齢	18歳から20歳代	108	2.1	3.7	(-1.6)
	30歳代	353	7.0	9.7	(-2.7)
	40歳代	652	12.9	18.1	(-5.2)
	50歳代	922	18.3	22.5	(-4.2)
	60歳代	1,274	25.3	25.6	(-0.3)
	70歳以上	1,653	32.8	17.9	(14.9)
	不明	82	1.6	2.5	(-0.9)
主な職業	農林水産業	126	2.5	2.6	(-0.1)
	自営業・自由業	639	12.7	9.7	(3.0)
	正規職員	1,226	24.3	28.6	(-4.3)
	ﾊﾟｰﾄ･ﾊﾞｲﾄ･派遣	757	15.0	19.8	(-4.8)
	その他の職業	226	4.5	5.9	(-1.4)
	学生	21	0.4	1.3	(-0.9)
	専業主婦・主夫	534	10.6	11.8	(-1.2)
	無職	1,428	28.3	17.4	(10.9)
	不明	87	1.7	2.8	(-1.1)
配偶関係	未婚	451	8.9	10.8	(-1.9)
	有配偶	3,638	72.1	78.4	(-6.3)
	離別・死別	789	15.6	8.6	(7.0)
	不明	166	3.3	2.2	(1.1)
世帯類型	単独世帯	665	13.2	5.6	(7.6)
	一世代世帯	1,740	34.5	29.4	(5.1)
	二世代世帯	2,016	40.0	49.1	(-9.1)
	三世代世帯	454	9.0	11.4	(-2.4)
	その他世帯	87	1.7	2.1	(-0.4)
	不明	82	1.6	2.4	(-0.8)
世帯収入	～100万円未満	239	4.7	3.6	(1.1)
	～200万円未満	580	11.5	8.7	(2.8)
	～300万円未満	817	16.2	14.9	(1.3)
	～400万円未満	686	13.6	13.0	(0.6)
	～500万円未満	514	10.2	10.2	(0.0)
	～600万円未満	435	8.6	10.5	(-1.9)
	～800万円未満	561	11.1	14.5	(-3.4)
	～1,000万円未満	396	7.9	9.2	(-1.3)
	1,000万円以上	421	8.3	7.9	(0.4)
	わからない	242	4.8	5.4	(-0.6)
	不明	153	3.0	2.1	(0.9)
有効回答数		5,044	100.0	100.0	

Ⅱ　集計結果

１．幸福感

問１－１　現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を１０点、「とても不幸」を０点とすると、何点くらいになると思いますか。いずれかの数字を１つだけ○で囲んでください。（○は１つだけ）

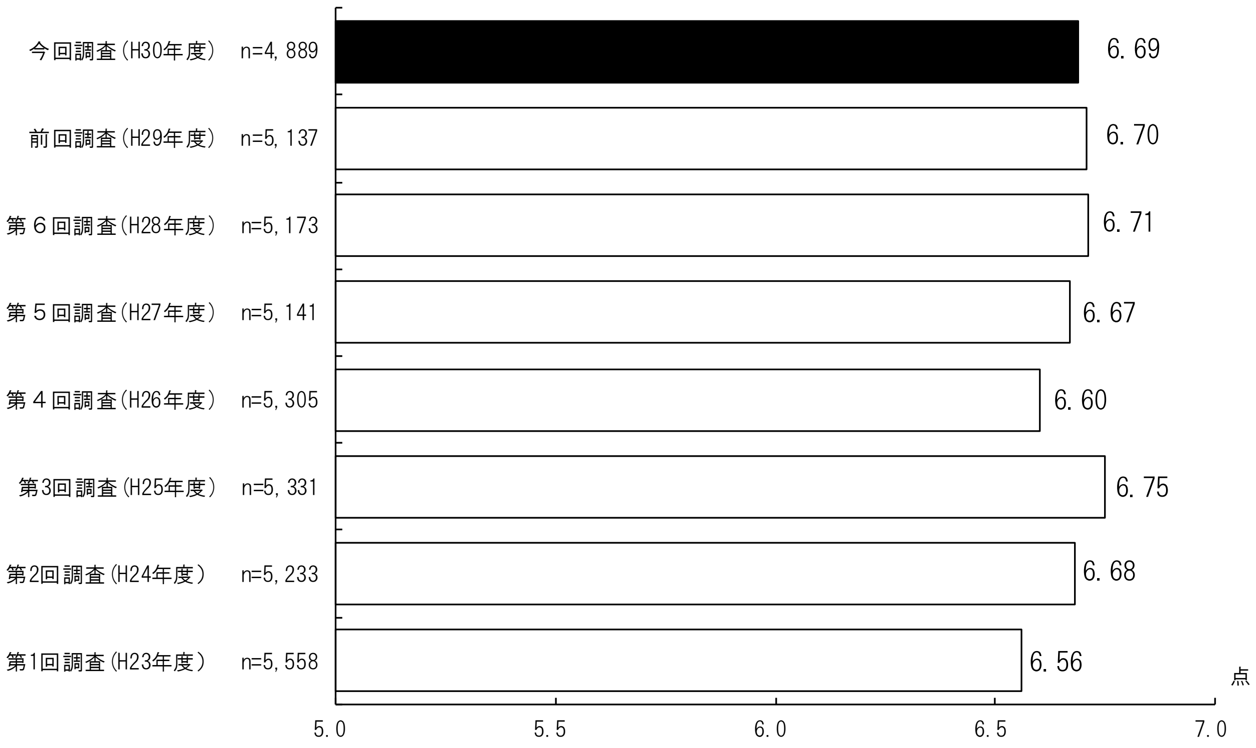
➢　日ごろ感じている幸福感

県民の皆さんが日ごろ感じている幸福感（以下「幸福感」と記載）について 10 点満点で質問したところ、平均値は 6.69 点で、前回調査より 0.01 点低くなり、第１回調査より 0.13 点高くなっています。

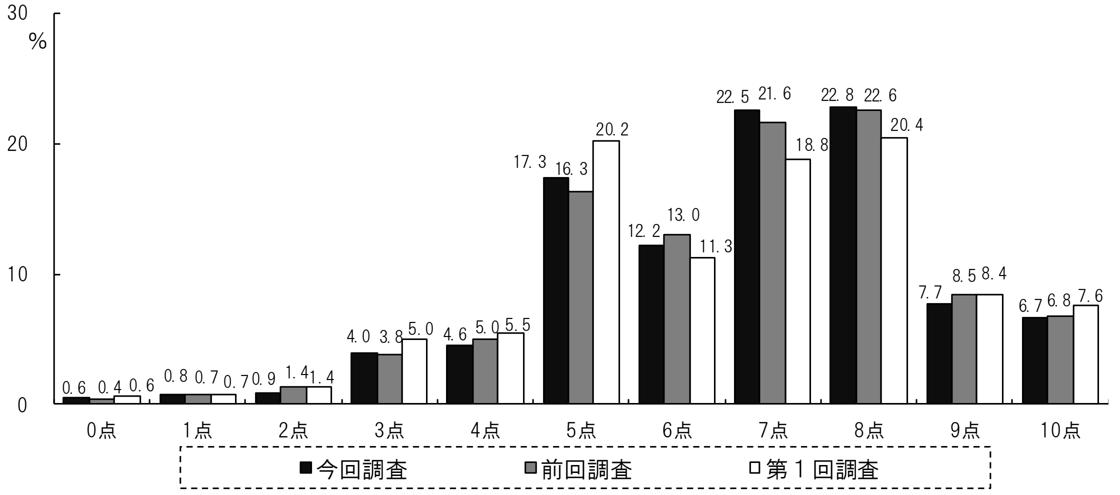
点数の分布をみると、「８点」の割合が 22.8%と最も高く、次いで「７点」が 22.5%、「５点」が 17.3%となっており、M字型となっています。

前回調査と比べると、「５点」の割合が 1.0 ポイント、「７点」の割合が 0.9 ポイント高く、「９点」、「６点」の割合が 0.8 ポイント低くなっています。第１回調査と比べると、「７点」の割合が 3.7 ポイント高く、「５点」が 2.9 ポイント低くなっています。

図表 2-1-1　日ごろ感じている幸福感の平均値



図表 2-1-2 日ごろ感じている幸福感の分布



➢ 日ごろ感じている幸福感（属性別特徴）

地域別で幸福感平均値を見ると、北勢が 6.78 点で最も高く、次いで中南勢 6.66 点、伊賀 6.62 点の順となっています。前回調査と比較すると、伊賀で 0.09 点、伊勢志摩で 0.03 点高く、東紀州で 0.06 点、中南勢で 0.03 点、北勢 0.02 点それぞれ低くなっています。

性別で幸福感平均値を見ると、女性が 6.85 点で男性の 6.58 点より 0.27 点高くなっています。前回調査と比較すると、男性は 0.07 点高く、女性は 0.06 点低くなっています。第１回調査と比較すると、男性は 0.26 点、女性は 0.05 点それぞれ高くなっています。

年齢別で幸福感平均値を見ると、30 歳代が 6.86 点と最も高く、次いで 40～60 歳代が 6.71 点となっています。前回調査と比較すると、50 歳代で 0.05 点、60 歳代で 0.01 点それぞれ高くなっています。第１回調査と比較すると、比較できる全ての年齢階級で高くなっています。

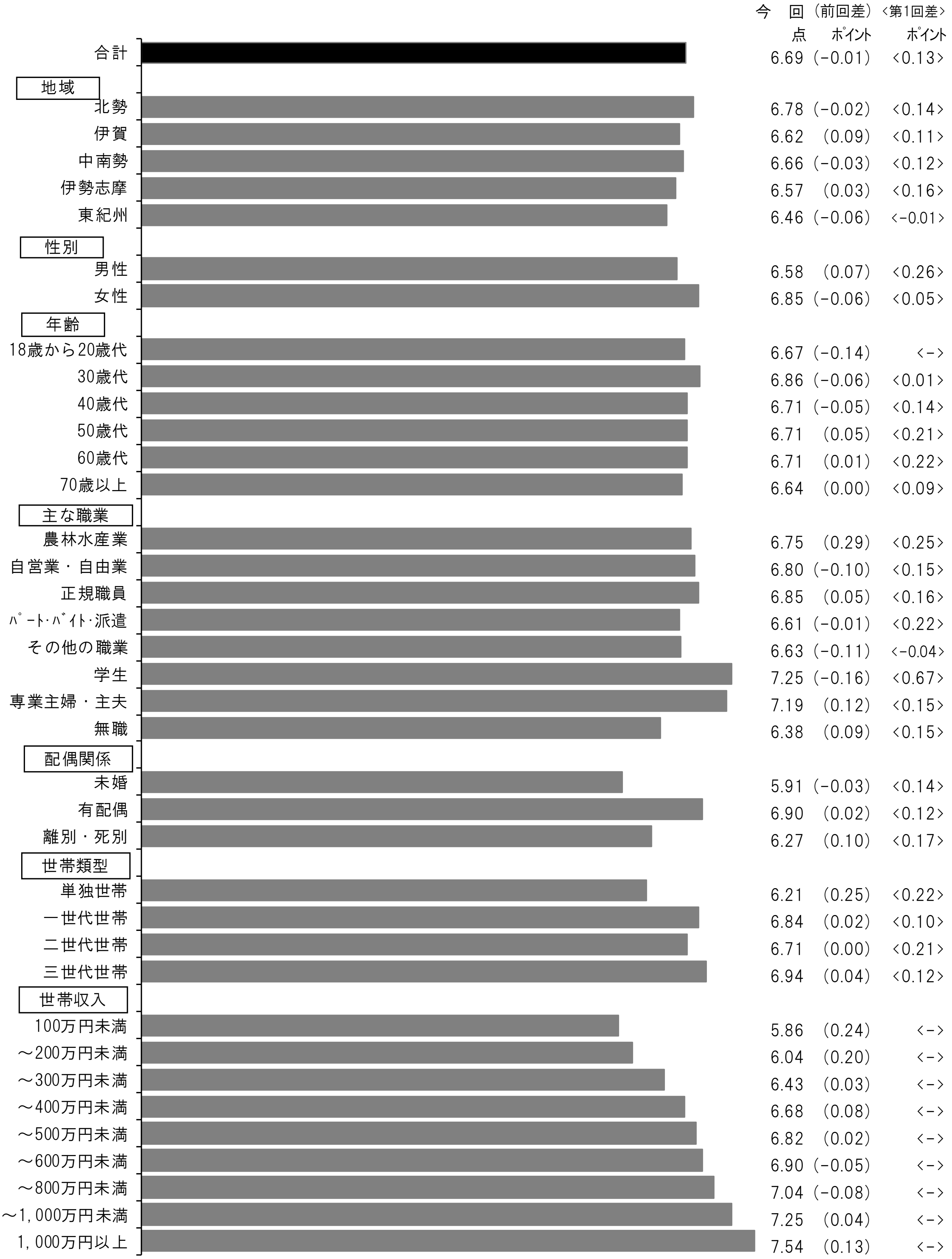
主な職業別で幸福感平均値を見ると、学生が 7.25 点で最も高く、次いで、専業主婦・主夫、正規職員の順となっています。前回調査と比較すると、農林水産業で 0.29 点、専業主婦・主夫で 0.12 点、無職で 0.09 点、正規職員で 0.05 点それぞれ高くなっています。第１回調査と比較すると、その他の職業を除く全ての職業で高くなっています。

配偶関係別で幸福感平均値を見ると、有配偶が 6.90 点で最も高く、次いで離別・死別が 6.27 点、未婚が 5.91 点となっています。前回調査と比較すると、離別・死別で 0.10 点、有配偶で 0.02 点それぞれ高く、未婚で 0.03 点低くなっています。第１回調査と比較すると、全ての配偶関係で高くなっています。

世帯類型別で幸福感平均値を見ると、三世代世帯が 6.94 点で最も高く、次いで一世代世帯が 6.84 点、二世代世帯が 6.71 点、単独世帯が 6.21 点となっています。前回調査と比較すると、単独世帯で 0.25 点、三世代世帯で 0.04 点、一世代世帯で 0.02 点それぞれ高くなっています。第１回調査と比較すると、全ての世帯で高くなっています。

世帯収入別では、世帯収入が高いほど幸福感平均値が高くなっています。前回調査と比較すると、100 万円未満で 0.24 点、100～200 万円未満で 0.20 点、1,000 万円以上で 0.13 点、300～400 万円未満で 0.08 点それぞれ高くなっています。

図表 2-1-3 日ごろ感じている幸福感の平均値(属性項目別)



※年齢の 18 歳から 20 歳代については、第 6 回調査からの調査項目であるため、第 1 回調査と比較を行っていません。
※世帯収入については、第 1 回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問１－２　幸福感を判断する際に、重視した事項は何ですか。次の中から<u>あてはまるものすべてに</u>〇をつけてください。（〇はいくつでも）

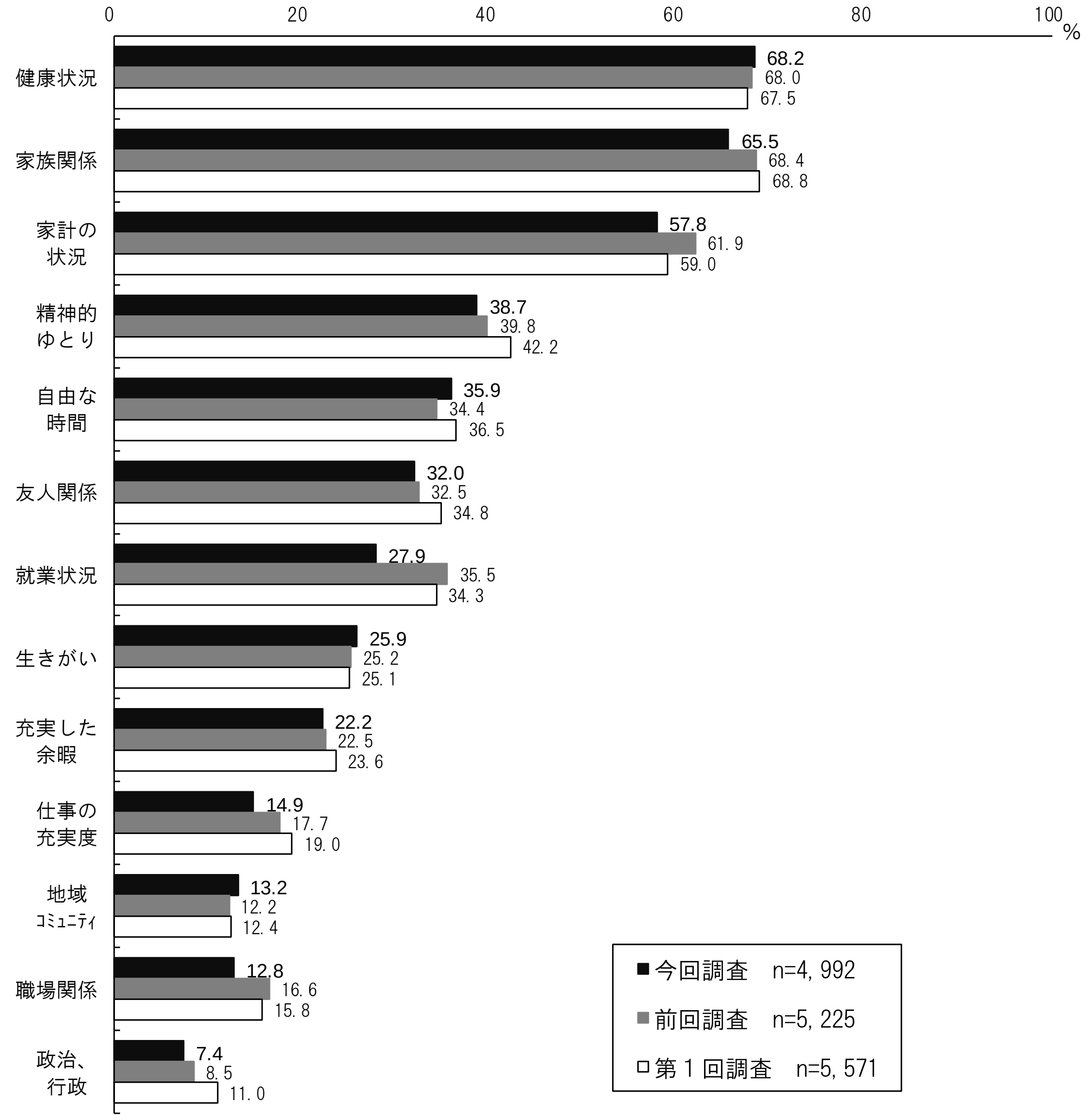
➢　幸福感を判断する際に重視した事項

幸福感を判断する際に重視した事項は、「健康状況」の割合が 68.2%で最も高く、次いで「家族関係」（65.5%）、「家計の状況」（57.8%）となっています。

割合が最も高かった事項は、第４回調査と第５回調査では今回と同様に「健康状況」、それ以外の調査では「家族関係」となっています。

また、前回調査との比較では、「健康状況」が「家族関係」と入れ替わり、「就業状況」が高い方から数えて５番目から７番目に下がりました。

図表 2-1-4　幸福感を判断する際に重視した事項〔複数回答〕



➢ 幸福感を判断する際に重視した事項（属性別特徴）

地域別では、全ての地域で「健康状況」がそれぞれ最も高くなっています。

性別では、男女ともに「健康状況」が最も高くなっています。

年齢別では、50歳代以上は「健康状況」が、40歳代以下は「家族関係」が、それぞれ最も高くなっています。18歳から20歳代と40歳代では、「健康状況」と「家計の状況」が同じ割合で高くなっています。

主な職業別では、農林水産業、パート・バイト・派遣、その他の職業、学生、無職は「健康状況」が最も高く、自営業・自由業、正規職員、専業主婦・主夫は「家族関係」が最も高くなっています。

学生は、「健康状況」と「友人関係」が同じ割合で最も高くなっています。

配偶関係別では、未婚と離別・死別は「健康状況」が、有配偶は「家族関係」がそれぞれ最も高くなっています。

世帯類型別では、単独世帯、一世代世帯は「健康状況」が、二世代世帯、三世代世帯は「家族関係」がそれぞれ最も高くなっています。

世帯収入別では、500万円未満は「健康状況」が最も高く、500万円以上では「家族関係」が最も高くなっています。

図表 2-1-5 幸福感を判断する際に重視した事項
（全体の上位7項目の属性別）

		健康状況	家族関係	家計の状況	精神的ゆとり	自由な時間	友人関係	就業状況
全体		68.2	65.5	57.8	38.7	35.9	32.0	27.9
地域	北勢	68.2	66.7	57.9	37.8	35.7	30.4	29.4
	伊賀	71.6	65.8	57.6	40.5	37.1	34.0	22.7
	中南勢	69.1	66.0	60.6	41.8	34.0	31.3	28.3
	伊勢志摩	64.7	62.5	55.4	36.2	37.0	37.0	29.2
	東紀州	66.9	57.4	49.1	33.1	39.1	36.1	16.0
性別	男性	67.3	64.4	57.9	36.1	33.4	26.9	29.1
	女性	69.7	67.2	58.0	42.6	39.1	38.2	26.7
年齢	18歳から20歳代	54.6	62.0	54.6	48.1	45.4	47.2	34.3
	30歳代	56.9	73.1	57.2	37.1	33.4	31.7	37.7
	40歳代	63.5	68.6	63.5	39.0	29.7	28.4	44.4
	50歳代	69.4	66.5	62.7	38.5	27.9	27.4	42.3
	60歳代	71.3	67.1	60.6	39.4	33.3	28.7	28.7
	70歳以上	70.5	61.6	51.2	38.1	44.5	37.3	10.1
主な職業	農林水産業	72.4	70.7	54.5	38.2	47.2	36.6	23.6
	自営業・自由業	63.3	64.1	57.2	35.4	28.5	31.7	33.1
	正規職員	64.8	70.2	62.5	36.3	27.3	26.1	48.5
	ﾊﾟｰﾄ・ﾊﾞｲﾄ・派遣	70.3	66.7	60.6	41.8	33.3	31.6	42.1
	その他の職業	69.1	58.3	61.4	36.8	31.8	33.2	30.0
	学生	61.9	57.1	47.6	52.4	57.1	61.9	19.0
	専業主婦・主夫	72.6	74.8	62.2	45.1	42.1	40.4	12.0
	無職	70.5	59.3	51.0	38.9	44.8	32.5	6.6
配偶関係	未婚	61.3	41.0	53.6	43.0	41.9	36.7	34.5
	有配偶	69.8	71.3	60.6	38.3	33.3	29.9	29.3
	離別・死別	67.0	54.3	49.7	40.2	43.4	38.1	19.6
世帯類型	単独世帯	65.3	41.8	49.9	40.4	45.3	39.5	16.9
	一世代世帯	69.7	68.0	59.1	37.9	37.4	31.2	23.0
	二世代世帯	67.9	69.9	60.4	40.1	32.1	30.0	35.5
	三世代世帯	69.7	75.4	56.9	37.2	31.0	32.3	30.5
世帯収入	100万円未満	65.8	51.9	45.9	32.9	45.0	31.6	14.3
	～200万円未満	64.3	52.0	48.0	38.4	39.4	34.3	16.1
	～300万円未満	66.8	60.5	54.5	37.2	42.3	30.9	17.2
	～400万円未満	71.6	68.7	58.6	40.8	37.4	33.0	21.6
	～500万円未満	67.1	64.0	59.3	38.9	30.5	28.6	29.5
	～600万円未満	72.3	72.7	64.4	40.6	33.9	33.3	35.8
	～800万円未満	66.3	70.8	64.7	37.1	29.7	28.6	36.9
	～1,000万円未満	71.1	74.7	67.3	40.3	30.4	37.5	47.8
	1,000万円以上	71.4	80.0	71.7	40.0	28.8	30.0	47.6

※凡例： 第１位 第２位 第３位

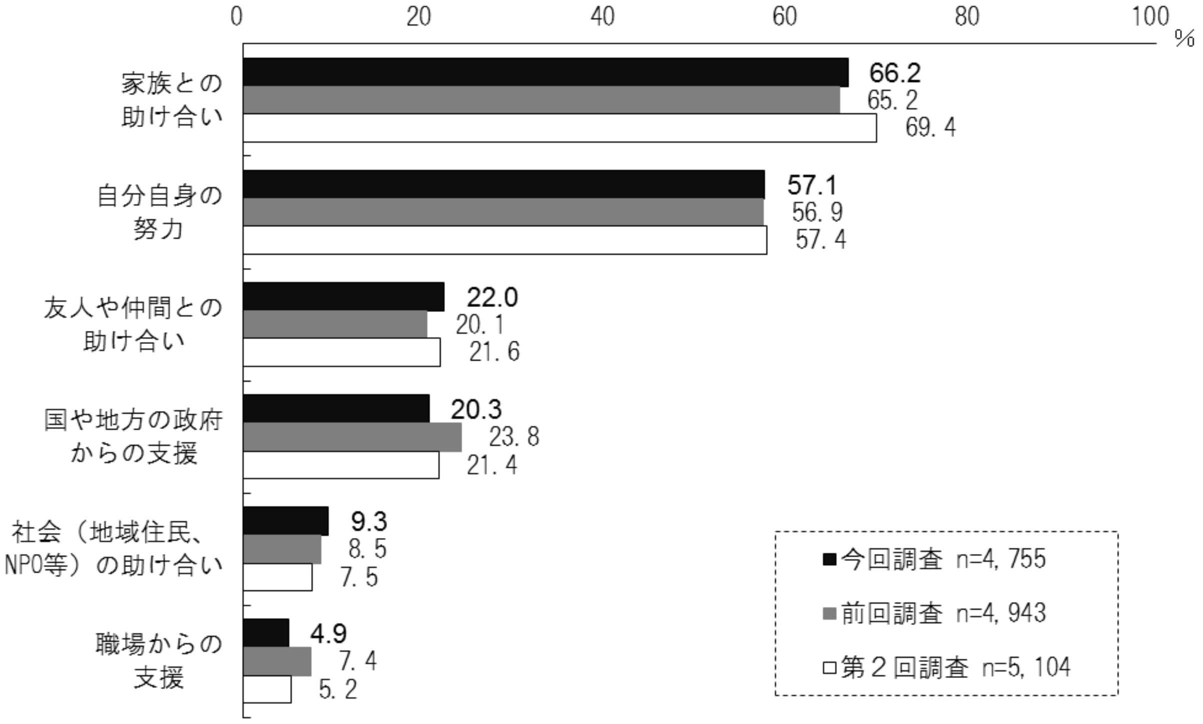
問１－３　あなたの幸福感を高めるために有効な手立ては何ですか。次の中からあなたのお考えにもっとも近いものに２つまで〇をつけてください。（〇は２つまで）

➢ 幸福感を高める手立て

幸福感を高める手立てについては、「家族との助け合い」が 66.2%で最も高く、次いで、「自分自身の努力」（57.1%）、「友人や仲間との助け合い」（22.0%）となっています。

前回調査との比較では、「友人や仲間との助け合い」が 1.9 ポイント、「家族との助け合い」が 1.0 ポイント、「社会（地域住民、ＮＰＯ等）の助け合い」が 0.8 ポイント、「自分自身の努力」が 0.2 ポイントそれぞれ高く、「国や地方の政府からの支援」が 3.5 ポイント、「職場からの支援」が 2.5 ポイントそれぞれ低くなっています。

図表 2-1-6 幸福感を高める手立て〔2つまでの複数回答〕



➢ 幸福感を高める手立て（属性別特徴）

地域別では、全ての地域で「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。

性別では、男女とも「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。

年齢別では、18 歳から 20 歳代を除くすべての層で「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。18 歳から 20 歳代は「自分自身の努力」、「家族との助け合い」の順に高くなっています。

主な職業別に見ると、農林水産業、正規職員、パート・バイト・派遣、専業主婦・主夫、無職で「家族との助け合い」が、自営業・自由業、その他の職業、学生で「自分自身の努力」がそれぞれ最も高くなっています。

配偶関係別では、有配偶は「家族との助け合い」が最も高く、未婚と離別・死別は「自分自身の努力」が最も高くなっています。

世帯類型別では、単独世帯を除く全ての世帯類型で「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。単独世帯では「自分自身の努力」が最も高くなっています。

世帯収入別では、200 万円以上で「家族との助け合い」、「自分自身の努力」の順に高くなっています。200 万円未満では「自分自身の努力」、「家族との助け合い」の順に高くなっています。

図表 2-1-7 幸福感を高める手立て（属性別）

		家族との助け合い	自分自身の努力	友人や仲間との助け合い	国や地方の政府からの支援	社会（地域住民、NPO等）の助け合い	職場からの支援
全体		66.2	57.1	22.0	20.3	9.3	4.9
地域	北勢	69.4	56.6	20.7	19.8	9.1	4.6
	伊賀	61.4	58.6	23.8	20.8	13.0	4.3
	中南勢	64.7	57.3	21.6	21.0	8.4	5.4
	伊勢志摩	62.6	58.3	25.8	19.3	8.9	5.3
	東紀州	58.0	50.3	28.7	25.5	10.2	5.7
性別	男性	65.8	59.4	18.8	20.1	10.1	5.2
	女性	66.9	54.4	26.1	20.7	8.2	4.4
年齢	18歳から20歳代	51.0	58.8	31.4	13.7	6.9	11.8
	30歳代	69.4	44.4	21.3	22.5	5.7	13.5
	40歳代	66.8	52.2	20.4	21.2	6.2	11.2
	50歳代	64.5	57.7	20.5	22.2	7.2	7.8
	60歳代	66.6	59.5	19.2	19.7	11.3	2.0
	70歳以上	67.3	59.7	25.1	19.2	11.2	0.6
主な職業	農林水産業	73.3	59.5	25.0	13.8	16.4	-
	自営業・自由業	63.2	63.9	20.1	17.8	10.0	2.0
	正規職員	67.9	54.7	18.4	18.5	7.0	12.0
	ﾊﾟｰﾄ・ﾊﾞｲﾄ・派遣	69.5	53.4	21.2	22.6	7.3	6.6
	その他の職業	61.3	64.6	24.5	18.9	7.5	6.6
	学生	52.4	81.0	38.1	9.5	-	-
	専業主婦・主夫	72.5	53.8	26.7	17.1	10.4	1.2
	無職	62.7	57.9	23.8	23.9	11.4	0.7
配偶関係	未婚	34.7	59.2	29.8	23.0	11.0	11.0
	有配偶	73.6	56.6	19.2	18.9	8.6	4.3
	離別・死別	51.6	58.5	30.2	25.3	10.2	4.2
世帯類型	単独世帯	39.1	64.1	33.0	23.7	11.1	3.9
	一世代世帯	71.0	59.3	19.3	17.8	9.2	2.2
	二世代世帯	68.5	53.9	21.4	21.9	8.8	7.5
	三世代世帯	79.1	51.9	20.7	17.7	8.8	4.4
世帯収入	100万円未満	55.0	60.1	20.6	26.6	7.3	2.8
	～200万円未満	52.4	55.6	28.4	27.1	10.4	2.7
	～300万円未満	64.0	55.7	24.8	21.9	9.5	3.5
	～400万円未満	66.5	57.3	20.4	22.2	12.5	4.1
	～500万円未満	65.1	59.7	19.2	18.8	8.5	5.2
	～600万円未満	73.5	58.6	19.2	20.0	7.1	3.9
	～800万円未満	74.4	52.5	19.8	17.0	8.6	8.8
	～1,000万円未満	73.5	55.6	23.0	16.3	6.1	8.0
	1,000万円以上	75.4	61.2	17.0	12.8	10.0	5.8

※凡例： **第１位** **第２位** **第３位**

２．地域や社会の状況についての実感

「地域や社会の状況についての実感」は、平成２４年度に策定した「みえ県民力ビジョン」で政策分野ごとに設定した１５の「幸福実感指標」に対応した質問となっています。

「幸福実感指標」は、県民の皆さん一人ひとりが生活している中で感じる政策分野ごとの実感の推移を調べ、全体としての幸福実感を把握するための指標です。

なお、「幸福実感指標」と関連する県の政策分野は以下のとおりです。

問2	幸福実感指標	関連する県の政策分野
（１）	災害の危機への備えが進んでいると感じる県民の割合	防災・減災
（２）	必要な医療サービスを利用できていると感じる県民の割合	命を守る
（３）	必要な福祉サービスを利用できていると感じる県民の割合	共生の福祉社会
（４）	犯罪や事故が少なく、安全に暮らせていると感じる県民の割合	暮らしの安全を守る
（５）	身近な自然や環境が守られていると感じる県民の割合（※　第５回調査で質問を変更）	環境を守る
（６）	性別や年齢、障がいの有無、国籍などにとらわれず、誰もが社会に参画できていると感じる県民の割合（※　第５回調査で質問を変更）	人権の尊重と多様性を認め合う社会
（７）	子どものためになる教育が行われていると感じる県民の割合	学びの充実
（８）	結婚・妊娠・子育てなどの希望がかない、子どもが豊かに育っていると感じる県民の割合（※　第５回調査で質問を変更）	希望がかなう少子化対策の推進
（９）	スポーツをしたり、みたり、支えたりする環境や機会が整っていると感じる県民の割合(※第５回調査で質問を変更)	スポーツの推進
(10)	自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたいと感じる県民の割合	地域の活力の向上
(11)	三重県産の農林水産物を買いたいと感じる県民の割合	農林水産業
(12)	県内の産業活動が活発であると感じる県民の割合	強じんで多様な産業
(13)	国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいると感じる県民の割合	世界に開かれた三重
(14)	働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ていると感じる県民の割合	雇用の確保と多様な働き方
(15)	道路や公共交通機関等が整っていると感じる県民の割合	安心と活力を生み出す基盤

問２　次の（１）から（15）までの１５の質問それぞれについて、あなたの実感にもっとも近いものを１つだけ選んでください。（〇はそれぞれ１つずつ）

➢　地域や社会の状況についての実感（15 項目全体の集計結果）

※項目毎の集計結果は 16 ページから 45 ページに記載

〇『実感している層』の割合

地域や社会の状況についての実感をおききしたところ、「感じる」と「どちらかといえば感じる」を合計した『実感している層』の割合は、「(11)三重県産の農林水産物を買いたい」が 85.5%で最も高くなっています。次いで「(10)自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい」（77.5%)、「(4)犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている」(65.2%）の順で、これまでの 8 回の調査を通じて同順位となっています。

〇『実感していない層』の割合

「感じない」と「どちらかといえば感じない」を合計した『実感していない層』の割合は「(14)働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている」が 61.6%で、第 1 回調査以降、継続して最も高くなっています。次いで、「(6)性別や年齢、障がいの有無、国籍などにとらわれず、誰もが社会に参加できている」(57.7%)、「(1)災害の危機への備えが進んでいる」(57.5%)、となり、「(13)国内外に三重の魅力が発信され、交流が進んでいる」(53.6%）の順となっています。

〇前回調査との比較

前回調査より『実感している層』の割合が高くなったのは、15 項目のうち８項目で、増加幅が大きかったのは「(２) 必要な医療サービスを利用できている」(＋6.4 ポイント)、「(15)道路や公共交通機関等が整っている」(＋4.5 ポイント)、「(３)必要な福祉サービスを利用できている」(＋3.9 ポイント)、「(10) 自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい」(＋3.8 ポイント）となっています。

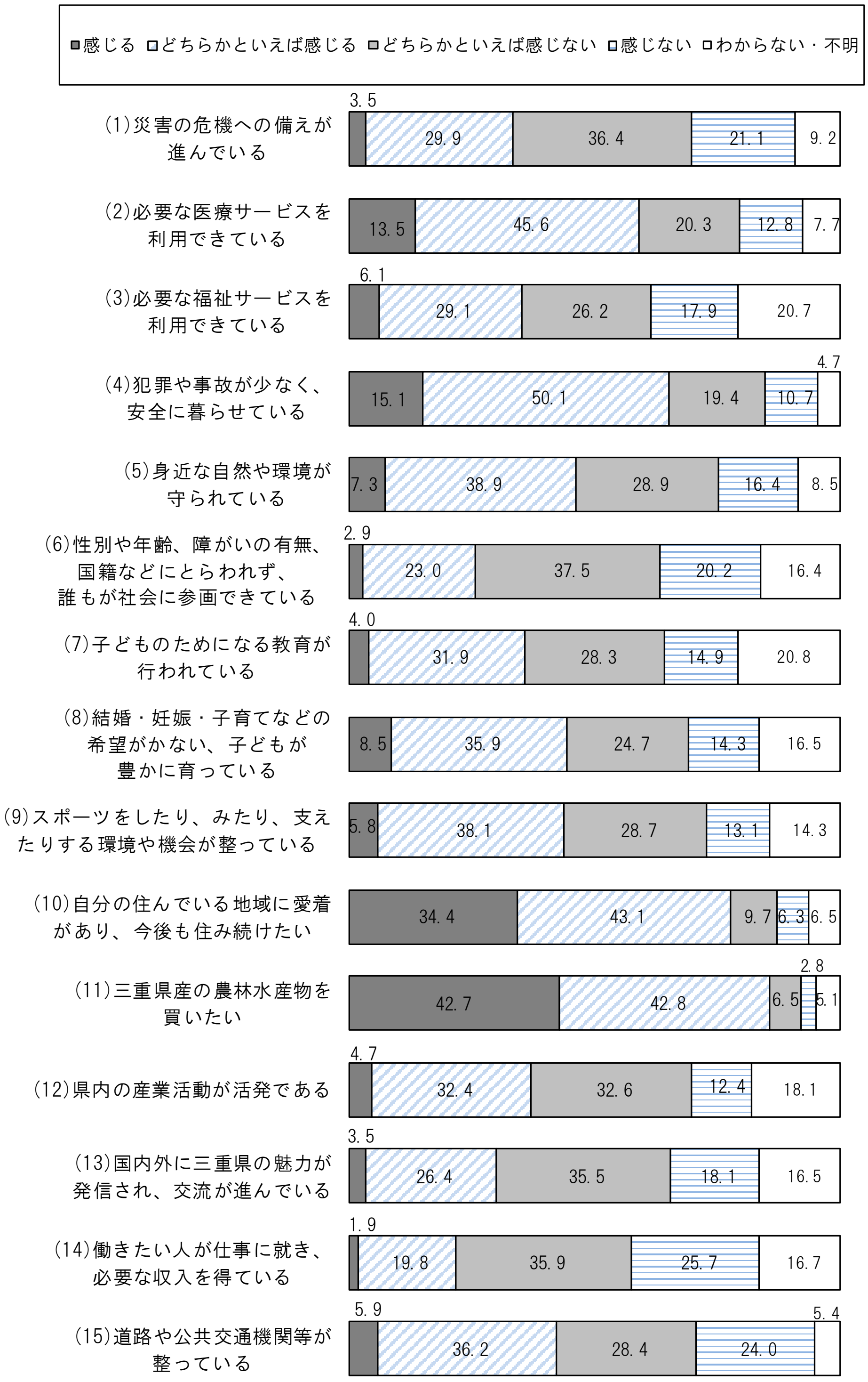
一方、『実感していない層』の割合が高くなったのは 6 項目で、主なものは「(6)性別や年齢、障がいの有無、国籍などにとらわれず、誰もが社会に参画できている」(＋2.9 ポイント)、「(13) 国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる」(＋2.4 ポイント）となっています。

〇第１回調査との比較

第 1 回調査から質問内容を変えずに継続的におききしている 11 項目のうち、第 1 回調査より『実感している層』の割合が高くなったのは 10 項目で、増加幅が最も大きかったのは「(２) 必要な医療サービスを利用できている」(＋13.7 ポイント)、「(13) 国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる」(＋12.6 ポイント)、次いで「(12)県内の産業活動が活発である」(＋9.3 ポイント)、「(1)災害の危機への備えが進んでいる」(＋9.0 ポイント）となっています。

一方、『実感していない層』の割合は、「(11)三重県産の農林水産物を買いたい」(＋1.4 ポイント）を除く 10 項目で第 1 回調査より低くなっています。

図表 2-2-1 地域や社会の状況についての実感（一覧）



	実感している層 今回 %	実感している層（前回差）〈第１回差〉ﾎﾟｲﾝﾄ	実感していない層 今回 %	実感していない層（前回差）〈第１回差〉ﾎﾟｲﾝﾄ
(1)	33.4	(0.6) <9.0>	57.5	(−0.8) <−9.0>
(2)	59.1	(6.4) <13.7>	33.1	(−5.9) <−12.0>
(3)	35.2	(3.9) <2.5>	44.1	(−3.5) <−1.9>
(4)	65.2	(−0.3) <6.3>	30.1	(0.6) <−6.3>
(5)	46.2	(−1.3) <−>	45.3	(1.4) <−>
(6)	25.9	(−2.4) <−>	57.7	(2.9) <−>
(7)	35.9	(−0.4) <8.2>	43.2	(−0.1) <−6.7>
(8)	44.4	(−2.2) <−>	39.0	(0.6) <−>
(9)	43.9	(1.3) <−>	41.8	(−1.4) <−>
(10)	77.5	(3.8) <4.4>	16.0	(−2.4) <−3.7>
(11)	85.5	(−0.3) <−1.9>	9.3	(0.5) <1.4>
(12)	37.1	(0.4) <9.3>	45.0	(−0.7) <−9.1>
(13)	29.9	(−3.1) <12.6>	53.6	(2.4) <−10.6>
(14)	21.7	(1.1) <8.0>	61.6	(−2.6) <−11.1>
(15)	42.1	(4.5) <4.6>	52.4	(−4.5) <−3.5>

※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

➢ 地域や社会の状況についての実感（項目毎の集計結果）

問２－（１） 災害の危機への備えが進んでいると感じますか。
（関連の政策分野：防災・減災）

○ 災害の危機への備えが進んでいるかどうかの実感については、『実感している層』の割合が33.4%で、『実感していない層』の割合（57.5%）より24.1ポイント低くなっています。
問２の15項目の中では、『実感していない層』の割合が３番目に高くなっています。

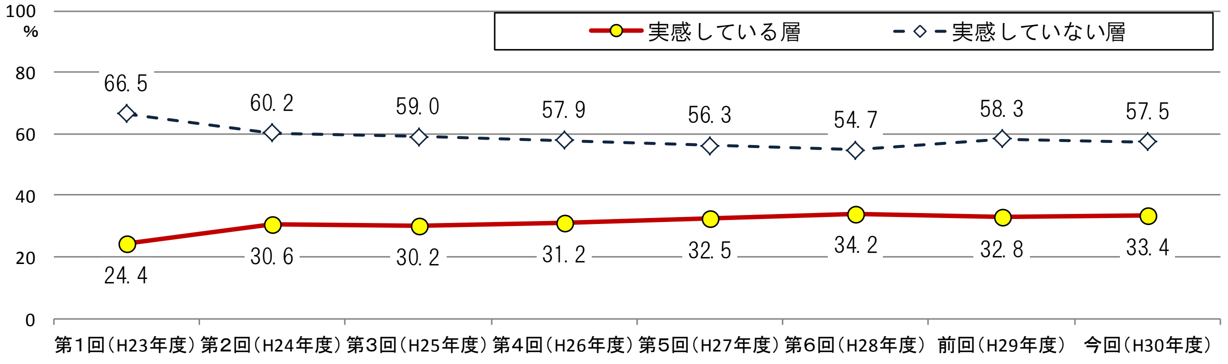
○ 前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.6ポイント高く、『実感していない層』が0.8ポイント低くなっています。

○ 第１回調査の割合と比較すると、『実感している層』が9.0ポイント高く、『実感していない層』は9.0ポイント低くなっています。

○ 属性や属性項目における主な特徴（全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等）は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

・東紀州の『実感している層』は全体より11.1ポイント高く、第１回調査より12.3ポイント高い。
・70歳以上の『実感していない層』は全体より5.7ポイント低い。
・農林水産業の『実感している層』は全体より10.3ポイント高く、前回調査より12.9ポイント高い。
・世帯収入100万円未満の『実感していない層』は全体より9.3ポイント低く、前回調査より16.2ポイント低い。

図表 2-2-2 災害の危機への備えが進んでいる（第１回調査からの推移）



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出。

図表 2-2-3 災害の危機への備えが進んでいる(属性別)

	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	実感している層 今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント	実感していない層 今回 %	(前回差) ポイント	<第1回差> ポイント
全体	3.5	29.9	36.4	21.1	9.2	33.4	(0.6)	<9.0>	57.5	(-0.8)	<-9.0>
地域											
北勢	2.7	30.2	37.0	20.8	9.3	32.9	(0.8)	<10.0>	57.8	(-0.1)	<-11.3>
伊賀	3.3	23.9	37.0	21.8	13.9	27.2	(-0.3)	<2.7>	58.8	(-5.4)	<-5.7>
中南勢	3.8	29.6	36.0	23.1	7.6	33.4	(1.3)	<8.6>	59.1	(-1.2)	<-5.9>
伊勢志摩	4.5	32.6	37.2	18.5	7.3	37.1	(-0.4)	<11.2>	55.7	(1.6)	<-8.5>
東紀州	7.5	37.0	28.3	14.5	12.7	44.5	(-0.3)	<12.3>	42.8	(-6.4)	<-16.6>
性別											
男性	3.6	30.6	36.1	22.7	6.9	34.2	(3.1)	<11.3>	58.8	(-1.9)	<-11.6>
女性	3.4	29.4	37.0	18.7	11.5	32.8	(-1.8)	<6.9>	55.7	(-0.2)	<-7.5>
年齢											
18歳から20歳代	3.7	25.0	31.5	27.8	12.0	28.7	(1.3)	<->	59.3	(-1.1)	<->
30歳代	3.1	26.1	35.4	26.6	8.8	29.2	(-3.4)	<6.9>	62.0	(3.3)	<-8.4>
40歳代	2.1	34.8	37.7	19.2	6.2	36.9	(2.0)	<11.0>	56.9	(-0.8)	<-11.9>
50歳代	2.5	29.6	36.2	25.1	6.7	32.1	(-2.2)	<9.3>	61.3	(2.5)	<-9.3>
60歳代	2.9	29.7	38.9	21.6	6.9	32.6	(1.3)	<9.6>	60.5	(-0.6)	<-6.4>
70歳以上	5.2	30.0	34.9	16.9	13.0	35.2	(2.5)	<6.3>	51.8	(-1.3)	<-5.9>
主な職業											
農林水産業	4.0	39.7	29.4	15.1	11.9	43.7	(12.9)	<13.6>	44.5	(-18.8)	<-14.7>
自営業・自由業	4.7	32.1	35.2	21.6	6.5	36.8	(4.2)	<11.1>	56.8	(-0.1)	<-10.7>
正規職員	2.4	29.8	37.3	24.6	6.0	32.2	(-1.5)	<10.2>	61.9	(1.5)	<-10.3>
ﾊﾟｰﾄ・ﾊﾞｲﾄ・派遣	1.7	31.3	37.8	21.3	7.9	33.0	(-2.4)	<9.3>	59.1	(2.3)	<-9.9>
その他の職業	3.5	23.9	35.4	27.0	10.2	27.4	(-0.2)	<1.7>	62.4	(0.2)	<-2.7>
学生	9.5	33.3	23.8	23.8	9.5	42.8	(16.3)	<16.8>	47.6	(-15.7)	<-17.4>
専業主婦・主夫	3.0	33.0	39.5	15.5	9.0	36.0	(2.8)	<11.3>	55.0	(-3.8)	<-8.6>
無職	4.8	27.9	35.6	18.7	13.0	32.7	(1.2)	<6.7>	54.3	(-0.5)	<-7.2>
配偶関係											
未婚	3.1	26.2	34.8	24.6	11.3	29.3	(-3.8)	<10.4>	59.4	(4.6)	<-13.1>
有配偶	3.0	31.0	37.5	20.9	7.5	34.0	(1.3)	<8.8>	58.4	(-0.8)	<-8.3>
離別・死別	4.9	28.0	34.1	20.7	12.3	32.9	(-1.6)	<6.8>	54.8	(1.1)	<-5.9>
世帯類型											
単独世帯	5.0	29.9	31.0	20.0	14.1	34.9	(2.5)	<10.4>	51.0	(-2.7)	<-11.9>
一世代世帯	3.3	30.9	36.4	20.5	9.0	34.2	(3.1)	<9.7>	56.9	(-3.7)	<-10.2>
二世代世帯	3.3	30.0	37.8	21.7	7.2	33.3	(-0.2)	<9.2>	59.5	(1.0)	<-8.0>
三世代世帯	2.6	29.1	39.4	20.3	8.6	31.7	(-5.4)	<5.8>	59.7	(5.7)	<-5.7>
世帯収入											
100万円未満	7.1	28.9	31.0	17.2	15.9	36.0	(11.9)	<->	48.2	(-16.2)	<->
～200万円未満	3.4	28.6	34.1	21.7	12.1	32.0	(0.2)	<->	55.8	(0.7)	<->
～300万円未満	3.7	28.4	38.1	18.6	11.2	32.1	(0.8)	<->	56.7	(-3.4)	<->
～400万円未満	3.9	33.2	35.9	19.7	7.3	37.1	(3.8)	<->	55.6	(-2.2)	<->
～500万円未満	3.1	27.4	39.1	21.8	8.6	30.5	(-1.4)	<->	60.9	(0.8)	<->
～600万円未満	3.7	32.2	34.7	20.9	8.5	35.9	(3.9)	<->	55.6	(-5.5)	<->
～800万円未満	1.6	31.9	38.7	22.8	5.0	33.5	(-4.2)	<->	61.5	(4.7)	<->
～1,000万円未満	3.0	28.8	37.4	25.0	5.9	31.8	(-2.2)	<->	62.4	(3.0)	<->
1,000万円以上	2.9	32.8	38.2	22.8	3.4	35.7	(-2.7)	<->	61.0	(6.2)	<->

※年齢の 18 歳から 20 歳代については、第６回調査からの調査項目であるため、第１回調査と比較を行っていません。
※世帯収入については、第１回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問２－（２）　必要な医療サービスを利用できていると感じますか。
（関連の政策分野：命を守る）

○　必要な医療サービスを利用できているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が 59.1%で、『実感していない層』の割合（33.1%）より 26.0 ポイント高くなっています。

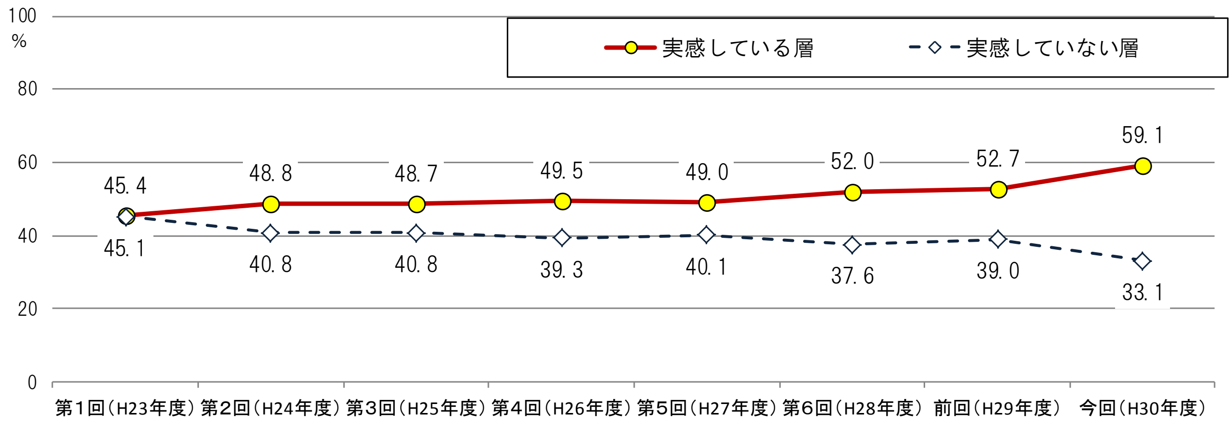
○　前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 6.4 ポイント高くなり、『実感していない層』は 5.9 ポイント低くなっています。
　問２の 15 項目の中では、『実感している層』の増加幅が最も大きくなっています。

○　第１回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 13.7 ポイント高く、『実感していない層』は 12.0 ポイント低くなっています。
　第１回調査との比較が可能な問２の 11 項目の中では、『実感している層』の増加幅が最も大きくなっています。

○　属性や属性項目における主な特徴（全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等）は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

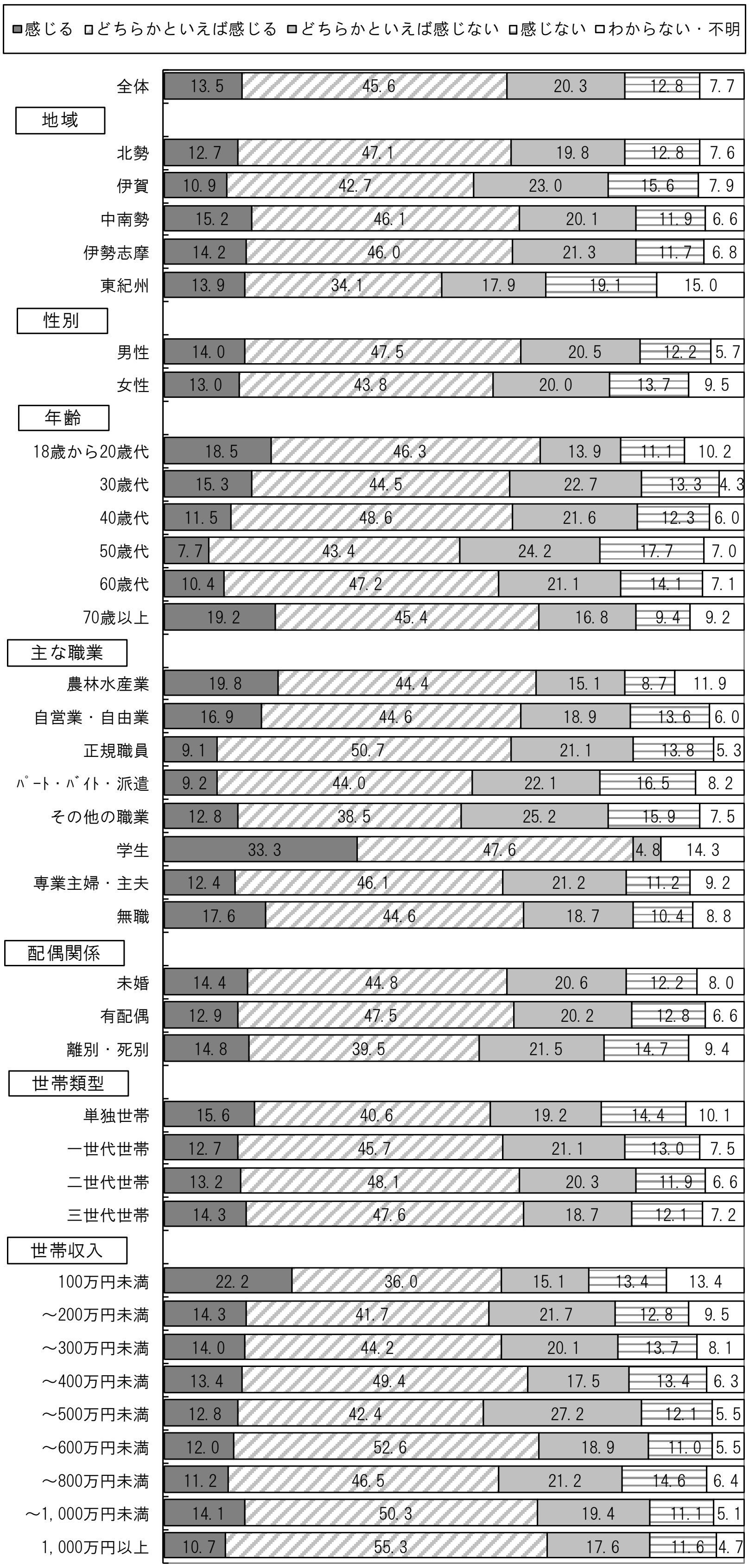
・東紀州の『実感している層』は全体より 11.1 ポイント低い。
・50 歳代の『実感している層』は全体より 8.0 ポイント低い。
・学生の『実感している層』は全体より 21.8 ポイント高く、前回調査より 8.8 ポイント高い。

図表 2-2-4 必要な医療サービスを利用できている（第１回調査からの推移）



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出。

図表 2-2-5 必要な医療サービスを利用できている（属性別）



	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	実感している層 今回 %	(前回差) ﾎﾟｲﾝﾄ	<第1回差> ﾎﾟｲﾝﾄ	実感していない層 今回 %	(前回差) ﾎﾟｲﾝﾄ	<第1回差> ﾎﾟｲﾝﾄ
全体	13.5	45.6	20.3	12.8	7.7	59.1	(6.4)	<13.7>	33.1	(-5.9)	<-12.0>
地域											
北勢	12.7	47.1	19.8	12.8	7.6	59.8	(5.5)	<11.7>	32.6	(-4.4)	<-10.3>
伊賀	10.9	42.7	23.0	15.6	7.9	53.6	(11.9)	<24.2>	38.6	(-10.9)	<-23.6>
中南勢	15.2	46.1	20.1	11.9	6.6	61.3	(6.5)	<11.8>	32.0	(-6.6)	<-8.4>
伊勢志摩	14.2	46.0	21.3	11.7	6.8	60.2	(8.2)	<18.5>	33.0	(-6.8)	<-15.8>
東紀州	13.9	34.1	17.9	19.1	15.0	48.0	(-0.8)	<11.0>	37.0	(-4.9)	<-14.3>
性別											
男性	14.0	47.5	20.5	12.2	5.7	61.5	(8.8)	<14.5>	32.7	(-7.1)	<-12.1>
女性	13.0	43.8	20.0	13.7	9.5	56.8	(4.2)	<12.8>	33.7	(-4.7)	<-12.2>
年齢											
18歳から20歳代	18.5	46.3	13.9	11.1	10.2	64.8	(-0.7)	<->	25.0	(-1.4)	<->
30歳代	15.3	44.5	22.7	13.3	4.3	59.8	(1.3)	<18.0>	36.0	(0.7)	<-12.9>
40歳代	11.5	48.6	21.6	12.3	6.0	60.1	(8.8)	<20.2>	33.9	(-8.2)	<-18.1>
50歳代	7.7	43.4	24.2	17.7	7.0	51.1	(4.3)	<11.8>	41.9	(-3.7)	<-11.0>
60歳代	10.4	47.2	21.1	14.1	7.1	57.6	(7.4)	<14.0>	35.2	(-6.1)	<-11.2>
70歳以上	19.2	45.4	16.8	9.4	9.2	64.6	(4.9)	<6.8>	26.2	(-3.0)	<-5.8>
主な職業											
農林水産業	19.8	44.4	15.1	8.7	11.9	64.2	(1.0)	<11.6>	23.8	(-7.9)	<-16.5>
自営業・自由業	16.9	44.6	18.9	13.6	6.0	61.5	(9.1)	<16.1>	32.5	(-4.5)	<-13.6>
正規職員	9.1	50.7	21.1	13.8	5.3	59.8	(8.4)	<15.4>	34.9	(-8.6)	<-13.1>
ﾊﾟｰﾄ・ﾊﾞｲﾄ・派遣	9.2	44.0	22.1	16.5	8.2	53.2	(4.2)	<16.2>	38.6	(-3.1)	<-13.8>
その他の職業	12.8	38.5	25.2	15.9	7.5	51.3	(1.6)	<11.8>	41.1	(2.0)	<-11.5>
学生	33.3	47.6	4.8		14.3	80.9	(8.8)	<25.0>	4.8	(-11.4)	<-32.9>
専業主婦・主夫	12.4	46.1	21.2	11.2	9.2	58.5	(3.1)	<12.4>	32.4	(-4.5)	<-11.8>
無職	17.6	44.6	18.7	10.4	8.8	62.2	(6.4)	<9.9>	29.1	(-5.4)	<-8.2>
配偶関係											
未婚	14.4	44.8	20.6	12.2	8.0	59.2	(4.2)	<18.1>	32.8	(-2.7)	<-15.3>
有配偶	12.9	47.5	20.2	12.8	6.6	60.4	(7.3)	<14.3>	33.0	(-6.1)	<-12.4>
離別・死別	14.8	39.5	21.5	14.7	9.4	54.3	(6.6)	<6.7>	36.2	(-6.9)	<-6.0>
世帯類型											
単独世帯	15.6	40.6	19.2	14.4	10.1	56.2	(9.2)	<10.4>	33.6	(-7.7)	<-6.8>
一世代世帯	12.7	45.7	21.1	13.0	7.5	58.4	(5.8)	<12.5>	34.1	(-5.1)	<-10.8>
二世代世帯	13.2	48.1	20.3	11.9	6.6	61.3	(8.9)	<18.4>	32.2	(-7.8)	<-16.1>
三世代世帯	14.3	47.6	18.7	12.1	7.2	61.9	(3.3)	<8.5>	30.8	(-3.3)	<-7.9>
世帯収入											
100万円未満	22.2	36.0	15.1	13.4	13.4	58.2	(16.8)	<->	28.5	(-18.7)	<->
～200万円未満	14.3	41.7	21.7	12.8	9.5	56.0	(8.6)	<->	34.5	(-6.2)	<->
～300万円未満	14.0	44.2	20.1	13.7	8.1	58.2	(6.8)	<->	33.8	(-7.1)	<->
～400万円未満	13.4	49.4	17.5	13.4	6.3	62.8	(7.6)	<->	30.9	(-6.6)	<->
～500万円未満	12.8	42.4	27.2	12.1	5.5	55.2	(-1.2)	<->	39.3	(3.1)	<->
～600万円未満	12.0	52.6	18.9	11.0	5.5	64.6	(9.8)	<->	29.9	(-8.4)	<->
～800万円未満	11.2	46.5	21.2	14.6	6.4	57.7	(4.6)	<->	35.8	(-4.7)	<->
～1,000万円未満	14.1	50.3	19.4	11.1	5.1	64.4	(10.7)	<->	30.5	(-7.4)	<->
1,000万円以上	10.7	55.3	17.6	11.6	4.7	66.0	(8.0)	<->	29.2	(-8.0)	<->

※年齢の 18 歳から 20 歳代については、第６回調査からの調査項目であるため、第１回調査と比較を行っていません。
※世帯収入については、第１回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問２－（３）　必要な福祉サービスを利用できていると感じますか。

（関連の政策分野：共生の福祉社会）

○　必要な福祉サービスを利用できているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が 35.2%で、『実感していない層』の割合（44.1%）より 8.9 ポイント低くなっています。

○　前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 3.9 ポイント高く、『実感していない層』は 3.5 ポイント低くなっています。

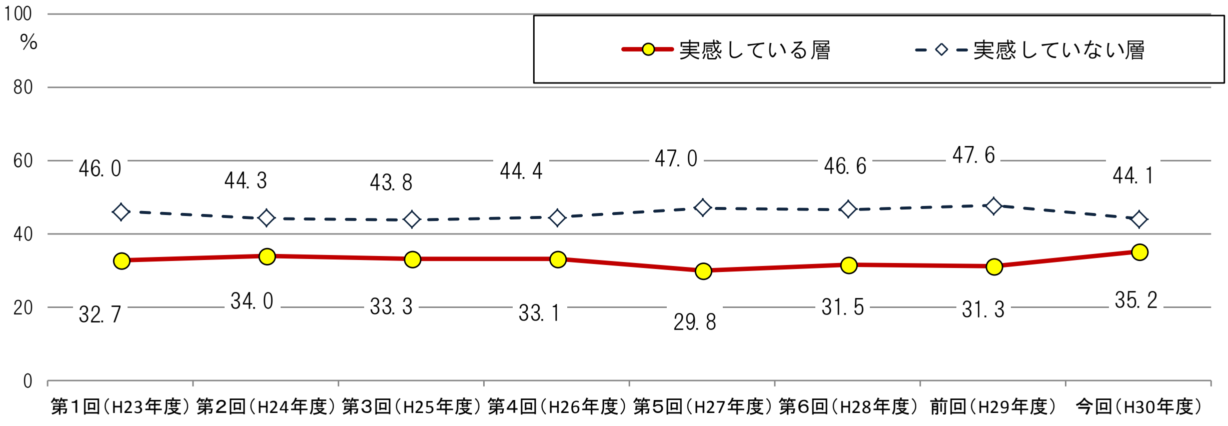
問２の 15 項目の中では、『実感している層』の増加幅が３番目に大きくなっています。

○　第１回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 2.5 ポイント高く、『実感していない層』は 1.9 ポイント低くなっています。

○　属性や属性項目における主な特徴（全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等）は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

・東紀州の『実感している層』は全体より 8.1 ポイント高く、前回調査より 3.9 ポイント高い。
・30 歳代の『実感している層』は全体より 8.6 ポイント低い。
・農林水産業の『実感している層』は全体より 12.4 ポイント高い。
・正規職員の『実感していない層』は全体より 5.3 ポイント高い。

図表 2-2-6　必要な福祉サービスを利用できている（第１回調査からの推移）



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出。

図表 2-2-7　必要な福祉サービスを利用できている（属性別）

	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	実感している層 今回 %	実感している層 (前回差) ﾎﾟｲﾝﾄ	実感している層 <第1回差> ﾎﾟｲﾝﾄ	実感していない層 今回 %	実感していない層 (前回差) ﾎﾟｲﾝﾄ	実感していない層 <第1回差> ﾎﾟｲﾝﾄ
全体	6.1	29.1	26.2	17.9	20.7	35.2	(3.9)	<2.5>	44.1	(-3.5)	<-1.9>
地域											
北勢	5.0	27.9	27.4	18.2	21.4	32.9	(3.1)	<2.2>	45.6	(-2.4)	<-1.6>
伊賀	5.7	27.5	24.9	21.3	20.6	33.2	(7.7)	<0.8>	46.2	(-6.0)	<-0.3>
中南勢	6.9	29.7	25.6	18.3	19.5	36.6	(3.1)	<2.3>	43.9	(-3.8)	<-1.2>
伊勢志摩	7.1	33.0	27.0	14.2	18.7	40.1	(5.8)	<6.9>	41.2	(-3.6)	<-4.1>
東紀州	10.4	32.9	18.5	15.0	23.1	43.3	(3.9)	<0.5>	33.5	(-7.8)	<-4.9>
性別											
男性	5.3	31.1	27.6	18.3	17.8	36.4	(6.2)	<4.0>	45.9	(-4.2)	<-2.9>
女性	7.2	27.0	24.5	17.2	24.1	34.2	(1.8)	<1.3>	41.7	(-3.6)	<-2.0>
年齢											
18歳から20歳代	7.4	25.9	24.1	16.7	26.0	33.3	(0.8)	<->	40.8	(3.3)	<->
30歳代	4.2	22.4	27.5	20.1	25.8	26.6	(-2.0)	<-1.9>	47.6	(3.2)	<2.7>
40歳代	4.8	24.5	28.5	18.3	23.9	29.3	(0.7)	<5.3>	46.8	(-1.8)	<-5.8>
50歳代	5.0	26.2	27.4	21.7	19.6	31.2	(0.6)	<1.0>	49.1	(-2.0)	<-2.9>
60歳代	5.1	30.9	27.6	17.4	18.9	36.0	(4.9)	<1.9>	45.0	(-5.5)	<-2.2>
70歳以上	8.4	33.3	23.4	15.4	19.5	41.7	(5.1)	<-1.7>	38.8	(-3.1)	<0.3>
主な職業											
農林水産業	11.1	36.5	19.8	9.5	23.0	47.6	(0.6)	<-2.1>	29.3	(-10.4)	<-7.3>
自営業・自由業	6.4	31.3	25.7	19.2	17.3	37.7	(1.1)	<2.1>	44.9	(2.2)	<1.4>
正規職員	3.3	27.5	29.3	20.1	19.8	30.8	(2.9)	<2.6>	49.4	(-3.2)	<-1.3>
ﾊﾟｰﾄ・ﾊﾞｲﾄ・派遣	4.1	24.4	28.3	21.0	22.2	28.5	(-1.0)	<0.8>	49.3	(-0.2)	<0.2>
その他の職業	8.0	29.2	26.5	18.1	18.1	37.2	(10.6)	<8.9>	44.6	(-3.8)	<-6.0>
学生	9.5	19.0	19.0	9.5	42.9	28.5	(-8.3)	<3.8>	28.5	(-3.8)	<-10.5>
専業主婦・主夫	6.7	28.1	25.5	14.6	25.1	34.8	(2.9)	<1.7>	40.1	(-4.0)	<-2.4>
無職	8.3	32.6	23.3	15.6	20.2	40.9	(6.3)	<2.5>	38.9	(-6.6)	<-4.7>
配偶関係											
未婚	7.1	27.5	25.1	19.7	20.6	34.6	(3.1)	<8.3>	44.8	(1.4)	<-2.9>
有配偶	5.2	29.7	27.2	17.3	20.6	34.9	(3.3)	<1.1>	44.5	(-3.5)	<-1.5>
離別・死別	8.2	27.5	24.1	20.3	19.9	35.7	(6.3)	<2.6>	44.4	(-5.8)	<-1.6>
世帯類型											
単独世帯	8.4	29.6	22.1	20.3	19.6	38.0	(5.6)	<8.8>	42.4	(-5.6)	<-4.4>
一世代世帯	5.3	29.0	27.6	18.0	20.1	34.3	(4.8)	<2.2>	45.6	(-3.4)	<-1.7>
二世代世帯	5.4	28.7	27.6	17.0	21.3	34.1	(3.4)	<3.3>	44.6	(-3.5)	<-2.2>
三世代世帯	7.3	33.7	21.6	17.6	19.8	41.0	(3.7)	<0.7>	39.2	(-5.1)	<-2.7>
世帯収入											
100万円未満	10.5	28.5	21.3	17.2	22.6	39.0	(10.2)	<->	38.5	(-10.2)	<->
～200万円未満	9.5	29.5	22.8	20.7	17.6	39.0	(8.6)	<->	43.5	(-5.5)	<->
～300万円未満	7.1	29.3	27.1	17.1	19.5	36.4	(5.3)	<->	44.2	(-5.4)	<->
～400万円未満	5.8	30.6	24.2	19.4	20.0	36.4	(4.9)	<->	43.6	(-3.1)	<->
～500万円未満	4.7	28.8	32.3	15.4	18.9	33.5	(1.3)	<->	47.7	(-1.5)	<->
～600万円未満	4.4	34.3	26.0	18.2	17.2	38.7	(7.8)	<->	44.2	(-5.7)	<->
～800万円未満	4.8	26.9	28.5	19.6	20.2	31.7	(0.7)	<->	48.1	(0.5)	<->
～1,000万円未満	5.3	26.0	29.8	17.2	21.7	31.3	(1.5)	<->	47.0	(-0.5)	<->
1,000万円以上	3.3	32.8	24.7	16.9	22.3	36.1	(-1.6)	<->	41.6	(-0.5)	<->

※年齢の 18 歳から 20 歳代については、第６回調査からの調査項目であるため、第１回調査と比較を行っていません。
※世帯収入については、第１回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問２－（４）　犯罪や事故が少なく、安全に暮らせていると感じますか。
（関連の政策分野：暮らしの安全を守る）

○　犯罪や事故が少なく、安全に暮らせているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が 65.2%で、『実感していない層』の割合（30.1%）より 35.1 ポイント高くなっています。
問２の 15 項目の中では、『実感している層』が３番目に高く、『実感していない層』が３番目に低くなっています。

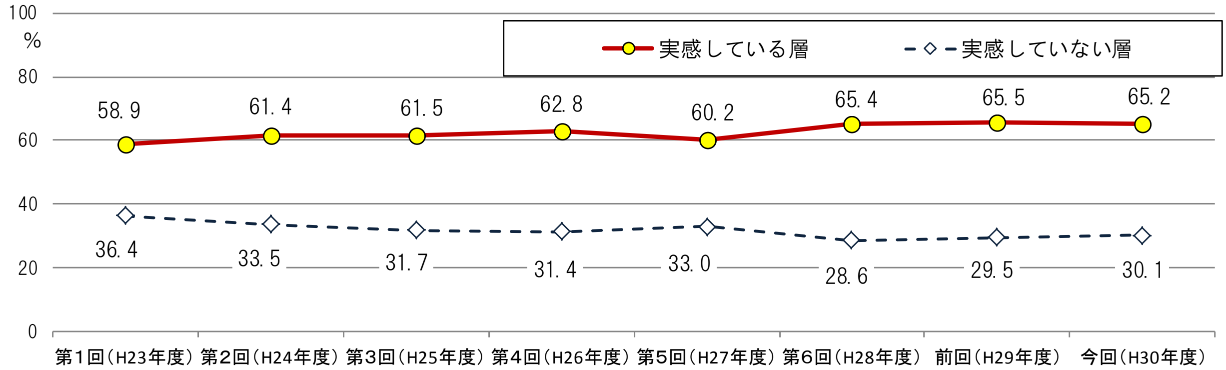
○　前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 0.3 ポイント低く、『実感していない層』は 0.6 ポイント高くなっています。

○　第１回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 6.3 ポイント高く、『実感していない層』は 6.3 ポイント低くなっています。

○　属性や属性項目における主な特徴（全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等）は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

・伊勢志摩の『実感している層』は全体より 6.7 ポイント高く、第１回調査より 8.6 ポイント高い。
・30 歳代の『実感している層』は全体より 5.2 ポイント低い。
・学生の『実感している層』は全体より 25.2 ポイント高く、前回調査より 9.5 ポイント高い。
・世帯収入 1,000 万円以上の『実感している層』は全体より 6.8 ポイント高い。

図表 2-2-8　犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている（第１回調査からの推移）



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出。

図表 2-2-9　犯罪や事故が少なく、安全に暮らせている（属性別）

	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	実感している層 今回 %	実感している層 (前回差) ポイント	実感している層 <第1回差> ポイント	実感していない層 今回 %	実感していない層 (前回差) ポイント	実感していない層 <第1回差> ポイント
全体	15.1	50.1	19.4	10.7	4.7	65.2	(-0.3)	<6.3>	30.1	(0.6)	<-6.3>
地域											
北勢	13.1	50.8	20.7	11.5	3.9	63.9	(0.5)	<7.7>	32.2	(1.1)	<-8.1>
伊賀	16.1	49.8	16.1	10.9	7.1	65.9	(-2.8)	<4.0>	27.0	(0.0)	<-5.7>
中南勢	14.0	50.1	20.9	10.6	4.4	64.1	(1.2)	<6.5>	31.5	(-1.6)	<-4.5>
伊勢志摩	20.2	51.7	16.4	7.7	4.0	71.9	(-2.8)	<8.6>	24.1	(3.4)	<-7.5>
東紀州	26.0	40.5	11.6	9.8	12.1	66.5	(-10.4)	<-7.2>	21.4	(3.7)	<0.4>
性別											
男性	15.9	51.5	18.5	10.3	3.7	67.4	(1.1)	<6.9>	28.8	(-0.1)	<-6.9>
女性	14.2	48.9	20.5	10.9	5.4	63.1	(-2.2)	<5.4>	31.4	(1.6)	<-5.5>
年齢											
18歳から20歳代	29.6	39.8	14.8	12.0	3.7	69.4	(-0.7)	<->	26.8	(-0.6)	<->
30歳代	11.6	48.4	25.2	11.9	2.9	60.0	(-3.2)	<-0.6>	37.1	(4.2)	<0.2>
40歳代	12.6	51.5	22.5	10.9	2.5	64.1	(-1.4)	<6.2>	33.4	(2.4)	<-6.5>
50歳代	11.5	53.3	21.5	10.5	3.2	64.8	(-0.8)	<7.0>	32.0	(1.8)	<-7.2>
60歳代	13.3	53.8	18.2	11.1	3.6	67.1	(1.3)	<8.5>	29.3	(-0.4)	<-6.9>
70歳以上	19.5	46.5	17.0	9.9	7.2	66.0	(-0.5)	<6.5>	26.9	(2.6)	<-4.7>
主な職業											
農林水産業	20.6	50.8	15.9	7.1	5.6	71.4	(-5.1)	<5.7>	23.0	(4.6)	<-2.8>
自営業・自由業	16.7	47.6	21.1	10.6	3.9	64.3	(-3.8)	<4.8>	31.7	(4.8)	<-5.2>
正規職員	11.7	54.0	20.8	11.2	2.4	65.7	(-2.6)	<3.9>	32.0	(2.8)	<-4.0>
ﾊﾟｰﾄ・ﾊﾞｲﾄ・派遣	13.2	50.9	20.7	11.4	3.8	64.1	(1.3)	<8.8>	32.1	(-0.4)	<-9.0>
その他の職業	14.6	50.4	22.1	9.3	3.5	65.0	(7.3)	<3.8>	31.4	(-5.1)	<-0.8>
学生	57.1	33.3	4.8	4.8		90.4	(9.5)	<29.3>	9.6	(-9.6)	<-26.8>
専業主婦・主夫	13.9	51.9	19.5	9.9	4.8	65.8	(-0.2)	<8.7>	29.4	(1.1)	<-8.4>
無職	17.4	47.8	17.0	10.4	7.3	65.2	(1.3)	<6.6>	27.4	(-1.0)	<-6.8>
配偶関係											
未婚	16.0	47.2	21.3	10.6	4.8	63.2	(-2.7)	<6.8>	31.9	(1.4)	<-7.5>
有配偶	14.6	52.2	19.1	10.2	3.9	66.8	(0.6)	<6.2>	29.3	(0.2)	<-6.2>
離別・死別	15.8	46.1	18.8	13.6	5.7	61.9	(-0.5)	<7.9>	32.4	(1.9)	<-5.7>
世帯類型											
単独世帯	15.3	46.3	18.6	12.0	7.7	61.6	(-2.6)	<4.6>	30.6	(2.6)	<-4.4>
一世代世帯	14.3	51.2	19.7	9.9	4.9	65.5	(-0.9)	<5.8>	29.6	(0.5)	<-6.1>
二世代世帯	15.3	50.8	20.2	10.3	3.3	66.1	(1.0)	<7.6>	30.5	(0.1)	<-6.9>
三世代世帯	17.2	52.4	16.3	10.8	3.3	69.6	(-0.6)	<8.4>	27.1	(2.1)	<-7.8>
世帯収入											
100万円未満	19.7	41.4	14.2	14.2	10.5	61.1	(4.6)	<->	28.4	(-9.3)	<->
～200万円未満	16.4	39.7	24.0	14.8	5.2	56.1	(-4.1)	<->	38.8	(7.3)	<->
～300万円未満	14.3	49.1	20.0	10.9	5.7	63.4	(-1.5)	<->	30.9	(1.0)	<->
～400万円未満	15.2	53.9	17.6	10.2	3.0	69.1	(1.5)	<->	27.8	(-0.6)	<->
～500万円未満	14.4	54.7	19.8	8.4	2.7	69.1	(2.0)	<->	28.2	(0.4)	<->
～600万円未満	13.6	53.1	19.5	10.3	3.4	66.7	(3.8)	<->	29.8	(-2.9)	<->
～800万円未満	13.2	56.1	18.9	9.1	2.7	69.3	(-0.2)	<->	28.0	(1.1)	<->
～1,000万円未満	13.9	52.8	20.7	10.1	2.6	66.7	(-1.8)	<->	30.8	(2.8)	<->
1,000万円以上	16.4	55.6	17.3	8.8	1.9	72.0	(-2.6)	<->	26.1	(2.0)	<->

※年齢の18歳から20歳代については、第６回調査からの調査項目であるため、第１回調査と比較を行っていません。
※世帯収入については、第１回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問２－（５）　身近な自然や環境が守られていると感じますか。

（関連の政策分野：環境を守る）

○　身近な自然や環境を守られているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が46.2%で、『実感していない層』の割合（45.3%）より0.9ポイント高くなっています。

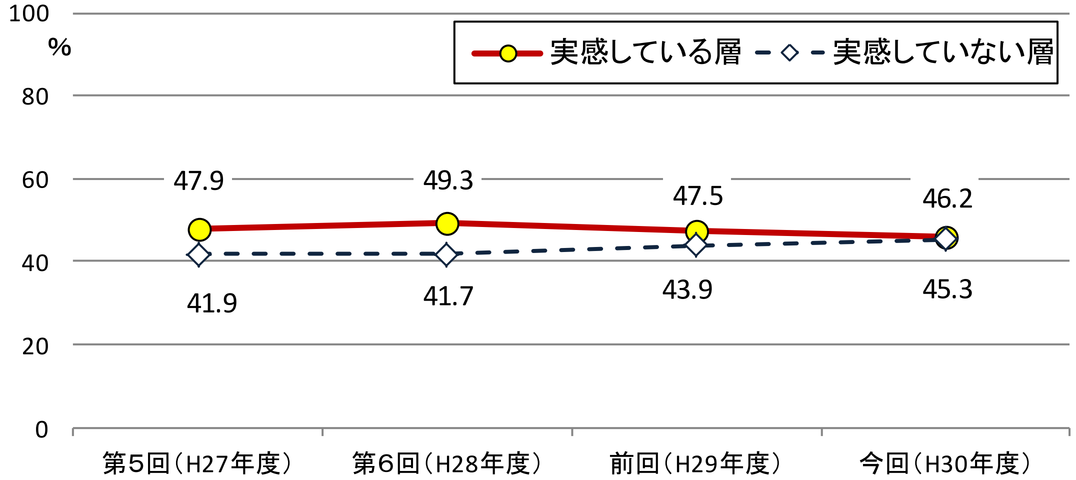
○　前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が1.3ポイント低く、『実感していない層』は1.4ポイント高くなっています。

○　第１回調査から設問を変更している項目のため、第１回調査との比較は行っていません。

○　属性や属性項目における主な特徴（全体との差や前回調査結果からの変化が大きい項目等）は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

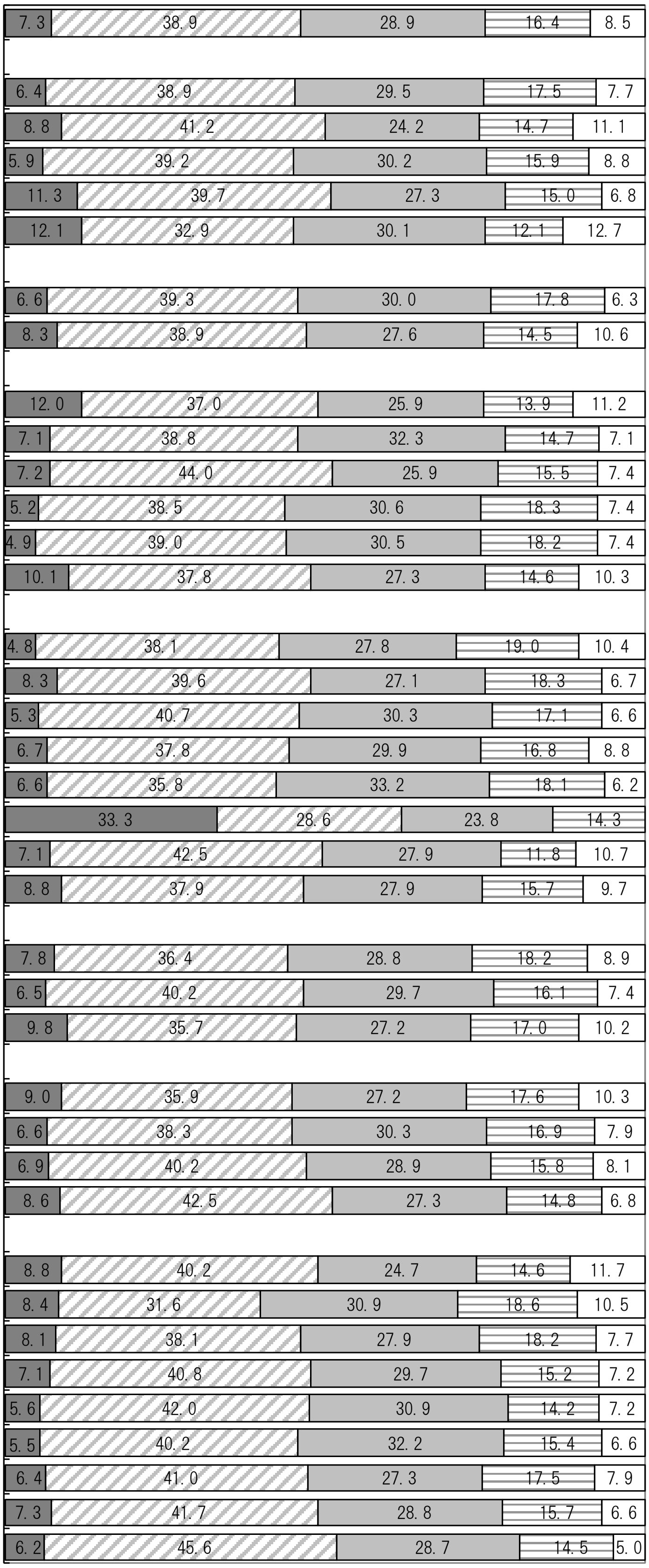
・伊勢志摩の『実感している層』は全体より4.8ポイント高い。
・40歳代の『実感している層』は全体より5.0ポイント高い。
・学生の『実感している層』は全体より15.7ポイント高い。
・世帯収入が1,000万円以上の『実感している層』は全体より5.6ポイント高い。

図表 2-2-10　身近な自然や環境が守られている（第5回調査からの推移）



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出。

図表 2-2-11　身近な自然や環境が守られている（属性別）



■感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明

	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	実感している層 今回 %	実感している層 （前回差） ポイント	実感している層 <第1回差> ポイント	実感していない層 今回 %	実感していない層 （前回差） ポイント	実感していない層 <第1回差> ポイント
全体	7.3	38.9	28.9	16.4	8.5	46.2	(-1.3)	<->	45.3	(1.4)	<->
地域											
北勢	6.4	38.9	29.5	17.5	7.7	45.3	(0.1)	<->	47.0	(1.4)	<->
伊賀	8.8	41.2	24.2	14.7	11.1	50.0	(-2.2)	<->	38.9	(-1.1)	<->
中南勢	5.9	39.2	30.2	15.9	8.8	45.1	(-3.8)	<->	46.1	(2.8)	<->
伊勢志摩	11.3	39.7	27.3	15.0	6.8	51.0	(2.5)	<->	42.3	(-0.4)	<->
東紀州	12.1	32.9	30.1	12.1	12.7	45.0	(-7.7)	<->	42.2	(0.8)	<->
性別											
男性	6.6	39.3	30.0	17.8	6.3	45.9	(-0.7)	<->	47.8	(2.0)	<->
女性	8.3	38.9	27.6	14.5	10.6	47.2	(-1.3)	<->	42.1	(-0.2)	<->
年齢											
18歳から20歳代	12.0	37.0	25.9	13.9	11.2	49.0	(2.3)	<->	39.8	(-2.8)	<->
30歳代	7.1	38.8	32.3	14.7	7.1	45.9	(-4.2)	<->	47.0	(4.7)	<->
40歳代	7.2	44.0	25.9	15.5	7.4	51.2	(2.0)	<->	41.4	(-1.5)	<->
50歳代	5.2	38.5	30.6	18.3	7.4	43.7	(-1.7)	<->	48.9	(1.2)	<->
60歳代	4.9	39.0	30.5	18.2	7.4	43.9	(-2.6)	<->	48.7	(2.6)	<->
70歳以上	10.1	37.8	27.3	14.6	10.3	47.9	(-1.2)	<->	41.9	(3.3)	<->
主な職業											
農林水産業	4.8	38.1	27.8	19.0	10.4	42.9	(-10.1)	<->	46.8	(6.3)	<->
自営業・自由業	8.3	39.6	27.1	18.3	6.7	47.9	(-0.3)	<->	45.4	(1.6)	<->
正規職員	5.3	40.7	30.3	17.1	6.6	46.0	(-2.7)	<->	47.4	(2.2)	<->
ﾊﾟｰﾄ・ﾊﾞｲﾄ・派遣	6.7	37.8	29.9	16.8	8.8	44.5	(-2.9)	<->	46.7	(3.3)	<->
その他の職業	6.6	35.8	33.2	18.1	6.2	42.4	(2.1)	<->	51.3	(2.2)	<->
学生	33.3	28.6	23.8	14.3		61.9	(1.6)	<->	38.1	(4.3)	<->
専業主婦・主夫	7.1	42.5	27.9	11.8	10.7	49.6	(0.8)	<->	39.7	(-2.3)	<->
無職	8.8	37.9	27.9	15.7	9.7	46.7	(0.9)	<->	43.6	(-0.6)	<->
配偶関係											
未婚	7.8	36.4	28.8	18.2	8.9	44.2	(-0.8)	<->	47.0	(-0.2)	<->
有配偶	6.5	40.2	29.7	16.1	7.4	46.7	(-1.6)	<->	45.8	(2.4)	<->
離別・死別	9.8	35.7	27.2	17.0	10.2	45.5	(2.0)	<->	44.2	(-1.6)	<->
世帯類型											
単独世帯	9.0	35.9	27.2	17.6	10.3	44.9	(-3.1)	<->	44.8	(1.5)	<->
一世代世帯	6.6	38.3	30.3	16.9	7.9	44.9	(-1.8)	<->	47.2	(2.1)	<->
二世代世帯	6.9	40.2	28.9	15.8	8.1	47.1	(-0.4)	<->	44.7	(0.4)	<->
三世代世帯	8.6	42.5	27.3	14.8	6.8	51.1	(0.0)	<->	42.1	(1.3)	<->
世帯収入											
100万円未満	8.8	40.2	24.7	14.6	11.7	49.0	(2.9)	<->	39.3	(-3.6)	<->
～200万円未満	8.4	31.6	30.9	18.6	10.5	40.0	(-3.4)	<->	49.5	(2.9)	<->
～300万円未満	8.1	38.1	27.9	18.2	7.7	46.2	(0.2)	<->	46.1	(0.5)	<->
～400万円未満	7.1	40.8	29.7	15.2	7.2	47.9	(1.0)	<->	44.9	(-0.8)	<->
～500万円未満	5.6	42.0	30.9	14.2	7.2	47.6	(-1.9)	<->	45.1	(3.5)	<->
～600万円未満	5.5	40.2	32.2	15.4	6.6	45.7	(-2.4)	<->	47.6	(2.2)	<->
～800万円未満	6.4	41.0	27.3	17.5	7.9	47.4	(-1.3)	<->	44.8	(-1.5)	<->
～1,000万円未満	7.3	41.7	28.8	15.7	6.6	49.0	(-2.9)	<->	44.5	(4.1)	<->
1,000万円以上	6.2	45.6	28.7	14.5	5.0	51.8	(-2.8)	<->	43.2	(5.7)	<->

※第５回調査において設問を変更したため、第１回調査との比較は行っていません。

問２－（６）　性別や年齢、障がいの有無、国籍などにとらわれず、誰もが社会に参画できていると感じますか。　　　　　　（関連の政策分野：人権の尊重と多様性を認め合う社会）

○　性別や年齢、障がいの有無、国籍などにとらわれず、誰もが社会に参画できているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が 25.9%で、『実感していない層』の割合（57.7%）より 31.8 ポイント低くなっています。

問２の 15 項目の中では、『実感している層』が２番目に低くなっています。

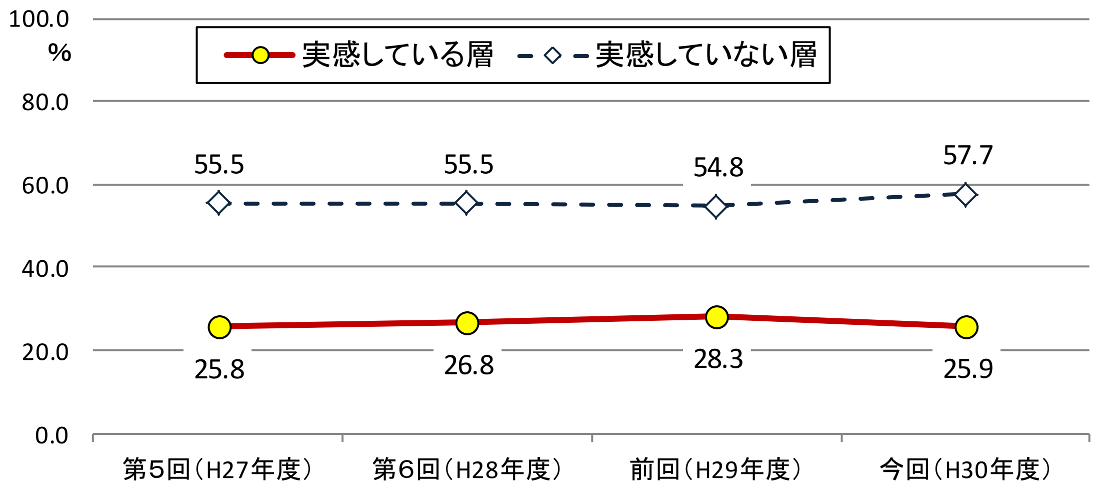
○　前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 2.4 ポイント低く、『実感していない層』は 2.9 ポイント高くなっています。

○　第１回調査から設問を変更している項目のため、第１回調査との比較は行っていません。

○　属性や属性項目における主な特徴（全体との差や前回調査結果からの変化が大きい項目等）は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

・東紀州の『実感している層』は全体より 4.7 ポイント高い。また、『実感していない層』は全体より 14.9 ポイント低く、前回調査より 12.4 ポイント低い。
・18 歳から 20 歳代の『実感している層』は全体より 12.1 ポイント高い。
・学生の『実感している層』は全体より 17.0 ポイント高く、『実感していない層』は前回調査より 18.8 ポイント高い。

図表 2-2-12 性別や年齢、障がいの有無、国籍などにとらわれず、誰もが社会に参画できている(第5回調査からの推移)



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出。

図表 2-2-13 性別や年齢、障がいの有無、国籍などにとらわれず、誰もが社会に参画できている

■感じる ■どちらかといえば感じる ■どちらかといえば感じない ■感じない ■わからない・不明

	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	実感している層 今回 %	実感している層 (前回差) ポイント	実感している層 <第1回差> ポイント	実感していない層 今回 %	実感していない層 (前回差) ポイント	実感していない層 <第1回差> ポイント
全体	2.9	23.0	37.5	20.2	16.4	25.9	(-2.4)	<->	57.7	(2.9)	<->
地域											
北勢	2.8	22.8	37.6	21.4	15.4	25.6	(-1.8)	<->	59.0	(3.4)	<->
伊賀	2.8	25.1	34.6	15.2	22.3	27.9	(2.2)	<->	49.8	(-8.6)	<->
中南勢	3.0	21.8	39.5	21.4	14.4	24.8	(-4.1)	<->	60.9	(5.9)	<->
伊勢志摩	2.9	24.4	40.3	17.4	15.0	27.3	(-4.8)	<->	57.7	(7.2)	<->
東紀州	2.9	27.7	26.0	16.8	26.6	30.6	(1.6)	<->	42.8	(-12.4)	<->
性別											
男性	3.1	24.5	38.4	20.7	13.2	27.6	(-1.5)	<->	59.1	(3.5)	<->
女性	2.6	21.4	36.8	19.6	19.5	24.0	(-3.6)	<->	56.4	(2.1)	<->
年齢											
18歳から20歳代	10.2	27.8	29.6	20.4	12.0	38.0	(-0.1)	<->	50.0	(4.3)	<->
30歳代	2.5	24.4	36.3	21.8	15.0	26.9	(-6.6)	<->	58.1	(5.7)	<->
40歳代	2.6	26.5	36.8	21.9	12.2	29.1	(0.6)	<->	58.7	(2.1)	<->
50歳代	1.2	22.7	40.7	24.0	11.5	23.9	(-2.7)	<->	64.7	(4.9)	<->
60歳代	1.6	19.5	42.5	21.9	14.5	21.1	(-3.8)	<->	64.4	(5.6)	<->
70歳以上	4.5	24.3	33.3	16.0	21.9	28.8	(-2.1)	<->	49.3	(5.0)	<->
主な職業											
農林水産業	2.4	23.8	34.9	15.9	23.1	26.2	(-11.3)	<->	50.8	(3.0)	<->
自営業・自由業	3.3	25.4	40.5	19.9	10.9	28.7	(0.1)	<->	60.4	(4.7)	<->
正規職員	2.2	25.7	39.6	21.5	11.1	27.9	(-0.9)	<->	61.1	(3.0)	<->
ﾊﾟｰﾄ・ﾊﾞｲﾄ・派遣	2.4	19.4	41.5	22.1	14.7	21.8	(-6.2)	<->	63.6	(7.2)	<->
その他の職業	3.1	22.6	32.7	29.6	12.0	25.7	(-3.5)	<->	62.3	(6.5)	<->
学生	4.8	38.1	33.3	23.8		42.9	(-1.3)	<->	57.1	(18.8)	<->
専業主婦・主夫	1.3	21.3	38.8	17.2	21.4	22.6	(-2.0)	<->	56.0	(3.2)	<->
無職	4.1	22.3	33.6	18.3	21.7	26.4	(-1.3)	<->	51.9	(0.5)	<->
配偶関係											
未婚	3.3	22.0	37.0	22.6	15.1	25.3	(-6.1)	<->	59.6	(7.4)	<->
有配偶	2.6	23.6	38.8	20.1	14.8	26.2	(-1.9)	<->	58.9	(3.4)	<->
離別・死別	2.9	21.0	35.4	20.8	19.9	23.9	(-5.1)	<->	56.2	(2.8)	<->
世帯類型											
単独世帯	3.0	20.2	34.3	20.6	22.0	23.2	(-9.2)	<->	54.9	(7.9)	<->
一世代世帯	3.0	23.2	38.4	19.3	16.2	26.2	(-1.8)	<->	57.7	(3.6)	<->
二世代世帯	2.4	23.9	38.5	21.0	14.1	26.3	(-1.7)	<->	59.5	(3.1)	<->
三世代世帯	3.7	24.4	37.4	20.5	13.8	28.1	(-2.7)	<->	57.9	(4.3)	<->
世帯収入											
100万円未満	5.0	21.8	29.3	17.6	26.4	26.8	(2.7)	<->	46.9	(-5.5)	<->
～200万円未満	3.6	21.6	35.5	19.8	19.5	25.2	(-0.6)	<->	55.3	(1.0)	<->
～300万円未満	2.4	22.9	35.7	20.8	18.1	25.3	(-3.1)	<->	56.5	(2.9)	<->
～400万円未満	3.5	23.8	41.7	16.9	14.2	27.3	(-2.1)	<->	58.6	(2.5)	<->
～500万円未満	2.7	21.8	42.8	19.1	13.6	24.5	(-4.5)	<->	61.9	(6.3)	<->
～600万円未満	3.0	24.8	36.8	20.0	15.4	27.8	(-1.1)	<->	56.8	(1.3)	<->
～800万円未満	0.7	25.8	38.7	23.0	11.8	26.5	(-2.8)	<->	61.7	(5.5)	<->
～1,000万円未満	3.0	26.3	40.9	21.0	8.8	29.3	(-1.0)	<->	61.9	(5.4)	<->
1,000万円以上	2.1	24.0	41.8	23.3	8.8	26.1	(-4.3)	<->	65.1	(7.2)	<->

※第５回調査において設問を変更したため、第１回調査との比較は行っていません。

問２－（７）　子どものためになる教育が行われていると感じますか。

（関連の政策分野：学びの充実）

○　子どものためになる教育が行われているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が 35.9％で、『実感していない層』の割合（43.2％）より 7.3 ポイント低くなっています。また、「わからない・不明」の割合（20.8％）が高くなっています。

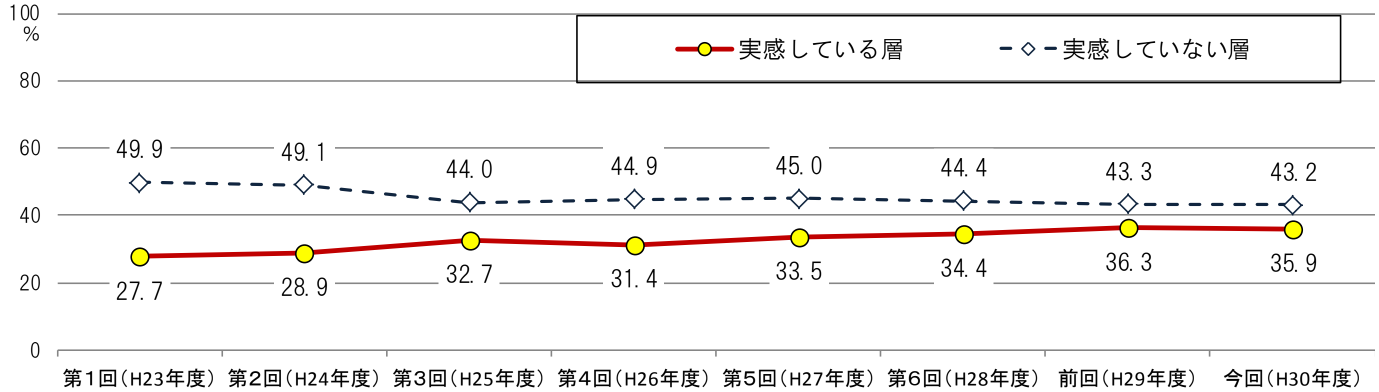
○　前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 0.4 ポイント低く、『実感していない層』は 0.1 ポイント低くなっています。

○　第１回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 8.2 ポイント高く、『実感していない層』は 6.7 ポイント低くなっています。

○　属性や属性項目における主な特徴（全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等）は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

・40 歳代の『実感している層』は全体より 7.8 ポイント高く、前回調査より 4.3 ポイント高い。
・学生の『実感している層』は全体より 16.5 ポイント高く、前回調査より 6.4 ポイント低い。
・未婚の『実感している層』は全体より 11.1 ポイント低く、前回調査より 4.3 ポイント低い。
・単独世帯の『実感している層』は全体より 8.4 ポイント低い。
・三世代世帯の『実感している層』は全体より 10.4 ポイント高い。
・世帯年収 100 万円未満の『実感している層』は全体より 7.4 ポイント低い。

図表 2-2-14　子どものためになる教育が行われている（第１回調査からの推移）



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出。

図表 2-2-15 子どものためになる教育が行われている(属性別)

	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	実感している層 今回 %	実感している層 (前回差) ﾎﾟｲﾝﾄ	実感している層 <第1回差> ﾎﾟｲﾝﾄ	実感していない層 今回 %	実感していない層 (前回差) ﾎﾟｲﾝﾄ	実感していない層 <第1回差> ﾎﾟｲﾝﾄ
全体	4.0	31.9	28.3	14.9	20.8	35.9	(-0.4)	<8.2>	43.2	(-0.1)	<-6.7>
地域											
北勢	3.4	31.8	31.0	14.4	19.4	35.2	(-0.8)	<7.4>	45.4	(1.8)	<-5.3>
伊賀	4.7	28.0	26.5	15.4	25.4	32.7	(-2.6)	<6.3>	41.9	(-4.9)	<-6.1>
中南勢	3.9	34.2	26.3	16.4	19.1	38.1	(1.7)	<9.0>	42.7	(-0.7)	<-6.4>
伊勢志摩	4.9	31.9	26.9	14.7	21.6	36.8	(-0.8)	<10.6>	41.6	(0.4)	<-9.4>
東紀州	5.2	29.5	20.2	11.0	34.1	34.7	(-1.7)	<10.1>	31.2	(-10.6)	<-15.7>
性別											
男性	4.1	32.4	30.3	15.9	17.2	36.5	(1.8)	<9.8>	46.2	(0.9)	<-8.3>
女性	3.9	31.5	25.9	13.7	25.1	35.4	(-2.5)	<6.9>	39.6	(-1.8)	<-6.5>
年齢											
18歳から20歳代	6.5	31.5	23.1	12.0	26.8	38.0	(-8.2)	<->	35.1	(-1.5)	<->
30歳代	3.1	35.4	28.0	14.7	18.7	38.5	(-2.4)	<8.0>	42.7	(0.9)	<-7.6>
40歳代	2.9	40.8	29.3	14.1	12.9	43.7	(4.3)	<13.1>	43.4	(-1.0)	<-11.7>
50歳代	2.5	29.8	32.0	18.4	17.2	32.3	(-2.0)	<10.8>	50.4	(1.6)	<-9.5>
60歳代	2.6	29.8	31.8	16.0	19.7	32.4	(0.1)	<8.3>	47.8	(2.1)	<-3.2>
70歳以上	6.4	31.0	23.6	12.6	26.5	37.4	(0.8)	<3.6>	36.2	(2.0)	<-1.8>
主な職業											
農林水産業	5.6	31.0	27.0	9.5	27.0	36.6	(-8.2)	<-3.3>	36.5	(0.5)	<-3.9>
自営業・自由業	3.6	34.1	28.6	16.4	17.3	37.7	(5.2)	<8.7>	45.0	(-3.8)	<-7.7>
正規職員	2.8	34.7	31.7	15.3	15.4	37.5	(0.2)	<13.3>	47.0	(0.1)	<-11.2>
ﾊﾟｰﾄ・ﾊﾞｲﾄ・派遣	3.2	32.2	31.2	15.7	17.7	35.4	(-0.9)	<8.7>	46.9	(3.1)	<-6.4>
その他の職業	4.0	29.2	31.9	15.9	19.0	33.2	(-1.4)	<10.1>	47.8	(2.9)	<-2.8>
学生	23.8	28.6	33.3	9.5	4.8	52.4	(-6.4)	<19.9>	42.8	(6.0)	<-7.9>
専業主婦・主夫	4.3	32.0	24.5	13.9	25.3	36.3	(-1.2)	<5.2>	38.4	(-1.8)	<-4.6>
無職	5.2	29.1	24.8	13.9	26.9	34.3	(0.7)	<6.2>	38.7	(1.3)	<-4.8>
配偶関係											
未婚	3.1	21.7	29.3	13.7	32.2	24.8	(-4.3)	<4.5>	43.0	(2.0)	<-9.7>
有配偶	3.9	34.0	29.1	15.3	17.7	37.9	(0.2)	<8.5>	44.4	(0.6)	<-6.1>
離別・死別	4.3	29.7	25.6	15.2	25.3	34.0	(0.2)	<8.6>	40.8	(-1.1)	<-4.7>
世帯類型											
単独世帯	3.9	23.6	25.0	14.9	32.6	27.5	(0.2)	<5.6>	39.9	(-2.0)	<-6.9>
一世代世帯	4.1	29.5	28.4	15.6	22.3	33.6	(0.6)	<9.3>	44.0	(0.9)	<-6.5>
二世代世帯	3.5	35.2	29.6	14.8	16.9	38.7	(1.4)	<10.0>	44.4	(-0.4)	<-7.2>
三世代世帯	5.3	41.0	28.0	13.0	12.8	46.3	(0.0)	<10.5>	41.0	(2.1)	<-5.7>
世帯収入											
100万円未満	5.9	22.6	21.3	13.8	36.4	28.5	(1.2)	<->	35.1	(-5.2)	<->
～200万円未満	6.2	25.3	26.7	15.5	26.2	31.5	(-1.5)	<->	42.2	(-0.2)	<->
～300万円未満	3.8	31.5	25.0	14.9	24.8	35.3	(1.7)	<->	39.9	(-2.6)	<->
～400万円未満	5.0	32.4	28.4	15.0	19.2	37.4	(0.2)	<->	43.4	(3.4)	<->
～500万円未満	4.1	31.7	33.5	14.0	16.8	35.8	(-0.6)	<->	47.5	(2.9)	<->
～600万円未満	3.2	35.9	30.8	13.1	17.0	39.1	(0.4)	<->	43.9	(-1.9)	<->
～800万円未満	1.6	35.7	30.8	16.4	15.5	37.3	(-3.3)	<->	47.2	(2.1)	<->
～1,000万円未満	4.0	37.4	31.6	14.1	12.9	41.4	(2.1)	<->	45.7	(0.4)	<->
1,000万円以上	2.6	39.0	30.4	16.2	11.8	41.6	(3.9)	<->	46.6	(0.4)	<->

※年齢の 18 歳から 20 歳代については、第６回調査からの調査項目であるため、第１回調査と比較を行っていません。
※世帯収入については、第１回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問２－（８）　結婚・妊娠・子育てなどの希望がかない、子どもが豊かに育っていると感じますか。
（関連の政策分野：希望がかなう少子化対策の推進）

○　結婚・妊娠・子育てなどの希望がかない、子どもが豊かに育っているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が 44.4%で、『実感していない層』の割合（39.0%）より 5.4 ポイント高くなっています。

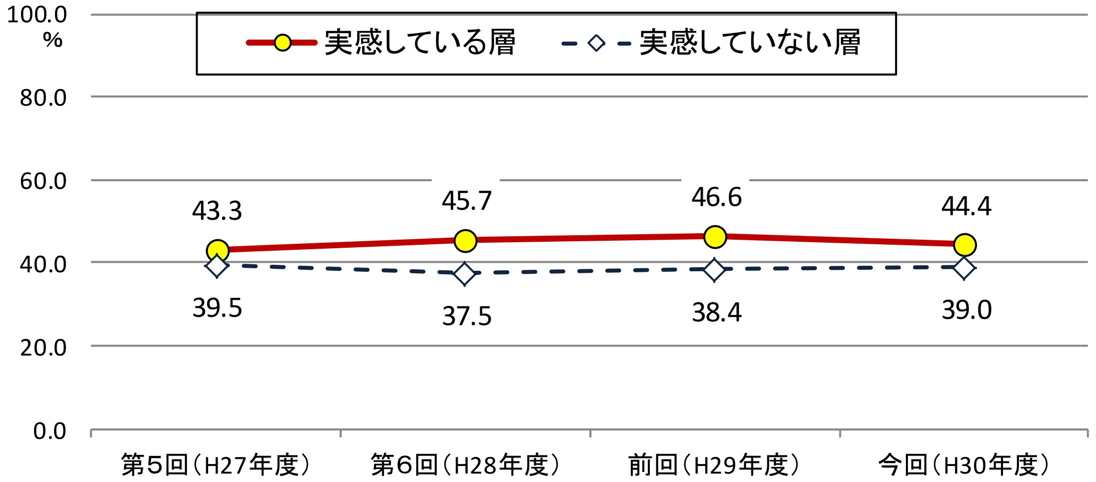
○　前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 2.2 ポイント低く、『実感していない層』は 0.6 ポイント高くなっています。

○　第 1 回調査から設問を変更している項目のため、第 1 回調査との比較は行っていません。

○　属性や属性項目における主な特徴（全体との差や前回調査結果からの変化が大きい項目等）は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

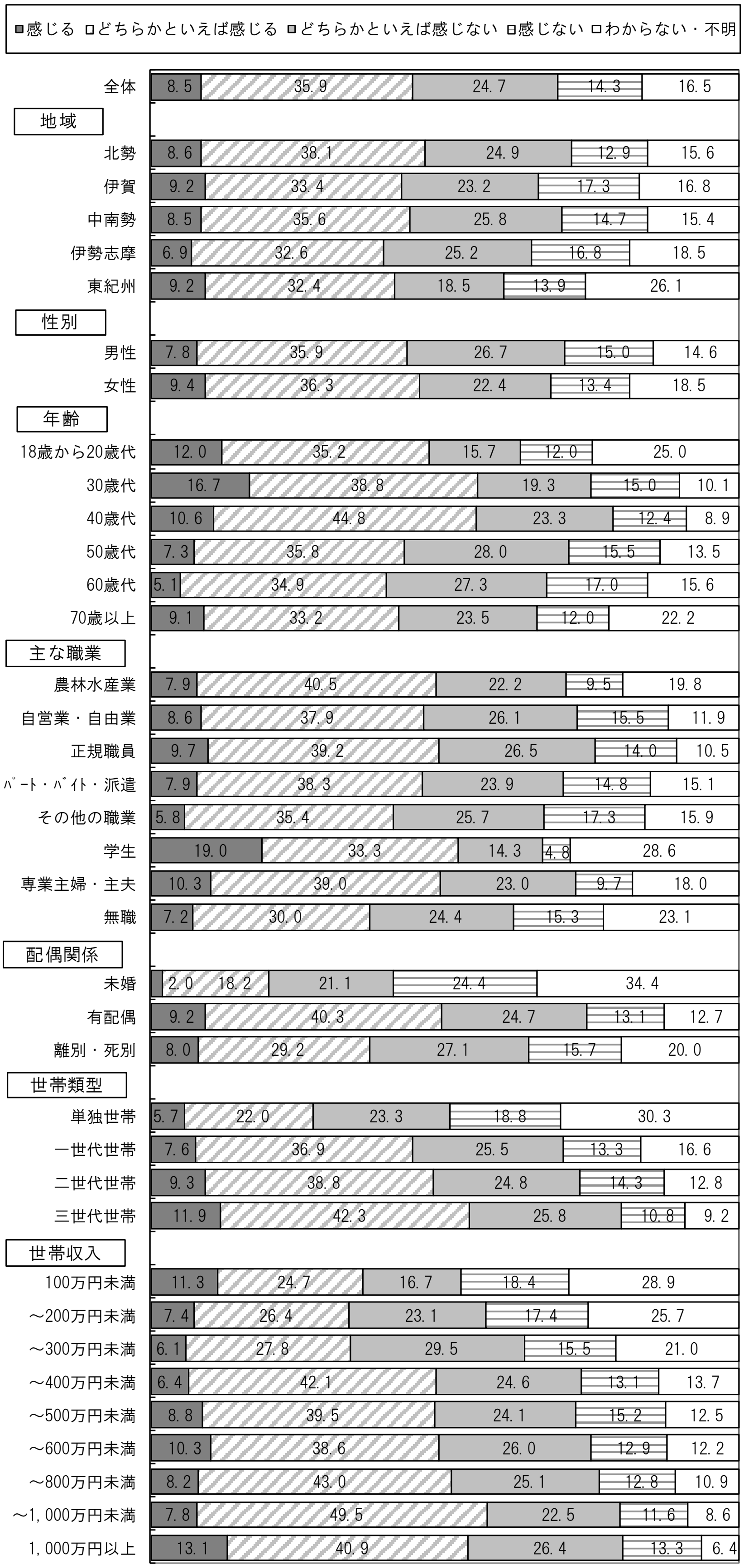
・18 歳から 20 歳代の『実感していない層』は全体より 11.3 ポイント低い。
・30 歳代の『実感している層』は全体より 11.1 ポイント高い。
・40 歳代の『実感している層』は全体より 11.0 ポイント高い
・学生の『実感している層』は全体より 7.9 ポイント高く、『実感していない層』は全体より 19.9 ポイント低い。
・未婚の『実感している層』は全体より 24.2 ポイント低い。
・単独世帯の『実感している層』は全体より 16.7 ポイント低い。
・世帯収入が 800 万円以上 1,000 万円未満の『実感している層』は全体より 12.9 ポイント高い。
・世帯収入が 1,000 万円以上の『実感している層』は全体より 9.6 ポイント高い。

図表 2-2-16 結婚･妊娠･子育てなどの希望がかない、子どもが豊かに育っている（第5回調査からの推移）



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出。

図表 2-2-17 結婚･妊娠･子育てなどの希望がかない、子どもが豊かに育っている（属性別）



	実感している層 今回 %	(前回差) ﾎﾟｲﾝﾄ	‹第1回差› ﾎﾟｲﾝﾄ	実感していない層 今回 %	(前回差) ﾎﾟｲﾝﾄ	‹第1回差› ﾎﾟｲﾝﾄ
全体	44.4	(-2.2)	‹-›	39.0	(0.6)	‹-›
地域						
北勢	46.7	(-0.7)	‹-›	37.8	(0.8)	‹-›
伊賀	42.6	(2.0)	‹-›	40.5	(-5.1)	‹-›
中南勢	44.1	(-4.1)	‹-›	40.5	(1.2)	‹-›
伊勢志摩	39.5	(-6.5)	‹-›	42.0	(3.8)	‹-›
東紀州	41.6	(-0.8)	‹-›	32.4	(-3.0)	‹-›
性別						
男性	43.7	(1.0)	‹-›	41.7	(-0.3)	‹-›
女性	45.7	(-4.9)	‹-›	35.8	(0.8)	‹-›
年齢						
18歳から20歳代	47.2	(5.1)	‹-›	27.7	(-3.7)	‹-›
30歳代	55.5	(-0.5)	‹-›	34.3	(0.8)	‹-›
40歳代	55.4	(3.0)	‹-›	35.7	(1.5)	‹-›
50歳代	43.1	(-1.2)	‹-›	43.5	(-1.0)	‹-›
60歳代	40.0	(-4.3)	‹-›	44.3	(1.4)	‹-›
70歳以上	42.3	(-0.7)	‹-›	35.5	(2.4)	‹-›
主な職業						
農林水産業	48.4	(1.3)	‹-›	31.7	(-5.8)	‹-›
自営業・自由業	46.5	(0.7)	‹-›	41.6	(1.8)	‹-›
正規職員	48.9	(1.4)	‹-›	40.5	(-0.6)	‹-›
ﾊﾟｰﾄ・ﾊﾞｲﾄ・派遣	46.2	(-4.3)	‹-›	38.7	(1.2)	‹-›
その他の職業	41.2	(-5.3)	‹-›	43.0	(2.9)	‹-›
学生	52.3	(8.1)	‹-›	19.1	(-1.5)	‹-›
専業主婦・主夫	49.3	(-1.8)	‹-›	32.7	(-3.0)	‹-›
無職	37.2	(-1.4)	‹-›	39.7	(1.5)	‹-›
配偶関係						
未婚	20.2	(-0.5)	‹-›	45.5	(-3.2)	‹-›
有配偶	49.5	(-1.9)	‹-›	37.8	(1.0)	‹-›
離別・死別	37.2	(0.2)	‹-›	42.8	(1.2)	‹-›
世帯類型						
単独世帯	27.7	(0.0)	‹-›	42.1	(0.2)	‹-›
一世代世帯	44.5	(0.5)	‹-›	38.8	(-1.1)	‹-›
二世代世帯	48.1	(-0.8)	‹-›	39.1	(0.3)	‹-›
三世代世帯	54.2	(-0.8)	‹-›	36.6	(3.5)	‹-›
世帯収入						
100万円未満	36.0	(3.1)	‹-›	35.1	(-5.7)	‹-›
～200万円未満	33.8	(-3.8)	‹-›	40.5	(2.6)	‹-›
～300万円未満	33.9	(-9.0)	‹-›	45.0	(4.2)	‹-›
～400万円未満	48.5	(5.1)	‹-›	37.7	(-3.3)	‹-›
～500万円未満	48.3	(-0.6)	‹-›	39.3	(0.8)	‹-›
～600万円未満	48.9	(-3.0)	‹-›	38.9	(1.8)	‹-›
～800万円未満	51.2	(-1.2)	‹-›	37.9	(-0.2)	‹-›
～1,000万円未満	57.3	(3.4)	‹-›	34.1	(-4.2)	‹-›
1,000万円以上	54.0	(-0.4)	‹-›	39.7	(3.7)	‹-›

※第５回調査において設問を変更したため、第１回調査との比較は行っていません。

問２－（９）　スポーツをしたり、みたり、支えたりする環境や機会が整っていると感じますか。
（関連の政策分野：スポーツの推進）

○　スポーツをしたり、みたり、支えたりする環境や機会が整っているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が 43.9%で、『実感していない層』の割合（41.8%）より 2.1 ポイント高くなっています。

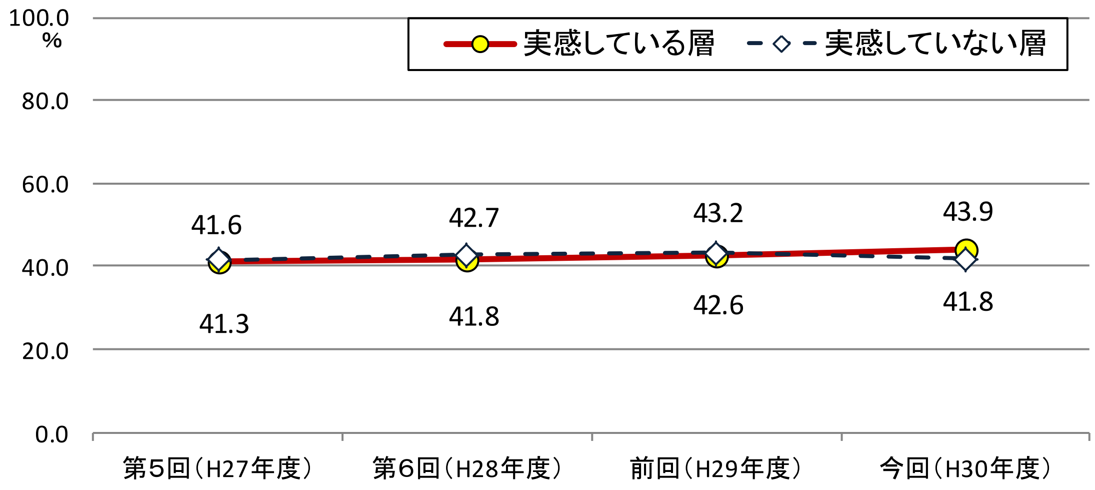
○　前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 1.3 ポイント高く、『実感していない層』は 1.4 ポイント低くなっています。

○　第１回調査から設問を変更している項目のため、第１回調査との比較は行っていません。

○　属性や属性項目における主な特徴（全体との差や前回調査結果からの変化が大きい項目等）は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

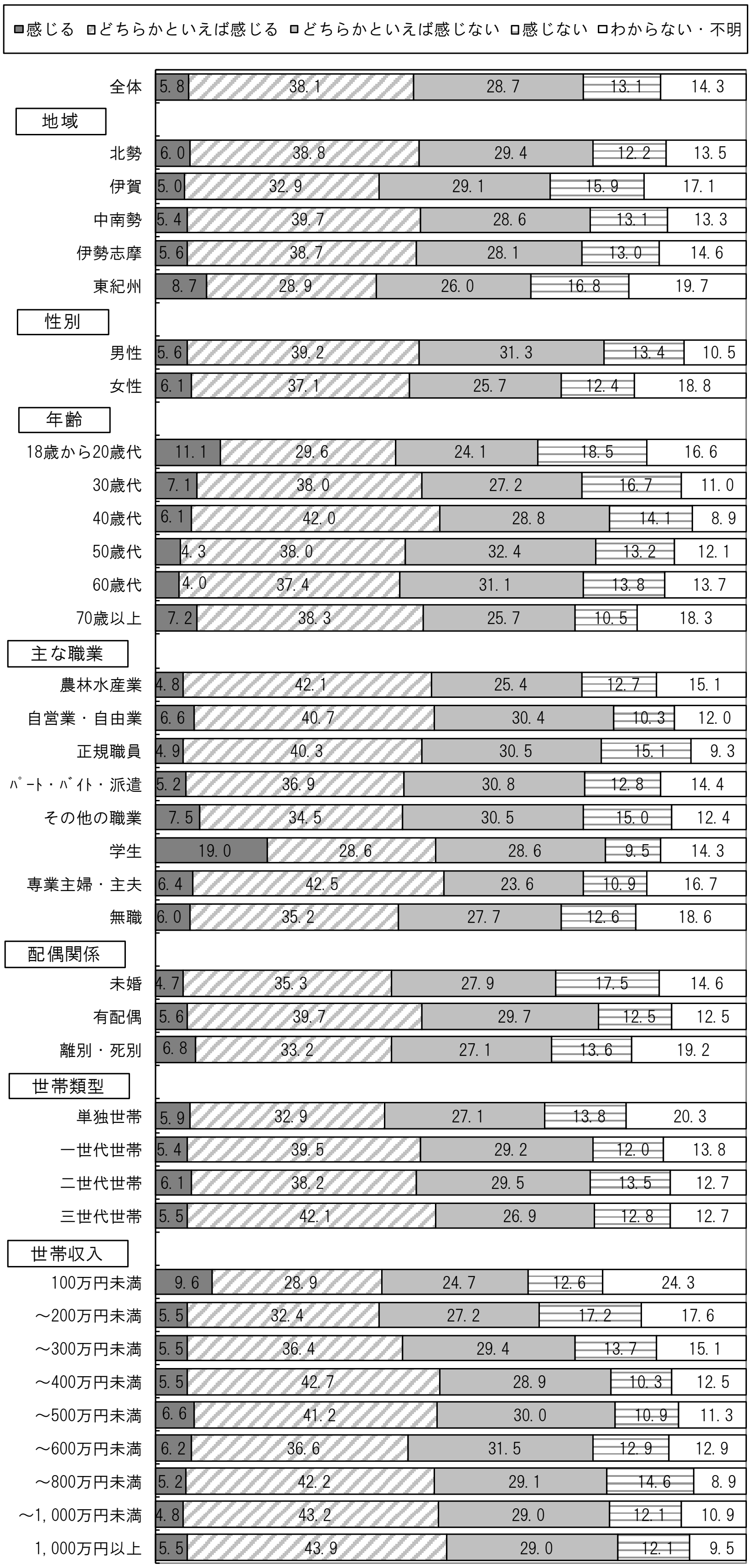
・東紀州の『実感している層』は全体より 6.3 ポイント低い。
・50 歳代の『実感していない層』は全体より 3.8 ポイント高い。
・70 歳以上の『実感していない層』は全体より 5.6 ポイント低い。
・正規職員の『実感していない層』は全体より 3.8 ポイント高い。
・世帯収入が 1,000 万円以上の『実感している層』は全体より 5.5 ポイント高い。

図表 2-2-18　スポーツをしたり、みたり、支えたりする環境や機会が整っている（第5回調査からの推移）



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出。

図表 2-2-19　スポーツをしたり、みたり、支えたりする環境や機会が整っている（属性別）



	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	実感している層 今回 %	(前回差) ポイント	〈第1回差〉 ポイント	実感していない層 今回 %	(前回差) ポイント	〈第1回差〉 ポイント
全体	5.8	38.1	28.7	13.1	14.3	43.9	(1.3)	<->	41.8	(-1.4)	<->
地域											
北勢	6.0	38.8	29.4	12.2	13.5	44.8	(0.9)	<->	41.6	(-0.4)	<->
伊賀	5.0	32.9	29.1	15.9	17.1	37.9	(1.4)	<->	45.0	(-5.8)	<->
中南勢	5.4	39.7	28.6	13.1	13.3	45.1	(0.5)	<->	41.7	(0.3)	<->
伊勢志摩	5.6	38.7	28.1	13.0	14.6	44.3	(5.8)	<->	41.1	(-4.7)	<->
東紀州	8.7	28.9	26.0	16.8	19.7	37.6	(0.7)	<->	42.8	(-6.0)	<->
性別											
男性	5.6	39.2	31.3	13.4	10.5	44.8	(2.4)	<->	44.7	(-1.3)	<->
女性	6.1	37.1	25.7	12.4	18.8	43.2	(0.1)	<->	38.1	(-2.3)	<->
年齢											
18歳から20歳代	11.1	29.6	24.1	18.5	16.6	40.7	(-4.5)	<->	42.6	(4.6)	<->
30歳代	7.1	38.0	27.2	16.7	11.0	45.1	(3.6)	<->	43.9	(1.6)	<->
40歳代	6.1	42.0	28.8	14.1	8.9	48.1	(5.9)	<->	42.9	(-3.0)	<->
50歳代	4.3	38.0	32.4	13.2	12.1	42.3	(-1.3)	<->	45.6	(0.2)	<->
60歳代	4.0	37.4	31.1	13.8	13.7	41.4	(0.7)	<->	44.9	(-0.9)	<->
70歳以上	7.2	38.3	25.7	10.5	18.3	45.5	(0.4)	<->	36.2	(0.5)	<->
主な職業											
農林水産業	4.8	42.1	25.4	12.7	15.1	46.9	(4.2)	<->	38.1	(-6.0)	<->
自営業・自由業	6.6	40.7	30.4	10.3	12.0	47.3	(1.3)	<->	40.7	(1.2)	<->
正規職員	4.9	40.3	30.5	15.1	9.3	45.2	(3.0)	<->	45.6	(-2.3)	<->
ﾊﾟｰﾄ・ﾊﾞｲﾄ・派遣	5.2	36.9	30.8	12.8	14.4	42.1	(-1.6)	<->	43.6	(0.0)	<->
その他の職業	7.5	34.5	30.5	15.0	12.4	42.0	(5.1)	<->	45.5	(-0.3)	<->
学生	19.0	28.6	28.6	9.5	14.3	47.6	(-2.4)	<->	38.1	(2.8)	<->
専業主婦・主夫	6.4	42.5	23.6	10.9	16.7	48.9	(5.4)	<->	34.5	(-5.9)	<->
無職	6.0	35.2	27.7	12.6	18.6	41.2	(0.0)	<->	40.3	(1.2)	<->
配偶関係											
未婚	4.7	35.3	27.9	17.5	14.6	40.0	(0.4)	<->	45.4	(3.1)	<->
有配偶	5.6	39.7	29.7	12.5	12.5	45.3	(1.7)	<->	42.2	(-1.5)	<->
離別・死別	6.8	33.2	27.1	13.6	19.2	40.0	(1.3)	<->	40.7	(0.2)	<->
世帯類型											
単独世帯	5.9	32.9	27.1	13.8	20.3	38.8	(-0.4)	<->	40.9	(3.4)	<->
一世代世帯	5.4	39.5	29.2	12.0	13.8	44.9	(2.6)	<->	41.2	(-2.9)	<->
二世代世帯	6.1	38.2	29.5	13.5	12.7	44.3	(1.6)	<->	43.0	(-1.2)	<->
三世代世帯	5.5	42.1	26.9	12.8	12.7	47.6	(1.0)	<->	39.7	(0.0)	<->
世帯収入											
100万円未満	9.6	28.9	24.7	12.6	24.3	38.5	(8.2)	<->	37.3	(-5.6)	<->
～200万円未満	5.5	32.4	27.2	17.2	17.6	37.9	(-0.4)	<->	44.4	(2.6)	<->
～300万円未満	5.5	36.4	29.4	13.7	15.1	41.9	(-0.6)	<->	43.1	(0.0)	<->
～400万円未満	5.5	42.7	28.9	10.3	12.5	48.2	(4.9)	<->	39.2	(-3.4)	<->
～500万円未満	6.6	41.2	30.0	10.9	11.3	47.8	(6.2)	<->	40.9	(-3.9)	<->
～600万円未満	6.2	36.6	31.5	12.9	12.9	42.8	(0.2)	<->	44.4	(-0.5)	<->
～800万円未満	5.2	42.2	29.1	14.6	8.9	47.4	(0.3)	<->	43.7	(-1.0)	<->
～1,000万円未満	4.8	43.2	29.0	12.1	10.9	48.0	(2.5)	<->	41.1	(-2.5)	<->
1,000万円以上	5.5	43.9	29.0	12.1	9.5	49.4	(1.4)	<->	41.1	(-1.0)	<->

※第５回調査において設問を変更したため、第１回調査との比較は行っていません。

問２－（10）　自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたいと感じますか。

（関連の政策分野：地域の活力の向上）

○　自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたいかどうかの実感については、『実感している層』の割合が 77.5%で、『実感していない層』の割合（16.0%）より 61.5 ポイント高くなっています。

問２の 15 項目の中では、『実感している層』が２番目に高く、『実感していない層』が２番目に低くなっています。

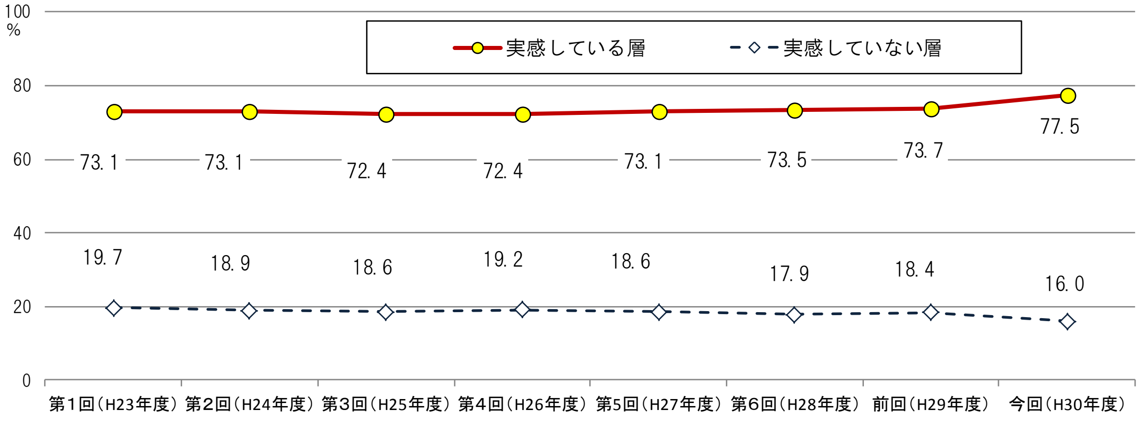
○　前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 3.8 ポイント高く、『実感していない層』は 2.4 ポイント低くなっています。

○　第１回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 4.4 ポイント高く、『実感していない層』は 3.7 ポイント低くなっています。

○　属性や属性項目における主な特徴（全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等）は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

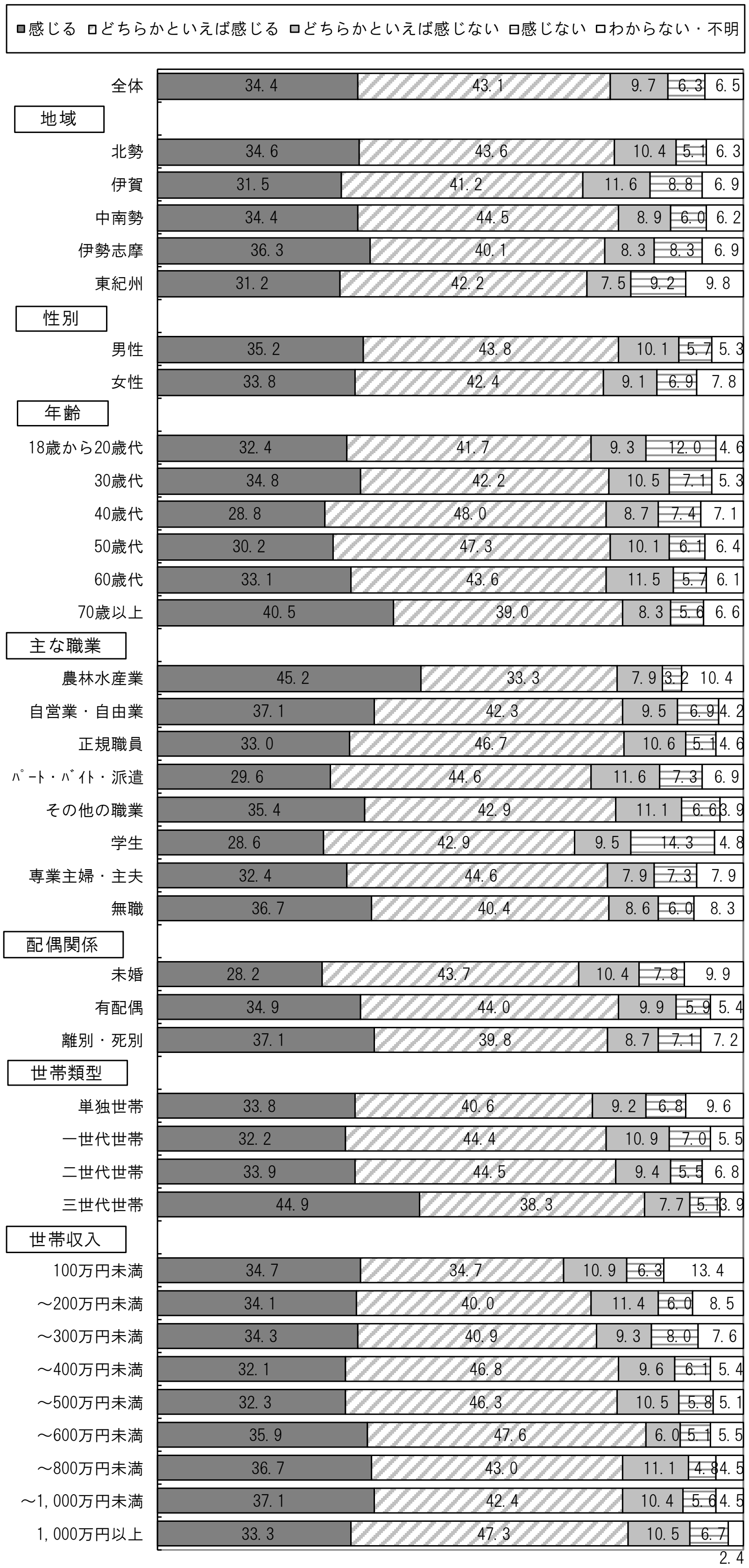
・伊賀の『実感している層』は全体より 4.8 ポイント低い。
・農林水産業の『実感していない層』は全体より 4.9 ポイント低い。
・学生の『実感している層』は全体より 6.0 ポイント低く、『実感していない層』は全体より 7.8 ポイント高い。
・世帯収入が 500 万円以上 600 万円未満の『実感している層』は全体より 6.0 ポイント高く、『実感していない層』は全体より 4.9 ポイント低い。

図表 2-2-20　自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい（第１回調査からの推移）



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出。

図表 2-2-21　自分の住んでいる地域に愛着があり、今後も住み続けたい（属性別）



	実感している層 今回 %	（前回差）ﾎﾟｲﾝﾄ	〈第1回差〉ﾎﾟｲﾝﾄ	実感していない層 今回 %	（前回差）ﾎﾟｲﾝﾄ	〈第1回差〉ﾎﾟｲﾝﾄ
全体	77.5	(3.8)	<4.4>	16.0	(-2.4)	<-3.7>
地域						
北勢	78.2	(3.7)	<4.1>	15.5	(-1.9)	<-4.4>
伊賀	72.7	(5.7)	<5.2>	20.4	(-5.6)	<-4.3>
中南勢	78.9	(2.9)	<5.7>	14.9	(-1.5)	<-4.1>
伊勢志摩	76.4	(2.8)	<2.8>	16.6	(-3.5)	<-1.1>
東紀州	73.4	(3.5)	<0.2>	16.7	(-4.5)	<-2.1>
性別						
男性	79.0	(3.6)	<3.0>	15.8	(-1.6)	<-2.1>
女性	76.2	(3.9)	<5.4>	16.0	(-3.4)	<-5.5>
年齢						
18歳から20歳代	74.1	(5.6)	<->	21.3	(-1.5)	<->
30歳代	77.0	(3.6)	<7.2>	17.6	(-1.2)	<-5.1>
40歳代	76.8	(4.6)	<8.0>	16.1	(-4.1)	<-8.0>
50歳代	77.5	(5.9)	<7.2>	16.2	(-3.8)	<-5.6>
60歳代	76.7	(-0.4)	<1.2>	17.2	(0.2)	<-2.2>
70歳以上	79.5	(3.6)	<1.0>	13.9	(-1.1)	<-0.7>
主な職業						
農林水産業	78.5	(-9.0)	<-7.0>	11.1	(4.5)	<0.7>
自営業・自由業	79.4	(6.7)	<2.6>	16.4	(-2.9)	<-1.1>
正規職員	79.7	(3.3)	<6.1>	15.7	(-2.0)	<-3.9>
ﾊﾟｰﾄ・ﾊﾞｲﾄ・派遣	74.2	(3.6)	<5.0>	18.9	(-1.5)	<-5.5>
その他の職業	78.3	(4.5)	<2.6>	17.7	(-1.2)	<1.3>
学生	71.5	(5.3)	<2.6>	23.8	(0.3)	<3.0>
専業主婦・主夫	77.0	(3.7)	<7.5>	15.2	(-3.6)	<-6.9>
無職	77.1	(3.6)	<2.2>	14.6	(-3.0)	<-3.6>
配偶関係						
未婚	71.9	(1.1)	<-0.7>	18.2	(-0.9)	<-0.9>
有配偶	78.9	(4.3)	<5.1>	15.8	(-2.5)	<-4.2>
離別・死別	76.9	(3.8)	<4.1>	15.8	(-2.6)	<-3.6>
世帯類型						
単独世帯	74.4	(2.8)	<6.0>	16.0	(-2.6)	<-7.7>
一世代世帯	76.6	(3.1)	<3.2>	17.9	(-1.7)	<-2.8>
二世代世帯	78.4	(4.3)	<6.1>	14.9	(-3.7)	<-5.5>
三世代世帯	83.2	(7.0)	<3.2>	12.8	(-2.7)	<-0.8>
世帯収入						
100万円未満	69.4	(2.9)	<->	17.2	(-5.3)	<->
～200万円未満	74.1	(7.1)	<->	17.4	(-5.8)	<->
～300万円未満	75.2	(2.0)	<->	17.3	(-1.9)	<->
～400万円未満	78.9	(3.9)	<->	15.7	(-2.4)	<->
～500万円未満	78.6	(5.6)	<->	16.3	(-2.1)	<->
～600万円未満	83.5	(8.9)	<->	11.1	(-7.1)	<->
～800万円未満	79.7	(1.3)	<->	15.9	(-0.2)	<->
～1,000万円未満	79.5	(2.1)	<->	16.0	(-0.2)	<->
1,000万円以上	80.6	(2.6)	<->	17.2	(0.1)	<->

※年齢の 18 歳から 20 歳代については、第６回調査からの調査項目であるため、第１回調査と比較を行っていません。

※世帯収入については、第１回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問２－（11）　三重県産の農林水産物を買いたいと感じますか。

（関連の政策分野：農林水産業）

○　三重県産の農林水産物を買いたいかどうかの実感については、『実感している層』の割合が85.5%で、『実感していない層』の割合（9.3%）より76.2ポイント高くなっています。

問２の15項目の中では、『実感している層』が最も高く、『実感していない層』が最も低くなっています。

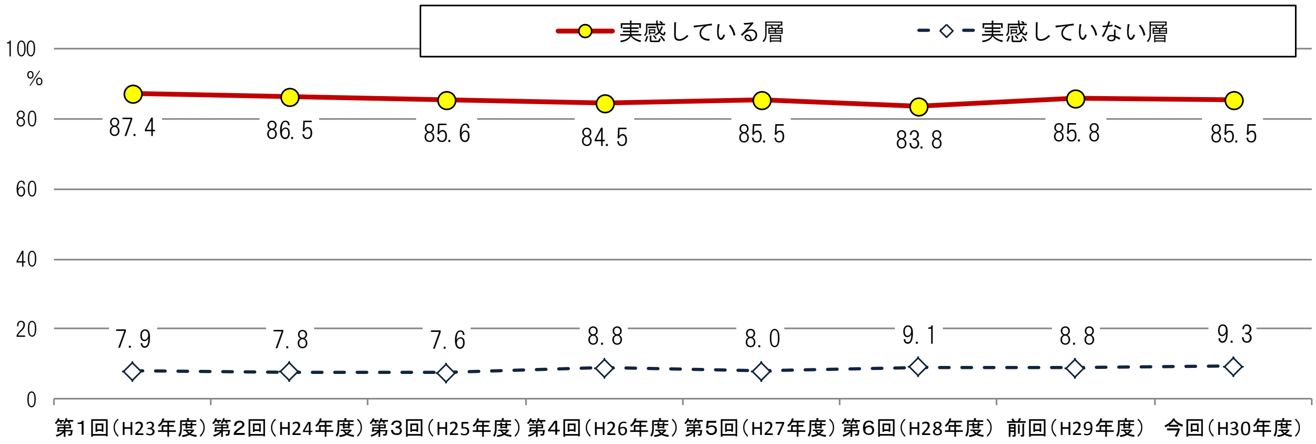
○　前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が0.3ポイント低く、『実感していない層』は0.5ポイント高くなっています。

○　第１回調査の割合と比較すると、『実感している層』が1.9ポイント低く、『実感していない層』が1.4ポイント高くなっています。

○　属性や属性項目における主な特徴（全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等）は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

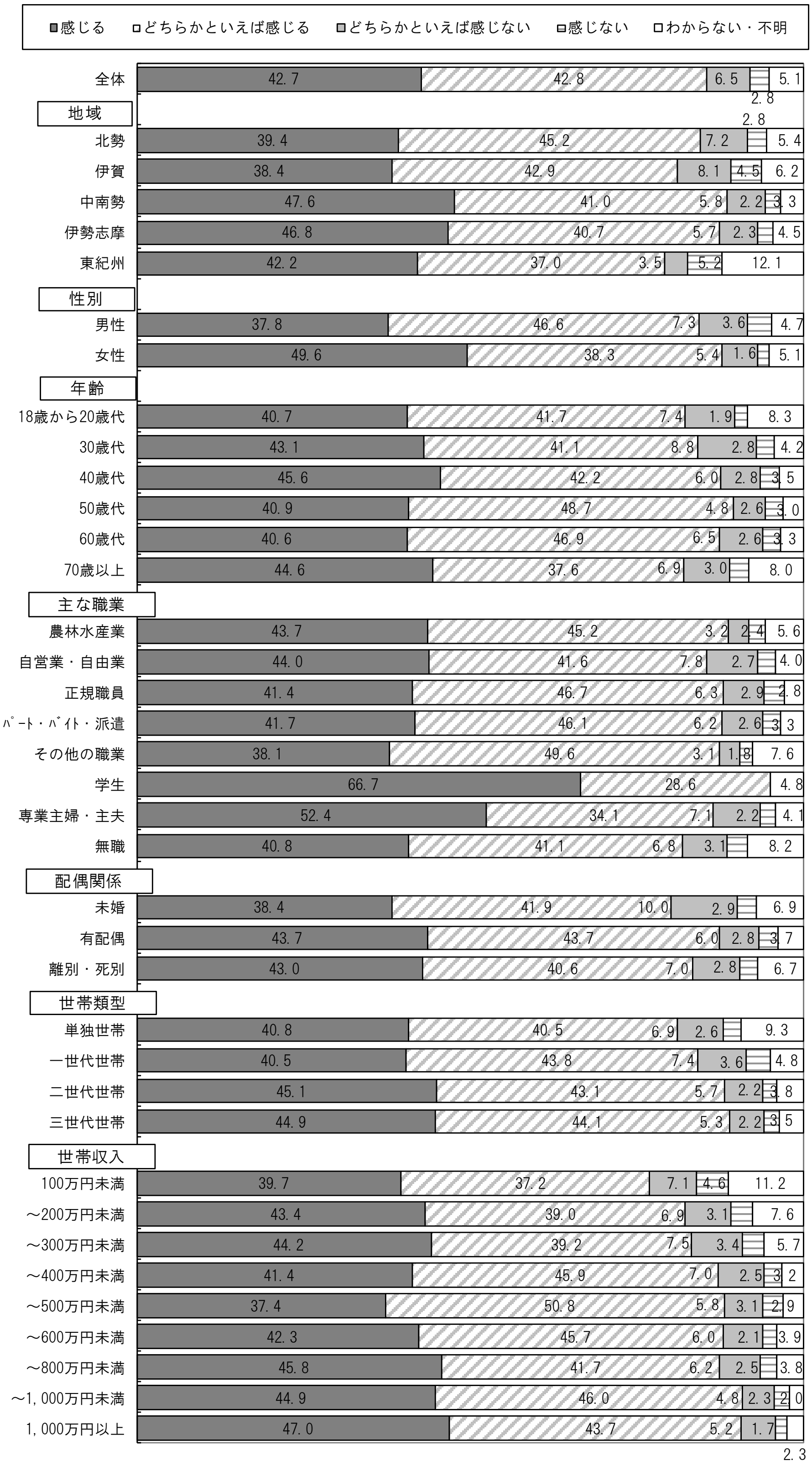
・東紀州の『実感している層』は全体より6.3ポイント低く、前回調査より5.5ポイント低い。
・学生の『実感している層』は全体より9.8ポイント高く、前回調査より13.0ポイント高い。
　また、『実感していない層』は全体より9.3ポイント低く、前回調査より14.7ポイント低い。
・世帯年収が100万円未満の『実感している層』は全体より8.6ポイント低い。

図表2-2-22　三重県産の農林水産物を買いたい（第１回調査からの推移）



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出。

図表 2-2-23 三重県産の農林水産物を買いたい（属性別）



	実感している層 今回 %	(前回差) ﾎﾟｲﾝﾄ	<第1回差> ﾎﾟｲﾝﾄ	実感していない層 今回 %	(前回差) ﾎﾟｲﾝﾄ	<第1回差> ﾎﾟｲﾝﾄ
全体	85.5	(-0.3)	<-1.9>	9.3	(0.5)	<1.4>
北勢	84.6	(0.8)	<-2.4>	10.0	(0.3)	<0.8>
伊賀	81.3	(-2.6)	<-5.8>	12.6	(1.5)	<4.6>
中南勢	88.6	(-0.5)	<1.5>	8.0	(1.1)	<0.8>
伊勢志摩	87.5	(-1.6)	<-1.7>	8.0	(0.9)	<2.0>
東紀州	79.2	(-5.5)	<-7.9>	8.7	(-0.2)	<2.0>
男性	84.4	(1.9)	<-1.3>	10.9	(-0.3)	<1.0>
女性	87.9	(-1.7)	<-1.4>	7.0	(0.7)	<0.9>
18歳から20歳代	82.4	(4.2)	<->	9.3	(-7.0)	<->
30歳代	84.2	(0.4)	<-4.2>	11.6	(1.0)	<3.5>
40歳代	87.8	(0.3)	<-1.1>	8.8	(1.6)	<1.6>
50歳代	89.6	(1.2)	<0.4>	7.4	(-0.6)	<-0.8>
60歳代	87.5	(0.8)	<-0.1>	9.1	(0.0)	<0.5>
70歳以上	82.2	(-1.0)	<-2.4>	9.9	(2.0)	<2.3>
農林水産業	88.9	(-1.5)	<-3.6>	5.6	(1.2)	<2.3>
自営業・自由業	85.6	(0.4)	<-2.1>	10.5	(0.8)	<2.8>
正規職員	88.1	(0.9)	<-0.4>	9.2	(0.2)	<1.0>
ﾊﾟｰﾄ・ﾊﾞｲﾄ・派遣	87.8	(2.1)	<-0.7>	8.8	(-0.1)	<1.1>
その他の職業	87.7	(2.5)	<8.1>	4.9	(-2.8)	<-5.6>
学生	95.3	(13.0)	<4.3>	0.0	(-14.7)	<-3.9>
専業主婦・主夫	86.5	(-4.0)	<-4.1>	9.3	(4.0)	<3.3>
無職	81.9	(0.1)	<-2.0>	9.9	(-0.3)	<0.3>
未婚	80.3	(-4.0)	<-4.9>	12.9	(2.4)	<3.6>
有配偶	87.4	(1.0)	<-1.6>	8.8	(0.2)	<1.5>
離別・死別	83.6	(-2.0)	<0.4>	9.8	(2.0)	<-0.5>
単独世帯	81.3	(-2.5)	<1.3>	9.5	(1.4)	<-2.8>
一世代世帯	84.3	(-1.7)	<-3.6>	11.0	(1.8)	<3.3>
二世代世帯	88.2	(1.8)	<-0.2>	7.9	(-0.8)	<0.3>
三世代世帯	89.0	(2.1)	<-0.3>	7.5	(-0.5)	<0.2>
100万円未満	76.9	(-1.1)	<->	11.7	(-1.9)	<->
～200万円未満	82.4	(-0.5)	<->	10.0	(0.1)	<->
～300万円未満	83.4	(-1.1)	<->	10.9	(1.1)	<->
～400万円未満	87.3	(0.2)	<->	9.5	(1.6)	<->
～500万円未満	88.2	(0.1)	<->	8.9	(2.3)	<->
～600万円未満	88.0	(2.7)	<->	8.1	(-2.4)	<->
～800万円未満	87.5	(-1.2)	<->	8.7	(0.7)	<->
～1,000万円未満	90.9	(3.0)	<->	7.1	(-1.2)	<->
1,000万円以上	90.7	(0.1)	<->	6.9	(0.9)	<->

※年齢の 18 歳から 20 歳代については、第６回調査からの調査項目であるため、第１回調査と比較を行っていません。
※世帯収入については、第１回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問２－（12）　県内の産業活動が活発であると感じますか。

（関連の政策分野：強じんで多様な産業）

○　県内の産業活動が活発であるかどうかの実感については、『実感している層』の割合が 37.1%で、『実感していない層』の割合（45.0%）より 7.9 ポイント低くなっています。

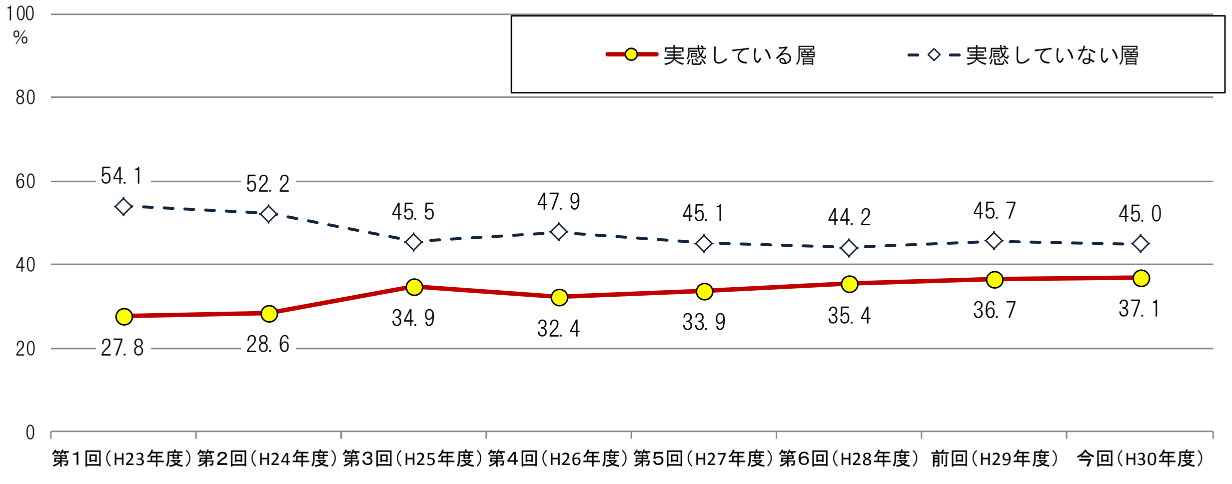
○　前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 0.4 ポイント高く、『実感していない層』は 0.7 ポイント低くなっています。

○　第１回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 9.3 ポイント高く、『実感していない層』は 9.1 ポイント低くなっています。

○　属性や属性項目における主な特徴（全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等）は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

・東紀州の『実感している層』は全体より 17.5 ポイント低く、『実感していない層』は全体より 8.8 ポイント高い。
・40 歳代の『実感している層』は全体より 8.0 ポイント高い。
・学生の『実感していない層』は全体より 16.4 ポイント低い。
・世帯年収が 100 万円以上 200 万円未満の『実感している層』は全体より 6.6 ポイント低い。

図表 2-2-24　県内の産業活動が活発である(第１回調査からの推移)



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など)」も分母に含めて算出。

図表 2-2-25　県内の産業活動が活発である（属性別）

■感じる □どちらかといえば感じる □どちらかといえば感じない □感じない □わからない・不明

	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	実感している層 今回 %	実感している層 (前回差) ﾎﾟｲﾝﾄ	実感している層 <第1回差> ﾎﾟｲﾝﾄ	実感していない層 今回 %	実感していない層 (前回差) ﾎﾟｲﾝﾄ	実感していない層 <第1回差> ﾎﾟｲﾝﾄ
全体	4.7	32.4	32.6	12.4	18.1	37.1	(0.4)	<9.3>	45.0	(-0.7)	<-9.1>
地域											
北勢	5.9	38.2	28.8	9.2	17.9	44.1	(2.7)	<12.9>	38.0	(-3.5)	<-13.7>
伊賀	3.3	23.5	37.4	12.1	23.7	26.8	(-2.1)	<4.9>	49.5	(0.2)	<-6.2>
中南勢	3.5	29.6	36.3	15.3	15.4	33.1	(-2.1)	<5.7>	51.6	(4.2)	<-2.0>
伊勢志摩	4.5	27.6	35.0	16.4	16.6	32.1	(-0.7)	<9.9>	51.4	(-0.1)	<-8.9>
東紀州	1.7	17.9	38.2	15.6	26.6	19.6	(-2.5)	<-4.9>	53.8	(-5.8)	<-6.1>
性別											
男性	4.7	33.7	34.1	14.5	13.1	38.4	(2.4)	<13.1>	48.6	(-1.2)	<-13.6>
女性	4.7	31.1	30.7	9.6	23.8	35.8	(-1.7)	<5.6>	40.3	(-1.4)	<-6.9>
年齢											
18歳から20歳代	4.6	31.5	25.0	12.0	26.8	36.1	(-3.0)	<->	37.0	(-1.1)	<->
30歳代	4.2	33.7	30.0	15.9	16.1	37.9	(-1.7)	<9.0>	45.9	(5.2)	<-10.7>
40歳代	6.4	38.7	28.8	11.3	14.7	45.1	(6.8)	<18.1>	40.1	(-4.6)	<-18.8>
50歳代	4.4	33.9	35.8	13.1	12.6	38.3	(0.5)	<12.2>	48.9	(0.5)	<-10.8>
60歳代	2.9	31.2	36.4	14.0	15.5	34.1	(0.5)	<8.5>	50.4	(-1.4)	<-5.3>
70歳以上	5.4	30.2	30.5	10.3	23.6	35.6	(-0.8)	<4.7>	40.8	(2.1)	<-4.7>
主な職業											
農林水産業	4.0	37.3	27.0	13.5	18.2	41.3	(-2.8)	<7.5>	40.5	(0.1)	<-10.7>
自営業・自由業	5.5	31.9	34.1	13.5	15.0	37.4	(-0.3)	<12.4>	47.6	(1.9)	<-13.1>
正規職員	5.1	36.8	33.6	13.3	11.2	41.9	(4.3)	<15.6>	46.9	(-2.4)	<-14.9>
ﾊﾟｰﾄ・ﾊﾞｲﾄ・派遣	3.6	32.8	33.2	11.1	19.4	36.4	(-1.3)	<6.3>	44.3	(-0.9)	<-8.9>
その他の職業	4.0	31.0	35.4	13.7	15.9	35.0	(1.0)	<10.0>	49.1	(1.3)	<-5.5>
学生	9.5	28.6	14.3	14.3	33.3	38.1	(-4.5)	<3.0>	28.6	(-9.6)	<-24.7>
専業主婦・主夫	4.9	31.3	33.9	9.6	20.4	36.2	(-1.6)	<4.5>	43.5	(2.3)	<-1.9>
無職	4.6	29.5	30.7	12.0	23.1	34.1	(1.0)	<8.2>	42.7	(-2.1)	<-7.0>
配偶関係											
未婚	4.9	29.0	31.5	13.1	21.5	33.9	(-0.6)	<6.9>	44.6	(-0.6)	<-11.6>
有配偶	4.6	34.1	33.3	12.8	15.3	38.7	(1.3)	<10.3>	46.1	(-0.1)	<-8.8>
離別・死別	4.3	27.1	32.2	10.4	25.9	31.4	(-3.4)	<5.7>	42.6	(0.1)	<-6.4>
世帯類型											
単独世帯	4.2	27.5	31.3	10.2	26.8	31.7	(0.6)	<5.8>	41.5	(-6.1)	<-10.5>
一世代世帯	3.8	32.2	32.8	14.0	17.3	36.0	(0.8)	<9.0>	46.8	(0.2)	<-9.0>
二世代世帯	5.5	34.9	32.7	11.3	15.7	40.4	(3.2)	<13.0>	44.0	(-3.0)	<-10.8>
三世代世帯	4.4	32.4	34.8	12.6	15.9	36.8	(-6.3)	<3.6>	47.4	(8.8)	<-4.1>
世帯収入											
100万円未満	5.4	25.9	25.9	11.7	31.0	31.3	(4.1)	<->	37.6	(-11.0)	<->
～200万円未満	4.5	26.0	32.4	15.2	21.9	30.5	(-2.1)	<->	47.6	(2.5)	<->
～300万円未満	5.0	30.4	32.9	11.5	20.2	35.4	(3.1)	<->	44.4	(-4.9)	<->
～400万円未満	4.1	35.6	35.9	9.9	14.6	39.7	(2.6)	<->	45.8	(-0.2)	<->
～500万円未満	4.1	36.6	32.7	12.1	14.6	40.7	(6.7)	<->	44.8	(-3.1)	<->
～600万円未満	4.1	34.5	32.2	12.9	16.3	38.6	(-0.9)	<->	45.1	(-1.0)	<->
～800万円未満	3.7	35.8	34.4	13.9	12.1	39.5	(-0.7)	<->	48.3	(0.6)	<->
～1,000万円未満	5.3	34.3	34.3	12.9	13.1	39.6	(-5.7)	<->	47.2	(6.0)	<->
1,000万円以上	5.9	38.7	33.5	10.7	11.2	44.6	(1.8)	<->	44.2	(0.2)	<->

※年齢の 18 歳から 20 歳代については、第６回調査からの調査項目であるため、第１回調査と比較を行っていません。

※世帯収入については、第１回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問２－（13）　国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいると感じますか。

（関連の政策分野：世界に開かれた三重）

○　国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいるかどうかの実感については、『実感している層』の割合が 29.9％で、『実感していない層』の割合（53.6％）より 23.7 ポイント低くなっています。

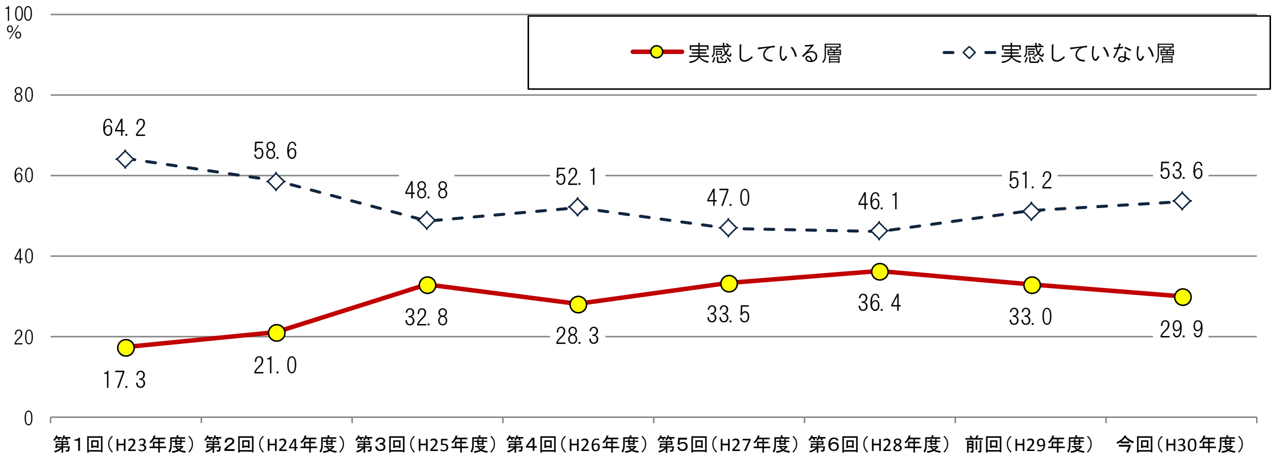
○　前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 3.1 ポイント低く、『実感していない層』は 2.4 ポイント高くなっています。

○　第１回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 12.6 ポイント高く、『実感していない層』は 10.6 ポイント低くなっています。

○　属性や属性項目における主な特徴（全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等）は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

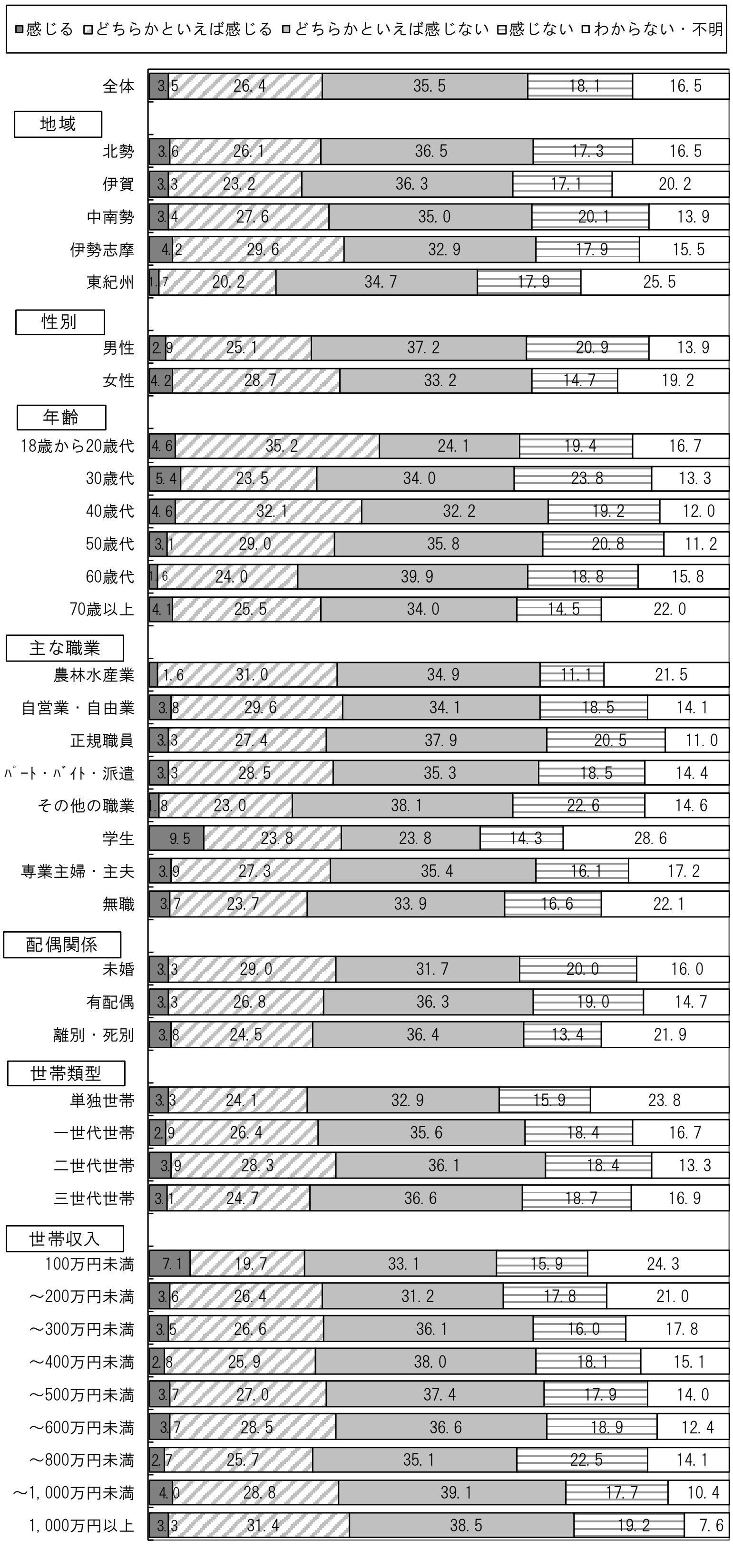
・東紀州の『実感している層』は全体より 8.0 ポイント低い。
・18 歳から 20 歳代の『実感している層』は全体より 9.9 ポイント高い。
・その他の職業の『実感している層』は全体より 5.1 ポイント低く、前回調査より 10.7 ポイント低い。
・世帯収入が 1,000 万円以上の『実感している層』は全体より 4.8 ポイント高い。

図表 2-2-26　国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる（第1回調査からの推移）



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出。

図表 2-2-27　国内外に三重県の魅力が発信され、交流が進んでいる（属性別）



属性	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	実感している層 今回 %	実感している層 （前回差）ポイント	実感している層 <第1回差> ポイント	実感していない層 今回 %	実感していない層 （前回差）ポイント	実感していない層 <第1回差> ポイント
全体	3.5	26.4	35.5	18.1	16.5	29.9	(-3.1)	<12.6>	53.6	(2.4)	<-10.6>
地域											
北勢	3.6	26.1	36.5	17.3	16.5	29.7	(-2.7)	<12.5>	53.8	(2.2)	<-11.6>
伊賀	3.3	23.2	36.3	17.1	20.2	26.5	(-3.6)	<12.2>	53.4	(-0.4)	<-13.1>
中南勢	3.4	27.6	35.0	20.1	13.9	31.0	(-3.9)	<12.0>	55.1	(4.7)	<-6.7>
伊勢志摩	4.2	29.6	32.9	17.9	15.5	33.8	(-3.1)	<16.5>	50.8	(3.6)	<-14.0>
東紀州	1.7	20.2	34.7	17.9	25.5	21.9	(-1.2)	<8.1>	52.6	(-8.0)	<-8.6>
性別											
男性	2.9	25.1	37.2	20.9	13.9	28.0	(-2.2)	<12.1>	58.1	(2.4)	<-10.7>
女性	4.2	28.7	33.2	14.7	19.2	32.9	(-3.2)	<14.3>	47.9	(1.3)	<-12.8>
年齢											
18歳から20歳代	4.6	35.2	24.1	19.4	16.7	39.8	(0.2)	<->	43.5	(-6.2)	<->
30歳代	5.4	23.5	34.0	23.8	13.3	28.9	(-8.3)	<11.1>	57.8	(9.4)	<-12.3>
40歳代	4.6	32.1	32.2	19.2	12.0	36.7	(0.4)	<19.6>	51.4	(1.0)	<-17.9>
50歳代	3.1	29.0	35.8	20.8	11.2	32.1	(-2.7)	<18.1>	56.6	(4.0)	<-15.9>
60歳代	1.6	24.0	39.9	18.8	15.8	25.6	(-2.6)	<9.4>	58.7	(2.3)	<-4.7>
70歳以上	4.1	25.5	34.0	14.5	22.0	29.6	(-2.3)	<8.5>	48.5	(4.5)	<-2.2>
主な職業											
農林水産業	1.6	31.0	34.9	11.1	21.5	32.6	(-3.5)	<10.5>	46.0	(-4.7)	<-15.0>
自営業・自由業	3.8	29.6	34.1	18.5	14.1	33.4	(3.4)	<17.8>	52.6	(-0.8)	<-15.0>
正規職員	3.3	27.4	37.9	20.5	11.0	30.7	(-3.3)	<15.2>	58.4	(3.6)	<-14.3>
ﾊﾟｰﾄ・ﾊﾞｲﾄ・派遣	3.3	28.5	35.3	18.5	14.4	31.8	(-3.4)	<14.5>	53.8	(3.3)	<-12.1>
その他の職業	1.8	23.0	38.1	22.6	14.6	24.8	(-10.7)	<11.0>	60.7	(11.9)	<-8.4>
学生	9.5	23.8	23.8	14.3	28.6	33.3	(-3.5)	<13.8>	38.1	(-17.8)	<-29.5>
専業主婦・主夫	3.9	27.3	35.4	16.1	17.2	31.2	(-4.7)	<13.4>	51.5	(6.6)	<-10.5>
無職	3.7	23.7	33.9	16.6	22.1	27.4	(-0.9)	<7.9>	50.5	(0.4)	<-3.4>
配偶関係											
未婚	3.3	29.0	31.7	20.0	16.0	32.3	(-3.1)	<14.8>	51.7	(2.5)	<-17.4>
有配偶	3.3	26.8	36.3	19.0	14.7	30.1	(-2.9)	<13.0>	55.3	(3.3)	<-10.1>
離別・死別	3.8	24.5	36.4	13.4	21.9	28.3	(-2.0)	<9.5>	49.8	(0.6)	<-4.3>
世帯類型											
単独世帯	3.3	24.1	32.9	15.9	23.8	27.4	(2.1)	<10.3>	48.8	(-4.6)	<-10.3>
一世代世帯	2.9	26.4	35.6	18.4	16.7	29.3	(-2.5)	<13.7>	54.0	(2.7)	<-11.2>
二世代世帯	3.9	28.3	36.1	18.4	13.3	32.2	(-2.0)	<14.2>	54.5	(2.7)	<-11.3>
三世代世帯	3.1	24.7	36.6	18.7	16.9	27.8	(-10.0)	<8.2>	55.3	(8.5)	<-7.6>
世帯収入											
100万円未満	7.1	19.7	33.1	15.9	24.3	26.8	(1.6)	<->	49.0	(3.9)	<->
～200万円未満	3.6	26.4	31.2	17.8	21.0	30.0	(0.9)	<->	49.0	(1.1)	<->
～300万円未満	3.5	26.6	36.1	16.0	17.8	30.1	(1.1)	<->	52.1	(-1.4)	<->
～400万円未満	2.8	25.9	38.0	18.1	15.1	28.7	(-5.7)	<->	56.1	(4.8)	<->
～500万円未満	3.7	27.0	37.4	17.9	14.0	30.7	(-1.9)	<->	55.3	(2.5)	<->
～600万円未満	3.7	28.5	36.6	18.9	12.4	32.2	(-1.1)	<->	55.5	(3.2)	<->
～800万円未満	2.7	25.7	35.1	22.5	14.1	28.4	(-8.9)	<->	57.6	(4.0)	<->
～1,000万円未満	4.0	28.8	39.1	17.7	10.4	32.8	(-3.6)	<->	56.8	(5.5)	<->
1,000万円以上	3.3	31.4	38.5	19.2	7.6	34.7	(-1.3)	<->	57.7	(4.8)	<->

※年齢の 18 歳から 20 歳代については、第６回調査からの調査項目であるため、第１回調査と比較を行っていません。
※世帯収入については、第１回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問２－（14）　働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ていると感じますか。

（関連の政策分野：雇用の確保と多様な働き方）

○　働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が 21.7％で、『実感していない層』の割合（61.6％）より 39.9 ポイント低くなっています。

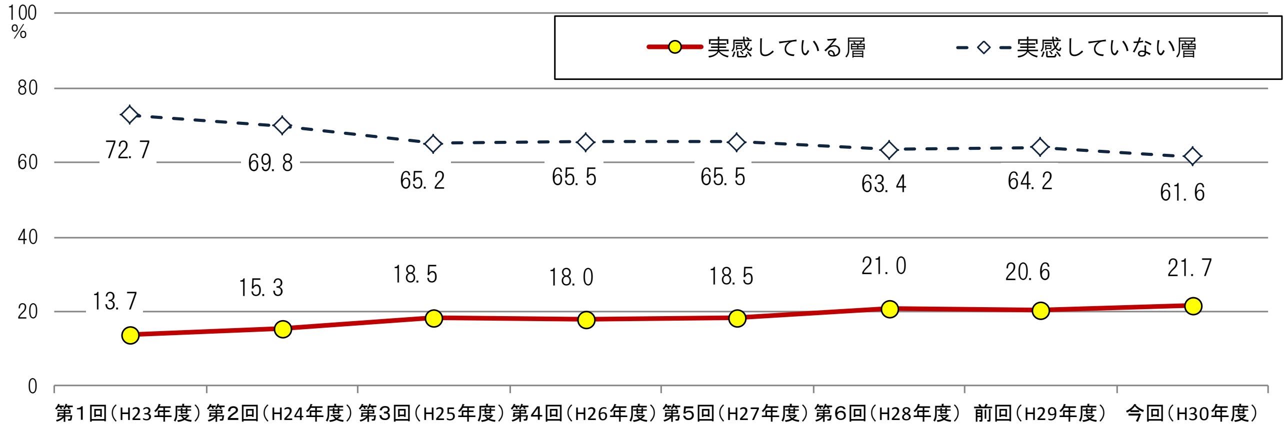
○　前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 1.1 ポイント高く、『実感していない層』は 2.6 ポイント低くなっています。

○　第１回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 8.0 ポイント高く、『実感していない層』は 11.1 ポイント低くなっています。

○　属性や属性項目における主な特徴（全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等）は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

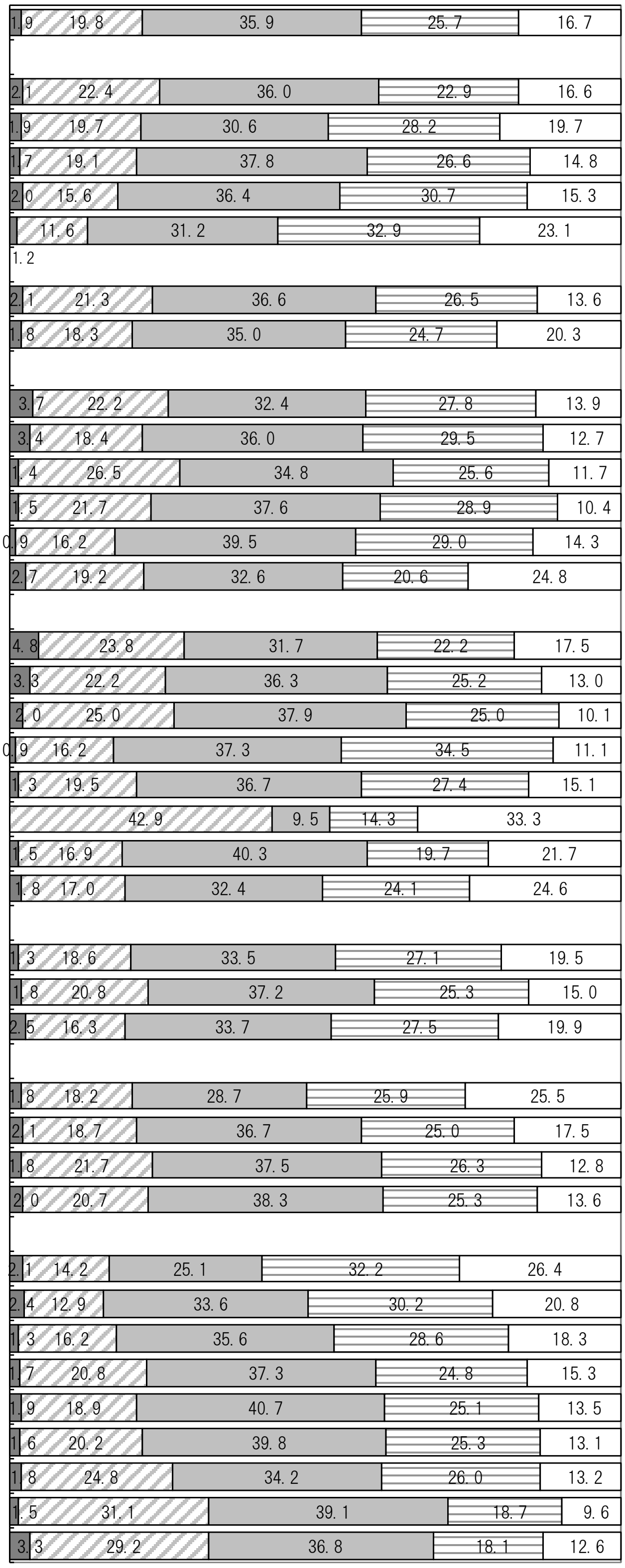
・東紀州の『実感している層』は全体より 8.9 ポイント低い。
・60 歳代の『実感している層』は全体より 4.6 ポイント低い。
・パート・バイト・派遣の『実感している層』は全体より 4.6 ポイント低く、『実感していない層』は全体より 10.2 ポイント高い。
・学生の『実感している層』は全体より 21.2 ポイント高く、『実感していない層』は全体より 37.8 ポイント低い。
・世帯収入が 800 万円以上 1,000 万円未満の『実感している層』は全体より 10.9 ポイント高い。

図表 2-2-28　働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている（第１回調査からの推移）



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出。

図表 2-2-29　働きたい人が仕事に就き、必要な収入を得ている（属性別）



■感じる ■どちらかといえば感じる ■どちらかといえば感じない ■感じない ■わからない・不明

属性	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	実感している層 今回 %	実感している層 (前回差) ポイント	実感している層 <第1回差> ポイント	実感していない層 今回 %	実感していない層 (前回差) ポイント	実感していない層 <第1回差> ポイント
全体	1.9	19.8	35.9	25.7	16.7	21.7	(1.1)	<8.0>	61.6	(-2.6)	<-11.1>
地域											
北勢	2.1	22.4	36.0	22.9	16.6	24.5	(0.7)	<8.6>	58.9	(-0.7)	<-12.4>
伊賀	1.9	19.7	30.6	28.2	19.7	21.6	(6.0)	<12.3>	58.8	(-12.6)	<-15.4>
中南勢	1.7	19.1	37.8	26.6	14.8	20.8	(1.3)	<6.6>	64.4	(-1.7)	<-6.5>
伊勢志摩	2.0	15.6	36.4	30.7	15.3	17.6	(-0.7)	<7.9>	67.1	(-1.3)	<-11.8>
東紀州	1.2	11.6	31.2	32.9	23.1	12.8	(3.4)	<3.0>	64.1	(-16.2)	<-14.1>
性別											
男性	2.1	21.3	36.6	26.5	13.6	23.4	(2.0)	<9.2>	63.1	(-2.3)	<-12.9>
女性	1.8	18.3	35.0	24.7	20.3	20.1	(0.2)	<6.8>	59.7	(-3.4)	<-10.7>
年齢											
18歳から20歳代	3.7	22.2	32.4	27.8	13.9	25.9	(3.1)	<->	60.2	(1.8)	<->
30歳代	3.4	18.4	36.0	29.5	12.7	21.8	(-3.8)	<5.8>	65.5	(3.7)	<-7.8>
40歳代	1.4	26.5	34.8	25.6	11.7	27.9	(6.0)	<15.3>	60.4	(-4.6)	<-19.9>
50歳代	1.5	21.7	37.6	28.9	10.4	23.2	(3.6)	<12.1>	66.5	(-3.2)	<-14.9>
60歳代	0.9	16.2	39.5	29.0	14.3	17.1	(-0.5)	<4.7>	68.5	(-1.1)	<-4.8>
70歳以上	2.7	19.2	32.6	20.6	24.8	21.9	(-0.4)	<6.1>	53.2	(1.8)	<-8.2>
主な職業											
農林水産業	4.8	23.8	31.7	22.2	17.5	28.6	(-2.2)	<8.4>	53.9	(-2.7)	<-10.4>
自営業・自由業	3.3	22.2	36.3	25.2	13.0	25.5	(7.0)	<12.3>	61.5	(-4.4)	<-13.7>
正規職員	2.0	25.0	37.9	25.0	10.1	27.0	(2.3)	<11.1>	62.9	(-1.7)	<-13.6>
ﾊﾟｰﾄ・ﾊﾞｲﾄ・派遣	0.9	16.2	37.3	34.5	11.1	17.1	(-2.3)	<5.8>	71.8	(2.3)	<-7.3>
その他の職業	1.3	19.5	36.7	27.4	15.1	20.8	(0.0)	<5.6>	64.1	(-4.8)	<-6.3>
学生		42.9	9.5	14.3	33.3	42.9	(6.2)	<27.3>	23.8	(-15.9)	<-41.2>
専業主婦・主夫	1.5	16.9	40.3	19.7	21.7	18.4	(2.2)	<5.6>	60.0	(-2.7)	<-11.5>
無職	1.8	17.0	32.4	24.1	24.6	18.8	(1.6)	<6.3>	56.5	(-3.7)	<-10.3>
配偶関係											
未婚	1.3	18.6	33.5	27.1	19.5	19.9	(-0.4)	<6.2>	60.6	(-1.7)	<-14.1>
有配偶	1.8	20.8	37.2	25.3	15.0	22.6	(1.4)	<8.7>	62.5	(-2.0)	<-11.4>
離別・死別	2.5	16.3	33.7	27.5	19.9	18.8	(2.4)	<6.2>	61.2	(-4.3)	<-5.5>
世帯類型											
単独世帯	1.8	18.2	28.7	25.9	25.5	20.0	(4.2)	<6.5>	54.6	(-7.9)	<-12.3>
一世代世帯	2.1	18.7	36.7	25.0	17.5	20.8	(0.7)	<6.8>	61.7	(-2.8)	<-10.3>
二世代世帯	1.8	21.7	37.5	26.3	12.8	23.5	(2.3)	<11.0>	63.8	(-1.4)	<-12.5>
三世代世帯	2.0	20.7	38.3	25.3	13.6	22.7	(-1.1)	<4.9>	63.6	(2.9)	<-5.0>
世帯収入											
100万円未満	2.1	14.2	25.1	32.2	26.4	16.3	(4.3)	<->	57.3	(-11.3)	<->
～200万円未満	2.4	12.9	33.6	30.2	20.8	15.3	(0.6)	<->	63.8	(-2.0)	<->
～300万円未満	1.3	16.2	35.6	28.6	18.3	17.5	(-0.2)	<->	64.2	(-2.8)	<->
～400万円未満	1.7	20.8	37.3	24.8	15.3	22.5	(5.5)	<->	62.1	(-6.2)	<->
～500万円未満	1.9	18.9	40.7	25.1	13.5	20.8	(2.9)	<->	65.8	(-2.5)	<->
～600万円未満	1.6	20.2	39.8	25.3	13.1	21.8	(0.6)	<->	65.1	(-1.0)	<->
～800万円未満	1.8	24.8	34.2	26.0	13.2	26.6	(1.7)	<->	60.2	(-3.3)	<->
～1,000万円未満	1.5	31.1	39.1	18.7	9.6	32.6	(2.7)	<->	57.8	(0.4)	<->
1,000万円以上	3.3	29.2	36.8	18.1	12.6	32.5	(1.6)	<->	54.9	(-0.9)	<->

※年齢の 18 歳から 20 歳代については、第６回調査からの調査項目であるため、第１回調査と比較を行っていません。
※世帯収入については、第１回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

問２－（15）　道路や公共交通機関等が整っていると感じますか。

（関連の政策分野：安心と活力を生み出す基盤）

○　道路や公共交通機関等が整っているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が42.1%で、『実感していない層』の割合（52.4%）より 10.3 ポイント低くなっています。

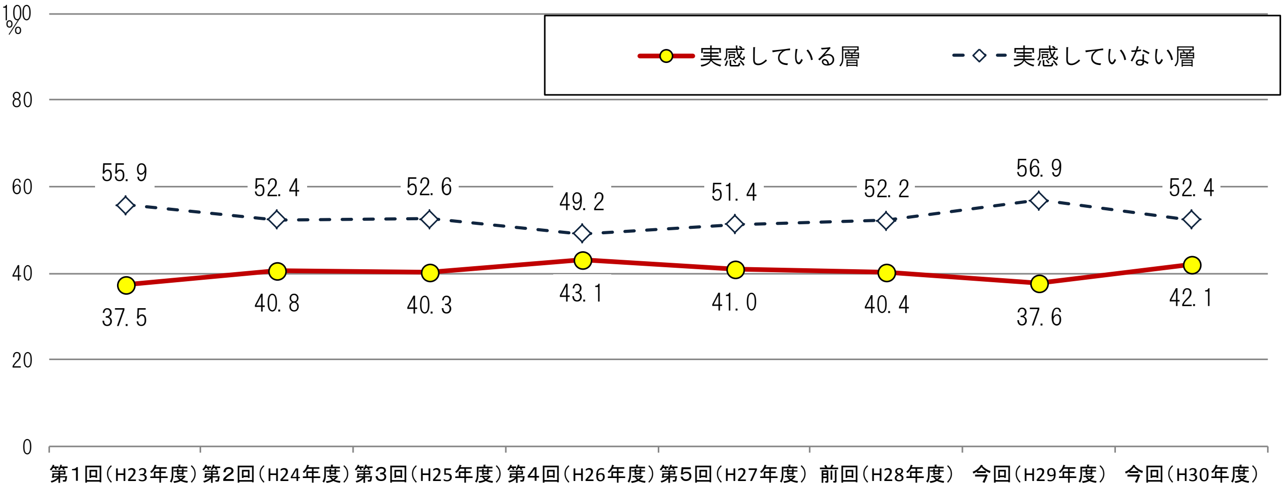
○　前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 4.5 ポイント高く、『実感していない層』は 4.5 ポイント低くなっています。

○　第１回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 4.6 ポイント高く、『実感していない層』は 3.5 ポイント低くなっています。

○　属性や属性項目における主な特徴（全体との差やこれまでの調査結果からの変化が大きい項目等）は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

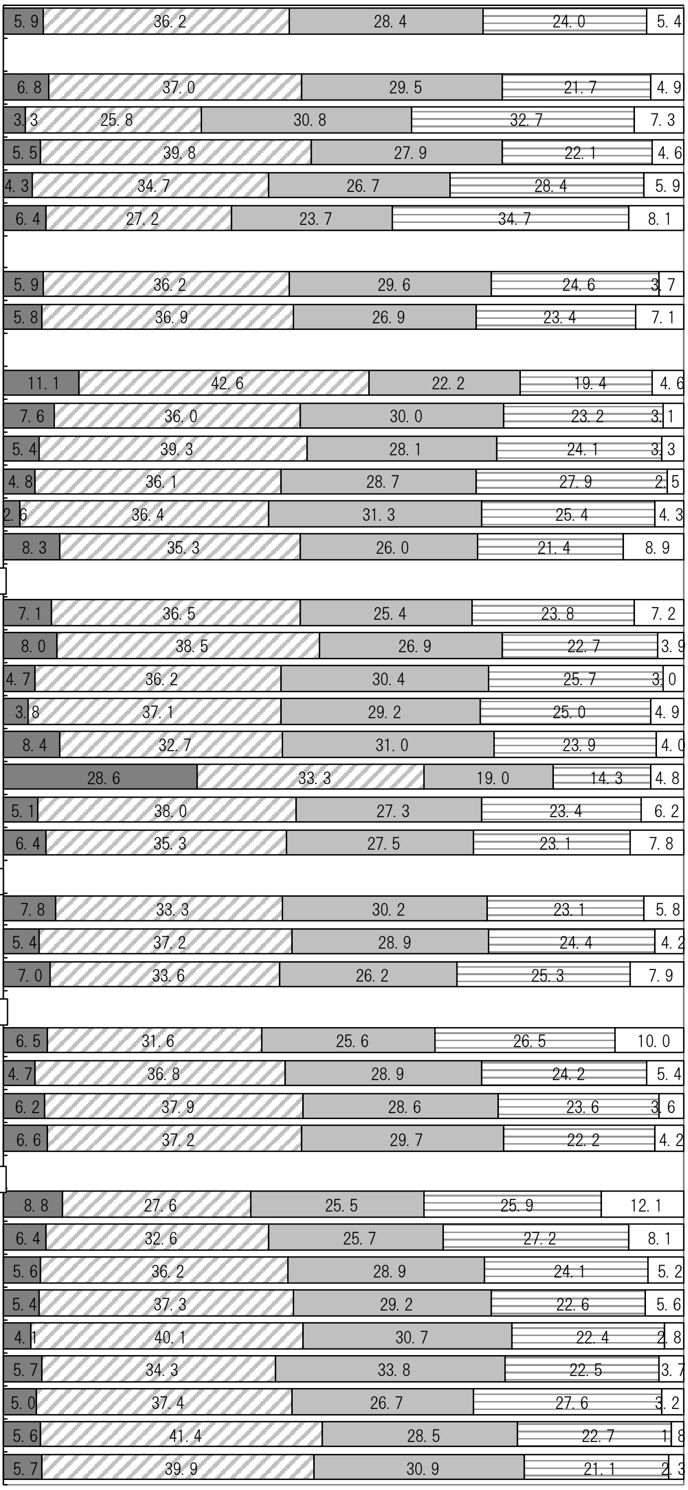
・伊賀の『実感している層』は全体より 13.0 ポイント低く、『実感していない層』は全体より 11.1 ポイント高い。
・18 歳から 20 歳代の『実感している層』は全体より 11.6 ポイント高く、前回調査より 12.6 ポイント高い。
　また、『実感していない層』は全体より 10.8 ポイント高く、前回調査より 14.2 ポイント低い。
・学生の『実感している層』は全体より 19.8 ポイント高く、『実感していない層』は全体より 19.1 ポイント低い。

図表 2-2-30　道路や公共交通機関等が整っている（第１回調査からの推移）



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出。

図表 2-2-31 道路や公共交通機関等が整っている(属性別)



凡例：■感じる　□どちらかといえば感じる　□どちらかといえば感じない　□感じない　□わからない・不明

	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	実感している層 今回 %	実感している層 (前回差) ﾎﾟｲﾝﾄ	実感している層 <第1回差> ﾎﾟｲﾝﾄ	実感していない層 今回 %	実感していない層 (前回差) ﾎﾟｲﾝﾄ	実感していない層 <第1回差> ﾎﾟｲﾝﾄ
全体	5.9	36.2	28.4	24.0	5.4	42.1	(4.5)	<4.6>	52.4	(-4.5)	(-3.5)
地域											
北勢	6.8	37.0	29.5	21.7	4.9	43.8	(2.5)	<1.5>	51.2	(-1.7)	(-1.1)
伊賀	3.3	25.8	30.8	32.7	7.3	29.1	(0.8)	<3.6>	63.5	(-5.0)	(-4.6)
中南勢	5.5	39.8	27.9	22.1	4.6	45.3	(8.7)	<5.4>	50.0	(-8.2)	(-2.1)
伊勢志摩	4.3	34.7	26.7	28.4	5.9	39.0	(3.7)	<8.3>	55.1	(-5.0)	(-6.0)
東紀州	6.4	27.2	23.7	34.7	8.1	33.6	(2.1)	<14.9>	58.4	(-3.2)	(-18.0)
性別											
男性	5.9	36.2	29.6	24.6	3.7	42.1	(3.8)	<4.2>	54.2	(-2.4)	(-3.3)
女性	5.8	36.9	26.9	23.4	7.1	42.7	(5.8)	<5.5>	50.3	(-7.2)	(-4.4)
年齢											
18歳から20歳代	11.1	42.6	22.2	19.4	4.6	53.7	(12.6)	<->	41.6	(-14.2)	<->
30歳代	7.6	36.0	30.0	23.2	3.1	43.6	(4.5)	<6.1>	53.2	(-4.5)	(-6.5)
40歳代	5.4	39.3	28.1	24.1	3.3	44.7	(7.7)	<8.9>	52.2	(-5.7)	(-6.8)
50歳代	4.8	36.1	28.7	27.9	2.5	40.9	(5.9)	<5.1>	56.6	(-4.5)	(-3.5)
60歳代	2.6	36.4	31.3	25.4	4.3	39.0	(2.5)	<1.5>	56.7	(-1.7)	(0.3)
70歳以上	8.3	35.3	26.0	21.4	8.9	43.6	(1.7)	<3.8>	47.4	(-1.2)	(-0.5)
主な職業											
農林水産業	7.1	36.5	25.4	23.8	7.2	43.6	(-3.4)	<7.0>	49.2	(-1.6)	(-7.1)
自営業・自由業	8.0	38.5	26.9	22.7	3.9	46.5	(5.4)	<4.4>	49.6	(-3.1)	(-2.6)
正規職員	4.7	36.2	30.4	25.7	3.0	40.9	(5.1)	<2.3>	56.1	(-5.2)	(-2.3)
ﾊﾟｰﾄ・ﾊﾞｲﾄ・派遣	3.8	37.1	29.2	25.0	4.9	40.9	(4.8)	<4.3>	54.2	(-3.9)	(-4.1)
その他の職業	8.4	32.7	31.0	23.9	4.0	41.1	(5.5)	<8.3>	54.9	(-1.8)	(-4.4)
学生	28.6	33.3	19.0	14.3	4.8	61.9	(7.5)	<22.9>	33.3	(-10.8)	(-25.2)
専業主婦・主夫	5.1	38.0	27.3	23.4	6.2	43.1	(5.0)	<8.6>	50.7	(-6.0)	(-7.1)
無職	6.4	35.3	27.5	23.1	7.8	41.7	(3.1)	<4.3>	50.6	(-3.1)	(-1.5)
配偶関係											
未婚	7.8	33.3	30.2	23.1	5.8	41.1	(-0.6)	<2.1>	53.3	(-0.6)	(-2.2)
有配偶	5.4	37.2	28.9	24.4	4.2	42.6	(5.6)	<5.0>	53.3	(-4.9)	(-3.3)
離別・死別	7.0	33.6	26.2	25.3	7.9	40.6	(0.5)	<4.2>	51.5	(0.4)	(-1.7)
世帯類型											
単独世帯	6.5	31.6	25.6	26.5	10.0	38.1	(2.6)	<3.2>	52.1	(-3.7)	(-2.3)
一世代世帯	4.7	36.8	28.9	24.2	5.4	41.5	(4.0)	<4.0>	53.1	(-4.8)	(-3.0)
二世代世帯	6.2	37.9	28.6	23.6	3.6	44.1	(6.9)	<6.0>	52.2	(-5.6)	(-4.2)
三世代世帯	6.6	37.2	29.7	22.2	4.2	43.8	(2.8)	<5.1>	51.9	(-2.0)	(-3.2)
世帯収入											
100万円未満	8.8	27.6	25.5	25.9	12.1	36.4	(8.1)	<->	51.4	(-12.5)	<->
～200万円未満	6.4	32.6	25.7	27.2	8.1	39.0	(-0.4)	<->	52.9	(1.5)	<->
～300万円未満	5.6	36.2	28.9	24.1	5.2	41.8	(2.3)	<->	53.0	(-1.7)	<->
～400万円未満	5.4	37.3	29.2	22.6	5.6	42.7	(5.6)	<->	51.8	(-7.5)	<->
～500万円未満	4.1	40.1	30.7	22.4	2.8	44.2	(6.2)	<->	53.1	(-3.6)	<->
～600万円未満	5.7	34.3	33.8	22.5	3.7	40.0	(5.1)	<->	56.3	(-2.6)	<->
～800万円未満	5.0	37.4	26.7	27.6	3.2	42.4	(3.7)	<->	54.3	(-4.6)	<->
～1,000万円未満	5.6	41.4	28.5	22.7	1.8	47.0	(6.9)	<->	51.2	(-4.5)	<->
1,000万円以上	5.7	39.9	30.9	21.1	2.3	45.6	(4.8)	<->	52.0	(-5.0)	<->

※年齢の 18 歳から 20 歳代については、第６回調査からの調査項目であるため、第１回調査と比較を行っていません。

※世帯収入については、第１回調査と収入区分が同一でないことから、比較を行っていません。

３．県民指標に関すること

「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画」で設定した施策の成果をあらわす指標（県民指標）の一部については、県民の皆さんの実感や状況で成果を測ることとしており、その実感や状況をみえ県民意識調査で把握します。

みえ県民意識調査で把握する県民指標の一覧については、以下のとおりです。

※問毎の集計結果は 48 ページから 63 ページに記載

問番号	県民指標	関連する県の施策
問３	人権が尊重されている社会になっていると感じる県民の割合	人権が尊重される社会づくり
問４	あらゆる分野で女性の社会参画が進んでいると感じる県民の割合	あらゆる分野における女性活躍の推進
問５	多文化共生の社会になっていると感じる県民の割合	多文化共生社会づくり
問６	地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じる県民の割合	少子化対策を進めるための環境づくり
問７	成人の週１回以上の運動・スポーツ実施率 （※今回調査から質問内容を変更）	地域スポーツと障がい者スポーツの推進
問８	地域活動等を行っている県民の割合	協創のネットワークづくり
問９	魅力ある県産農林水産物や加工品が販売されていると感じる県民の割合	農林水産業のイノベーションを支える人材育成と新たな価値の創出
問 10	得たいと思う県情報が得られていると感じる県民の割合	広聴広報の充実

➢ 県民の皆さんの実感や状況

問３ 県民一人ひとりの人権が尊重されている社会になっていると感じますか。
（関連する県の施策：人権が尊重される社会づくり）

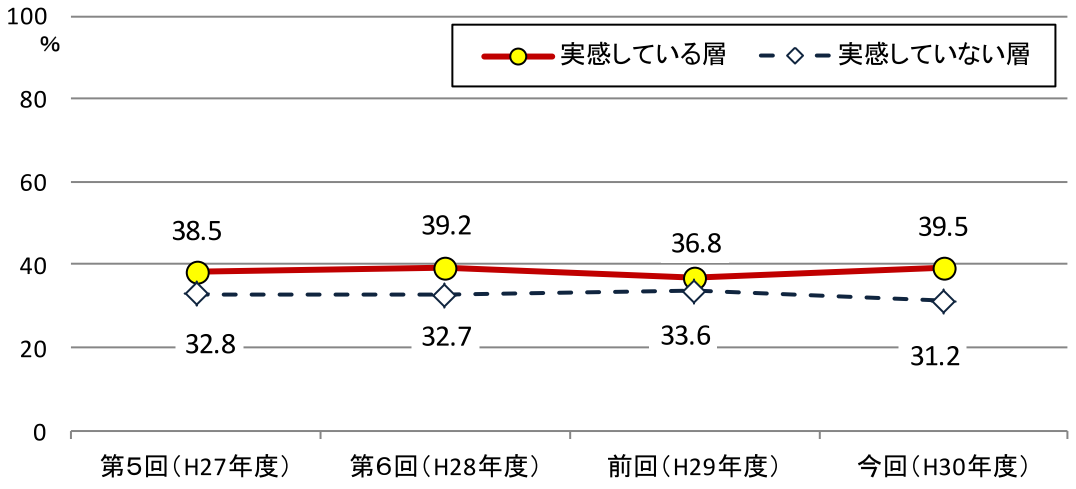
○ 県民一人ひとりの人権が尊重されている社会になっているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が 39.5%で、『実感していない層』の割合（31.2%）より 8.3 ポイント高くなっています。

○ 前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 2.7 ポイント高く、『実感していない層』は 2.4 ポイント低くなっています。

○ 属性や属性項目における主な特徴（全体との差や前回調査結果からの変化が大きい項目等）は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

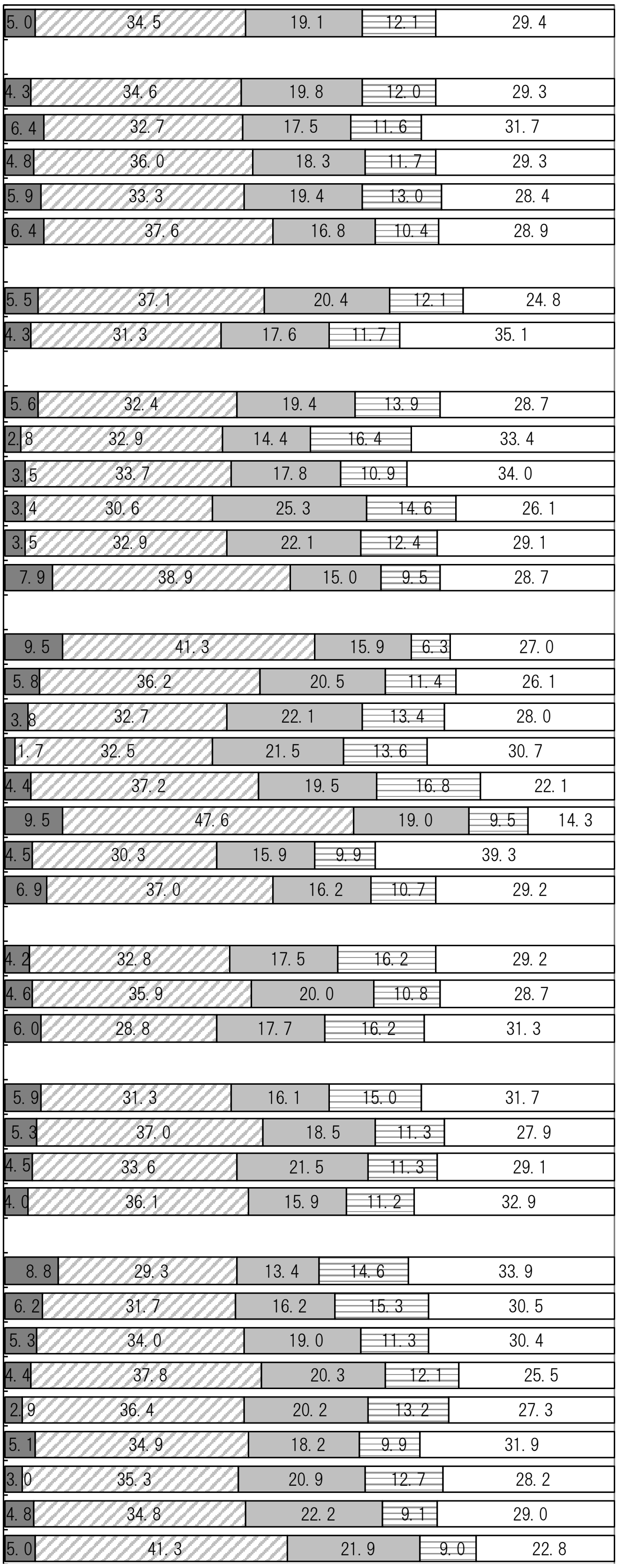
- 50 歳代の『実感している層』は全体より 5.5 ポイント低く、『実感していない層』は全体より 8.7 ポイント高い。
- 70 歳以上の『実感している層』は全体より 7.3 ポイント高い。
- 農林水産業の『実感している層』は全体より 11.3 ポイント高く、『実感していない層』は全体より 9.0 ポイント低い。
- 学生の『実感している層』は全体より 17.6 ポイント高く、前回調査より 7.1 ポイント高い。
- 世帯収入 100 万円未満の『実感していない層』は前回調査より 13.3 ポイント低い。
- 東紀州地域の『実感している層』は前回調査より 10.5 ポイント高く、『実感していない層』は前回調査より 11.2 ポイント低い。

図表 2-3-1 県民一人ひとりの人権が尊重されている社会になっている（第5回調査からの推移）



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

図表 2-3-2 県民一人ひとりの人権が尊重されている社会になっている（属性別）



凡例：感じる／どちらかといえば感じる／どちらかといえば感じない／感じない／わからない・不明

属性	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	実感している層 %	（前回差）ポイント	実感していない層 %	（前回差）ポイント
全体	5.0	34.5	19.1	12.1	29.4	39.5	(2.7)	31.2	(-2.4)
地域									
北勢	4.3	34.6	19.8	12.0	29.3	38.9	(2.1)	31.8	(-0.7)
伊賀	6.4	32.7	17.5	11.6	31.7	39.1	(4.3)	29.1	(-5.9)
中南勢	4.8	36.0	18.3	11.7	29.3	40.8	(3.3)	30.0	(-4.4)
伊勢志摩	5.9	33.3	19.4	13.0	28.4	39.2	(1.4)	32.4	(-2.0)
東紀州	6.4	37.6	16.8	10.4	28.9	44.0	(10.5)	27.2	(-11.2)
性別									
男性	5.5	37.1	20.4	12.1	24.8	42.6	(4.3)	32.5	(-2.5)
女性	4.3	31.3	17.6	11.7	35.1	35.6	(0.5)	29.3	(-3.1)
年齢									
18歳から20歳代	5.6	32.4	19.4	13.9	28.7	38.0	(-2.1)	33.3	(3.9)
30歳代	2.8	32.9	14.4	16.4	33.4	35.7	(2.0)	30.8	(-3.6)
40歳代	3.5	33.7	17.8	10.9	34.0	37.2	(3.8)	28.7	(-5.3)
50歳代	3.4	30.6	25.3	14.6	26.1	34.0	(-0.2)	39.9	(3.1)
60歳代	3.5	32.9	22.1	12.4	29.1	36.4	(-1.3)	34.5	(-0.7)
70歳以上	7.9	38.9	15.0	9.5	28.7	46.8	(4.1)	24.5	(-3.0)
主な職業									
農林水産業	9.5	41.3	15.9	6.3	27.0	50.8	(6.7)	22.2	(-10.9)
自営業・自由業	5.8	36.2	20.5	11.4	26.1	42.0	(3.4)	31.9	(2.1)
正規職員	3.8	32.7	22.1	13.4	28.0	36.5	(-0.4)	35.5	(0.8)
ﾊﾟｰﾄ・ﾊﾞｲﾄ・派遣	1.7	32.5	21.5	13.6	30.7	34.2	(1.4)	35.1	(-2.0)
その他の職業	4.4	37.2	19.5	16.8	22.1	41.6	(11.4)	36.3	(2.0)
学生	9.5	47.6	19.0	9.5	14.3	57.1	(7.1)	28.5	(0.6)
専業主婦・主夫	4.5	30.3	15.9	9.9	39.3	34.8	(-1.2)	25.8	(-5.5)
無職	6.9	37.0	16.2	10.7	29.2	43.9	(4.1)	26.9	(-5.9)
配偶関係									
未婚	4.2	32.8	17.5	16.2	29.2	37.0	(0.4)	33.7	(-1.7)
有配偶	4.6	35.9	20.0	10.8	28.7	40.5	(3.5)	30.8	(-2.3)
離別・死別	6.0	28.8	17.7	16.2	31.3	34.8	(-0.6)	33.9	(-1.9)
世帯類型									
単独世帯	5.9	31.3	16.1	15.0	31.7	37.2	(-1.9)	31.1	(-4.4)
一世代世帯	5.3	37.0	18.5	11.3	27.9	42.3	(5.9)	29.8	(-3.5)
二世代世帯	4.5	33.6	21.5	11.3	29.1	38.1	(1.8)	32.8	(-1.2)
三世代世帯	4.0	36.1	15.9	11.2	32.9	40.1	(0.5)	27.1	(-5.3)
世帯収入									
100万円未満	8.8	29.3	13.4	14.6	33.9	38.1	(5.6)	28.0	(-13.3)
～200万円未満	6.2	31.7	16.2	15.3	30.5	37.9	(1.4)	31.5	(-5.3)
～300万円未満	5.3	34.0	19.0	11.3	30.4	39.3	(3.3)	30.3	(-3.6)
～400万円未満	4.4	37.8	20.3	12.1	25.5	42.2	(5.7)	32.4	(-2.2)
～500万円未満	2.9	36.4	20.2	13.2	27.3	39.3	(3.1)	33.4	(-1.7)
～600万円未満	5.1	34.9	18.2	9.9	31.9	40.0	(2.2)	28.1	(-6.4)
～800万円未満	3.0	35.3	20.9	12.7	28.2	38.3	(-1.7)	33.6	(1.2)
～1,000万円未満	4.8	34.8	22.2	9.1	29.0	39.6	(0.3)	31.3	(0.2)
1,000万円以上	5.0	41.3	21.9	9.0	22.8	46.3	(5.0)	30.9	(3.1)

※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

問４　あらゆる分野で女性の社会参画が進んでいると感じますか。

（関連する県の施策：あらゆる分野における女性活躍の推進）

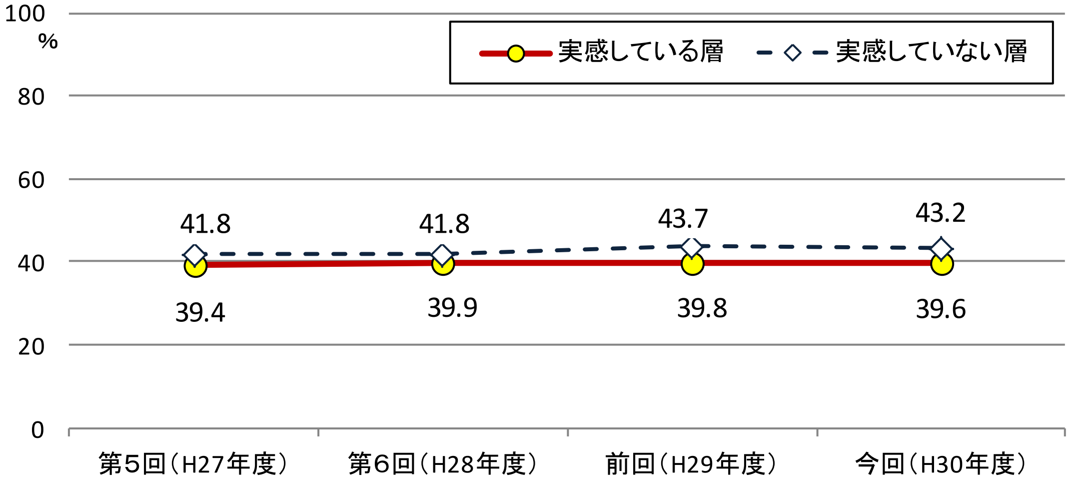
○　あらゆる分野で女性の社会参画が進んでいるかどうかの実感については、『実感している層』の割合が 39.6%で、『実感していない層』の割合（43.2%）より 3.6 ポイント低くなっています。

○　前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 0.2 ポイント低く、『実感していない層』は 0.5 ポイント低くなっています。

○　属性や属性項目における主な特徴（全体との差や前回調査結果からの変化が大きい項目等）は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

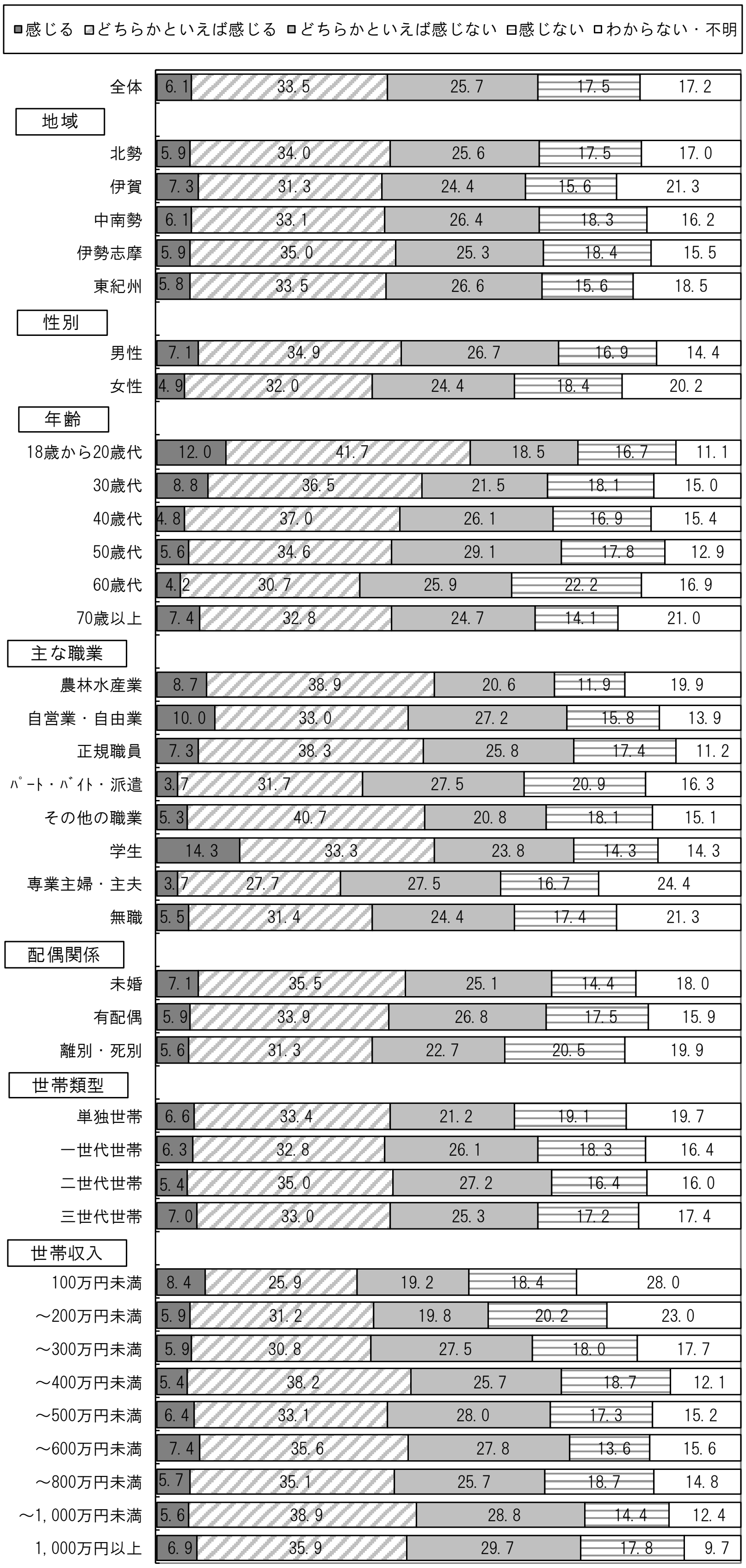
・男性の『実感している層』は全体より 2.4 ポイント高く、女性より 5.1 ポイント高い。
・18 歳から 20 歳代の『実感している層』は全体より 14.1 ポイント高く、前回調査より 12.6 ポイント高い。
・農林水産業の『実感している層』は全体より 8.0 ポイント高く、『実感していない層』は全体より 10.7 ポイント低い。
・パート・バイト・派遣の『実感していない層』は全体より 5.2 ポイント高い。
・学生の『実感している層』は全体より 8.0 ポイント高い。
・専業主婦・主夫の『実感している層』は全体より 8.2 ポイント低い。

図表 2-3-3　あらゆる分野で女性の社会参画が進んでいる（第5回調査からの推移）



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

図表 2-3-4 あらゆる分野で女性の社会参画が進んでいる(属性別)



	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	実感している層 %	(前回差)ポイント	実感していない層 %	(前回差)ポイント
全体	6.1	33.5	25.7	17.5	17.2	39.6	(-0.2)	43.2	(-0.5)
地域									
北勢	5.9	34.0	25.6	17.5	17.0	39.9	(0.4)	43.1	(-0.1)
伊賀	7.3	31.3	24.4	15.6	21.3	38.6	(-2.1)	40.0	(-1.8)
中南勢	6.1	33.1	26.4	18.3	16.2	39.2	(-1.2)	44.7	(-0.3)
伊勢志摩	5.9	35.0	25.3	18.4	15.5	40.9	(0.7)	43.7	(-0.9)
東紀州	5.8	33.5	26.6	15.6	18.5	39.3	(1.9)	42.2	(-2.6)
性別									
男性	7.1	34.9	26.7	16.9	14.4	42.0	(0.3)	43.6	(-0.2)
女性	4.9	32.0	24.4	18.4	20.2	36.9	(-1.0)	42.8	(-1.0)
年齢									
18歳から20歳代	12.0	41.7	18.5	16.7	11.1	53.7	(12.6)	35.2	(-5.4)
30歳代	8.8	36.5	21.5	18.1	15.0	45.3	(4.2)	39.6	(-4.3)
40歳代	4.8	37.0	26.1	16.9	15.4	41.8	(0.6)	43.0	(-1.8)
50歳代	5.6	34.6	29.1	17.8	12.9	40.2	(0.3)	46.9	(1.5)
60歳代	4.2	30.7	25.9	22.2	16.9	34.9	(-2.3)	48.1	(1.1)
70歳以上	7.4	32.8	24.7	14.1	21.0	40.2	(-0.9)	38.8	(2.1)
主な職業									
農林水産業	8.7	38.9	20.6	11.9	19.9	47.6	(0.6)	32.5	(-7.2)
自営業・自由業	10.0	33.0	27.2	15.8	13.9	43.0	(-2.2)	43.0	(5.3)
正規職員	7.3	38.3	25.8	17.4	11.2	45.6	(2.7)	43.2	(-1.3)
ﾊﾟｰﾄ・ﾊﾞｲﾄ・派遣	3.7	31.7	27.5	20.9	16.3	35.4	(-2.9)	48.4	(0.8)
その他の職業	5.3	40.7	20.8	18.1	15.1	46.0	(4.4)	38.9	(-4.7)
学生	14.3	33.3	23.8	14.3	14.3	47.6	(-0.9)	38.1	(-4.6)
専業主婦・主夫	3.7	27.7	27.5	16.7	24.4	31.4	(-1.7)	44.2	(0.8)
無職	5.5	31.4	24.4	17.4	21.3	36.9	(1.0)	41.8	(-1.6)
配偶関係									
未婚	7.1	35.5	25.1	14.4	18.0	42.6	(3.9)	39.5	(-3.5)
有配偶	5.9	33.9	26.8	17.5	15.9	39.8	(-0.3)	44.3	(-0.1)
離別・死別	5.6	31.3	22.7	20.5	19.9	36.9	(-3.1)	43.2	(3.3)
世帯類型									
単独世帯	6.6	33.4	21.2	19.1	19.7	40.0	(2.8)	40.3	(-0.9)
一世代世帯	6.3	32.8	26.1	18.3	16.4	39.1	(1.4)	44.4	(-0.6)
二世代世帯	5.4	35.0	27.2	16.4	16.0	40.4	(-0.4)	43.6	(-0.6)
三世代世帯	7.0	33.0	25.3	17.2	17.4	40.0	(-3.4)	42.5	(0.7)
世帯収入									
100万円未満	8.4	25.9	19.2	18.4	28.0	34.3	(2.3)	37.6	(-6.9)
～200万円未満	5.9	31.2	19.8	20.2	23.0	37.1	(2.8)	40.0	(-2.0)
～300万円未満	5.9	30.8	27.5	18.0	17.7	36.7	(-3.0)	45.5	(2.2)
～400万円未満	5.4	38.2	25.7	18.7	12.1	43.6	(8.2)	44.4	(-1.2)
～500万円未満	6.4	33.1	28.0	17.3	15.2	39.5	(-2.5)	45.3	(0.5)
～600万円未満	7.4	35.6	27.8	13.6	15.6	43.0	(-0.3)	41.4	(-2.0)
～800万円未満	5.7	35.1	25.7	18.7	14.8	40.8	(0.6)	44.4	(-2.4)
～1,000万円未満	5.6	38.9	28.8	14.4	12.4	44.5	(-0.8)	43.2	(-1.1)
1,000万円以上	6.9	35.9	29.7	17.8	9.7	42.8	(-4.5)	47.5	(6.2)

※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

問５　外国人住民が地域社会の一員として共に暮らせる社会になっていると感じますか。
（関連する県の施策：多文化共生社会づくり）

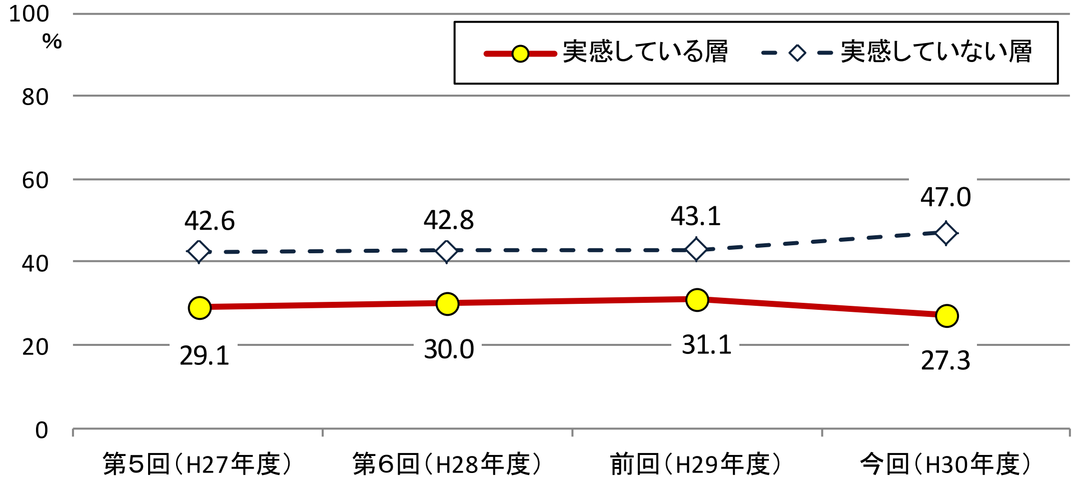
○　外国人住民が地域社会の一員として共に暮らせる社会になっているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が 27.3%で、『実感していない層』の割合（47.0%）より 19.7 ポイント低くなっています。

○　前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 3.8 ポイント低く、『実感していない層』は 3.9 ポイント高くなっています。

○　属性や属性項目における主な特徴（全体との差や前回調査結果からの変化が大きい項目等）は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

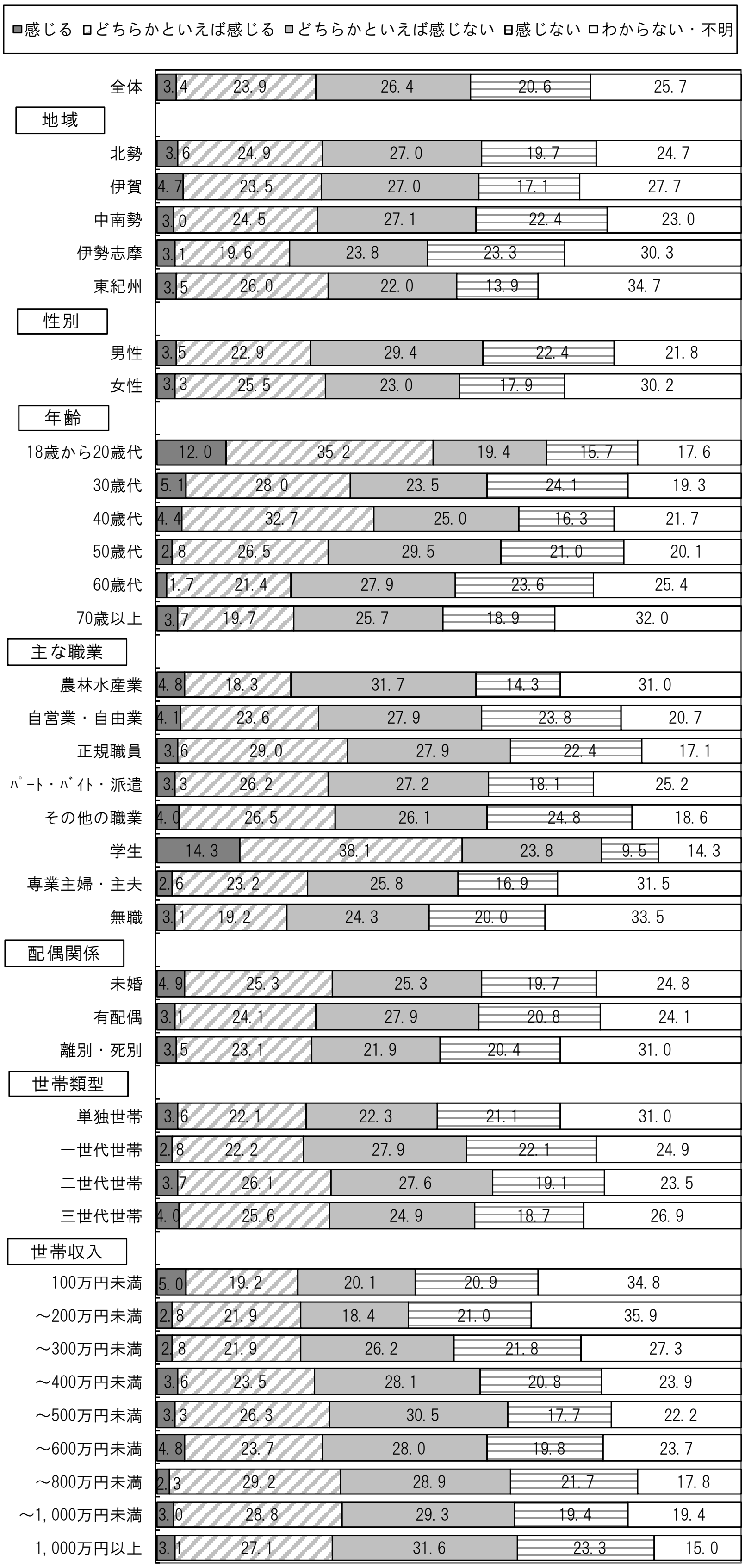
・18 歳から 20 歳代の『実感している層』は全体より 19.9 ポイント高く、『実感していない層』は全体より 11.9 ポイント低い。
・30 歳代の『実感している層』は前回調査より 6.8 ポイント低く、『実感していない層』は前回調査より 10.6 ポイント高い。
・40 歳代の『実感している層』は全体より 9.8 ポイント高い。
・学生の『実感している層』は全体より 25.1 ポイント高く、『実感していない層』は全体より 13.7 ポイント低い。
・無職の『実感している層』は全体より 5.0 ポイント低い。

図表 2-3-5　外国人住民が地域社会の一員として共に暮らせる社会になっている（第5回調査からの推移）



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

図表 2-3-6 外国人住民が地域社会の一員として共に暮らせる社会になっている（属性別）



属性	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	実感している層 %	（前回差）ポイント	実感していない層 %	（前回差）ポイント
全体	3.4	23.9	26.4	20.6	25.7	27.3	(-3.8)	47.0	(3.9)
地域									
北勢	3.6	24.9	27.0	19.7	24.7	28.5	(-4.4)	46.7	(3.3)
伊賀	4.7	23.5	27.0	17.1	27.7	28.2	(-3.3)	44.1	(1.0)
中南勢	3.0	24.5	27.1	22.4	23.0	27.5	(-3.8)	49.5	(5.7)
伊勢志摩	3.1	19.6	23.8	23.3	30.3	22.7	(-2.6)	47.1	(4.6)
東紀州	3.5	26.0	22.0	13.9	34.7	29.5	(0.9)	35.9	(-2.5)
性別									
男性	3.5	22.9	29.4	22.4	21.8	26.4	(-2.6)	51.8	(4.1)
女性	3.3	25.5	23.0	17.9	30.2	28.8	(-4.8)	40.9	(2.3)
年齢									
18歳から20歳代	12.0	35.2	19.4	15.7	17.6	47.2	(-1.0)	35.1	(0.5)
30歳代	5.1	28.0	23.5	24.1	19.3	33.1	(-6.8)	47.6	(10.6)
40歳代	4.4	32.7	25.0	16.3	21.7	37.1	(1.6)	41.3	(-0.4)
50歳代	2.8	26.5	29.5	21.0	20.1	29.3	(-1.4)	50.5	(1.9)
60歳代	1.7	21.4	27.9	23.6	25.4	23.1	(-4.3)	51.5	(6.9)
70歳以上	3.7	19.7	25.7	18.9	32.0	23.4	(-1.7)	44.6	(3.8)
主な職業									
農林水産業	4.8	18.3	31.7	14.3	31.0	23.1	(-1.9)	46.0	(-0.3)
自営業・自由業	4.1	23.6	27.9	23.8	20.7	27.7	(-2.7)	51.7	(5.3)
正規職員	3.6	29.0	27.9	22.4	17.1	32.6	(-0.4)	50.3	(2.7)
ﾊﾟｰﾄ・ﾊﾞｲﾄ・派遣	3.3	26.2	27.2	18.1	25.2	29.5	(-5.5)	45.3	(6.2)
その他の職業	4.0	26.5	26.1	24.8	18.6	30.5	(-2.2)	50.9	(6.0)
学生	14.3	38.1	23.8	9.5	14.3	52.4	(-4.9)	33.3	(5.4)
専業主婦・主夫	2.6	23.2	25.8	16.9	31.5	25.8	(-4.0)	42.7	(3.2)
無職	3.1	19.2	24.3	20.0	33.5	22.3	(-2.4)	44.3	(2.9)
配偶関係									
未婚	4.9	25.3	25.3	19.7	24.8	30.2	(-4.5)	45.0	(4.2)
有配偶	3.1	24.1	27.9	20.8	24.1	27.2	(-3.9)	48.7	(4.6)
離別・死別	3.5	23.1	21.9	20.4	31.0	26.6	(-1.5)	42.3	(5.2)
世帯類型									
単独世帯	3.6	22.1	22.3	21.1	31.0	25.7	(-1.0)	43.4	(7.0)
一世代世帯	2.8	22.2	27.9	22.1	24.9	25.0	(-3.3)	50.0	(6.1)
二世代世帯	3.7	26.1	27.6	19.1	23.5	29.8	(-3.2)	46.7	(2.7)
三世代世帯	4.0	25.6	24.9	18.7	26.9	29.6	(-5.4)	43.6	(1.0)
世帯収入									
100万円未満	5.0	19.2	20.1	20.9	34.8	24.2	(2.3)	41.0	(-3.5)
～200万円未満	2.8	21.9	18.4	21.0	35.9	24.7	(-0.2)	39.4	(-1.7)
～300万円未満	2.8	21.9	26.2	21.8	27.3	24.7	(-2.5)	48.0	(4.8)
～400万円未満	3.6	23.5	28.1	20.8	23.9	27.1	(-6.0)	48.9	(8.5)
～500万円未満	3.3	26.3	30.5	17.7	22.2	29.6	(-4.4)	48.2	(8.1)
～600万円未満	4.8	23.7	28.0	19.8	23.7	28.5	(-4.2)	47.8	(3.1)
～800万円未満	2.3	29.2	28.9	21.7	17.8	31.5	(-2.4)	50.6	(2.5)
～1,000万円未満	3.0	28.8	29.3	19.4	19.4	31.8	(-2.2)	48.7	(2.6)
1,000万円以上	3.1	27.1	31.6	23.3	15.0	30.2	(-4.8)	54.9	(8.0)

※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

問６　地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っていると感じますか。
（関連する県の施策：少子化対策を進めるための環境づくり）

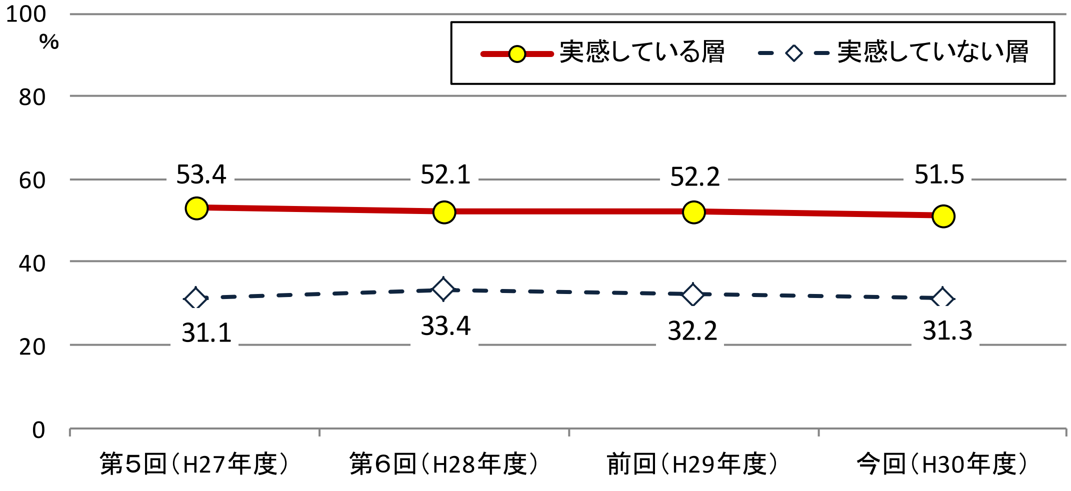
○　地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が 51.5%で、『実感していない層』の割合（31.3%）より 20.2 ポイント高くなっています。

○　前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 0.7 ポイント、『実感していない層』が 0.9 ポイントいずれも低くなっています。

○　属性や属性項目における主な特徴（全体との差や前回調査結果からの変化が大きい項目等）は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

・東紀州の『実感していない層』は全体より 9.9 ポイント低く、前回調査より 7.1 ポイント低い。
・農林水産業の『実感している層』は全体より 17.6 ポイント高く、『実感していない層』は全体より 13.1 ポイント低い。
・学生の『実感していない層』は全体より 12.3 ポイント低い。
・未婚の『実感している層』は全体より 10.3 ポイント低く、前回調査より 5.4 ポイント低い。
・世帯収入が 100 万円未満の『実感していない層』は全体より 5.3 ポイント低く、前回調査より 6.0 ポイント低い。

図表 2-3-7　地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っている（第５回調査からの推移）



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

図表 2-3-8 地域社会の見守りの中で、子どもが元気に育っている（属性別）

	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	実感している層 %	（前回差）ﾎﾟｲﾝﾄ	実感していない層 %	（前回差）ﾎﾟｲﾝﾄ
全体	9.9	41.6	18.5	12.8	17.2	51.5	(-0.7)	31.3	(-0.9)
地域									
北勢	9.7	42.5	18.9	12.4	16.5	52.2	(0.7)	31.3	(-1.9)
伊賀	10.4	40.3	19.0	13.0	17.3	50.7	(-2.3)	32.0	(2.1)
中南勢	8.2	41.5	19.8	13.2	17.3	49.7	(-2.5)	33.0	(0.5)
伊勢志摩	10.3	41.4	16.8	13.9	17.6	51.7	(-2.6)	30.7	(-0.6)
東紀州	16.8	39.3	11.6	9.8	22.5	56.1	(0.0)	21.4	(-7.1)
性別									
男性	9.4	41.0	20.4	14.3	14.9	50.4	(2.3)	34.7	(-3.0)
女性	10.4	42.7	16.2	10.8	19.9	53.1	(-3.4)	27.0	(0.0)
年齢									
18歳から20歳代	13.0	41.7	13.9	14.8	16.7	54.7	(1.9)	28.7	(0.2)
30歳代	9.3	43.3	15.0	17.8	14.4	52.6	(-4.9)	32.8	(4.0)
40歳代	8.4	43.4	19.9	14.6	13.6	51.8	(-2.2)	34.5	(2.8)
50歳代	6.1	41.1	22.2	14.3	16.2	47.2	(0.4)	36.5	(-1.2)
60歳代	6.4	41.2	19.9	14.3	18.1	47.6	(-2.9)	34.2	(0.2)
70歳以上	15.1	41.7	15.8	8.7	18.7	56.8	(-0.9)	24.5	(-1.3)
主な職業									
農林水産業	16.7	52.4	11.1	7.1	12.7	69.1	(5.1)	18.2	(-9.7)
自営業・自由業	10.8	39.6	19.4	15.2	15.0	50.4	(1.3)	34.6	(0.5)
正規職員	6.9	40.4	22.0	17.2	13.5	47.3	(-1.4)	39.2	(2.0)
ﾊﾟｰﾄ・ﾊﾞｲﾄ・派遣	8.6	44.6	17.6	11.2	17.9	53.2	(-1.7)	28.8	(-2.5)
その他の職業	8.0	43.8	19.5	15.9	12.8	51.8	(0.8)	35.4	(1.4)
学生	28.6	28.6	9.5	9.5	23.8	57.2	(-6.0)	19.0	(-3.0)
専業主婦・主夫	9.4	45.7	17.6	7.3	20.1	55.1	(-2.6)	24.9	(-2.2)
無職	12.3	39.8	16.5	10.9	20.6	52.1	(0.1)	27.4	(-2.0)
配偶関係									
未婚	7.3	33.9	16.6	13.3	28.9	41.2	(-5.4)	29.9	(3.1)
有配偶	9.9	43.7	19.1	13.0	14.4	53.6	(0.1)	32.1	(-1.1)
離別・死別	10.6	37.8	17.6	12.4	21.5	48.4	(-2.3)	30.0	(0.8)
世帯類型									
単独世帯	9.2	35.0	16.4	13.1	26.3	44.2	(-3.4)	29.5	(-0.2)
一世代世帯	9.8	42.2	18.2	12.8	17.0	52.0	(0.0)	31.0	(-1.2)
二世代世帯	9.2	42.5	20.1	13.1	15.0	51.7	(0.2)	33.2	(-1.0)
三世代世帯	13.2	47.8	15.9	11.5	11.7	61.0	(1.1)	27.4	(0.2)
世帯収入									
100万円未満	17.2	31.4	15.1	10.9	25.5	48.6	(3.0)	26.0	(-6.0)
～200万円未満	9.3	38.3	15.7	11.7	25.0	47.6	(-3.9)	27.4	(-0.2)
～300万円未満	10.3	42.4	18.7	11.1	17.5	52.7	(-2.5)	29.8	(-0.1)
～400万円未満	10.1	45.6	17.1	12.8	14.4	55.7	(2.0)	29.9	(-1.0)
～500万円未満	8.4	44.0	19.8	13.0	14.8	52.4	(-1.4)	32.8	(0.6)
～600万円未満	10.6	43.4	17.9	13.6	14.5	54.0	(4.7)	31.5	(-5.2)
～800万円未満	8.7	41.9	22.6	14.4	12.3	50.6	(-5.5)	37.0	(3.5)
～1,000万円未満	6.8	45.5	21.5	13.4	12.9	52.3	(0.3)	34.9	(-0.3)
1,000万円以上	7.6	46.3	21.1	14.5	10.4	53.9	(3.1)	35.6	(1.1)

※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

問７　１週間にどのくらい運動やスポーツを実施していますか。
（関連する県の施策：地域スポーツと障がい者スポーツの推進）

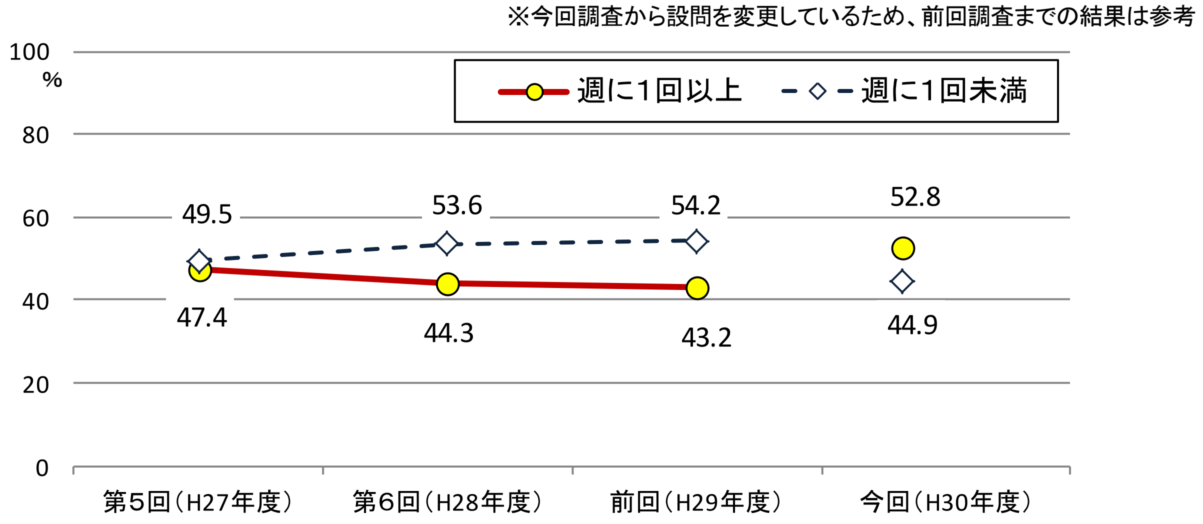
※今回調査から設問を変更しています。

○　１週間にどのくらい運動やスポーツを実施しているかの状況については、『週に１回以上』の割合が 52.8%で、『週に１回未満』の割合（44.9%）より 7.9 ポイント高くなっています。

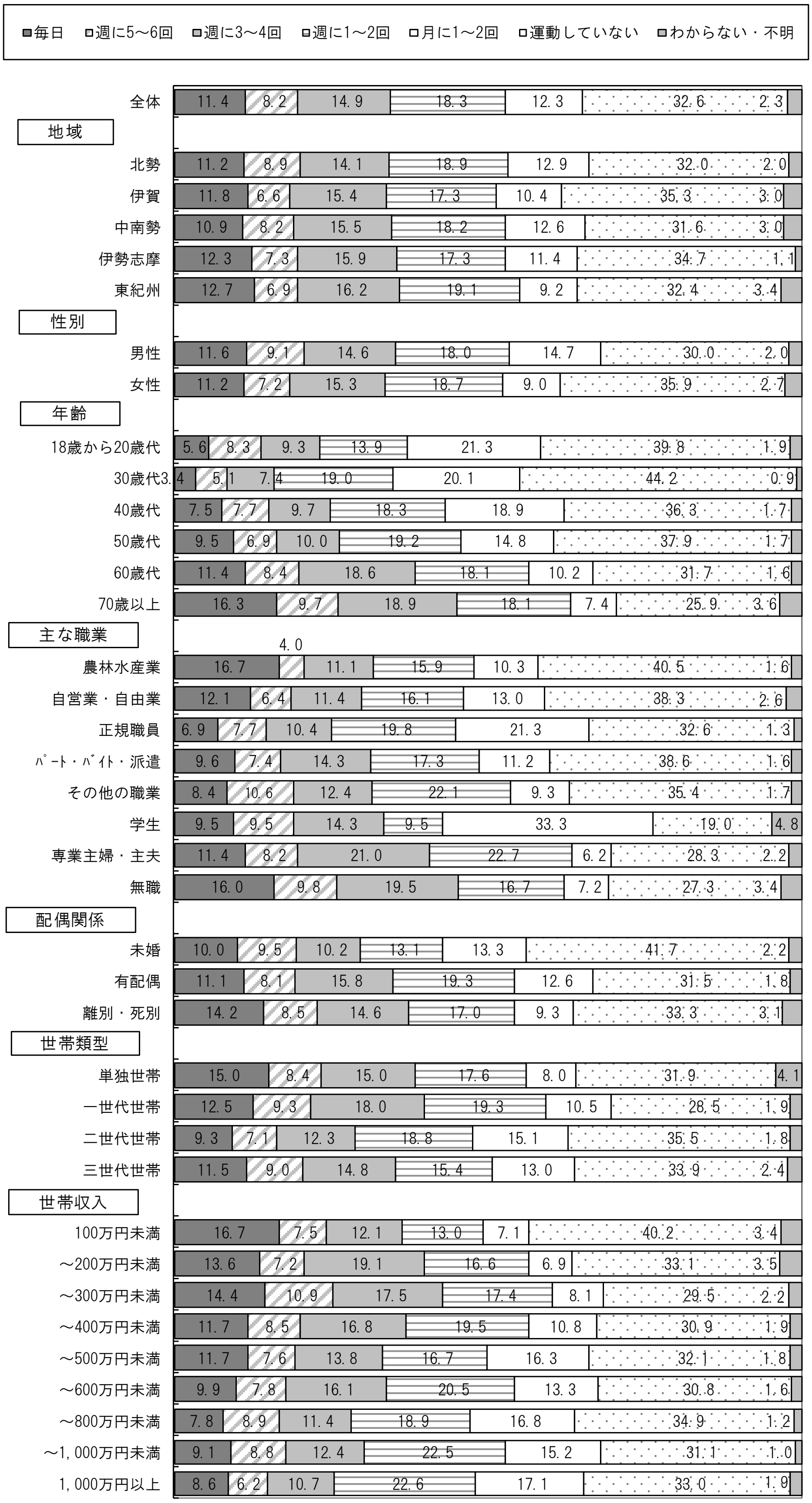
○　属性や属性項目における主な特徴（全体との差が大きい項目）は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

・18 歳から 20 歳代の『週に１回以上』は全体より 15.7 ポイント低く、『週に１回未満』は全体より 16.2 ポイント高い。
・30 歳代の『週に１回以上』は全体より 17.9 ポイント低く、『週に１回未満』は全体より 19.4 ポイント高い。
・70 歳以上の『週に１回以上』は全体より 10.2 ポイント高く、『週に１回未満』は全体より 11.6 ポイント低い。
・専業主婦・主夫の『週に１回以上』は全体より 10.5 ポイント高く、『週に１回未満』は全体より 10.4 ポイント低い。
・無職の『週に１回未満』は全体より 10.4 ポイント低い。
・未婚の『週に１回以上』は全体より 10.0 ポイント低く、『週に１回未満』は全体より 10.1 ポイント高い。

図表 2-3-9　1週間にどのくらい運動やスポーツを実施しているか。（第5回調査からの推移）



図表 2-3-10 １週間にどのくらい運動やスポーツを実施しているか（属性別）



	毎日	週に5～6回	週に3～4回	週に1～2回	月に1～2回	運動していない	わからない・不明	週に1回以上 %	(前回差) ﾎﾟｲﾝﾄ	週に1回未満 %	(前回差) ﾎﾟｲﾝﾄ
全体	11.4	8.2	14.9	18.3	12.3	32.6	2.3	52.8	<->	44.9	<->
地域											
北勢	11.2	8.9	14.1	18.9	12.9	32.0	2.0	53.1	<->	44.9	<->
伊賀	11.8	6.6	15.4	17.3	10.4	35.3	3.0	51.1	<->	45.7	<->
中南勢	10.9	8.2	15.5	18.2	12.6	31.6	3.0	52.8	<->	44.2	<->
伊勢志摩	12.3	7.3	15.9	17.3	11.4	34.7	1.1	52.8	<->	46.1	<->
東紀州	12.7	6.9	16.2	19.1	9.2	32.4	3.4	54.9	<->	41.6	<->
性別											
男性	11.6	9.1	14.6	18.0	14.7	30.0	2.0	53.3	<->	44.7	<->
女性	11.2	7.2	15.3	18.7	9.0	35.9	2.7	52.4	<->	44.9	<->
年齢											
18歳から20歳代	5.6	8.3	9.3	13.9	21.3	39.8	1.9	37.1	<->	61.1	<->
30歳代	3.4	5.1	7.4	19.0	20.1	44.2	0.9	34.9	<->	64.3	<->
40歳代	7.5	7.7	9.7	18.3	18.9	36.3	1.7	43.2	<->	55.2	<->
50歳代	9.5	6.9	10.0	19.2	14.8	37.9	1.7	45.6	<->	52.7	<->
60歳代	11.4	8.4	18.6	18.1	10.2	31.7	1.6	56.5	<->	41.9	<->
70歳以上	16.3	9.7	18.9	18.1	7.4	25.9	3.6	63.0	<->	33.3	<->
主な職業											
農林水産業	16.7	4.0	11.1	15.9	10.3	40.5	1.6	47.7	<->	50.8	<->
自営業・自由業	12.1	6.4	11.4	16.1	13.0	38.3	2.6	46.0	<->	51.3	<->
正規職員	6.9	7.7	10.4	19.8	21.3	32.6	1.3	44.8	<->	53.9	<->
ﾊﾟｰﾄ・ﾊﾞｲﾄ・派遣	9.6	7.4	14.3	17.3	11.2	38.6	1.6	48.6	<->	49.8	<->
その他の職業	8.4	10.6	12.4	22.1	9.3	35.4	1.7	53.5	<->	44.7	<->
学生	9.5	9.5	14.3	9.5	33.3	19.0	4.8	42.8	<->	52.3	<->
専業主婦・主夫	11.4	8.2	21.0	22.7	6.2	28.3	2.2	63.3	<->	34.5	<->
無職	16.0	9.8	19.5	16.7	7.2	27.3	3.4	62.0	<->	34.5	<->
配偶関係											
未婚	10.0	9.5	10.2	13.1	13.3	41.7	2.2	42.8	<->	55.0	<->
有配偶	11.1	8.1	15.8	19.3	12.6	31.5	1.8	54.3	<->	44.1	<->
離別・死別	14.2	8.5	14.6	17.0	9.3	33.3	3.1	54.3	<->	42.6	<->
世帯類型											
単独世帯	15.0	8.4	15.0	17.6	8.0	31.9	4.1	56.0	<->	39.9	<->
一世代世帯	12.5	9.3	18.0	19.3	10.5	28.5	1.9	59.1	<->	39.0	<->
二世代世帯	9.3	7.1	12.3	18.8	15.1	35.5	1.8	47.5	<->	50.6	<->
三世代世帯	11.5	9.0	14.8	15.4	13.0	33.9	2.4	50.7	<->	46.9	<->
世帯収入											
100万円未満	16.7	7.5	12.1	13.0	7.1	40.2	3.4	49.3	<->	47.3	<->
～200万円未満	13.6	7.2	19.1	16.6	6.9	33.1	3.5	56.5	<->	40.0	<->
～300万円未満	14.4	10.9	17.5	17.4	8.1	29.5	2.2	60.2	<->	37.6	<->
～400万円未満	11.7	8.5	16.8	19.5	10.8	30.9	1.9	56.5	<->	41.7	<->
～500万円未満	11.7	7.6	13.8	16.7	16.3	32.1	1.8	49.8	<->	48.4	<->
～600万円未満	9.9	7.8	16.1	20.5	13.3	30.8	1.6	54.3	<->	44.1	<->
～800万円未満	7.8	8.9	11.4	18.9	16.8	34.9	1.2	47.0	<->	51.7	<->
～1,000万円未満	9.1	8.8	12.4	22.5	15.2	31.1	1.0	52.8	<->	46.3	<->
1,000万円以上	8.6	6.2	10.7	22.6	17.1	33.0	1.9	48.1	<->	50.1	<->

※「週に１回以上」の割合・・・「毎日」から「週に１～２回」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「週に１回未満」の割合・・・「月に１～２回」と「運動していない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

問８　ＮＰＯ活動・ボランティア活動・市民活動などの地域をより良くするための活動に参加されていますか。　（関連する県の施策：協創のネットワークづくり）

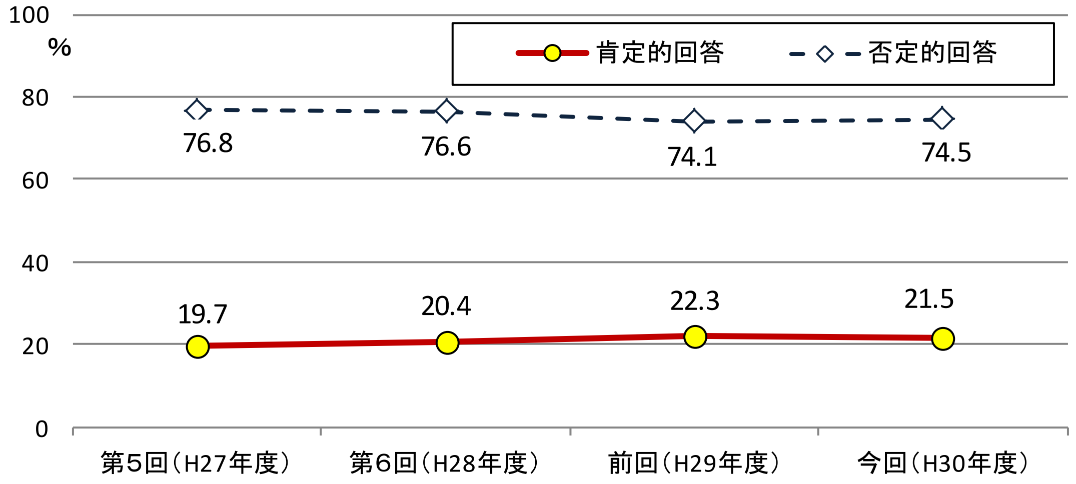
○　ＮＰＯ活動・ボランティア活動・市民活動などの地域をより良くするための活動に参加しているかどうかの実感については、『肯定的回答』の割合が 21.5%で、『否定的回答』の割合（74.5%）より 53.0 ポイント低くなっています。

○　前回調査の割合と比較すると、『肯定的回答』が 0.8 ポイント低く、『否定的回答』は 0.4 ポイント高くなっています。

○　属性や属性項目における主な特徴（全体との差や前回調査結果からの変化が大きい項目等）は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

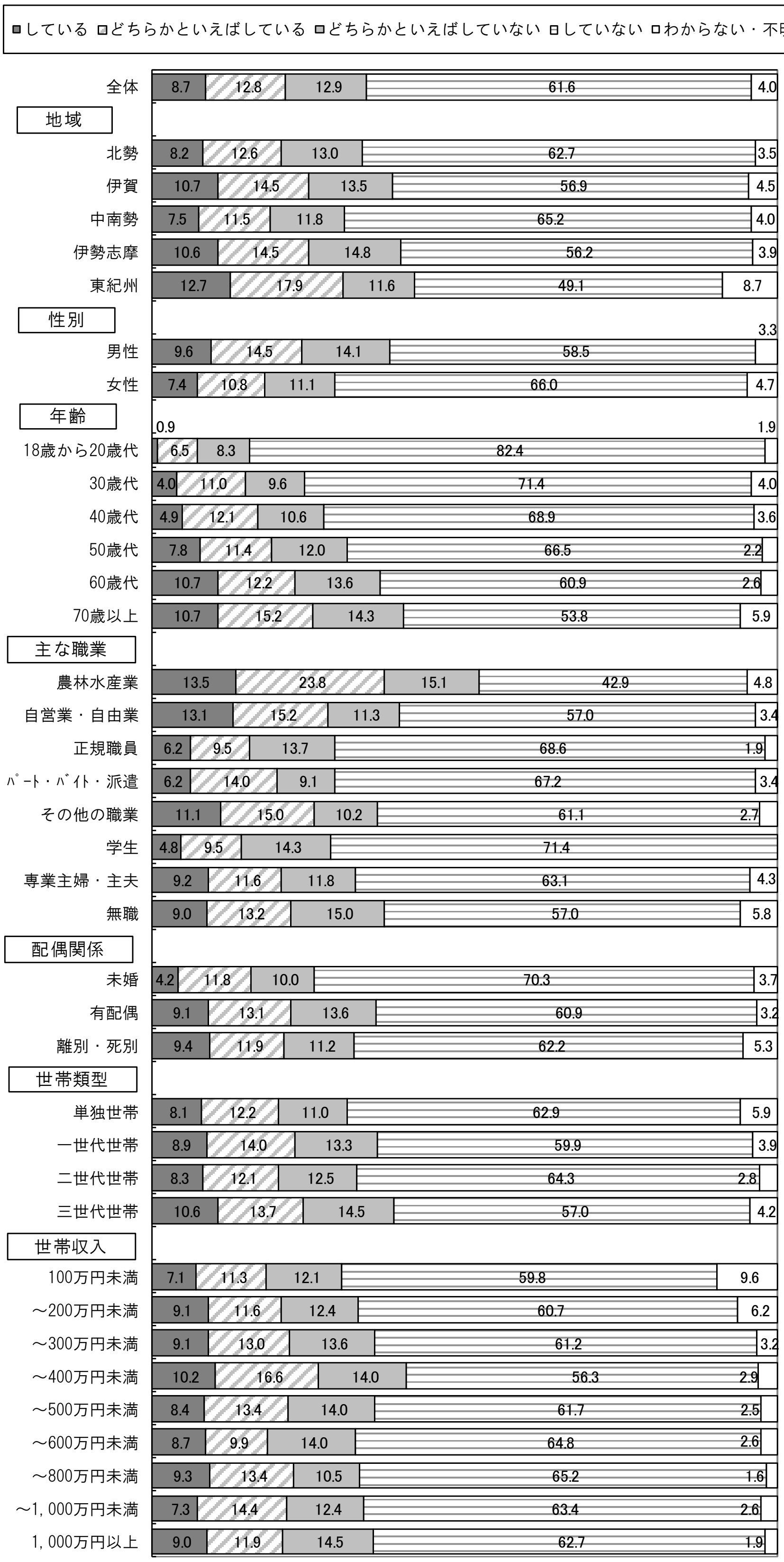
・東紀州の『肯定的回答』は全体より 9.1 ポイント高く、前回調査より 12.4 ポイント高い。
・18 歳から 20 歳代の『肯定的回答』は全体より 14.1 ポイント低く、『否定的回答』は全体より 16.2 ポイント高い。
・農林水産業の『肯定的回答』は全体より 15.8 ポイント高く、『否定的回答』は全体より 16.5 ポイント低い。
・学生の『肯定的回答』は全体より 7.2 ポイント低く、『否定的回答』は全体より 11.2 ポイント高い。

図表 2-3-11　NPO活動･ボランティア活動･市民活動などの地域をより良くするための活動に参加している
（第5回調査からの推移）



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

図表 2-3-12 NPO活動・ボランティア活動・市民活動などの地域をより良くするための活動に参加している（属性別）



	肯定的回答 %	（前回差）ﾎﾟｲﾝﾄ	否定的回答 %	（前回差）ﾎﾟｲﾝﾄ
全体	21.5	(-0.8)	74.5	(0.4)
北勢	20.8	(-2.2)	75.7	(2.6)
伊賀	25.2	(0.0)	70.4	(-0.7)
中南勢	19.0	(-2.1)	77.0	(0.7)
伊勢志摩	25.1	(3.8)	71.0	(-3.2)
東紀州	30.6	(12.4)	60.7	(-18.6)
男性	24.1	(-0.7)	72.6	(1.4)
女性	18.2	(-0.9)	77.1	(-0.6)
18歳から20歳代	7.4	(-3.2)	90.7	(5.4)
30歳代	15.0	(3.2)	81.0	(-2.0)
40歳代	17.0	(-0.1)	79.5	(-0.3)
50歳代	19.2	(-0.7)	78.5	(0.4)
60歳代	22.9	(-5.5)	74.5	(5.8)
70歳以上	25.9	(-2.8)	68.1	(2.4)
農林水産業	37.3	(1.2)	58.0	(-3.8)
自営業・自由業	28.3	(-0.2)	68.3	(0.7)
正規職員	15.7	(-1.8)	82.3	(2.0)
ﾊﾟｰﾄ・ﾊﾞｲﾄ・派遣	20.2	(0.4)	76.3	(-0.9)
その他の職業	26.1	(2.7)	71.3	(-0.2)
学生	14.3	(-1.8)	85.7	(3.4)
専業主婦・主夫	20.8	(-0.7)	74.9	(-0.9)
無職	22.2	(-4.1)	72.0	(4.2)
未婚	16.0	(3.2)	80.3	(-3.1)
有配偶	22.2	(-2.0)	74.5	(1.1)
離別・死別	21.3	(2.7)	73.4	(-3.9)
単独世帯	20.3	(4.1)	73.9	(-1.7)
一世代世帯	22.9	(-1.5)	73.2	(0.5)
二世代世帯	20.4	(-0.1)	76.8	(0.4)
三世代世帯	24.3	(-2.3)	71.5	(1.8)
100万円未満	18.4	(-0.4)	71.9	(-2.9)
～200万円未満	20.7	(1.7)	73.1	(-3.5)
～300万円未満	22.1	(-1.5)	74.8	(2.3)
～400万円未満	26.8	(1.7)	70.3	(-1.4)
～500万円未満	21.8	(-1.9)	75.7	(2.0)
～600万円未満	18.6	(-3.0)	78.8	(3.2)
～800万円未満	22.7	(0.6)	75.7	(0.1)
～1,000万円未満	21.7	(-1.4)	75.8	(1.9)
1,000万円以上	20.9	(-3.5)	77.2	(3.8)

※「肯定的回答」の割合・・・「している」と「どちらかといえばしている」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「否定的回答」の割合・・・「していない」と「どちらかといえばしていない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

問９　魅力ある県産農林水産物や加工品が販売されていると感じますか。
（関連する県の施策：農林水産業のイノベーションを支える人材育成と新たな価値の創出）

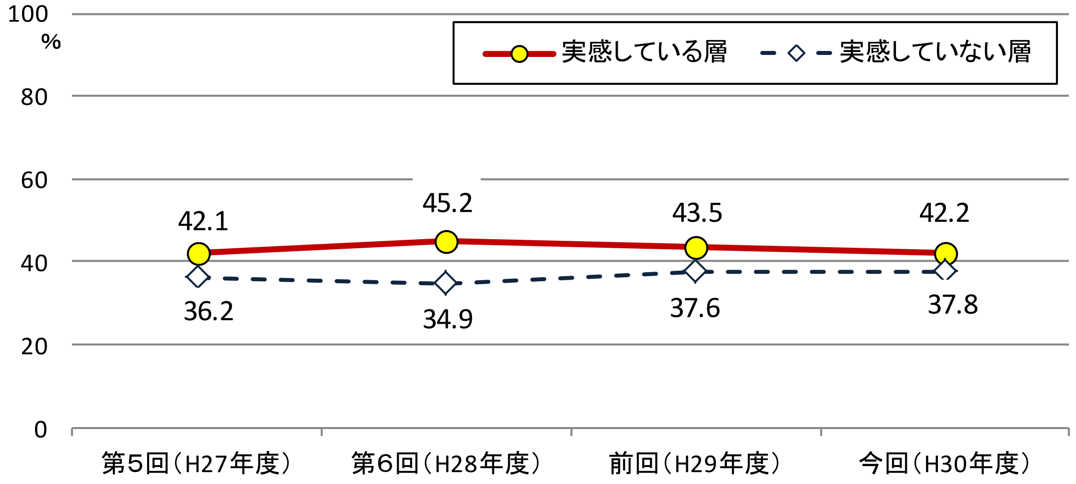
○　魅力ある県産農林水産物や加工品が販売されているかどうかの実感については､『実感している層』の割合が 42.2%で、『実感していない層』の割合（37.8%）より 4.4 ポイント高くなっています。

○　前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 1.3 ポイント低く、『実感していない層』が 0.2 ポイント高くなっています。

○　属性や属性項目における主な特徴（全体との差や前回調査結果からの変化が大きい項目等）は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

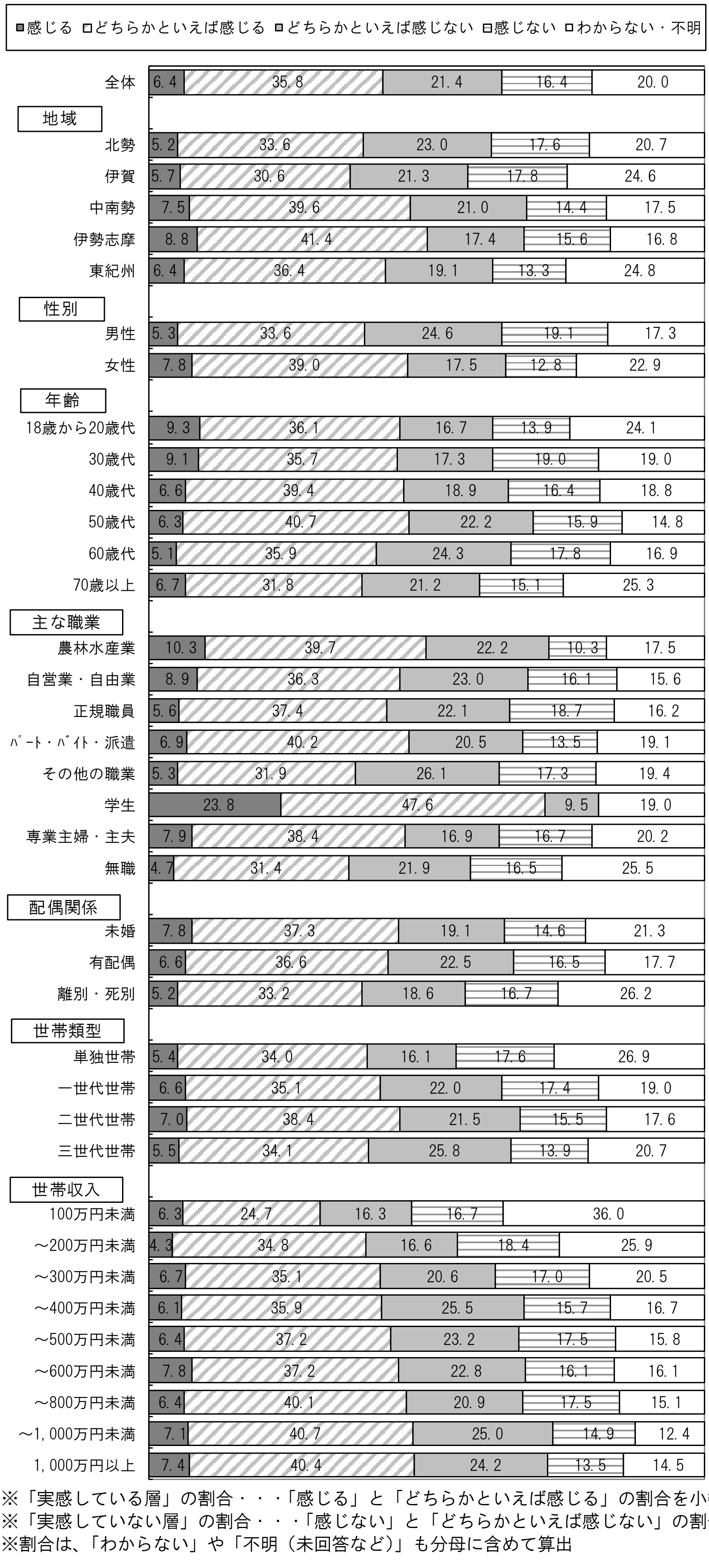
・伊勢志摩の『実感している層』は全体より 8.0 ポイント高い。
・女性の『実感している層』は全体より 4.6 ポイント高く、男性より 7.9 ポイント高い。
・その他の職業の『実感している層』は前回調査より 8.0 ポイント低く、『実感していない層』は前回調査より 9.4 ポイント低い。
・学生の『実感している層』は全体より 29.2 ポイント高く、前回調査より 28.7 ポイント高い。
・三世代世帯の『実感している層』は前回調査より 8.5 ポイント低く、『実感していない層』は前回調査より 7.1 ポイント高い。
・世帯収入が 100 万円未満の『実感している層』は全体より 11.2 ポイント低い。

図表 2-3-13　魅力ある県産農林水産物や加工品が販売されている（第5回調査からの推移）



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

図表 2-3-14 魅力ある県産農林水産物や加工品が販売されている(属性別)



属性	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	実感している層 %	(前回差) ポイント	実感していない層 %	(前回差) ポイント
全体	6.4	35.8	21.4	16.4	20.0	42.2	(-1.3)	37.8	(0.2)
地域									
北勢	5.2	33.6	23.0	17.6	20.7	38.8	(-0.6)	40.6	(0.0)
伊賀	5.7	30.6	21.3	17.8	24.6	36.3	(-5.5)	39.1	(1.2)
中南勢	7.5	39.6	21.0	14.4	17.5	47.1	(0.3)	35.4	(-0.4)
伊勢志摩	8.8	41.4	17.4	15.6	16.8	50.2	(-2.1)	33.0	(1.7)
東紀州	6.4	36.4	19.1	13.3	24.8	42.8	(-4.0)	32.4	(-2.0)
性別									
男性	5.3	33.6	24.6	19.1	17.3	38.9	(1.7)	43.7	(-1.1)
女性	7.8	39.0	17.5	12.8	22.9	46.8	(-3.3)	30.3	(0.0)
年齢									
18歳から20歳代	9.3	36.1	16.7	13.9	24.1	45.4	(5.3)	30.6	(-5.4)
30歳代	9.1	35.7	17.3	19.0	19.0	44.8	(-1.0)	36.3	(5.3)
40歳代	6.6	39.4	18.9	16.4	18.8	46.0	(0.3)	35.3	(-1.3)
50歳代	6.3	40.7	22.2	15.9	14.8	47.0	(0.4)	38.1	(0.7)
60歳代	5.1	35.9	24.3	17.8	16.9	41.0	(-0.2)	42.1	(0.4)
70歳以上	6.7	31.8	21.2	15.1	25.3	38.5	(-2.5)	36.3	(-0.3)
主な職業									
農林水産業	10.3	39.7	22.2	10.3	17.5	50.0	(0.7)	32.5	(-8.0)
自営業・自由業	8.9	36.3	23.0	16.1	15.6	45.2	(3.1)	39.1	(0.9)
正規職員	5.6	37.4	22.1	18.7	16.2	43.0	(0.0)	40.8	(0.6)
ﾊﾟｰﾄ・ﾊﾞｲﾄ・派遣	6.9	40.2	20.5	13.5	19.1	47.1	(-0.7)	34.0	(0.1)
その他の職業	5.3	31.9	26.1	17.3	19.4	37.2	(-8.0)	43.4	(9.4)
学生	23.8	47.6	9.5		19.0	71.4	(28.7)	9.5	(-33.1)
専業主婦・主夫	7.9	38.4	16.9	16.7	20.2	46.3	(-4.0)	33.6	(1.3)
無職	4.7	31.4	21.9	16.5	25.5	36.1	(0.4)	38.4	(-2.8)
配偶関係									
未婚	7.8	37.3	19.1	14.6	21.3	45.1	(5.1)	33.7	(-5.0)
有配偶	6.6	36.6	22.5	16.5	17.7	43.2	(-1.5)	39.0	(1.2)
離別・死別	5.2	33.2	18.6	16.7	26.2	38.4	(-2.7)	35.3	(-3.0)
世帯類型									
単独世帯	5.4	34.0	16.1	17.6	26.9	39.4	(3.3)	33.7	(-4.8)
一世代世帯	6.6	35.1	22.0	17.4	19.0	41.7	(-1.7)	39.4	(1.0)
二世代世帯	7.0	38.4	21.5	15.5	17.6	45.4	(1.3)	37.0	(-1.4)
三世代世帯	5.5	34.1	25.8	13.9	20.7	39.6	(-8.5)	39.7	(7.1)
世帯収入									
100万円未満	6.3	24.7	16.3	16.7	36.0	31.0	(-5.1)	33.0	(-3.6)
～200万円未満	4.3	34.8	16.6	18.4	25.9	39.1	(-1.6)	35.0	(-0.6)
～300万円未満	6.7	35.1	20.6	17.0	20.5	41.8	(0.6)	37.6	(-1.0)
～400万円未満	6.1	35.9	25.5	15.7	16.7	42.0	(-2.6)	41.2	(1.8)
～500万円未満	6.4	37.2	23.2	17.5	15.8	43.6	(1.8)	40.7	(0.2)
～600万円未満	7.8	37.2	22.8	16.1	16.1	45.0	(0.3)	38.9	(2.0)
～800万円未満	6.4	40.1	20.9	17.5	15.1	46.5	(0.6)	38.4	(-0.6)
～1,000万円未満	7.1	40.7	25.0	14.9	12.4	47.8	(4.4)	39.9	(0.4)
1,000万円以上	7.4	40.4	24.2	13.5	14.5	47.8	(-4.9)	37.7	(2.9)

※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

問 10　得たいと思う県の情報が、得られていると感じますか。

（関連する県の施策：広聴広報の充実）

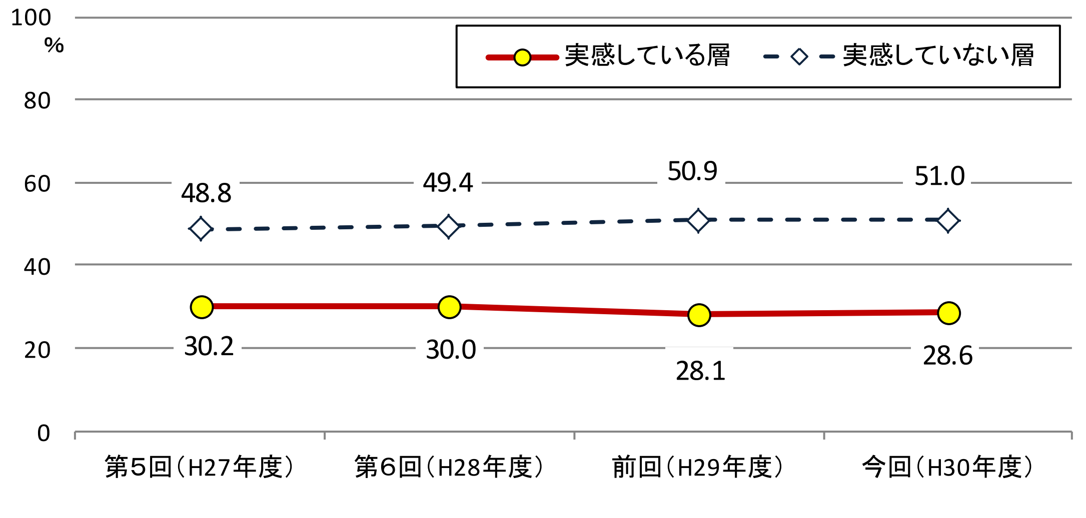
○　得たいと思う県の情報が、得られているかどうかの実感については、『実感している層』の割合が 28.6%で、『実感していない層』の割合（51.0%）より 22.4 ポイント低くなっています。

○　前回調査の割合と比較すると、『実感している層』が 0.5 ポイント高く、『実感していない層』は 0.1 ポイント高くなっています。

○　属性や属性項目における主な特徴（全体との差や前回調査結果からの変化が大きい項目等）は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

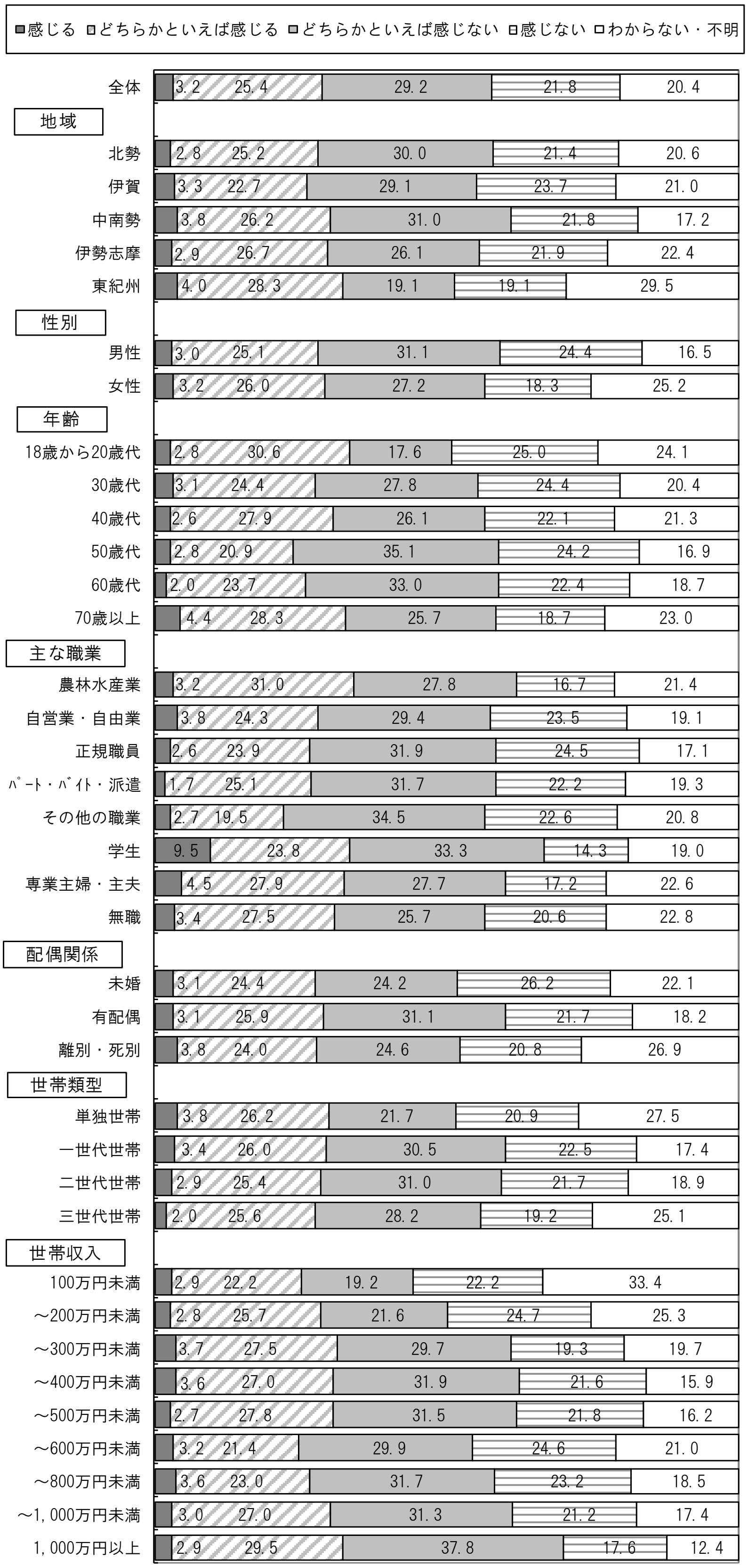
・東紀州の『実感していない層』は全体より 12.8 ポイント低く、前回調査より 17.4 ポイント低い。
・50 歳代の『実感していない層』は全体より 8.3 ポイント高く、前回調査より 5.8 ポイント高い。
・農林水産業の『実感している層』は全体より 5.6 ポイント高く、『実感していない層』は全体より 6.5 ポイント低い。
・その他の職業の『実感していない層』は全体より 6.1 ポイント高く、前回調査より 6.8 ポイント高い。
・単独世帯の『実感していない層』は全体より 8.4 ポイント低く、前回調査より 5.0 ポイント低い。
・100 万円未満の『実感していない層』は全体より 9.6 ポイント低く、前回調査より 7.8 ポイント低い。

図表 2-3-15　得たいと思う県の情報が、得られている（第5回調査からの推移）



※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明（未回答など）」も分母に含めて算出

図表 2-3-16 得たいと思う県の情報が、得られている(属性別)



	感じる	どちらかといえば感じる	どちらかといえば感じない	感じない	わからない・不明	実感している層 %	(前回差) ポイント	実感していない層 %	(前回差) ポイント
全体	3.2	25.4	29.2	21.8	20.4	28.6	(0.5)	51.0	(0.1)
地域									
北勢	2.8	25.2	30.0	21.4	20.6	28.0	(-0.2)	51.4	(1.4)
伊賀	3.3	22.7	29.1	23.7	21.0	26.0	(1.3)	52.8	(-1.4)
中南勢	3.8	26.2	31.0	21.8	17.2	30.0	(-0.3)	52.8	(2.0)
伊勢志摩	2.9	26.7	26.1	21.9	22.4	29.6	(2.9)	48.0	(-3.4)
東紀州	4.0	28.3	19.1	19.1	29.5	32.3	(9.2)	38.2	(-17.4)
性別									
男性	3.0	25.1	31.1	24.4	16.5	28.1	(2.4)	55.5	(-0.2)
女性	3.2	26.0	27.2	18.3	25.2	29.2	(-1.0)	45.5	(-0.8)
年齢									
18歳から20歳代	2.8	30.6	17.6	25.0	24.1	33.4	(8.0)	42.6	(-4.1)
30歳代	3.1	24.4	27.8	24.4	20.4	27.5	(0.1)	52.2	(2.3)
40歳代	2.6	27.9	26.1	22.1	21.3	30.5	(1.2)	48.2	(-4.0)
50歳代	2.8	20.9	35.1	24.2	16.9	23.7	(-1.9)	59.3	(5.8)
60歳代	2.0	23.7	33.0	22.4	18.7	25.7	(-1.2)	55.4	(1.7)
70歳以上	4.4	28.3	25.7	18.7	23.0	32.7	(0.5)	44.4	(0.2)
主な職業									
農林水産業	3.2	31.0	27.8	16.7	21.4	34.2	(-4.1)	44.5	(0.4)
自営業・自由業	3.8	24.3	29.4	23.5	19.1	28.1	(1.6)	52.9	(-0.3)
正規職員	2.6	23.9	31.9	24.5	17.1	26.5	(0.7)	56.4	(0.0)
ﾊﾟｰﾄ・ﾊﾞｲﾄ・派遣	1.7	25.1	31.7	22.2	19.3	26.8	(-2.2)	53.9	(5.7)
その他の職業	2.7	19.5	34.5	22.6	20.8	22.2	(-4.7)	57.1	(6.8)
学生	9.5	23.8	33.3	14.3	19.0	33.3	(-3.4)	47.6	(9.4)
専業主婦・主夫	4.5	27.9	27.7	17.2	22.6	32.4	(0.6)	44.9	(-1.6)
無職	3.4	27.5	25.7	20.6	22.8	30.9	(3.7)	46.3	(-3.8)
配偶関係									
未婚	3.1	24.4	24.2	26.2	22.1	27.5	(1.4)	50.4	(-1.1)
有配偶	3.1	25.9	31.1	21.7	18.2	29.0	(0.5)	52.8	(1.0)
離別・死別	3.8	24.0	24.6	20.8	26.9	27.8	(-1.6)	45.4	(-1.3)
世帯類型									
単独世帯	3.8	26.2	21.7	20.9	27.5	30.0	(3.4)	42.6	(-5.0)
一世代世帯	3.4	26.0	30.5	22.5	17.4	29.4	(0.3)	53.0	(2.2)
二世代世帯	2.9	25.4	31.0	21.7	18.9	28.3	(0.9)	52.7	(0.6)
三世代世帯	2.0	25.6	28.2	19.2	25.1	27.6	(-1.9)	47.4	(-2.2)
世帯収入									
100万円未満	2.9	22.2	19.2	22.2	33.4	25.1	(3.7)	41.4	(-7.8)
～200万円未満	2.8	25.7	21.6	24.7	25.3	28.5	(3.1)	46.3	(-1.8)
～300万円未満	3.7	27.5	29.7	19.3	19.7	31.2	(1.0)	49.0	(-0.8)
～400万円未満	3.6	27.0	31.9	21.6	15.9	30.6	(0.9)	53.5	(3.6)
～500万円未満	2.7	27.8	31.5	21.8	16.2	30.5	(1.8)	53.3	(-0.4)
～600万円未満	3.2	21.4	29.9	24.6	21.0	24.6	(-2.7)	54.5	(2.1)
～800万円未満	3.6	23.0	31.7	23.2	18.5	26.6	(-2.5)	54.9	(0.5)
～1,000万円未満	3.0	27.0	31.3	21.2	17.4	30.0	(1.2)	52.5	(0.9)
1,000万円以上	2.9	29.5	37.8	17.6	12.4	32.4	(2.7)	55.4	(3.2)

※「実感している層」の割合・・・「感じる」と「どちらかといえば感じる」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※「実感していない層」の割合・・・「感じない」と「どちらかといえば感じない」の割合を小数第二位で四捨五入した数値の合計
※割合は、「わからない」や「不明(未回答など)」も分母に含めて算出

４．地域活動への参加状況に関すること

令和元年度は、「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画」の計画期間が最終年度を迎えることから、これまで進めてきた「協創」の取組について、成果や課題を検証していきたいと考えています。

第３回調査で質問しました「地域活動への参加状況」に加えて、今回は「地域活動に参加した理由」、「地域活動に参加しなかった理由」を追加して質問しました。

ここでは、県民の皆さんの地域活動への参加状況の変化を記載するとともに、地域活動ごとの参加・不参加の理由について記載しています。

項目	質問文の概要
地域活動への参加状況 （問 11）	・あなたは、今までに、自治会やボランティア、サークル、団体などで行う次のような活動に参加したことがありますか。また、今後参加したいと思いますか。あてはまるものを１つずつ選んでください。 （１） 教育を助ける活動 （２） 結婚支援や子育てを助ける活動 （３） 防犯・防災・交通安全の活動 （４） 要介護のお年寄りや障がい者の方などを助ける活動 （５） まちづくり、地域振興の活動 （６） 環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動 （７） 運動・スポーツ活動 （８） 文化芸術・趣味・娯楽活動 それぞれの活動に参加した理由はどのようなものでしたか。 1　ホームページや広報、チラシをみたから 2　周囲の人に誘われたから 3　自分のキャリア形成に役に立つから 4　自分の能力を活かしたかったから 5　職場や学校などで体験したことがあったから 6　仕事をするうえで必要だから 7　参加するよう要請があったから 8　断れなかったから 9　上記以外の理由

	それぞれの活動に不参加だった理由はどのようなものですか。 １　活動している団体の情報がない ２　参加するのに必要な知識やノウハウがない ３　転勤や引っ越しが多い ４　健康上の不安がある ５　時間的な余裕がない ６　負担が大きそうだから ７　地域活動に関心・興味がない ８　上記以外の理由

問１１　あなたは、今までに、自治会やボランティア、サークル、団体などで行う次のような活動に参加したことがありますか。また、今後参加したいと思いますか。あてはまるものを１つずつ選んでください。（○はそれぞれ１つずつ、合計８つ）

➢ 地域活動への参加状況と意欲（８項目全体の集計結果）

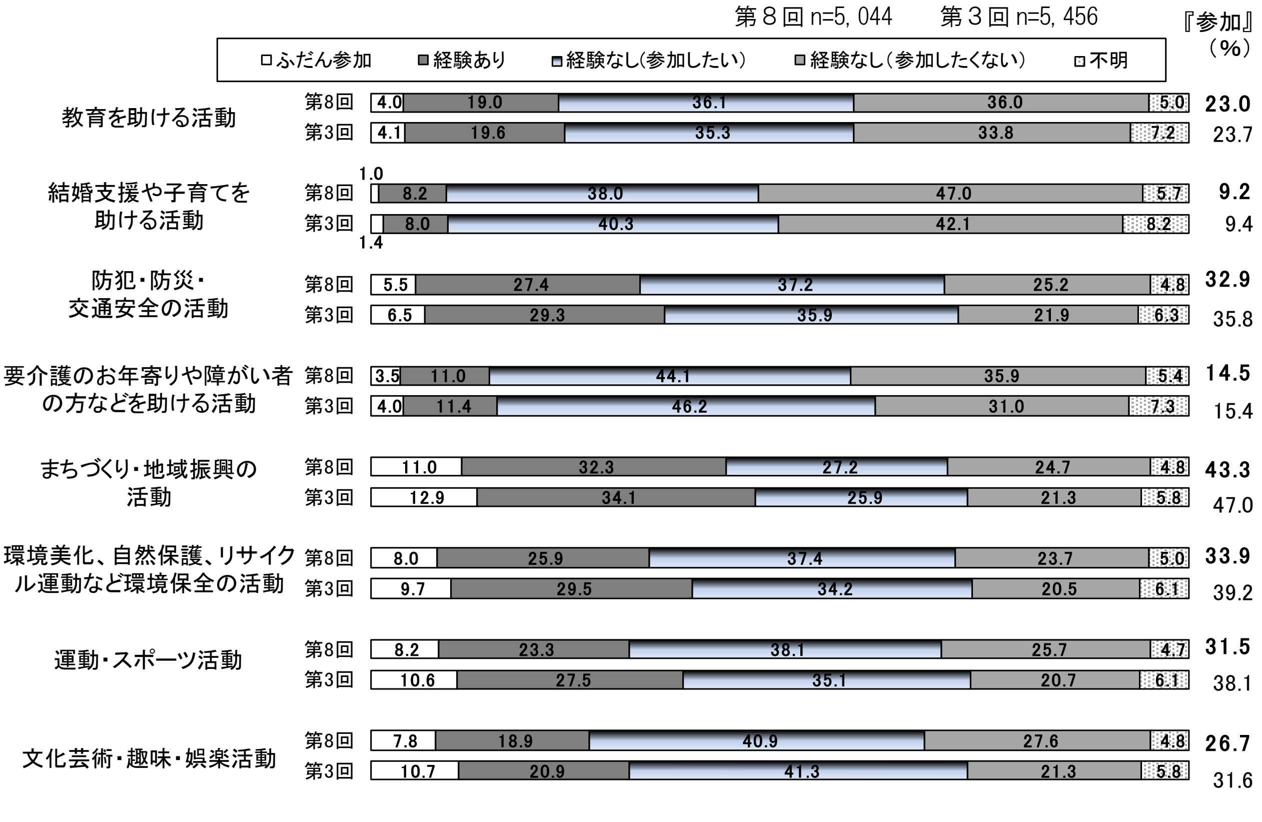
○　「みえ県民力ビジョン」において推進してきた「協創」の取組について、意識の経年変化を確認するため、第２回、第３回の調査と同様に、自治会やボランティア、サークル、団体などで行う地域活動への参加状況と意欲について、８項目について質問しました。

○　「ふだん参加している」と「参加した経験がある」を合計した『参加』の割合は「まちづくり、地域振興の活動」が 43.3%で最も高く、次いで「環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動」（33.9%）、「防犯・防災・交通安全の活動」（32.9%）となっています。

○　「参加したことはないが、機会があれば参加したい」の割合は、「要介護のお年寄りや障がい者の方などを助ける活動」が 44.1%で最も高く、次いで「文化芸術・趣味・娯楽活動」（40.9%）、「運動・スポーツ活動」（38.1%）となっています。

○　「参加したことはなく、参加したいとも思わない」の割合は、「結婚支援や子育てを助ける活動」が 47.0%で最も高く、次いで「教育を助ける活動」（36.0%）、「要介護のお年寄りや障がい者の方などを助ける活動」（35.9%）となっています。

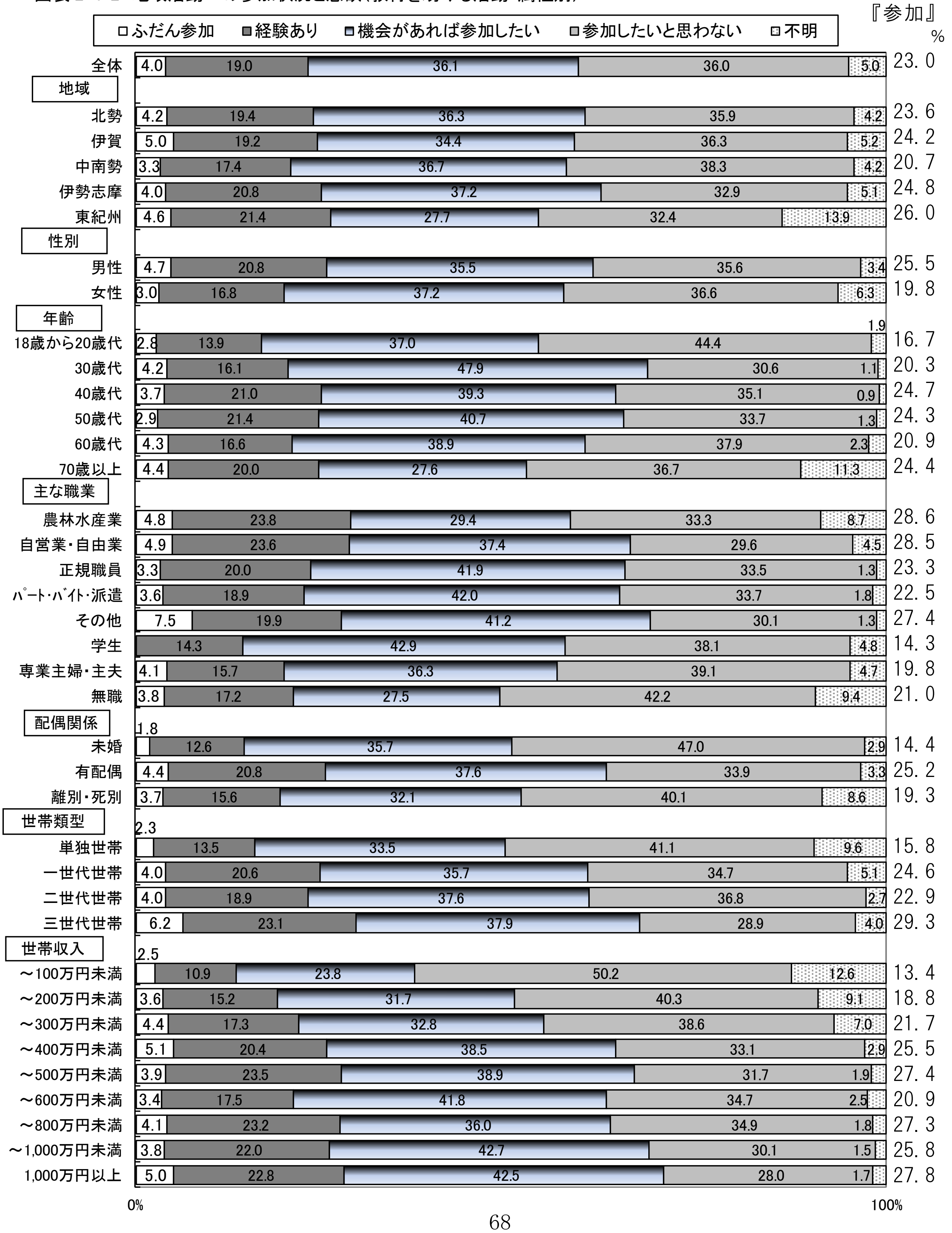
図表 2-4-1　地域活動への参加状況と意欲（今回と第３回との比較）



➢ （１）教育を助ける活動（学校支援ボランティアを含む）への参加状況と意欲

○ 教育を助ける活動への参加状況と意欲について質問したところ、『参加』の割合が 23.0%、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」が 36.1%、「参加したことはなく、参加したいとも思わない」は 36.0%となっています。

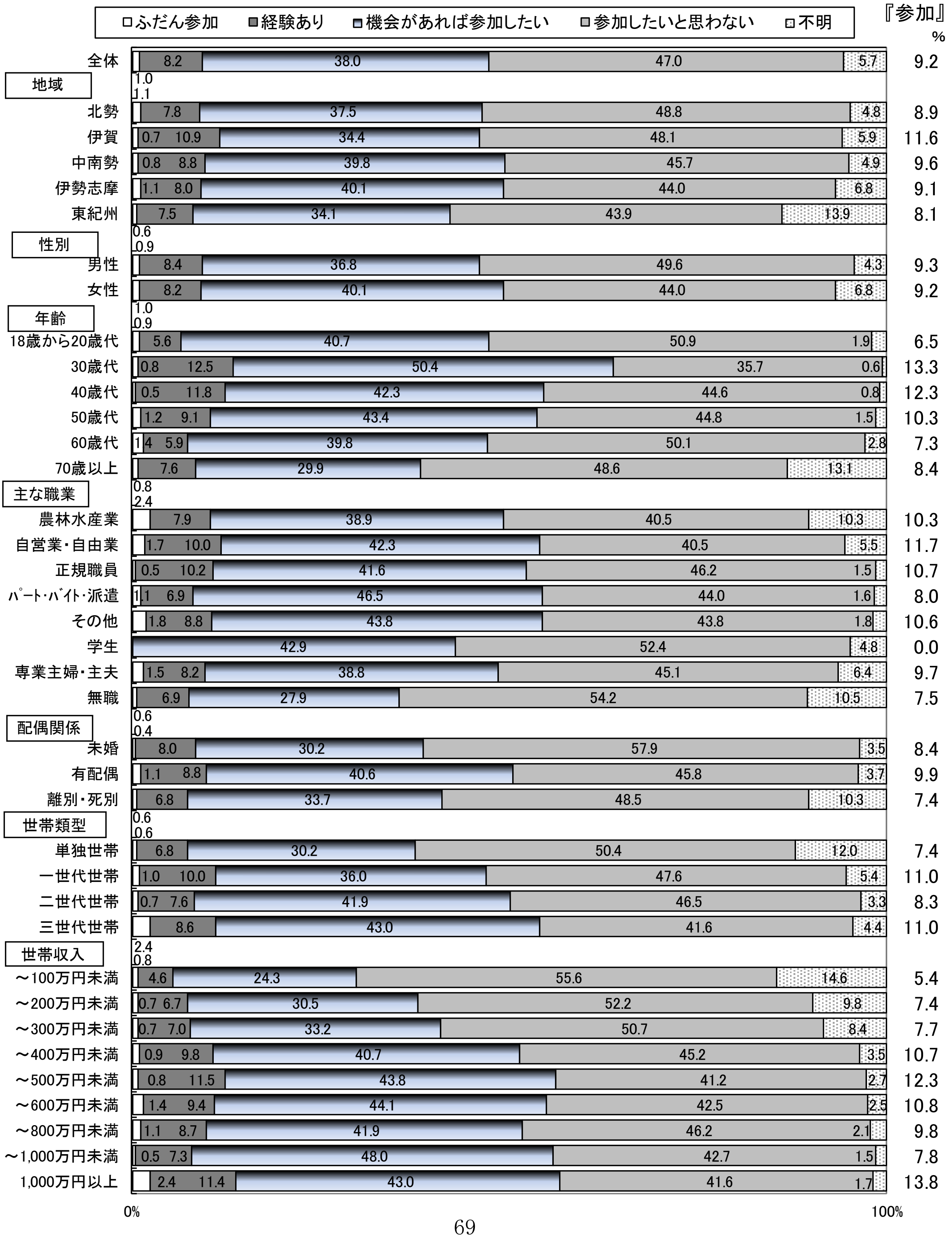
図表 2-4-2 地域活動への参加状況と意欲（教育を助ける活動・属性別）



➢ （２）結婚支援や子育てを助ける活動への参加状況と意欲

○　結婚支援や子育てを助ける活動への参加状況と意欲について質問したところ、『参加』の割合は 9.2%で質問した８項目の中で最も低く、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」が 38.0%、「参加したことはなく、参加したいとも思わない」は８項目の中で最も高い 47.0%となっています。

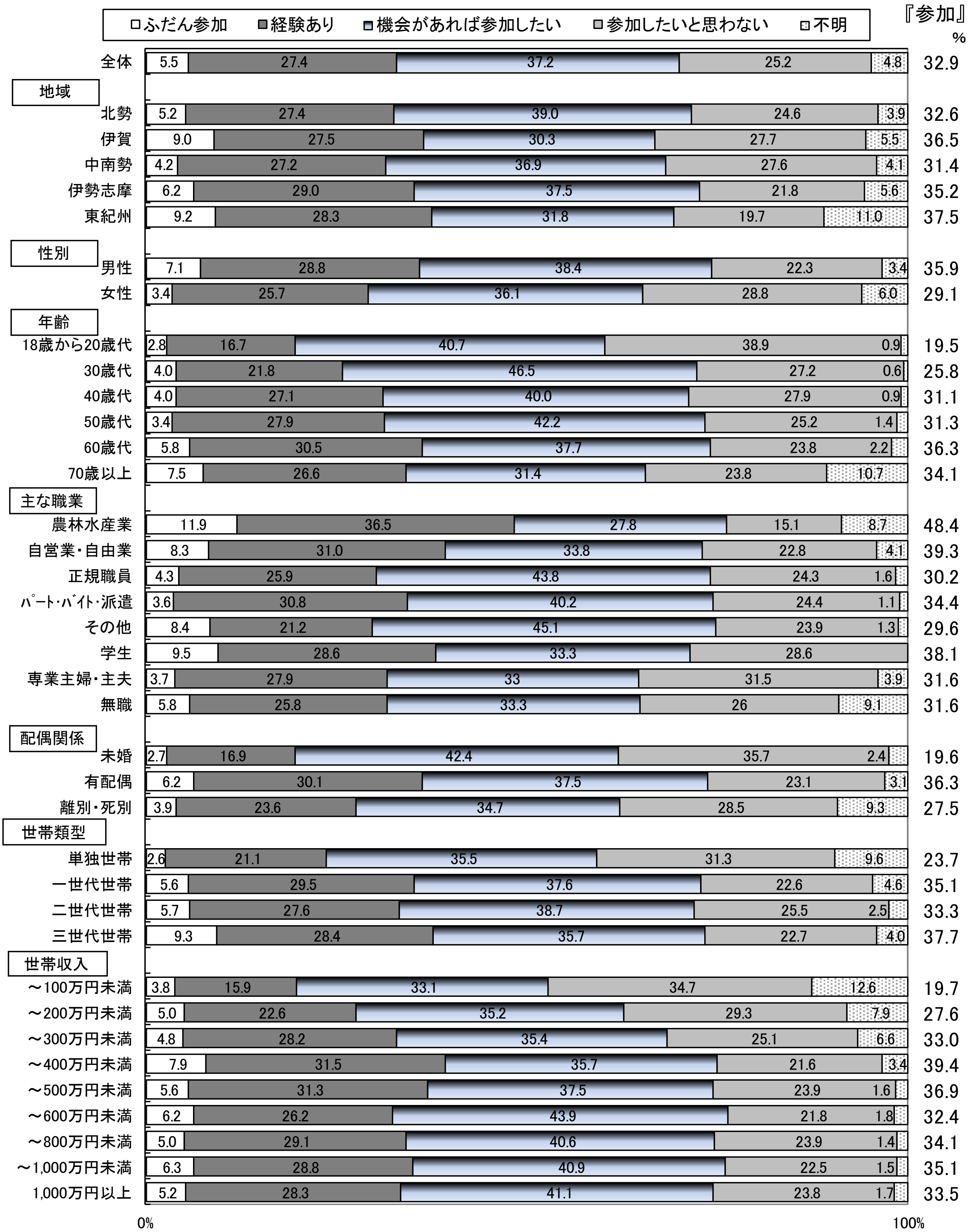
図表 2-4-3　地域活動への参加状況と意欲（結婚支援や子育てを助ける活動・属性別）



➢ （３）防犯・防災・交通安全の活動への参加状況と意欲

〇　防犯・防災・交通安全の活動への参加状況と意欲について質問したところ、『参加』の割合が 32.9%、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」が 37.2%、「参加したことはなく、参加したいとも思わない」は 25.2%となっています。

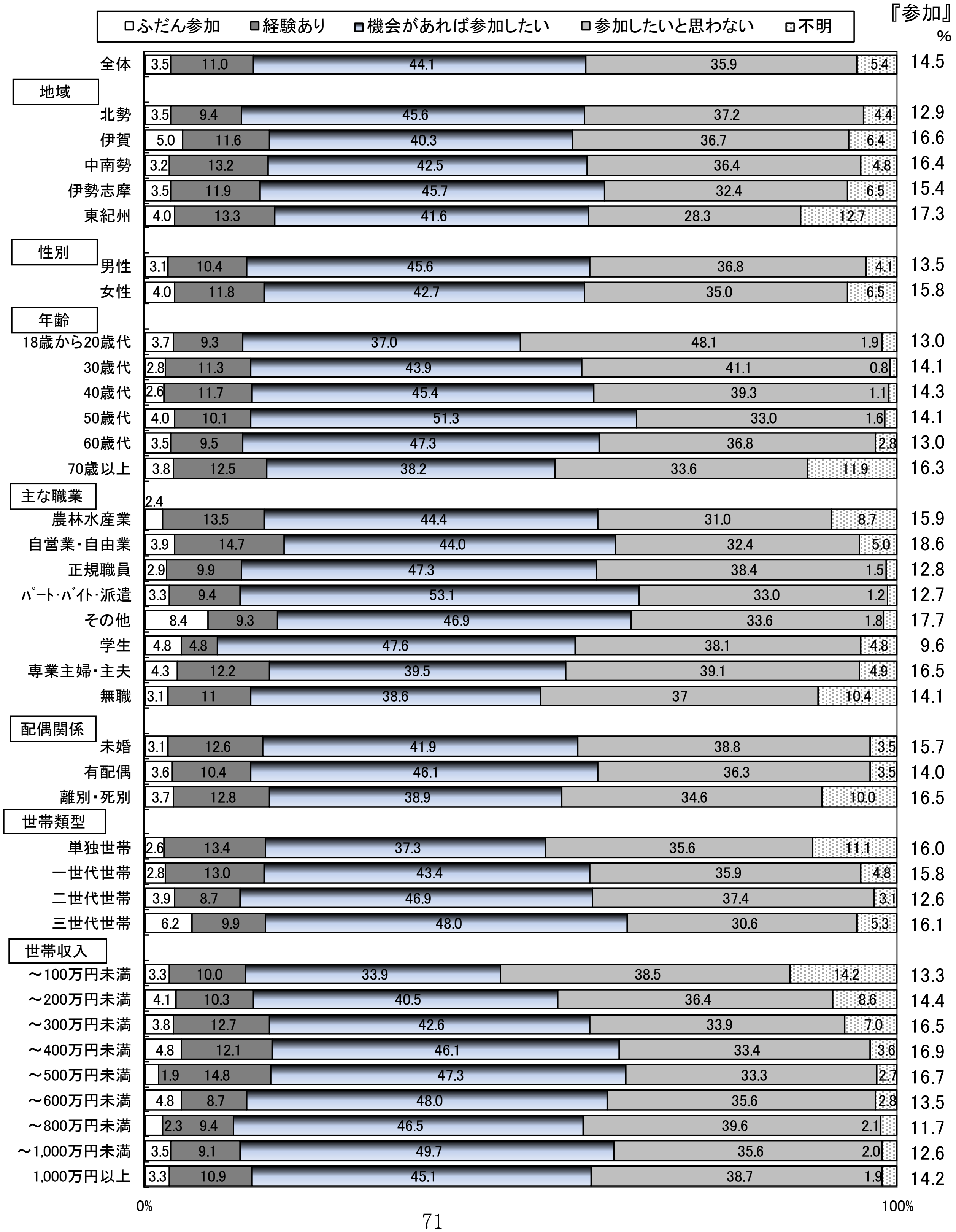
図表 2-4-4　地域活動への参加状況と意欲（防犯・防災・交通安全の活動・属性別）



➢ （４）要介護のお年寄りや障がい者の方などを助ける活動への参加状況と意欲

○ 要介護のお年寄りや障がい者の方などを助ける活動への参加状況と意欲について質問したところ、『参加』の割合が 14.5%、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」が 44.1%、「参加したことはなく、参加したいとも思わない」は 35.9%となっています。質問した８項目の中で、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」の割合が最も高くなっています。

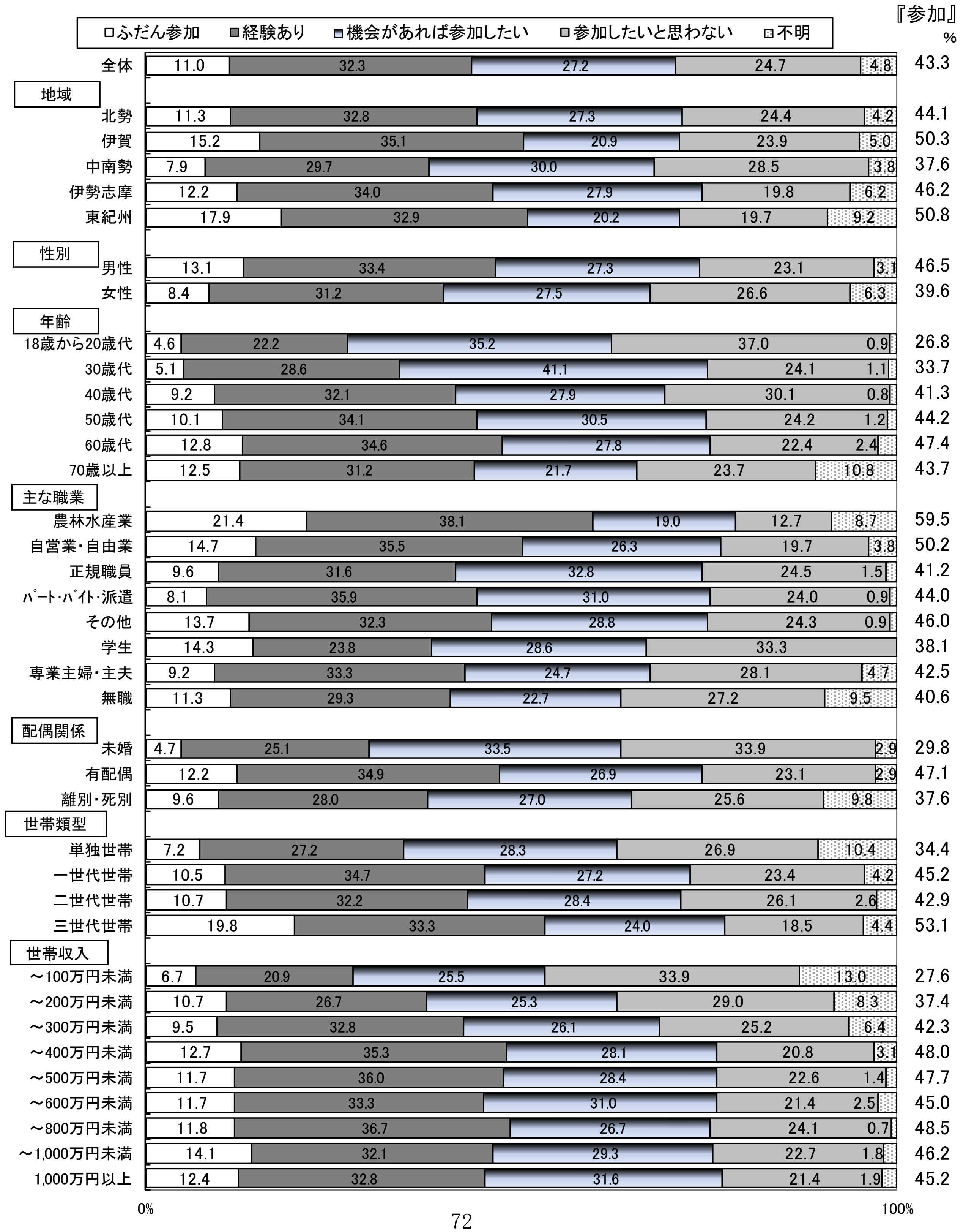
図表 2-4-5 地域活動への参加状況と意欲（要介護のお年寄りや障がい者の方などを助ける活動・属性別）



➢ （５）まちづくり、地域振興の活動（祭りや地域の行事を含む）への参加状況と意欲

○ まちづくり、地域振興の活動への参加状況と意欲について質問したところ、『参加』の割合が43.3%で質問した８項目の中で最も高く、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」が27.2%、「参加したことはなく、参加したいとも思わない」は24.7%となっています。

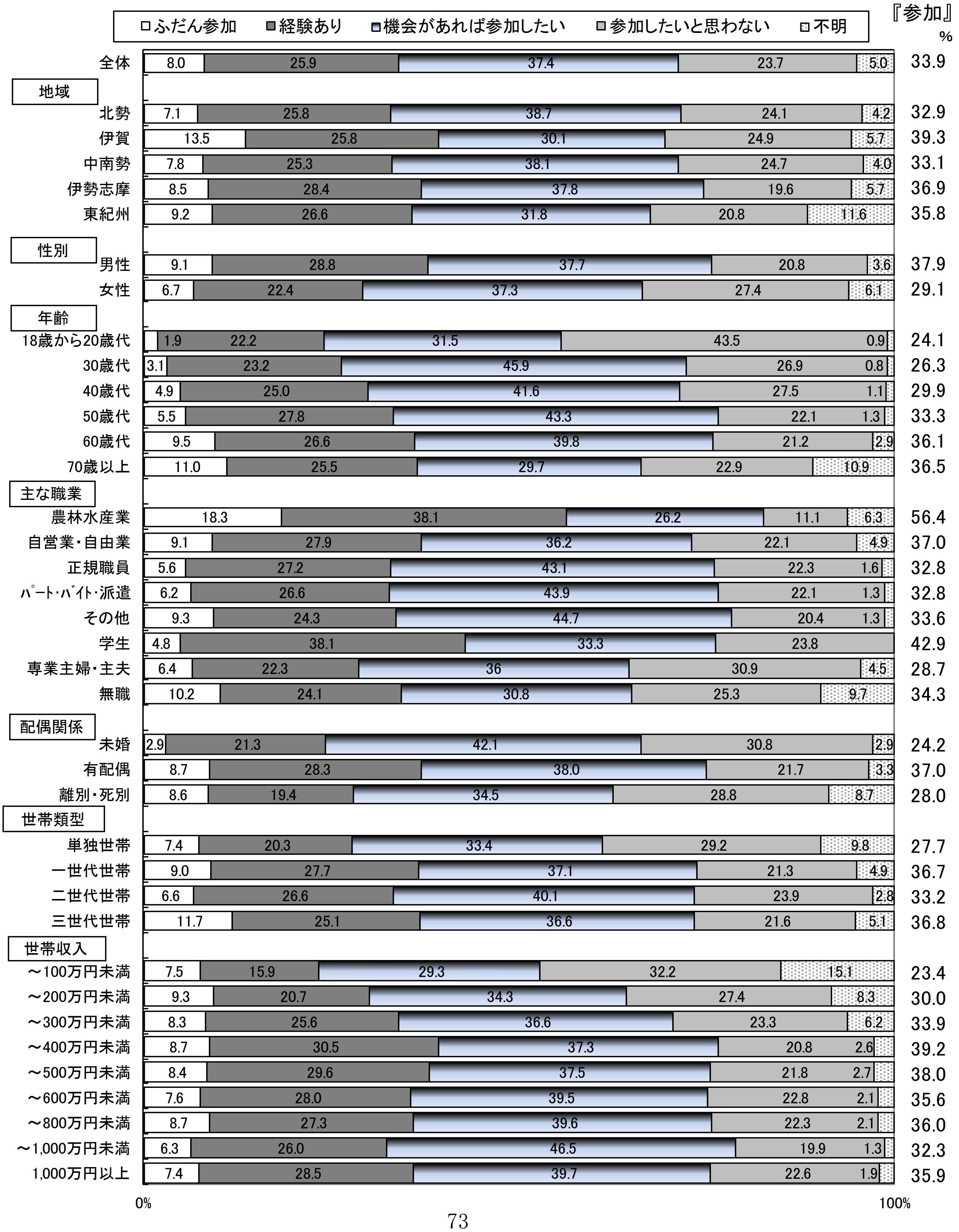
図表 2-4-6 地域活動への参加状況と意欲（まちづくり、地域振興の活動・属性別）



➢ （６）環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動への参加状況と意欲

○　環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動への参加状況と意欲について質問したところ、『参加』の割合が 33.9%、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」が 37.4%、「参加したことはなく、参加したいとも思わない」は 23.7%となっています。

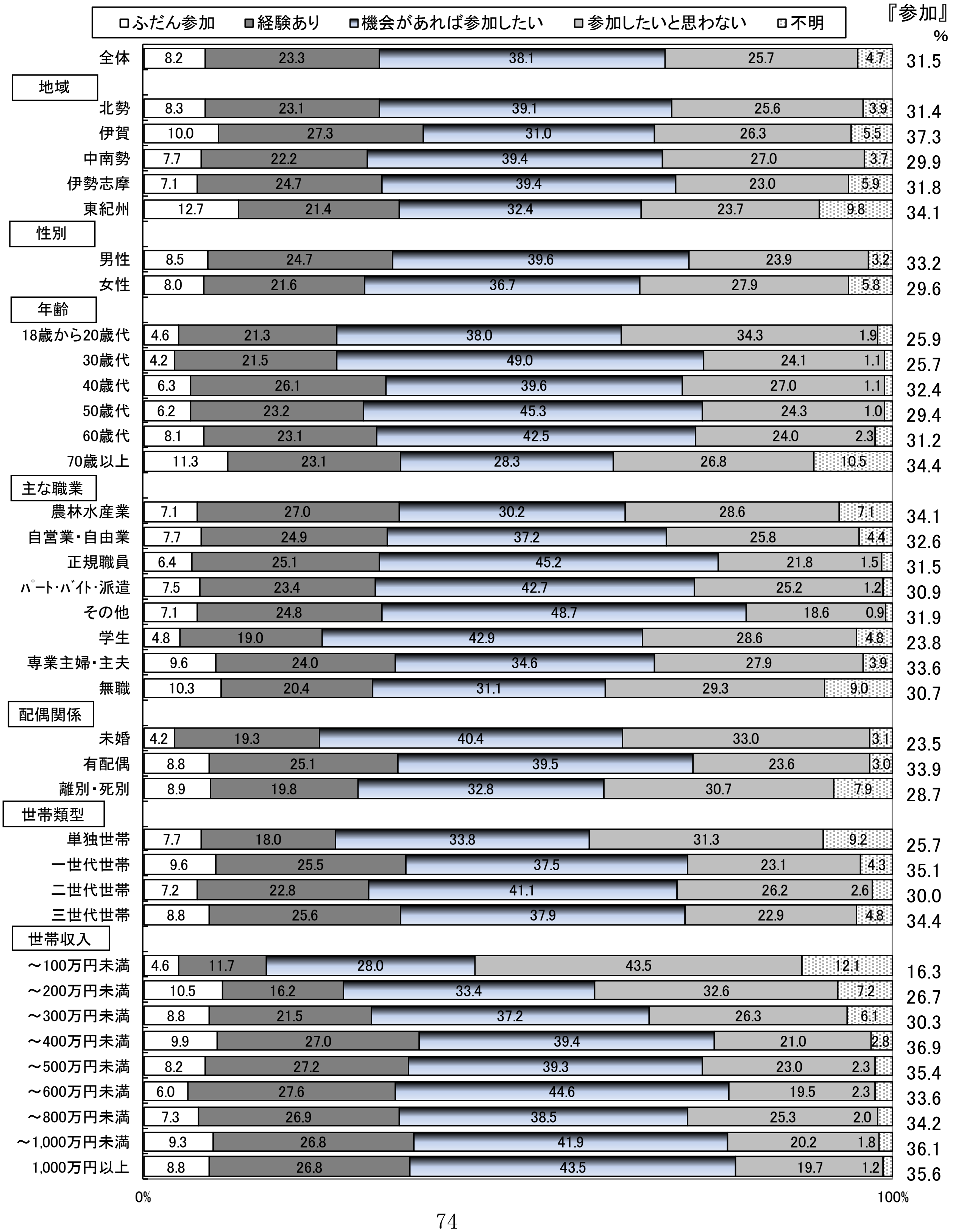
図表 2-4-7　地域活動への参加状況と意欲（環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動・属性別）



➢　（７）運動・スポーツ活動（健康づくりのための活動を含む）への参加状況と意欲

○　運動・スポーツ活動への参加状況と意欲について質問したところ、『参加』の割合が 31.5%、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」が 38.1%、「参加したことはなく、参加したいとも思わない」は 25.7%となっています。

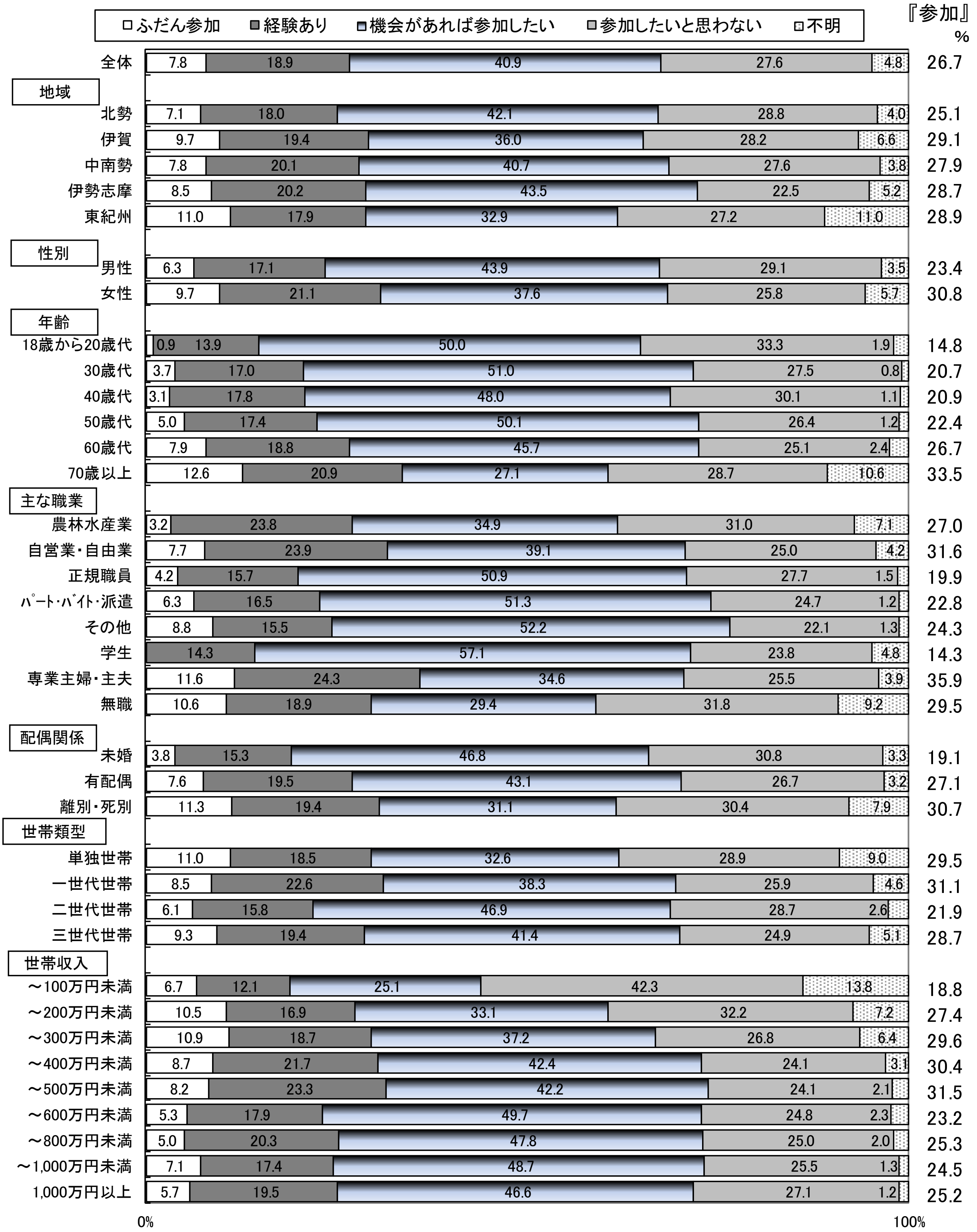
図表 2-4-8　地域活動への参加状況と意欲（運動・スポーツ活動・属性別）



➢ （８）文化芸術・趣味・娯楽活動（団体やサークルに所属する人たちの楽しみや研さんなどが目的の活動）への参加状況と意欲

○ 文化芸術･趣味･娯楽活動への参加状況と意欲について質問したところ、『参加』の割合が 26.7%、「参加したことはないが、機会があれば参加したい」が 40.9%、「参加したことはなく、参加したいとも思わない」は 27.6%となっています。

図表 2-4-9 地域活動への参加状況と意欲（文化芸術･趣味･娯楽活動･属性別）



問１１　「１　ふだん参加している」､「２　参加した経験がある」を選んだ方は、こちらにお答えください。あなたがそれぞれの活動に参加した理由はどのようなものでしたか。それぞれ当てはまる番号をすべて選び、記入してください。

問１１　「３　参加したことはないが、機会があれば参加したい」､「４　参加したことはなく、参加したいとも思わない」を選んだ方は、それぞれの活動に不参加だった理由はどのようなものですか。それぞれ当てはまる番号をすべて選び、記入してください。

- 地域活動への『参加』理由

○　「参加するよう要請があったから」の割合が８項目中５項目で最も高く､「周囲の人に誘われたから」の割合が８項目中３項目で最も高くなっています。

- 地域活動の不参加理由（参加したことはないが、機会があれば参加したい）

○「時間的な余裕がない」の割合が８項目中６項目で最も高く､「活動している団体の情報がない」の割合が８項目中２項目で最も高くなっています。

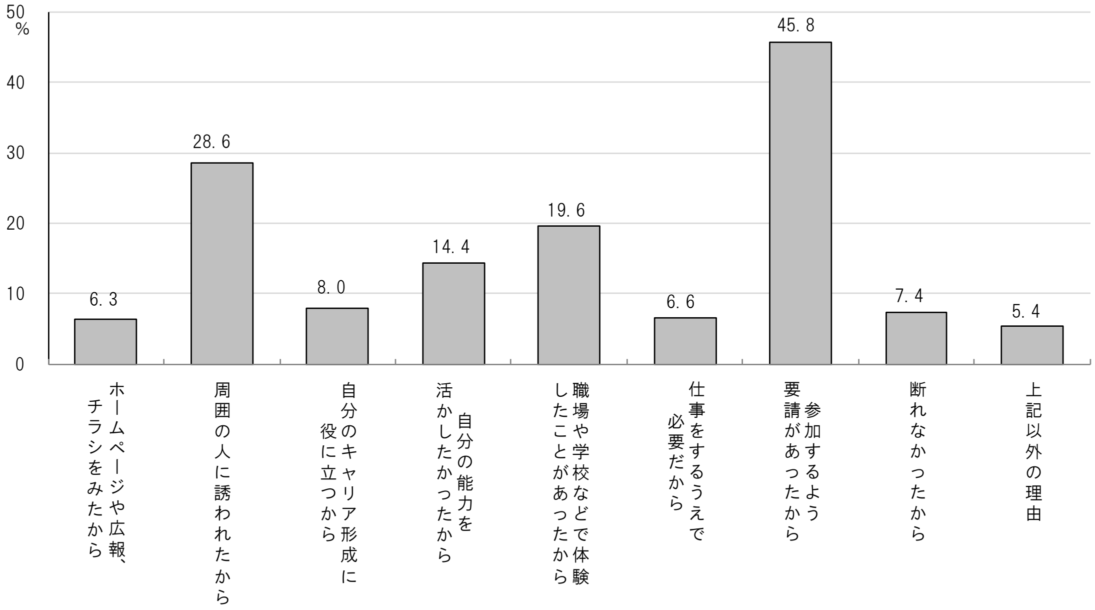
- 地域活動の不参加理由（参加したことはなく、参加したいとも思わない）

○　「時間的な余裕がない」の割合が８項目中５項目で最も高く、次いで「参加するのに必要な知識やノウハウがない」が２項目、「負担が大きそうだから」の割合が１項目でそれぞれ最も高くなっています。

➢ （１）－１　教育を助ける活動（学校支援ボランティアを含む）への『参加』理由

○　教育を助ける活動（学校支援ボランティアを含む）への『参加』理由としては、「参加するよう要請があったから」が 45.8%と最も高く、次いで「周囲の人に誘われたから」（28.6%）、「職場や学校などで体験したことがあったから」（19.6%）となっています。

図表 2-4-10　教育を助ける活動への『参加』理由

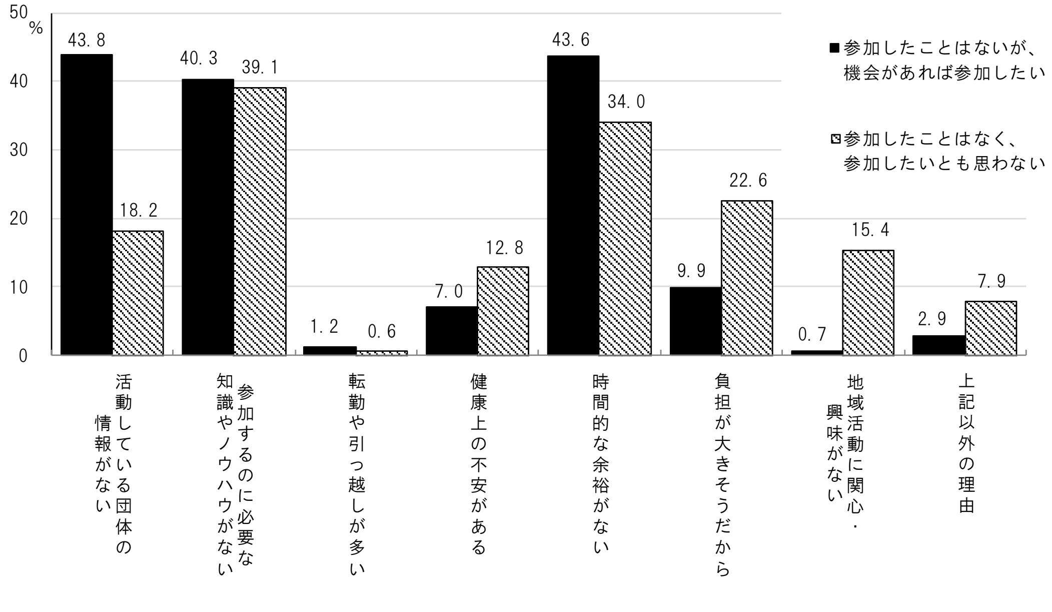


➢ （１）－２　教育を助ける活動（学校支援ボランティアを含む）の不参加理由

○　「参加したことはないが、機会があれば参加したい」を選択した人の理由では、「活動している団体の情報がない」が 43.8%と最も高く、次いで「時間的な余裕がない」（43.6%）、「参加するのに必要な知識やノウハウがない」（40.3%）となっています。

○　「参加したことはなく、参加したいとも思わない」を選択した人の理由では、「参加するのに必要な知識やノウハウがない」が 39.1%と最も高く、次いで「時間的な余裕がない」（34.0%）、「負担が大きそうだから」（22.6%）となっています。

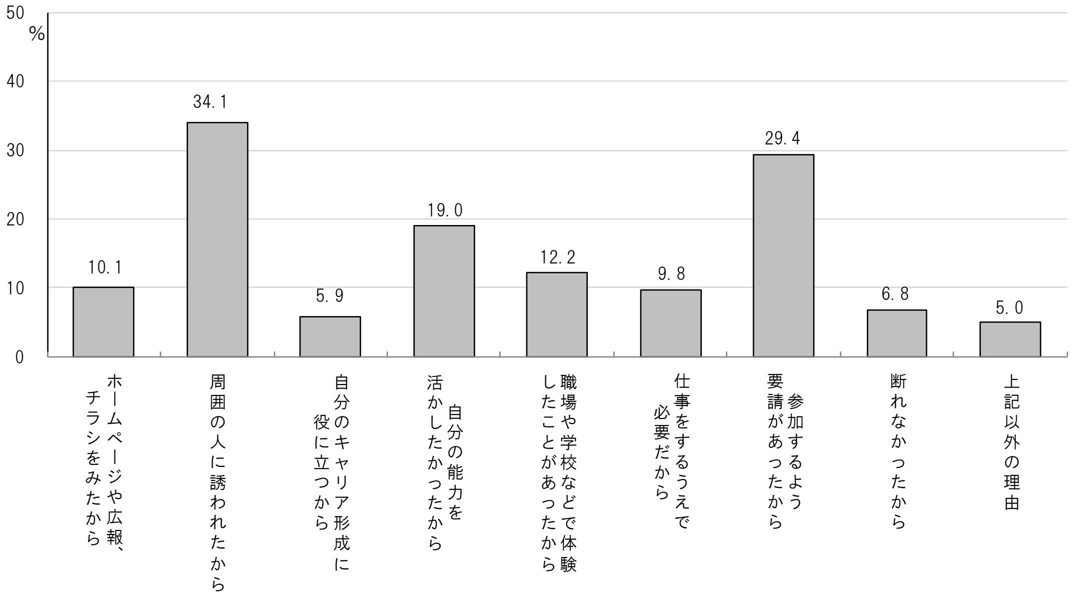
図表 2-4-11　教育を助ける活動の不参加理由



➢ （２）－１　結婚支援や子育てを助ける活動への『参加』理由

○　結婚支援や子育てを助ける活動（学校支援ボランティアを含む）への『参加』理由としては、「周囲の人に誘われたから」が 34.1％と最も高く、次いで「参加するよう要請があったから」（29.4％）、「自分の能力を活かしたかったから」（19.0％）となっています。

図表 2-4-12 結婚支援や子育てを助ける活動への『参加』理由

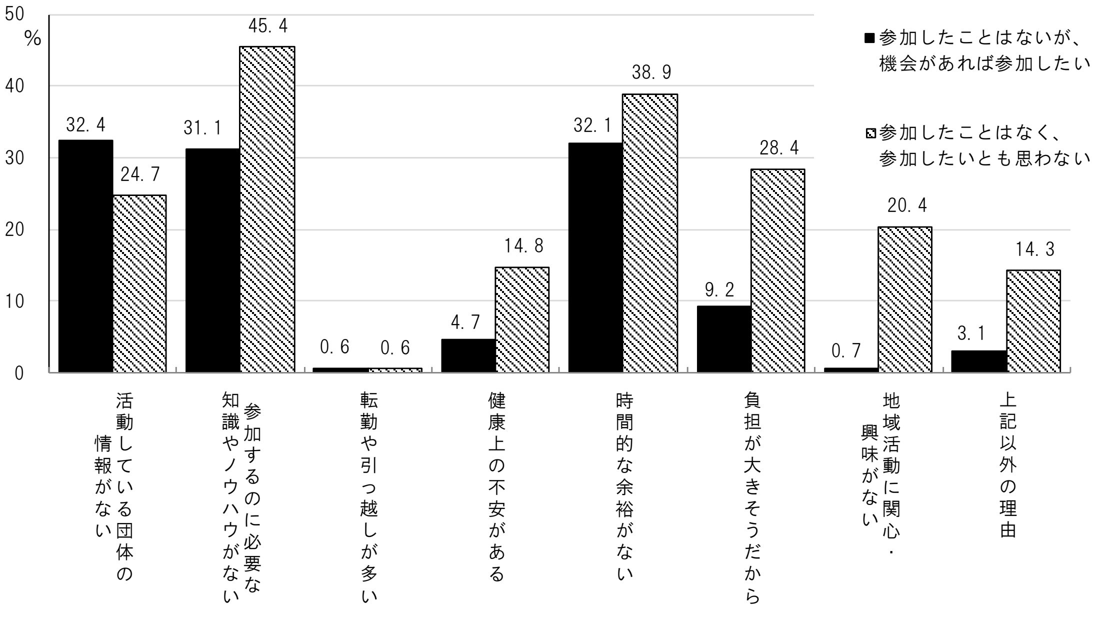


➢ （２）－２　結婚支援や子育てを助ける活動の不参加理由

○　「参加したことはないが、機会があれば参加したい」を選択した人の理由では、「活動している団体の情報がない」が 32.4％と最も高く、次いで「時間的な余裕がない」（32.1％）、「参加するのに必要な知識やノウハウがない」（31.1％）となっています。

○　「参加したことはなく、参加したいとも思わない」を選択した人の理由では、「参加するのに必要な知識やノウハウがない」が 45.4％と最も高く、次いで「時間的な余裕がない」（38.9％）、「負担が大きそうだから」（28.4％）となっています。

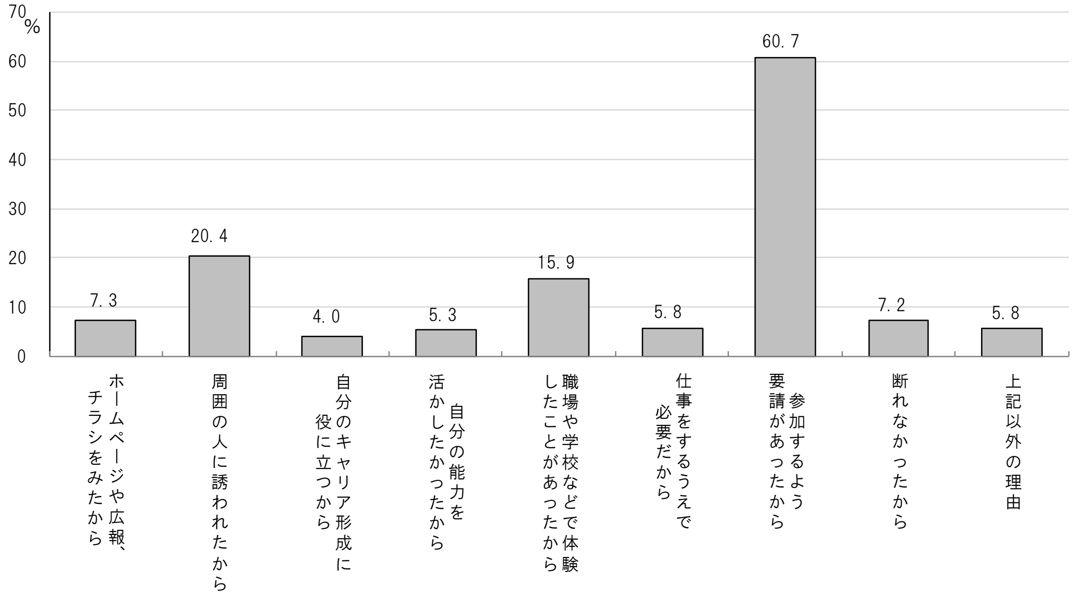
図表 2-4-13 結婚支援や子育てを助ける活動の不参加理由



➢ （３）－１　防犯・防災・交通安全の活動への『参加』理由

○　防犯・防災・交通安全の活動への『参加』理由としては、「参加するよう要請があったから」が 60.7%と最も高く、次いで「周囲の人に誘われたから」(20.4%)、「職場や学校などで体験したことがあったから」(15.9%) となっています。

図表 2-4-14 防犯・防災・交通安全の活動への『参加』理由

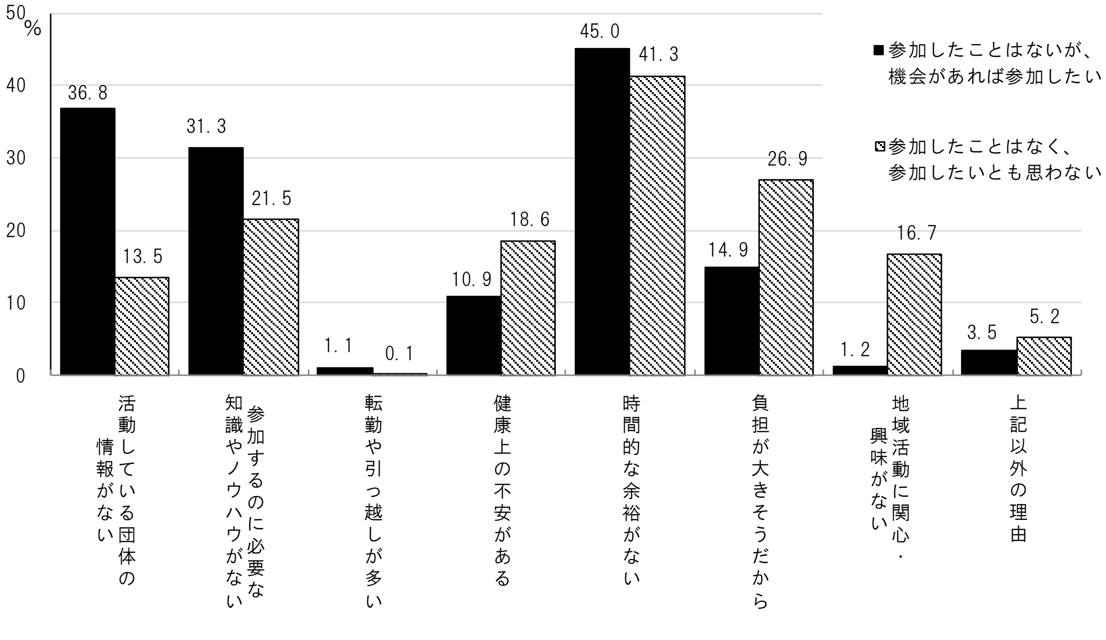


➢ （３）－２　防犯・防災・交通安全の活動の不参加理由

○　「参加したことはないが、機会があれば参加したい」を選択した方の理由では、「時間的な余裕がない」が 45.0%と最も高く、次いで「活動している団体の情報がない」(36.8%)、「参加するのに必要な知識やノウハウがない」(31.3%) となっています。

○　「参加したことはなく、参加したいとも思わない」を選択した方の理由では、「時間的な余裕がない」が 41.3%と最も高く、次いで「負担が大きそうだから」(26.9%)、「参加するのに必要な知識やノウハウがない」(21.5%) となっています。

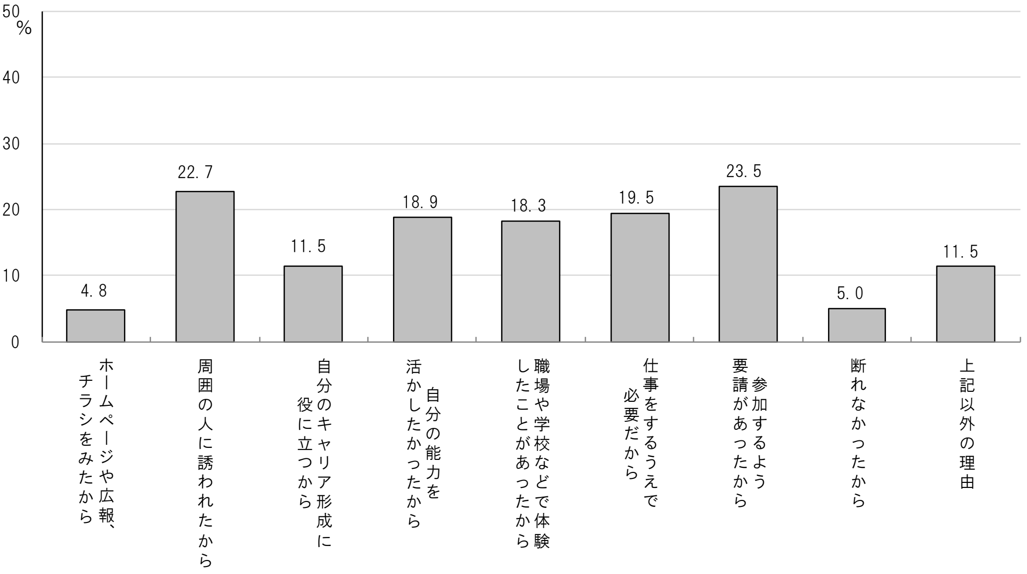
図表 2-4-15 防犯・防災・交通安全の活動の不参加理由



➢ （４）－１　要介護のお年寄りや障がい者の方などを助ける活動への『参加』理由

○　要介護のお年寄りや障がい者の方などを助ける活動への『参加』理由としては、「参加するよう要請があったから」が 23.5%と最も高く、次いで「周囲の人に誘われたから」（22.7%）、「仕事をするうえで必要だから」（19.5%）となっています。

図表 2-4-16　要介護のお年寄りや障がい者の方などを助ける活動への『参加』の理由

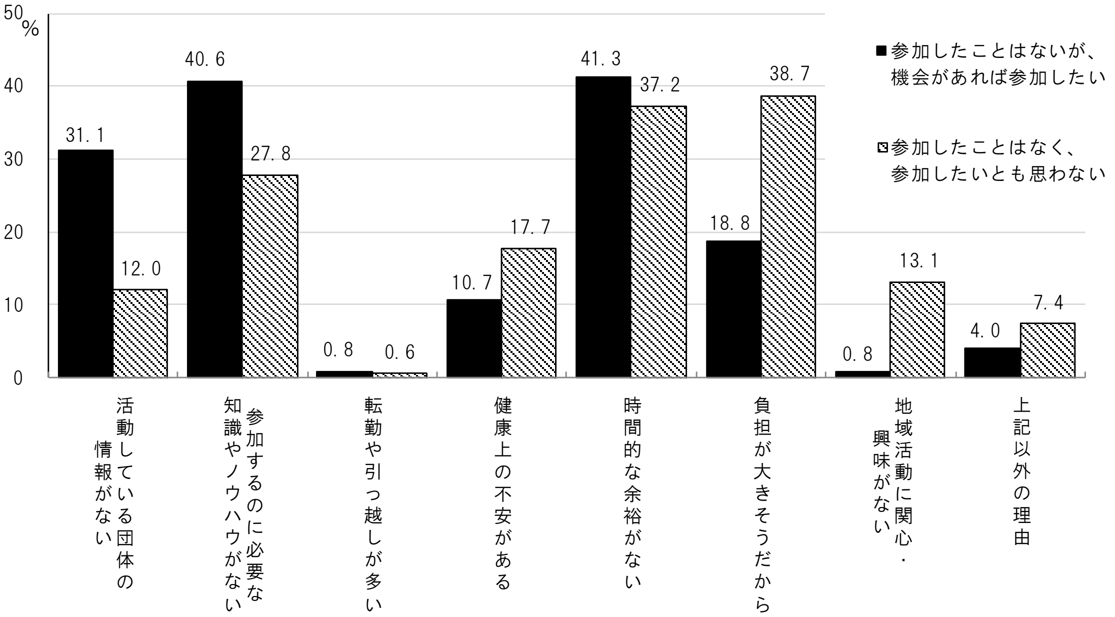


➢ （４）－２　要介護のお年寄りや障がい者の方などを助ける活動の不参加理由

○　「参加したことはないが、機会があれば参加したい」を選択した方の理由では、「時間的な余裕がない」が 41.3%と最も高く、次いで「参加するのに必要な知識やノウハウがない」（40.6%）、「活動している団体の情報がない」（31.1%）となっています。

○　「参加したことはなく、参加したいとも思わない」を選択した方の理由では、「負担が大きそうだから」が 38.7%と最も高く、次いで「時間的な余裕がない」（37.2%）、「参加するのに必要な知識やノウハウがない」（27.8%）となっています。

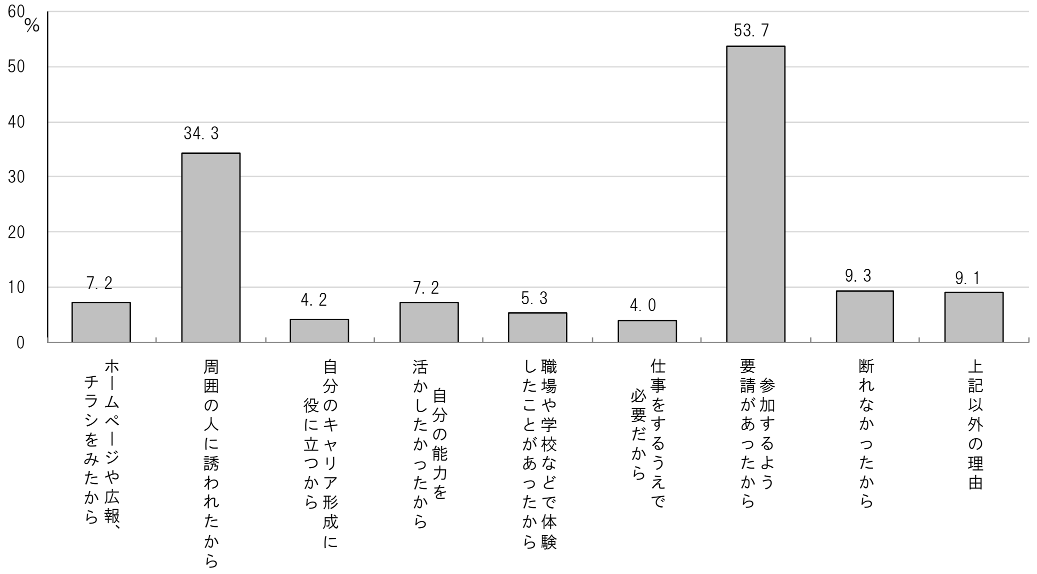
図表 2-4-17 要介護のお年寄りや障がい者の方などを助ける活動の不参加理由



➢ （５）－１　まちづくり、地域振興の活動（祭りや地域の行事を含む）への『参加』理由

○　まちづくり、地域振興の活動（祭りや地域の行事を含む）への『参加』理由としては、「参加するよう要請があったから」が 53.7%と最も高く、次いで「周囲の人に誘われたから」（34.3%）、「断れなかったから」（9.3%）となっています。

図表 2-4-18　まちづくり、地域振興の活動（祭りや地域の行事を含む）への『参加』理由

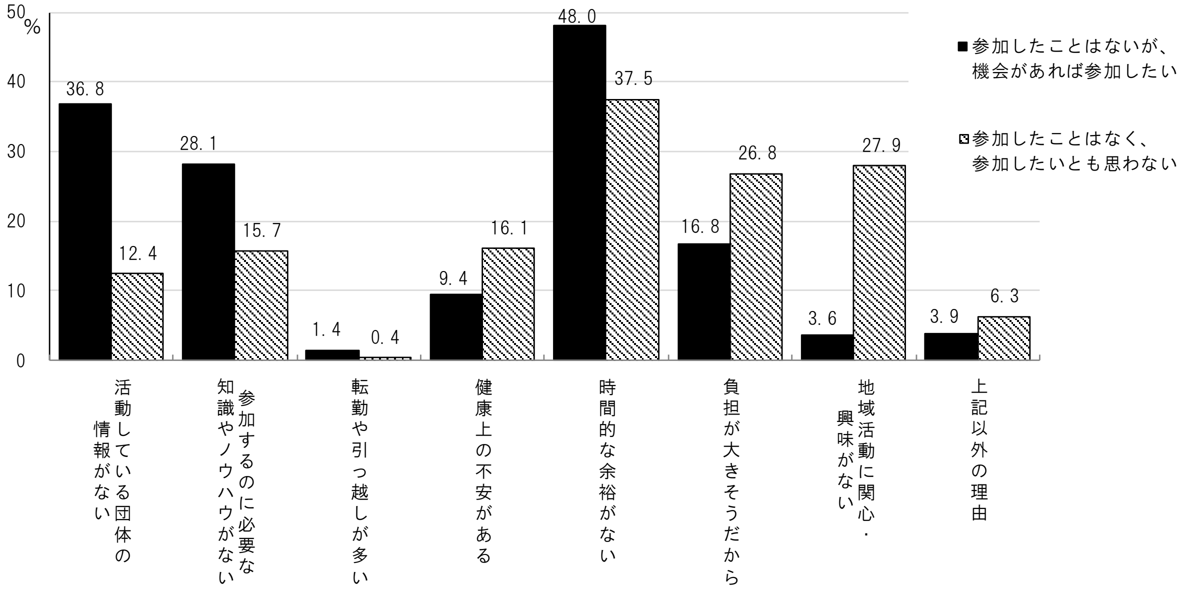


➢ （５）－２　まちづくり、地域振興の活動（祭りや地域の行事を含む）の不参加理由

○　「参加したことはないが、機会があれば参加したい」を選択した方の理由では、「時間的な余裕がない」が 48.0%と最も高く、次いで「活動している団体の情報がない」（36.8%）、「参加するのに必要な知識やノウハウがない」（28.1%）となっています。

○　「参加したことはなく、参加したいとも思わない」を選択した方の理由では、「時間的な余裕がない」が 37.5%と最も高く、次いで「地域活動に関心・興味がない」（27.9%）、「負担が大きそうだから」（26.8%）となっています。

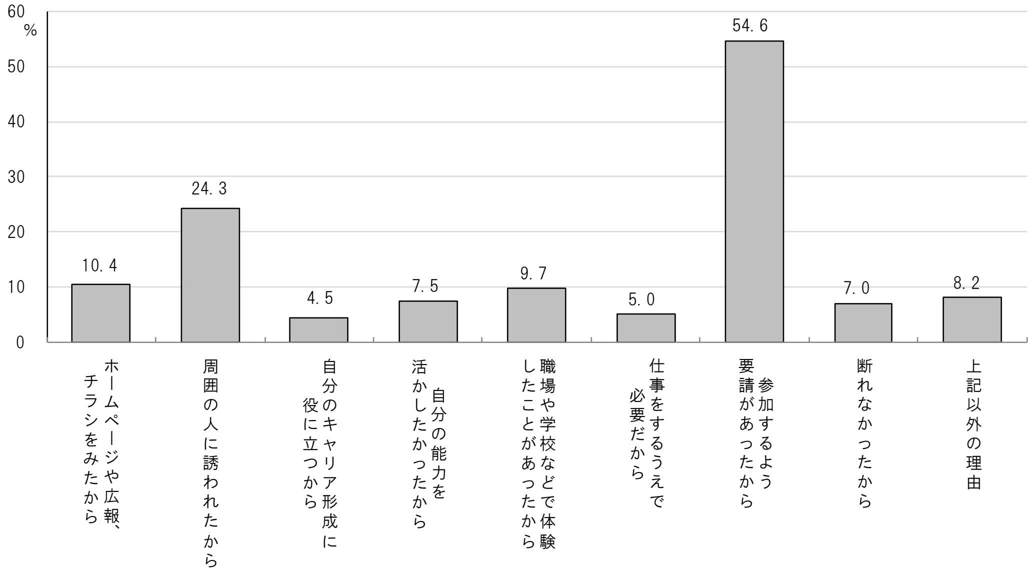
図表 2-4-19　まちづくり、地域振興の活動（祭りや地域の行事を含む）の不参加理由



➢ （６）－１　環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動への『参加』理由

○　環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動への『参加』理由としては、「参加するよう要請があったから」が 54.6%と最も高く、次いで「周囲の人に誘われたから」(24.3%)、「ホームページや広報、チラシをみたから」(10.4%) となっています。

図表 2-4-20 環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動への『参加』理由

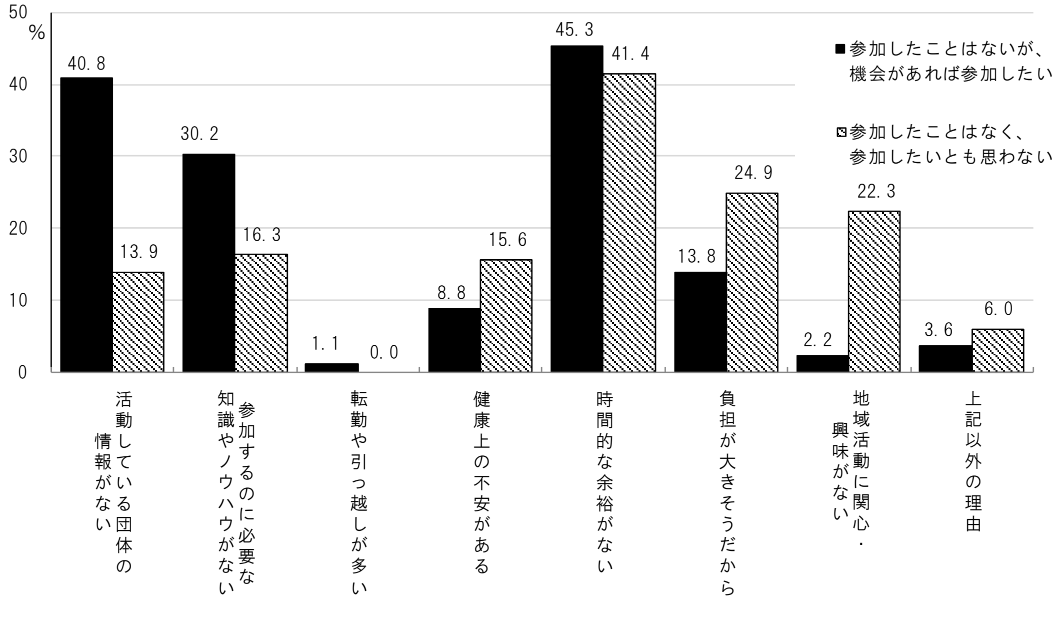


➢ （６）－２　環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動の不参加理由

○　「参加したことはないが、機会があれば参加したい」を選択した方の理由では、「時間的な余裕がない」が 45.3%と最も高く、次いで「活動している団体の情報がない」(40.8%)、「参加するのに必要な知識やノウハウがない」(30.2%) となっています。

○　「参加したことはなく、参加したいとも思わない」を選択した方の理由では、「時間的な余裕がない」が 41.4%と最も高く、次いで「負担が大きそうだから」(24.9%)、「地域活動に関心・興味がない」(22.3%) となっています。

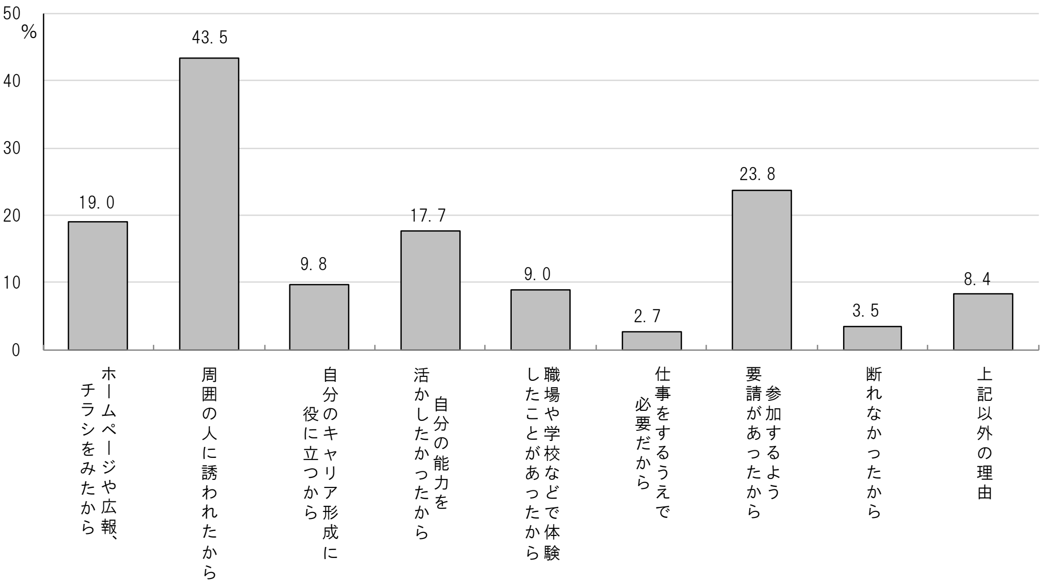
図表 2-4-21 環境美化、自然保護、リサイクル運動など環境保全の活動の不参加理由



➢　（７）－１　運動・スポーツ活動（健康づくりのための活動を含む）への『参加』理由

○　運動・スポーツ活動（健康づくりのための活動を含む）への『参加』理由としては、「周囲の人に誘われたから」が 43.5%と最も高く、次いで「参加するよう要請があったから」（23.8%）、「ホームページや広報、チラシをみたから」（19.0%）となっています。

図表 2-4-22　運動･スポーツ活動への『参加』理由

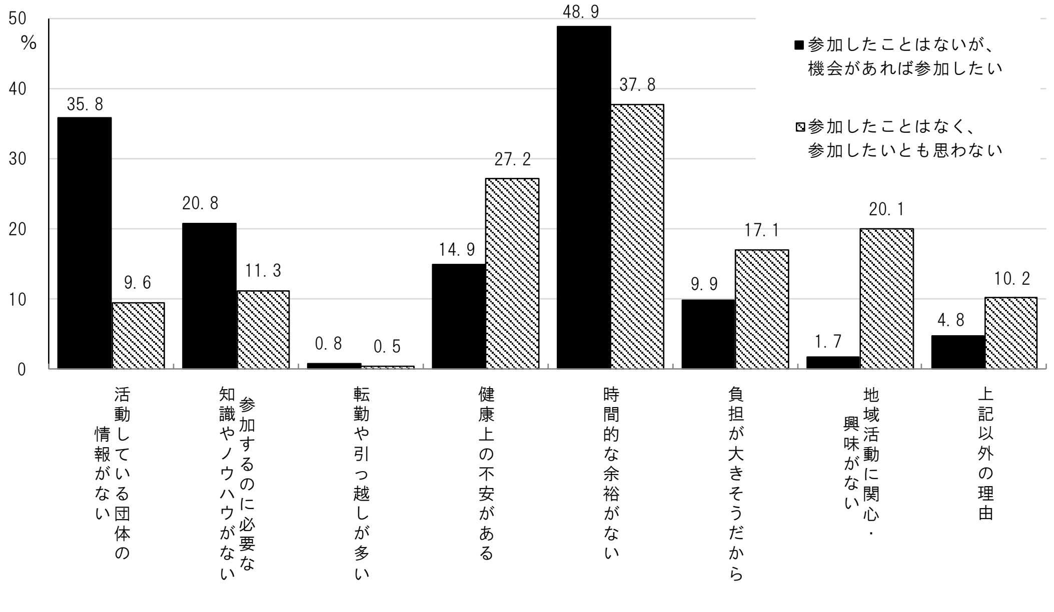


➢　（７）－２　運動・スポーツ活動（健康づくりのための活動を含む）の不参加理由

○　「参加したことはないが、機会があれば参加したい」を選択した方の理由では、「時間的な余裕がない」が 48.9%と最も高く、次いで「活動している団体の情報がない」（35.8%）、「参加するのに必要な知識やノウハウがない」（20.8%）となっています。

○　「参加したことはなく、参加したいとも思わない」を選択した方の理由では、「時間的な余裕がない」が 37.8%と最も高く、次いで「健康上の不安がある」（27.2%）、「地域活動に関心・興味がない」（20.1%）となっています。

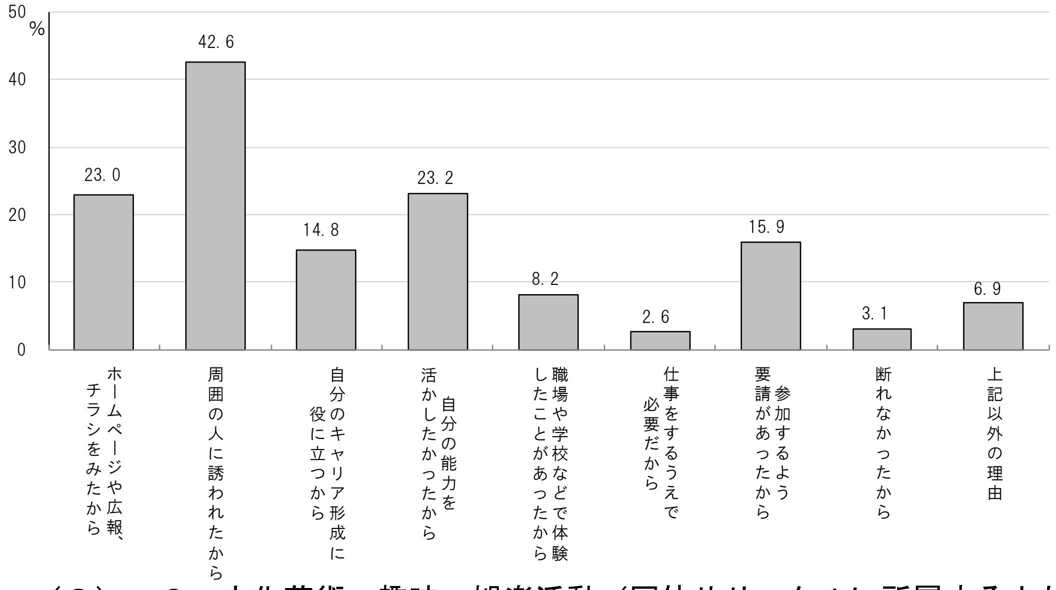
図表 2-4-23　運動･スポーツ活動の不参加理由



➢　（８）－１　文化芸術・趣味・娯楽活動（団体やサークルに所属する人たちの楽しみや研さんなどが目的の活動）への『参加』理由

○　文化芸術・趣味・娯楽活動（団体やサークルに所属する人たちの楽しみや研さんなどが目的の活動）への参加理由としては、「周囲の人に誘われたから」が 42.6%と最も高く、次いで「自分の能力を活かしたかったから」(23.2%)、「ホームページや広報、チラシをみたから」(23.0%) となっています。

図表 2-4-24　文化芸術・趣味・娯楽活動への『参加』理由

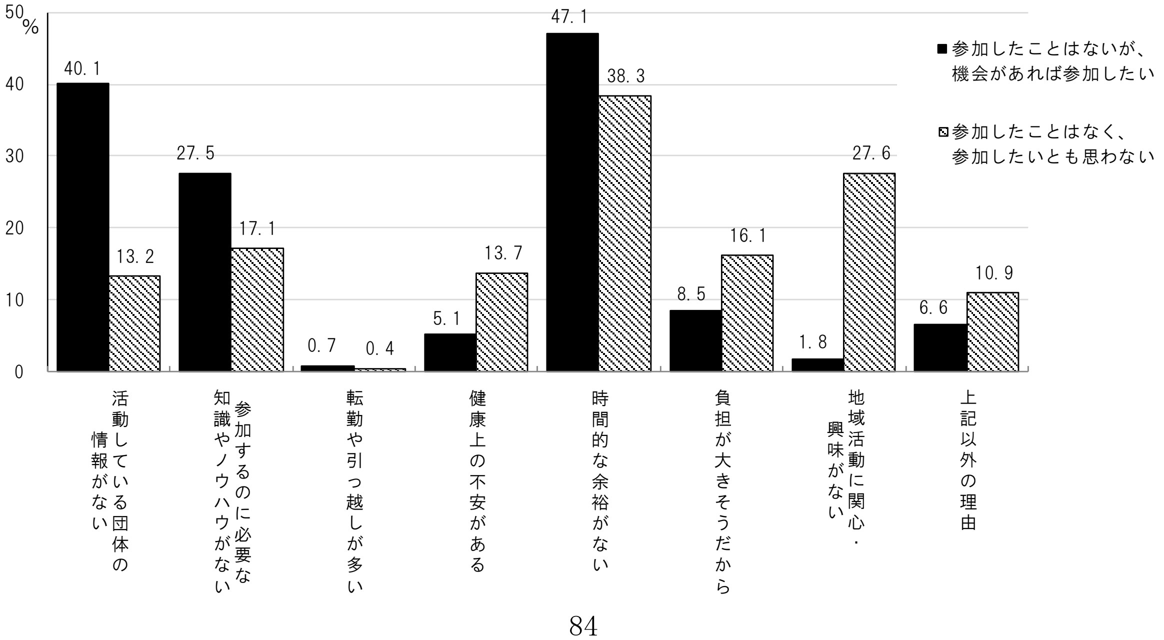


➢　（８）－２　文化芸術・趣味・娯楽活動（団体やサークルに所属する人たちの楽しみや研さんなどが目的の活動）の不参加理由

○　「参加したことはないが、機会があれば参加したい」を選択した方の理由では、「時間的な余裕がない」が 47.1%と最も高く、次いで「活動している団体の情報がない」(40.1%)、「参加するのに必要な知識やノウハウがない」(27.5%) となっています。

○　「参加したことはなく、参加したいとも思わない」を選択した方の理由では、「時間的な余裕がない」が 38.3%と最も高く、次いで「地域活動に関心・興味がない」(27.6%)、「参加するのに必要な知識やノウハウがない」(17.1%) となっています。

図表 2-4-25　文化芸術・趣味・娯楽活動の不参加理由



５．ご家族に関すること

これまでの調査の結果から、「家族」や「結婚」、「子どもを持つこと」は県民の幸福実感と密接な関連があり、県民の幸福実感向上のためには、結婚・妊娠・子育てなどの希望がかなえられるようにしていくことが必要です。また、県民の意識などの変化を継続的に把握することも重要です。

ここでは、「結婚に対する考え方」、「理想の子どもの数と現実」、「結婚、男女関係、家庭、子どもを持つことについての考え方」などの集計結果について記載しています。

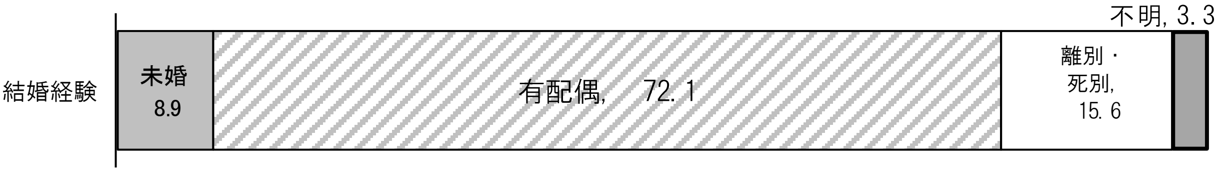
項目	質問文の概要
結婚経験 （問１２）	・あなたはこれまでに結婚をしたことはありますか。
結婚に対する考え方 （問１３）	（問１２で「未婚」、「既婚・死別」、「既婚・離別」と回答した方へ） ・今後の人生を通して考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。 ⑴ いずれ結婚するつもり ⑵ 結婚するつもりはない
理想の子どもの数 （問１４）	・あなたは子どもを何人くらいほしいですか。あるいは、ほしかったですか。理想の子どもの人数をお答えください。
子どもの数 （問１５）	・お子さんは何人いらっしゃいますか。 （お子さんがいらっしゃる方へ） ・お子さんの年齢をご記入ください。
（参考集計） 子どもの数の理想と現実のギャップ	・理想の子どもの数（問１４）と現在の子どもの数（問１５）との関係
実際の子どもの数が理想の子どもの数より少ない理由 （問１７・１８）	・実際の子どもの数が理想の子どもの数より少ない理由として考えられることは何だと思いますか。

問１２　あなたはこれまでに結婚をしたことはありますか。

➢ 結婚経験

○　回答者の配偶関係は、「未婚」が 8.9%、「有配偶」が 72.1%、「離別・死別」が 15.6%となっています。

図表 2-5-1　配偶関係



問１３　今後の人生を通して考えた場合、あなたの結婚に対するお考えは、次のうちどちらですか。

➢ 結婚に対する考え方

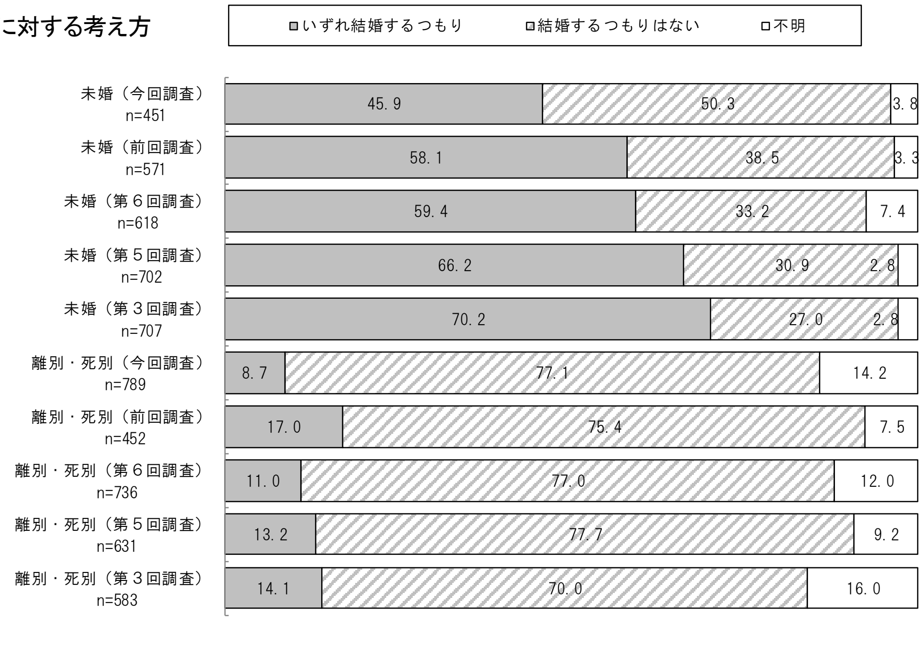
○　未婚の方または離別・死別した方に対して、結婚に対する考え方を質問したところ、未婚は「いずれ結婚するつもり」が 45.9%、「結婚するつもりはない」が 50.3%となっています。離別・死別は「いずれ結婚するつもり」が 8.7%、「結婚するつもりはない」が 77.1%となっています。

○　未婚の「いずれ結婚するつもり」が第３回調査以降低くなっています。

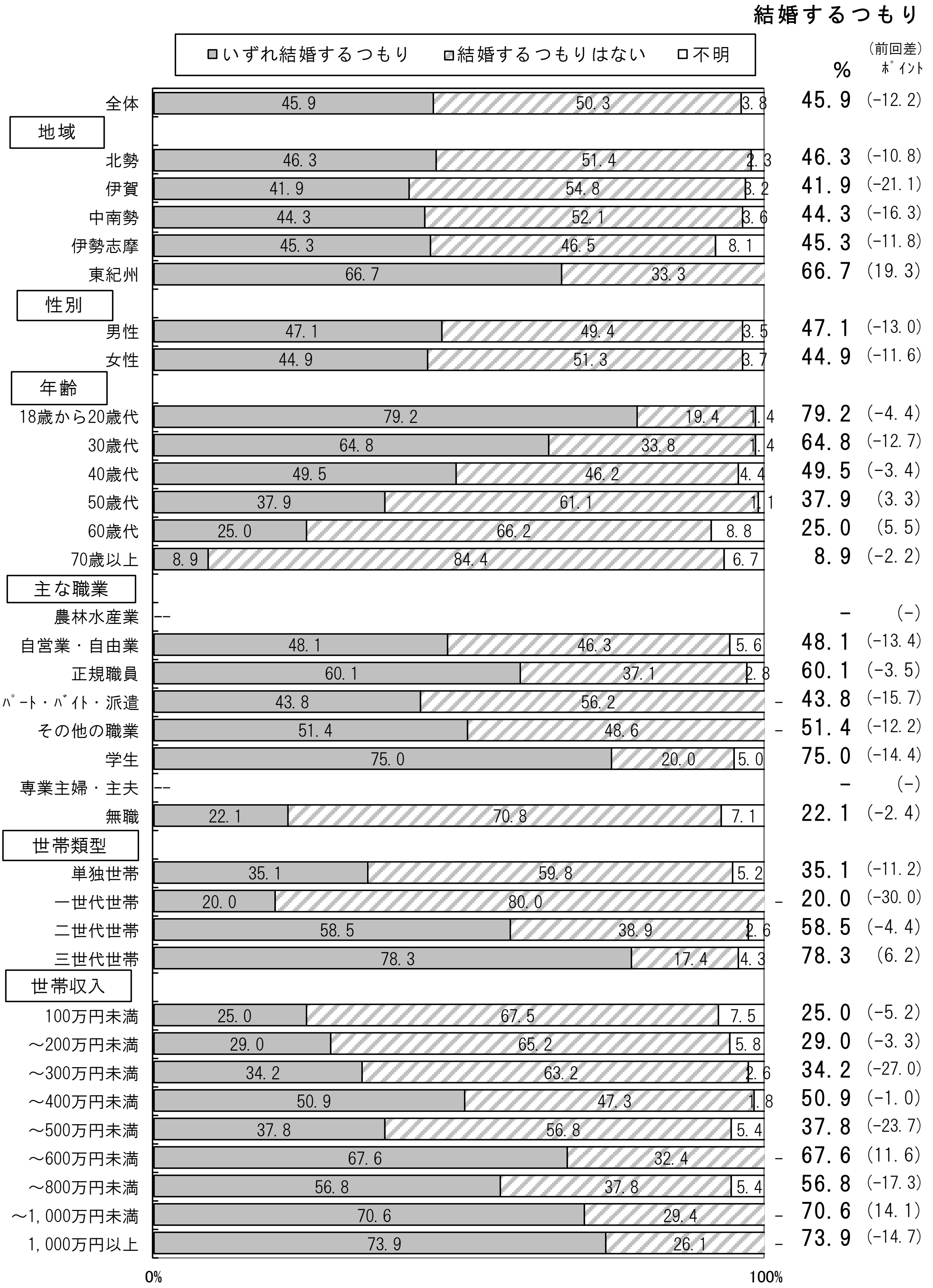
○　「未婚」における属性や属性項目の主な特徴は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

・年齢別で「いずれ結婚するつもり」の割合を見ると、18 歳から 20 歳代（79.2%）、30 歳代（64.8%）、40 歳代（49.5%）は全体より高い。
・主な職業別で「いずれ結婚するつもり」の割合を見ると、学生（75.0%）、正規職員（60.1%）、その他の職業（51.4%）の順に高くなっている。

図表 2-5-2　結婚に対する考え方



図表 2-5-3 「未婚」の結婚に対する考え方（属性別）



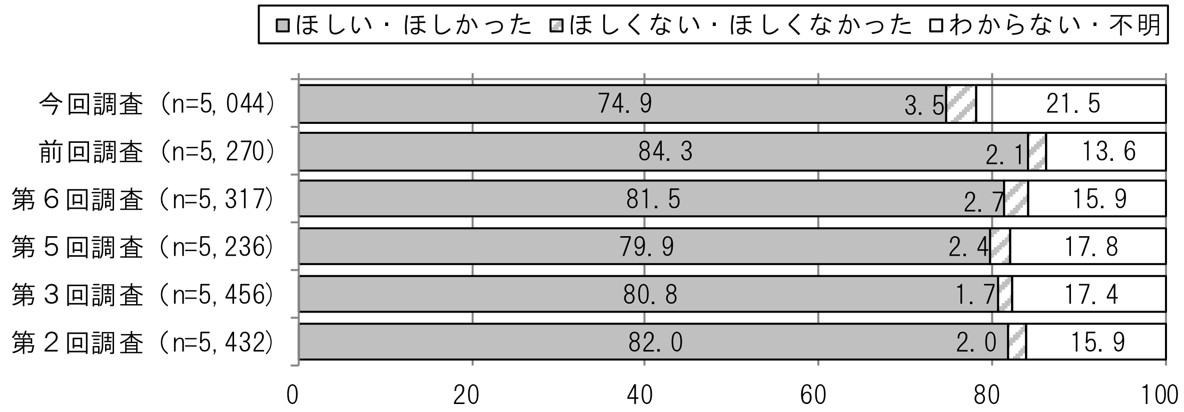
※グラフがない項目は、該当がないかサンプル数が 10 未満のため公表を差し控えたものです。

問１４　あなたは子どもを何人くらいほしいですか。あるいは、ほしかったですか。理想の子どもの人数をお答えください。（○は１つだけ。「１」に○をつけた方は(　)に人数も記入してください。）

➢ 子どもを希望する割合

○　子どもの希望を質問したところ、「子どもがほしい・ほしかった」の割合は 74.9%で、前回調査より 9.4 ポイント低くなっています。

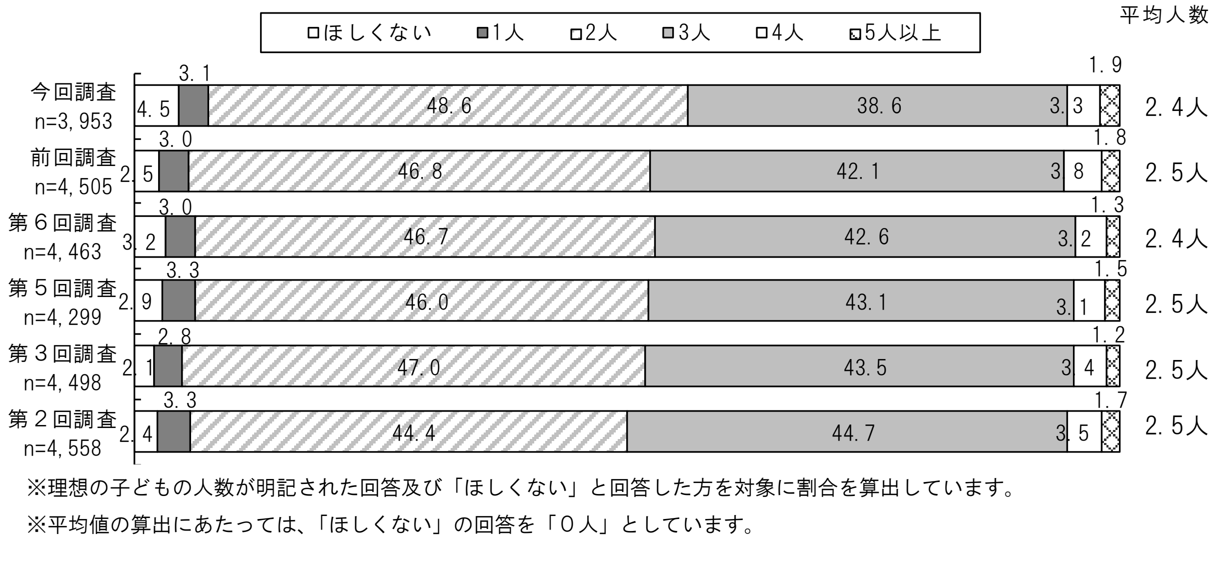
図表 2-5-4　子どもを希望する割合



➢ 理想の子どもの数

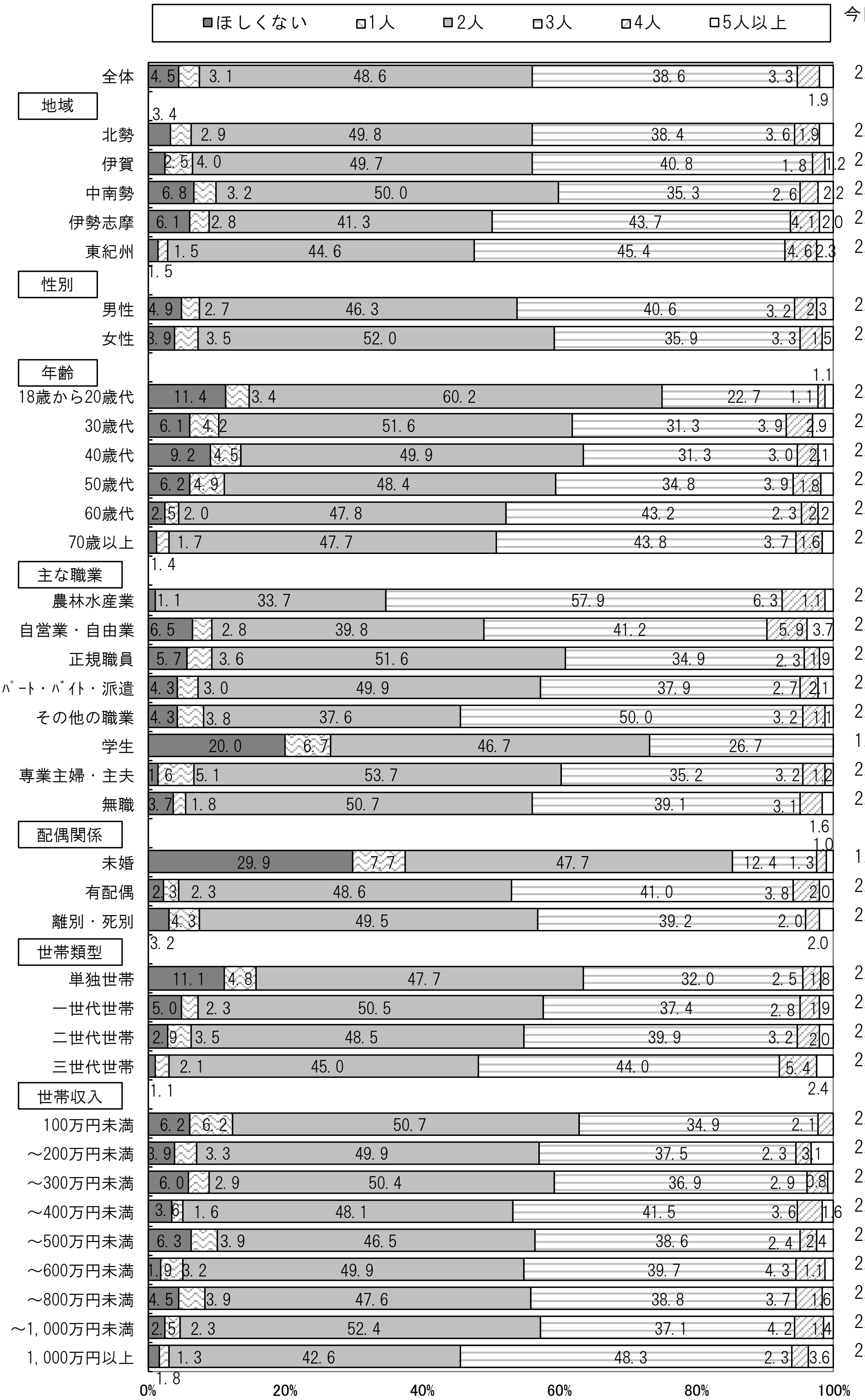
○　理想の子どもの数について、「２人」の割合が 48.6%で最も高く、次いで「３人」（38.6%）となっています。前回調査と比較すると「０人（ほしくない）」、「２人」の割合は高くなっています。理想の子どもの数の平均は 2.4 人で、前回調査より 0.1 人少なくなっています。

図表 2-5-5　理想の子どもの数の推移



※理想の子どもの人数が明記された回答及び「ほしくない」と回答した方を対象に割合を算出しています。
※平均値の算出にあたっては、「ほしくない」の回答を「０人」としています。

図表 2-5-6 理想の子どもの数（属性別）



平均人数

	今回 人	（前回差） 人
全体	2.4	(-0.1)
北勢	2.4	(-0.1)
伊賀	2.4	(-)
中南勢	2.3	(-0.1)
伊勢志摩	2.4	(-0.1)
東紀州	2.6	(-0.1)
男性	2.4	(-0.1)
女性	2.4	(-)
18歳から20歳代	2.0	(-0.1)
30歳代	2.3	(-0.1)
40歳代	2.2	(-0.2)
50歳代	2.3	(-0.2)
60歳代	2.5	(-0.1)
70歳以上	2.5	(-0.1)
農林水産業	2.7	(-)
自営業・自由業	2.5	(-0.1)
正規職員	2.3	(-0.1)
ﾊﾟｰﾄ・ﾊﾞｲﾄ・派遣	2.4	(-0.1)
その他の職業	2.5	(-)
学生	1.8	(-0.3)
専業主婦・主夫	2.4	(-0.1)
無職	2.4	(-)
未婚	1.5	(-0.4)
有配偶	2.5	(-)
離別・死別	2.4	(-)
単独世帯	2.2	(-0.1)
一世代世帯	2.4	(-0.1)
二世代世帯	2.4	(-0.1)
三世代世帯	2.6	(-)
100万円未満	2.2	(0.1)
～200万円未満	2.4	(-)
～300万円未満	2.3	(-0.1)
～400万円未満	2.5	(-)
～500万円未満	2.3	(-0.2)
～600万円未満	2.4	(-0.1)
～800万円未満	2.4	(-0.2)
～1,000万円未満	2.4	(-0.1)
1,000万円以上	2.6	(0.1)

※理想の子どもの人数が明記された回答及び「ほしくない」と回答した方を対象に割合を算出しています。

※平均値の算出にあたっては、「ほしくない」の回答を「０人」としています。

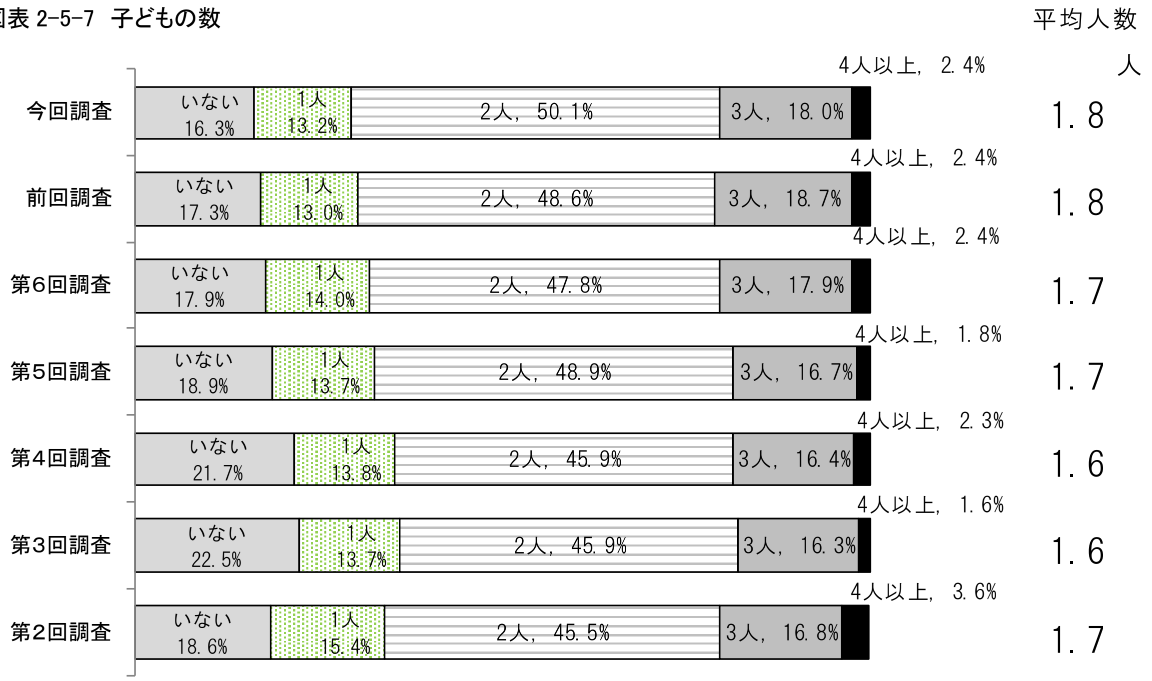
問１５　お子さんは何人いらっしゃいますか。いない方は「０」とお答えください。

➢ 子どもの数

○　実際の子どもの数を質問したところ、「２人」が 50.1%、「３人」が 18.0%、「いない」が 16.3%、「１人」が 13.2%となっています。

なお、回答された方の子どもの平均人数は 1.８人で前回調査と同じになっています。

図表 2-5-7 子どもの数



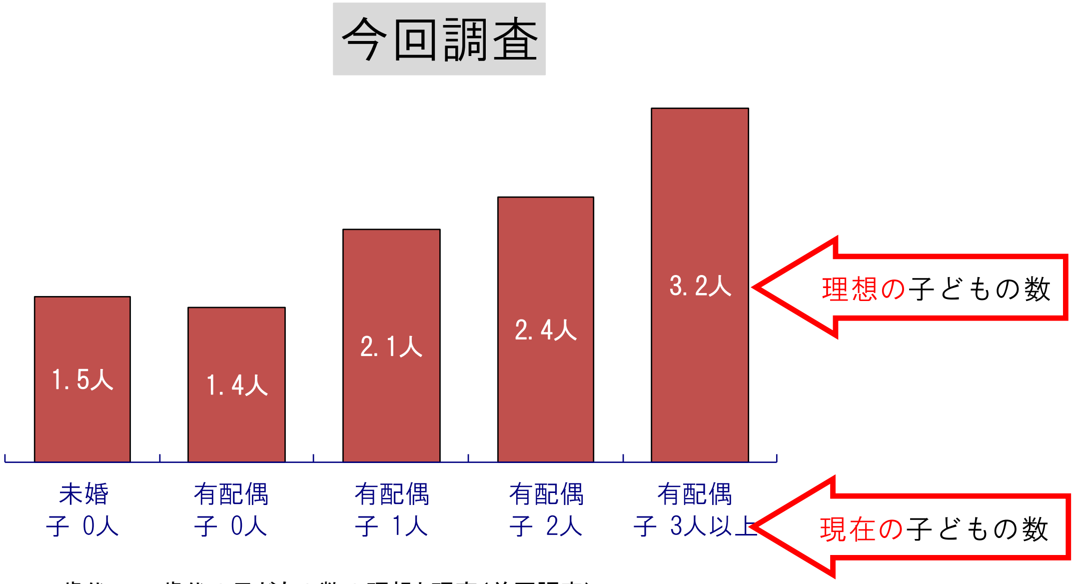
※「不明」を除いて回答割合（%）や平均人数を算出しています。

子どもの数の理想と現実のギャップ（参考集計）

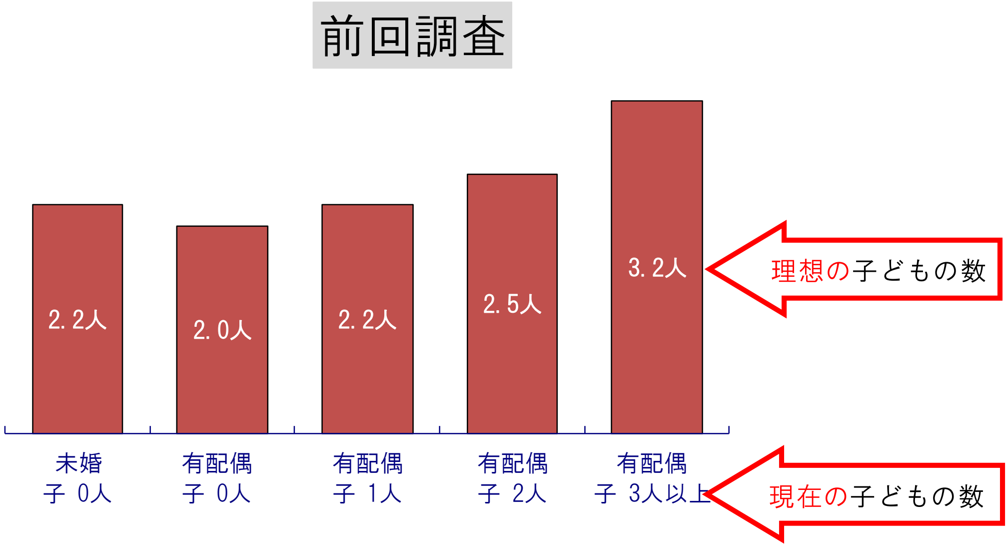
○　20 歳代～40 歳代を対象に実際の子どもの数と理想の子どもの数の関係を見たところ、理想の子どもの数は、未婚で子どもがいない層は 1.５人、有配偶で子どもがいない層は 1.４人、有配偶で子ども１人の層は 2.１人、有配偶で子ども２人の層は 2.４人、有配偶で子ども３人以上の層は 3.２人で、実際の子どもの数は理想の数より少なく、前回調査と同様の結果となっています。

○　前回調査と比べると、理想の子どもの数は、有配偶で子ども３人以上の層では同じでしたが、未婚で子どもがいない層で 0.７人、有配偶で子どもがいない層で 0.６人、有配偶で子ども１人、有配偶で子ども２人の層で、それぞれ 0.１人ずつ減少しています。

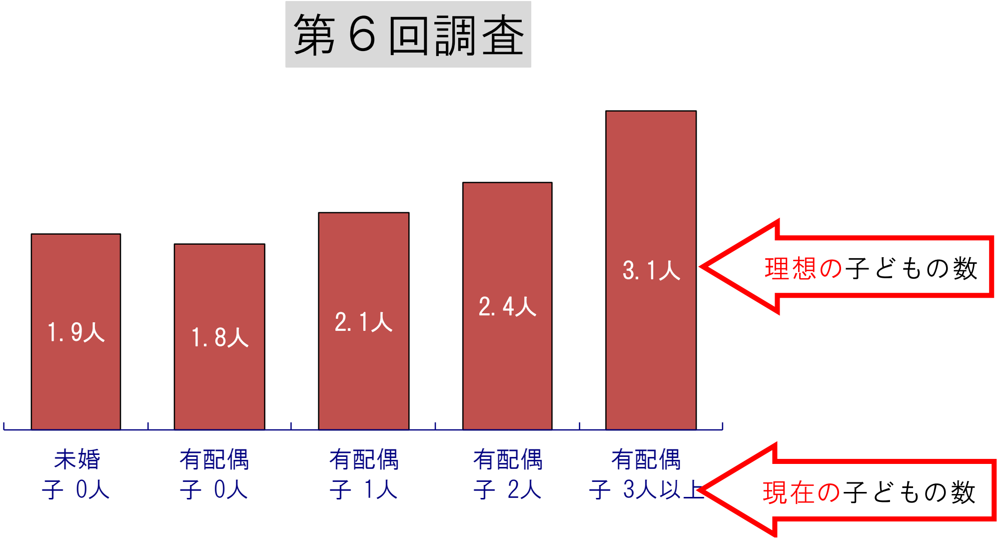
図表 2-5-8　20 歳代～40 歳代の子どもの数の理想と現実（今回調査）



図表 2-5-9　20 歳代～40 歳代の子どもの数の理想と現実（前回調査）



図表 2-5-10　20 歳代～40 歳代の子どもの数の理想と現実（第 6 回調査）



問１７　１８歳未満の子どもを育てている方、または、今後子どもを欲しいとお考えの方はこちらにお答えください。
上記以外の方は問１８にお答えください。
これまでの県の調査では、実際の子どもの数は理想の子どもの数よりも少ないという結果がでています。この理由について、あなた自身のこととして考えた場合、あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

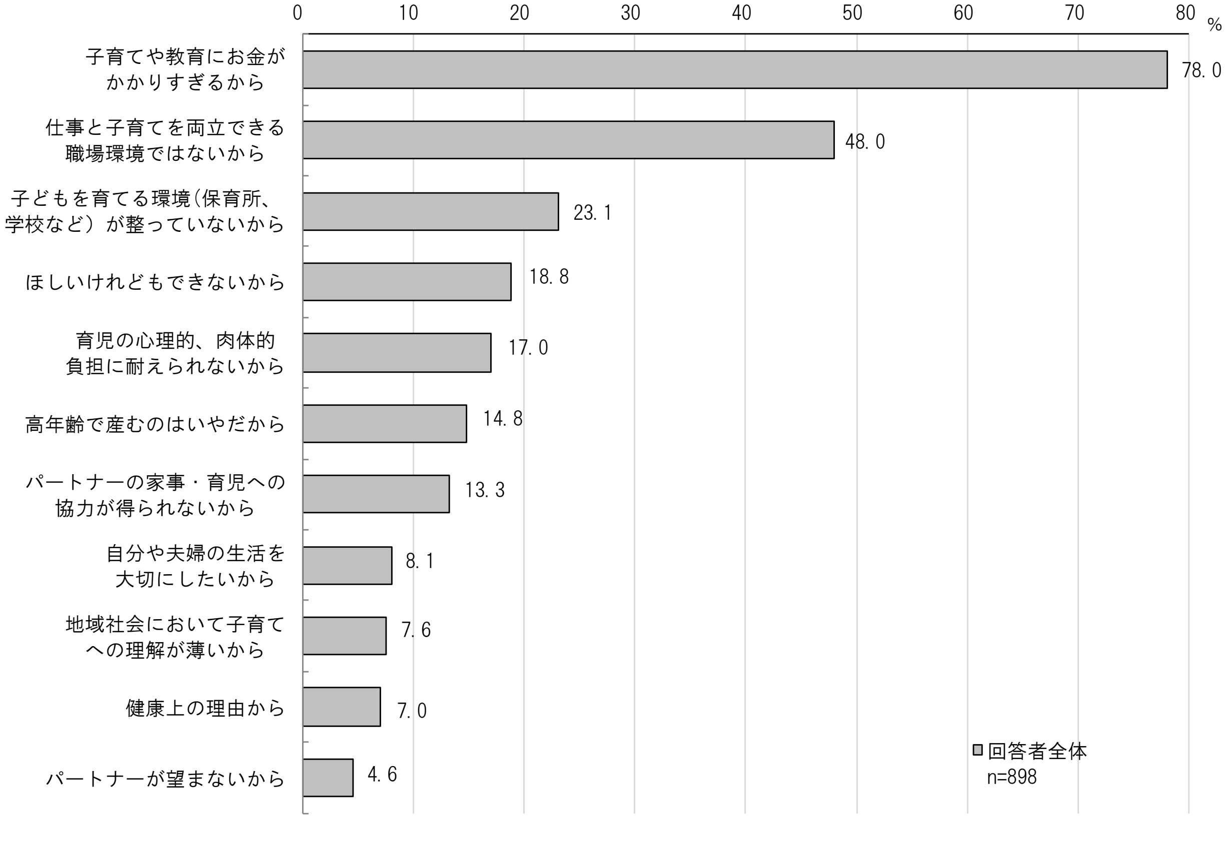
➢ 実際の子どもの数が理想の数より少ない理由

○　18 歳未満の子どもを育てている方、または、今後子どもを欲しいと考えている方に、実際の子どもの数が理想の子どもの数より少ない理由を質問したところ、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」の割合が 78.0%と最も高く、次いで「仕事と子育てを両立できる職場環境ではないから」（48.0%）、「子どもを育てる環境（保育所、学校など）が整っていないから」（23.1%）の順となっています。

○　属性別における主な特徴は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

・全ての属性で、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」の割合が最も高い。
・18 歳から 20 歳代は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」、「子どもを育てる環境(保育所、学校など）が整っていないから」の割合が 30～40 歳代より 12 ポイント以上高い。

図表 2-5-11　実際の子どもの数が理想の数より少ない理由（複数回答）



図表 2-5-12 実際の子どもの数が理想の数より少ない理由（属性別）

		子育てや教育にお金がかかりすぎるから	仕事と子育てを両立できる職場環境ではないから	子どもを育てる環境（保育所、学校など）が整っていないから	ほしいけれどもできないから	育児の心理的、肉体的負担に耐えられないから	高年齢で産むのはいやだから	パートナーの家事・育児への協力が得られないから	自分や夫婦の時間を大切にしたいから	地域社会において子育てへの理解が薄いから	健康上の理由から	パートナーが望まないから
全体		78.0	48.0	23.1	18.8	17.0	14.8	13.3	8.1	7.6	7.0	4.6
地域	北勢	80.1	43.6	23.0	16.7	16.7	13.8	13.3	8.1	7.0	7.0	4.1
	伊賀	75.6	58.5	30.5	24.4	20.7	12.2	15.9	9.8	11.0	9.8	8.5
	中南勢	74.5	50.6	22.7	17.5	17.5	16.7	13.5	6.8	7.6	8.0	4.8
	伊勢志摩	76.3	51.5	16.5	24.7	15.5	15.5	11.3	10.3	8.2	4.1	3.1
	東紀州	90.9	54.5	31.8	27.3	4.5	22.7	9.1	9.1	4.5	―	4.5
性別	男性	79.6	43.3	20.9	16.5	12.7	11.9	4.8	8.8	5.3	4.6	4.2
	女性	76.1	52.8	25.5	21.4	21.6	17.8	22.1	7.5	10.0	9.6	4.8
年齢	18歳から20歳代	90.6	57.8	40.6	21.9	25.0	9.4	15.6	12.5	10.9	7.8	1.6
	30歳代	78.5	57.7	26.4	18.9	25.3	12.1	15.5	13.6	9.4	6.4	6.8
	40歳代	77.6	42.6	21.2	18.6	14.1	16.9	12.6	4.5	7.3	7.6	4.5
主な職業	農林水産業	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	自営業・自由業	79.3	44.8	20.7	20.7	11.5	17.2	6.9	14.9	5.7	5.7	2.3
	正規職員	76.9	48.0	22.9	17.8	15.0	13.1	8.4	6.0	6.9	5.4	4.9
	ﾊﾟｰﾄ・ﾊﾞｲﾄ・派遣	81.5	53.1	25.9	16.0	21.0	13.6	24.7	6.2	11.1	9.9	3.1
	その他の職業	68.4	44.7	23.7	28.9	13.2	10.5	18.4	13.2	7.9	2.6	5.3
	学生	90.0	40.0	20.0	10.0	40.0	10.0	20.0	40.0	10.0	―	―
	専業主婦・主夫	83.0	53.2	23.4	23.4	26.6	21.3	22.3	11.7	9.6	11.7	7.4
	無職	59.3	18.5	14.8	25.9	7.4	22.2	14.8	3.7	―	18.5	3.7
配偶関係	未婚	78.7	49.1	25.0	20.4	17.6	20.4	9.3	11.1	11.1	8.3	1.9
	有配偶	78.4	48.4	23.6	19.2	17.5	14.3	13.8	7.6	7.4	6.4	5.1
	離婚・死別	73.3	41.7	15.0	13.3	11.7	10.0	13.3	8.3	5.0	13.3	1.7
世帯類型	単独世帯	70.0	37.5	12.5	20.0	5.0	12.5	7.5	7.5	12.5	15.0	10.0
	一世代世帯	76.6	44.5	26.6	24.2	18.8	9.4	13.3	8.6	8.6	9.4	6.3
	二世代世帯	78.7	50.2	24.2	17.3	17.5	15.5	12.5	8.0	7.2	6.3	4.3
	三世代世帯	78.9	44.2	14.7	21.1	18.9	18.9	21.1	9.5	7.4	6.3	1.1
世帯収入	100万円未満	73.7	31.6	10.5	31.6	10.5	15.8	21.1	―	10.5	10.5	―
	～200万円未満	62.5	53.1	25.0	18.8	15.6	15.6	15.6	12.5	9.4	21.9	9.4
	～300万円未満	80.9	53.2	25.5	17.0	6.4	14.9	10.6	8.5	8.5	4.3	2.1
	～400万円未満	77.8	50.6	24.7	24.7	14.8	16.0	16.0	7.4	6.2	7.4	6.2
	～500万円未満	83.8	51.5	21.2	16.2	23.2	14.1	15.2	10.1	7.1	5.1	4.0
	～600万円未満	81.3	38.3	19.5	24.2	17.2	18.8	11.7	7.0	4.7	9.4	6.3
	～800万円未満	82.3	48.9	24.7	14.5	16.7	12.4	11.8	7.5	5.9	8.6	3.2
	～1,000万円未満	75.4	47.4	23.7	19.3	17.5	13.2	13.2	7.9	8.8	4.4	4.4
	1,000万円以上	71.1	52.6	24.4	19.3	20.0	17.0	13.3	7.4	10.4	3.0	5.2

※凡例： 第１位 第２位 第３位

※「×」はサンプル数が 10 未満のため公表を差し控えたもの

問１８　問１７でお答えいただいた方以外（１８歳未満の子どもを育てている方、または、今後子どもを欲しいとお考えの方以外）はこちらにお答えください。
　これまでの県の調査では、実際の子どもの数は理想の子どもの数より少ないという結果がでています。この理由として考えられることとして、あてはまるものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

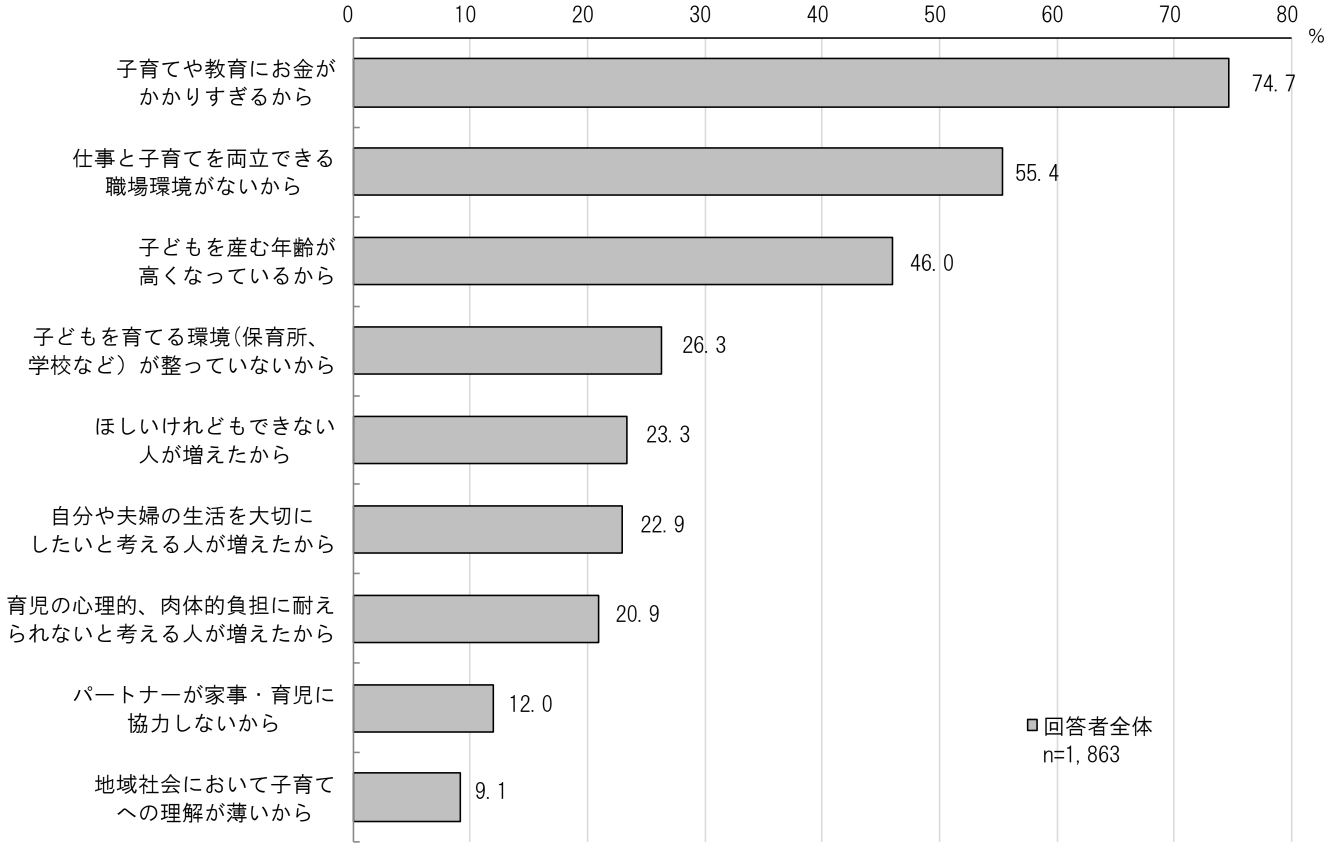
➢ 実際の子どもの数が理想の子どもの数より少ない理由

○　18 歳未満の子どもを育てている方、または、今後子どもをほしいとお考えの方以外の方に質問したところ、実際の子どもの数が理想の子どもの数より少ない理由は、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」の割合が 74.7%と最も高く、次いで「仕事と子育てを両立できる職場環境がないから」(55.4%)、「子どもを産む年齢が高くなっているから」(46.0%）の順となっています。

○　属性別における主な特徴は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

・全ての属性で、「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」、「仕事と子育てを両立できる職場環境がないから」の順で割合が高い。
・18 歳から 30 歳代は、「育児の心理的、肉体的負担に耐えられないと考える人が増えたから」の割合が 40 歳代より 14 ポイント以上高い。

図表 2-5-13 実際の子どもの数が理想の子どもの数より少ない理由



図表 2-5-14 実際の子どもの数が理想の数より少ない理由（属性別）

		子育てや教育にお金がかかりすぎるから	仕事と子育てを両立できる職場環境がないから	子どもを産む年齢が高くなっているから	子どもを育てる環境（保育所、学校など）が整っていないから	ほしいけれどもできない人が増えたから	自分や夫婦の時間を大切にしたいと考える人が増えたから	育児の心理的、肉体的負担に耐えられないと考える人が増えたから	パートナーが家事・育児に協力しないから	地域社会において子育てへの理解が薄いから
全体		74.7	55.4	46.0	26.3	23.3	22.9	20.9	12.0	9.1
地域	北勢	73.9	52.3	44.2	24.6	22.3	24.1	20.3	11.5	8.2
	伊賀	78.7	58.2	47.5	19.1	19.1	21.3	16.3	16.3	9.9
	中南勢	72.5	55.7	48.6	29.6	25.5	21.2	20.4	10.0	9.8
	伊勢志摩	79.0	64.6	48.5	28.4	25.8	22.7	26.6	16.6	9.2
	東紀州	78.2	54.5	38.2	30.9	20.0	25.5	25.5	10.9	16.4
性別	男性	75.5	52.1	42.0	26.0	18.6	24.7	18.8	7.2	9.5
	女性	73.9	60.0	51.8	26.7	29.9	20.6	23.8	18.7	8.4
年齢	18歳から20歳代	76.0	52.0	24.0	32.0	20.0	24.0	40.0	28.0	12.0
	30歳代	66.7	63.0	29.6	33.3	33.3	25.9	37.0	18.5	22.2
	40歳代	71.5	48.0	46.3	21.1	26.8	22.8	22.8	13.8	7.3
主な職業	農林水産業	63.3	51.0	42.9	16.3	28.6	14.3	28.6	10.2	10.2
	自営業・自由業	73.8	52.8	49.3	25.3	29.3	21.0	19.2	9.6	11.4
	正規職員	74.9	53.2	45.2	27.5	23.9	27.1	22.4	10.9	8.0
	ﾊﾟｰﾄ･ﾊﾞｲﾄ･派遣	83.2	61.3	45.5	29.3	19.9	26.6	21.2	15.8	9.1
	その他の職業	66.7	57.5	47.1	25.3	21.8	16.1	23.0	9.2	6.9
	学生	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	専業主婦・主夫	73.4	61.8	58.5	27.1	34.8	18.4	25.1	20.8	10.6
	無職	72.7	52.6	41.7	24.7	17.5	22.0	17.3	8.9	8.7
配偶関係	未婚	61.3	49.4	39.4	30.6	21.3	23.1	20.0	13.1	12.5
	有配偶	76.8	56.4	47.2	26.7	23.4	23.7	21.7	11.6	8.8
	離婚・死別	74.5	54.9	45.1	22.0	24.5	20.3	17.5	14.3	9.1
世帯類型	単独世帯	69.1	51.3	42.8	24.2	25.4	18.6	16.5	14.4	10.6
	一世代世帯	74.8	54.4	45.3	26.6	24.3	24.3	20.0	10.7	8.3
	二世代世帯	75.4	58.5	48.1	26.7	22.1	23.6	23.3	11.9	9.1
	三世代世帯	79.4	57.1	48.8	27.6	21.8	20.0	23.5	15.9	11.8
世帯収入	100万円未満	60.9	34.4	21.9	14.1	26.6	18.8	26.6	3.1	6.3
	～200万円未満	76.1	53.8	43.5	25.0	18.5	19.6	18.5	13.6	10.3
	～300万円未満	77.6	52.1	43.5	26.2	25.9	19.5	17.9	13.1	6.4
	～400万円未満	77.1	57.3	46.1	26.3	22.9	20.8	17.7	12.3	8.5
	～500万円未満	74.9	61.6	45.5	28.0	20.9	26.5	21.8	9.0	9.5
	～600万円未満	76.7	57.3	48.0	30.0	23.3	24.7	22.7	12.0	10.0
	～800万円未満	72.6	55.8	48.6	24.0	24.0	23.1	24.0	13.5	11.1
	～1,000万円未満	78.9	54.7	49.7	29.2	21.7	23.6	23.6	12.4	9.3
	1,000万円以上	67.2	60.5	54.2	29.9	28.8	29.9	23.2	10.2	8.5

※凡例： 第１位 第２位 第３位

※「×」はサンプル数が 10 未満のため公表を差し控えたもの

６．人とのつながりに関すること

「みえ県民力ビジョン・第二次行動計画」を約３年進めてきた中で、県民の皆さんが安心感のある暮らしを送るために必要だと考える「人とのつながり」の意識について、第５回調査との比較や、属性ごとの特徴を記載しています。

第二次行動計画では、「経済的な豊かさ」、「精神的な豊かさ」、「社会のシステムやつながりの豊かさ」の 3 つの豊かさをすべて高めていくことで享受できる豊かさを「新しい豊かさ」として提示しています。

3 つの豊かさのうち、「社会のシステムやつながりの豊かさ」に関して、第 5 回調査に引き続き、安心感のある暮らしを送るために、どのような「人とのつながり」が必要か、質問しました。

項目	質問文の概要
人とのつながり（問１９）	・あなたは、安心感のある暮らしを送るために必要な「人とのつながり」とはどのようなものだと思いますか。次の中からあなたの考えにもっとも近いものに２つまで○をつけてください。（○は２つまで）。

問１９　あなたは、安心感のある暮らしを送るために必要な「人とのつながり」とはどのようなものだと思いますか。次の中からあなたの考えにもっとも近いものに２つまで○をつけてください。（○は２つまで）

➢　人とのつながりについて

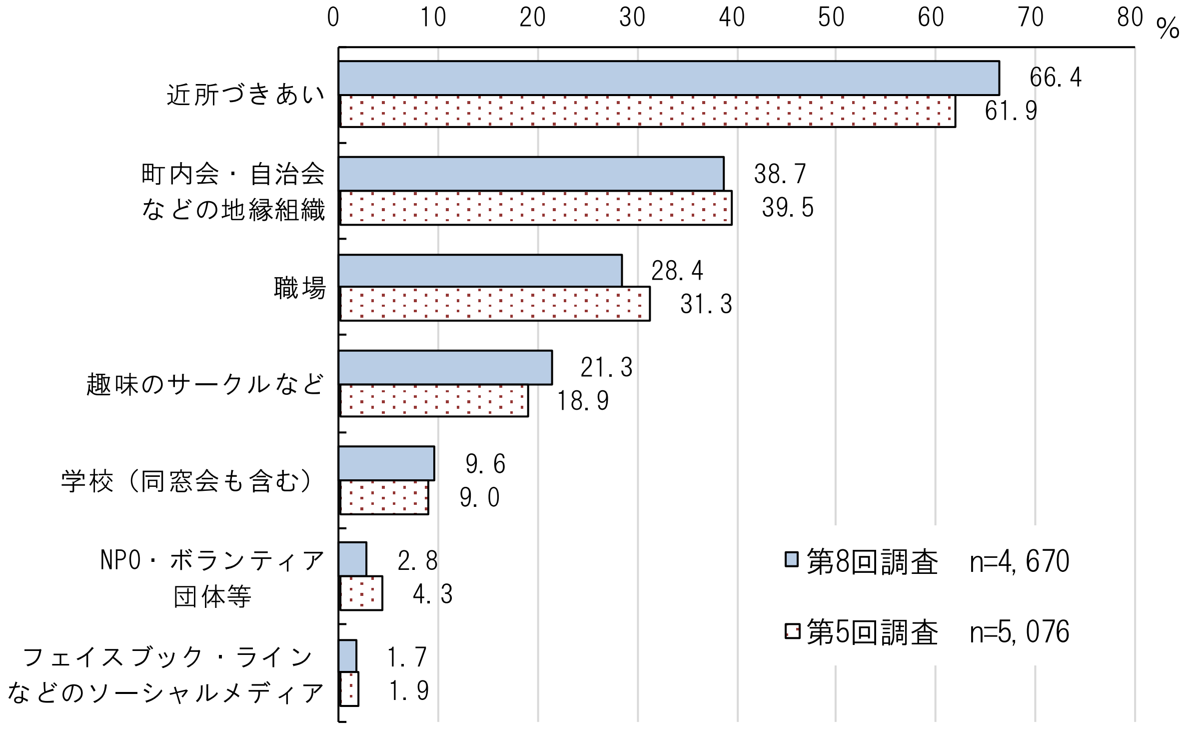
○　安心感のある暮らしを送るために必要な「人とのつながり」について質問したところ、「近所づきあい」が 66.4%と最も高く、次いで「町内会・自治会などの地縁組織」(38.7%)、「職場」(28.4%)の順となっています。

○　第 5 回調査の割合と比較すると、「近所づきあい」（66.4%）は 4.5 ポイントの増、「趣味のサークルなど」（21.3%）は 2.4 ポイントの増、「学校（同窓会も含む)」（9.6%）が 0.6 ポイントの増となっています。「職場」28.4%は 2.9 ポイントの減となっています。

○　属性別における主な特徴は次のとおりです。（※統計的有意性は未確認）

・全ての属性で「近所づきあい」の割合が最も高い。
・18 歳から 50 歳代は「職場」の割合が２番目に高いが、60 歳代以上は「町内会・自治会などの地縁組織」の割合が２番目に高い。
・学生は「趣味のサークルなど」の割合が２番目に高い。

図表 2-6-1　人とのつながりについて



図表 2-6-2 人とのつながりについて（属性別）

		近所づきあい	町内会・自治会などの地縁組織	職場	趣味のサークルなど	学校（同窓会も含む）	NPO・ボランティア団体等	フェイスブック・ラインなど
全体		66.4	38.7	28.4	21.3	9.6	2.8	1.7
地域	北勢	65.5	41.4	28.0	21.4	9.5	2.9	1.8
	伊賀	65.5	38.4	28.6	23.8	9.0	4.6	2.0
	中南勢	65.5	32.4	29.9	21.4	10.7	2.2	1.4
	伊勢志摩	69.8	41.7	28.9	19.1	9.5	3.2	2.0
	東紀州	78.2	42.3	21.8	22.4	4.5	2.6	0.6
性別	男性	63.7	42.8	29.2	21.4	8.4	2.9	1.6
	女性	70.2	33.7	27.7	21.3	11.1	2.8	1.8
年齢	18歳から20歳代	48.5	13.9	46.5	27.7	22.8	－	6.9
	30歳代	56.8	16.0	52.3	16.0	21.1	3.3	3.3
	40歳代	55.2	20.2	50.3	16.8	18.5	1.8	3.3
	50歳代	63.6	32.1	39.6	19.4	8.2	3.5	2.0
	60歳代	69.8	43.7	23.6	22.2	5.8	3.5	1.2
	70歳以上	73.7	52.8	11.1	24.1	6.4	2.4	0.6
主な職業	農林水産業	77.8	62.4	20.5	12.0	8.5	0.9	0.9
	自営業・自由業	62.7	39.9	27.0	21.5	11.3	5.1	1.9
	正規職員	58.2	27.0	50.5	18.6	12.2	2.3	2.3
	ﾊﾟｰﾄ･ﾊﾞｲﾄ･派遣	64.8	31.5	40.6	17.9	11.1	2.5	2.0
	その他の職業	63.7	36.3	33.0	20.8	9.9	3.3	2.4
	学生	52.6	5.3	36.8	47.4	36.8	－	5.3
	専業主婦・主夫	77.6	37.0	11.8	27.0	10.2	3.3	1.4
	無職	71.8	51.7	9.9	24.1	5.3	2.5	0.9
配偶関係	未婚	55.1	20.3	39.1	22.0	10.5	4.3	4.1
	有配偶	67.7	40.3	28.9	20.8	9.8	2.7	1.3
	離別・死別	66.3	41.2	22.4	23.2	8.5	3.0	2.2
世帯類型	単独世帯	65.9	39.0	21.0	24.0	6.9	4.2	2.0
	一世代世帯	67.0	42.3	23.5	24.4	7.6	3.1	1.1
	二世代世帯	66.4	34.8	35.0	18.0	12.0	2.6	2.1
	三世代世帯	65.7	42.0	29.6	22.1	11.5	1.4	1.2
世帯収入	100万円未満	66.7	34.3	15.3	18.5	7.9	2.8	0.9
	～200万円未満	74.3	45.2	16.5	19.3	6.6	4.3	1.1
	～300万円未満	68.2	46.4	18.0	24.6	8.5	2.0	1.8
	～400万円未満	67.0	43.3	24.5	19.8	9.5	3.3	1.6
	～500万円未満	61.5	36.2	34.6	22.8	9.3	2.7	1.7
	～600万円未満	69.3	32.4	35.6	22.8	8.2	2.7	3.0
	～800万円未満	66.3	32.0	39.9	20.0	12.2	2.8	1.9
	～1,000万円未満	61.9	38.1	41.9	21.1	11.2	2.5	1.4
	1,000万円以上	59.5	32.3	43.5	23.4	12.7	3.3	1.0

※凡例： **第１位** 第２位 <u>第３位</u>

その他

【自由意見】

今回の調査では、有効回答数５，０４４人のうち、１，１２８人の方から自由意見が寄せられました。

いただいた自由意見について、調査に関する御意見と調査以外のことに関する御意見の２つに整理しました。

（１） みえ県民意識調査に関する御意見（２０８件）

今後もできる限り多くの方に回答いただけるよう、御意見を踏まえ、調査方法の改善などについて努めてまいります。なお、以下に具体的な御意見の例を記載します。

① 目的や活用に関すること

- アンケートの調査結果を踏まえて県政を誠実に進めてください。
- 集計結果をみて自分自身参考・見直しをしたい。
- 政策評価の調査の方が良いのでは？アンケートの意図や利用され方がいまひとつわかりづらい。

② 調査票の内容や構成に関すること

- アンケートの質問がむずかしい。もう少し具体的な例を出していただけると(イメージしやすい)わかりやすく答えやすいと思う。
- 地域活動のアンケートが細かすぎて、わずらわしかった。
- ７０才以上に対するアンケート調査の内容ではないと思います。
- 質問(設問)が多いと思います。

③ その他（実施方法、公表など）に関すること

- 結果を広く県民に知らせる工夫をしてほしい。（インターネット利用していない人にも)。
- 過去のアンケート調査結果が同封されていて参考になりました。ただ、これを先に見てしまうと、本アンケートの回答に影響があるようにも思いました。
- インターネットで回答できるようにしてほしい。

（２） 調査以外のことに関する御意見（延べ９８７件）

さまざまな分野に関する御意見もたくさんいただきました。

県政に関する御意見につきましては、関係部署に伝達し、諸施策の今後の展開を検討するための参考資料として活用させていただきます。なお、参考までに「みえ県民力ビジョン」における 15 の政策別、その他に分類した内訳は次のとおりです。

「みえ県民力ビジョン」

01. 防災・減災	43 件
02. 命を守る	56 件
03. 共生の福祉社会	82 件
04. 暮らしの安全を守る	54 件
05. 環境を守る	34 件
06. 人権の尊重と多様性を認め合う社会	32 件
07. 学びの充実	51 件
08. 希望がかなう少子化対策の推進	88 件
09. スポーツの推進	19 件
10. 地域の活力の向上	70 件
11. 農林水産業	16 件
12. 強じんで多様な産業	15 件
13. 世界に開かれた三重	33 件
14. 雇用の確保と多様な働き方	33 件
15. 安心と活力を生み出す基盤	68 件

その他（行政全般・知事に対して等）　293 件

（参考）標本誤差と調査の精度

母集団から一部の標本を抽出して調査を行い、その結果からもとの全体の値を推定するのが標本調査ですが、この際に生ずる“標本調査の結果”と“全数調査の結果”との差が標本誤差です。標本誤差の幅は、回答数（N）、　および回答率（P）によって決定されます。

標本誤差　$E = \pm 2\sqrt{\frac{P(100-P)}{N}}$　Ｅ：標本誤差　Ｎ：回答数（人）　Ｐ：回答率（％）

次表は、上式にＮとＰの値を代入して標本誤差を求め、作成したものです。

標本誤差の早見表

回答率(p) ／ 標本数(n)	5% (95%)	10% (90%)	15% (85%)	20% (80%)	25% (75%)	30% (70%)	35% (65%)	40% (60%)	45% (55%)	50%
10,000	0.4	0.6	0.7	0.8	0.9	0.9	1.0	1.0	1.0	1.0
5,000	0.6	0.8	1.0	1.1	1.2	1.3	1.3	1.4	1.4	1.4
1,000	1.4	1.9	2.3	2.5	2.7	2.9	3.0	3.1	3.1	3.2
500	1.9	2.7	3.2	3.6	3.9	4.1	4.3	4.4	4.4	4.5
100	4.4	6.0	7.1	8.0	8.7	9.2	9.5	9.8	9.9	10.0

アンケート調査を行う場合、許容できる標本誤差の範囲は３%程度の範囲までが望ましいと言われています。

仮に、ある設問のある選択肢が選ばれる場合（回答の比率）が 50%の場合、信頼度 95%、標本誤差±3%（同じ調査を異なる調査対象で行った場合、100 回中 95 回までは－3%～＋3%の間に収まること）では、1,111 件のサンプル数が必要であり、同様に標本誤差±２%では 2,500 件のサンプル数が必要であるという考え方となります。

今回の調査では、5,060 件の有効回答数が得られており、三重県全体の意見を推定するために充分な精度を得ていると考えられます。（次式及び「サンプル数決定の早見表」参照）

サンプル数　$N = \left(\frac{k}{E}\right)^2 \times P \times (100 - P)$　　（１）　※１

Ｎ：サンプル数　Ｐ：回答率（％）　Ｅ：標本誤差　ｋ：信頼度係数　※２

※１：一般に人口１万人以上を目安に無限母集団と捉えるため、本調査においては、無限母集団のサンプル数を決定する式（１）を使用した。

※２：信頼度係数は、正規分布表から求められ、信頼度 95%の場合は 1.96 であるであるが、近似値として２を用いている。

サンプル数決定の早見表（信頼度 95%）

標本誤差 / 回答率	±1%	±2%	±3%	±4%	±5%
1,99	396				
5,95	1,900	475	211	119	
10,90	3,600	900	400	225	144
20,80	6,400	1,600	711	400	256
30,70	8,400	2,100	933	525	336
40,60	9,600	2,400	1,067	600	384
50,50	10,000	2,500	1,111	625	400